

就職氷河期世代のその後：雇用・所得・健康状態

2022年4月

ISS Discussion Paper Series

J-241

近藤 絢子 \*

---

\* 東京大学社会科学研究所 教授 akondo@iss.u-tokyo.ac.jp

# 就職氷河期世代のその後：雇用・所得・健康状態

東京大学社会科学研究所 近藤絢子

## 概要

学卒時点の景気動向が、雇用状況、所得、健康状態や予防的行動などに与える長期的な影響を包括的に検証し、いわゆる「就職氷河期世代」の現状について分析するために、複数の政府統計を用いて記述的分析を行った。就職氷河期世代の前後で景気に対する感応度が異なること、雇用や所得以外のアウトカムへの影響は限定的であることなどが示唆された。

## 1. はじめに

本稿は、科学研究費補助金(基盤研究 A)「不確実性や政策介入に対する企業の労働調整に関する実証分析」の一環として、学卒時点の景気動向が、雇用状況、所得や資産形成、消費行動、健康状態や予防的行動などに与える長期的な影響を包括的に検証し、いわゆる「就職氷河期世代」の現状について正確な把握を試みるための第一歩となる記述的分析をまとめたものである。本稿の目的は、瑕疵効果や所得格差の動向などに関するより精緻な分析のための基礎資料の提供であり、今後も継続的な研究が行われることを前提としている。

本稿では、1993～2004年に高校や大学などを卒業した世代を就職氷河期世代と定義する。さらに、97～98年の金融危機を境に雇用情勢が一段と冷え込んだ点を踏まえて、93～98年卒を「就職氷河期前期世代」、99～04年卒を「就職氷河期後期世代」と定義して、区別する。氷河期前期世代はそれ以前の売り手市場との激しい落差を経験した世代、氷河期後期世代は雇用の水準そのものがどん底だった世代だ。また、比較対象として就職氷河期世代よりもすぐ上のバブル世代(87-92年卒)とし、就職氷河期より下の世代はリーマンショックの影響が顕在化する前の05～09年卒を「ポスト氷河期世代」、リーマンショックや、2011年3月の東日本大震災の影響を被った10～13年卒を「リーマン震災世代」と区分する。

次節以降、政府統計の二次利用による記述的分析を行う。

## 2. 就業構造基本調査を用いた初職の傾向の把握

2017年の就業構造基本調査(総務省統計局)を用いて、初職の雇用形態を確認する。

この調査では最後に通った学校を卒業した年も訊いているので、これに基づいて、回答者をバブル世代(87-92年卒)、就職氷河期前期世代(93-98年卒)、就職氷河期後期世代(99-04年卒)、ポスト氷河期世代(05-09年卒)、リーマン震災世代(10-13年卒)に分ける。ポスト氷河期世代は就職氷河期が一応終わり新卒市場が売り手市場になったと言われていた時期に卒業した世代、リーマン震災世代はリーマンショックや東日本大震災の影響を受けた世代である。若い世代ほど大卒が多く高卒が少ないので、学歴別の集計も行う。

表 1-1 と 1-2 に、学校を卒業してから最初についた仕事が正規雇用（正規の職員・従業員）と非正規雇用（パート・アルバイト・派遣社員・契約社員・嘱託・その他雇用者の合計）だった割合をそれぞれ集計した。

まず、バブル世代に比べて氷河期世代のほうが、そして氷河期世代の中では前期世代より後期世代のほうが、正規雇用の割合が低く非正規雇用の割合が高いことがわかる。ポスト氷河期世代と氷河期後期世代を比べると、大学卒や女性では若干正規雇用が増え非正規雇用が減る傾向がみられるものの、大卒以外の男性ではほとんど変わらないかむしろ非正規雇用が増加した。そして、リーマン震災世代になると、男性の大学卒は氷河期後期世代以上に正規雇用が減り非正規雇用が増え、高校卒もポスト氷河期世代にくらべて 3%弱が正規雇用から非正規雇用に移っている。一方で専門学校や短大高専卒ではむしろ改善している。図 1-1, 1-2 から同様に、就職氷河期を通じて正規雇用が減り非正規雇用が増えた後、2000 年代を通じて横ばいになる傾向が見て取れる。

次に、学卒前年の地域別失業率と初職の関係を分析する。地域別の失業率を用いて全国共通のトレンドを学卒年ダミーでコントロールすることで、失業率以外の要因を取り除くが、この際、学卒時の居住地がわからないため調査時点の居住地で代替する。

表 2-1, 2-2 に、初職が正規雇用ダミーと非正規雇用ダミーを、学卒前年の地域失業率、地域ダミー、学卒年ダミーで回帰した際の学卒前年の地域失業率の係数を示す。推計は男女・学歴別に行い、就職氷河期前後で変化があったかを確認するため、就職氷河期世代以前と以降のサブサンプルでの推計も併せて行う。高校卒では、就職氷河期世代までは、学卒時の失業率が高いと正規雇用になりづらく非正規雇用になりやすい傾向が男女ともにあり、特に男性で統計的に有意である。ところが、就職氷河期以降の世代になるとはっきりした相関が検出されなくなる。大学卒では男女ともに地域別失業率が初職の雇用形態に与える影響は世代によらず有意ではない。

ここから、就職氷河期まではその地域の労働市場の状況がダイレクトに初職の雇用形態に影響していたが、就職氷河期を境に何らかの構造的変化が生じ、景気によらず非正規雇用比率が高止まりするようになったことが示唆される。

就業構造基本調査は、本稿で扱うデータ中でもサンプルサイズが大きく、無業者も含む全人口が対象である。この利点を生かして図 2 と図 3 は本稿の対象となる世代の学歴分布と地域分布を見たものである。図 2 より、若い世代ほど高学歴であり、特に女性の

大学卒の増加が顕著であること、短大・高専卒は男性ではもともと少数だが、女性も近年大学卒が増えた分、大きく減少していることが分かる。地域分布については大きな変化はないが、大卒男性は南関東に集中していることが分かる。

### 3. 労働力調査・賃金構造基本調査を用いた雇用と所得の動向の把握

本節では、労働力調査特別調査(1989-2001年)・特定調査票(2002~2019年)および賃金構造基本調査(1989-2019年)を用いて、雇用と所得の動向を把握する。いずれも、学卒年は訊いていないため、学卒年は以下のように定義する。

- 労働力調査：生まれた年度（生年月より定義）+6+教育年数
- 賃金構造基本調査：調査年-年齢+6+教育年数
- 教育年数：高校卒 12年、短大・高専卒および専門学校卒 14年、大卒 16年、他の学歴は集計しない

学卒時点の景気動向の指標としては、卒業前年の地域別または全国の完全失業率を用い、地域別失業率を用いる場合には、学卒時の居住地がわからないため調査時点の居住地で代替する。

まず、図4に、様々なアウトカムについて、性・学歴・世代別に、卒業後の推移を示す。横軸は卒業後の年数（潜在経験年数）である。アウトカム変数の定義は以下のとおりである。【 】内はソースとなる調査名である。

- Employed: 就業率（就業者には休職中を含む）【労働力調査】
- Seiki: 正規雇用割合（分母は無業者を含む人口）【労働力調査】
- Hiseiki: 非正規雇用割合（分母は無業者を含む人口）【労働力調査】
- Lrinc2\_r: 対数実質年収平均値、調査では50~99万円などの階級で訊いているので各階級の中央値を取り、消費者物価指数で実質化したもの【労働力調査】
- Hours: 週当たり労働時間平均値（就業者のみ）【労働力調査】
- Over60a: 週60時間以上労働割合（分母は就業者のみ）【労働力調査】
- Largefirm: 企業規模500人以上割合（分母は無業者を含む人口）【労働力調査】
- Largeseiki: 企業規模500人以上で正規雇用（分母は無業者を含む人口）【労働力調査】
- Manuinemp: 製造業割合（分母は就業者のみ）【労働力調査】
- Leave1yr2: 直近1年以内離職（分母は無業者を含む人口）【労働力調査】
- Getjobd: 直近1年以内就職（分母は就業者のみ）【労働力調査】
- earnings: 実質年収（万円・フルタイム雇用者のみ、月給×12+昨年のボーナスを消費者物価指数で実質化）【賃金構造基本調査】
- Lrgekkyu: 対数実質月給（フルタイム雇用者のみ、「きまって支給する給与」を消費

者物価指数で実質化したものの対数、ボーナスは含まない)【賃金構造基本調査】

- lnenshu: 対数実質年収 (フルタイム雇用者のみ、earnings の対数)【賃金構造基本調査】

男性についてすべてのアウトカムを示したあとで女性の図を同じ順で提示する。学歴別に集計し、高卒を High School, 短大・高専卒を Vocational, 大卒を College とする。元のデータに専門学校卒というカテゴリーはないが、おそらく一部は高卒、一部は短大高専卒に含まれている。

男性に関して、就業率や正規雇用比率、年収は、バブル世代が最も高く、就職氷河期前期世代、就職氷河期後期世代と下がっていき、それより若い世代については就職氷河期後期と同レベルのままか氷河期後期と前期の間くらいの水準という傾向がみられる。労働時間については、就職氷河期世代は就職できても過重労働に苦しみがち、というイメージがあったが、それは大卒のみの傾向であり、高卒や短大高専卒ではバブル世代のほうが長時間労働の傾向が強い。また、若い世代ほど長時間労働が減る傾向がある。大企業割合は、バブル世代だけが突出して高く、高卒のみ若い世代も高くなっている。製造業比率にはそれほど明確な傾向はなく、離職率も大卒のバブル世代だけ明らかに低い以外は明確な傾向はない。賃金構造基本調査の月給や年収は、労働力調査の年収同様、バブル世代が最も高く、就職氷河期前期世代、就職氷河期後期世代と下がっていき、それより若い世代については就職氷河期後期と同レベルのままか氷河期後期と前期の間くらいの水準になっている。

女性の就業率は、卒業直後は男性同様バブル世代が高く氷河期世代が低い、年数を経るにつれて若い世代ほど就業率が高くなる。ただし、ここで増えているのは正規雇用ではなく非正規雇用のようだ。労働力調査の年収も、最初の数年間は男性と似た傾向だが、年数を経るにつれて世代間の差はなくなっていく。労働時間に世代間の明確な差はなく、他の指標については卒業後数年は男性と同じ傾向で、その後差がなくなっていく。全般的に、女性は結婚・出産を機に退職することが多く、上の世代ほど結婚・出産のタイミングが早く出産退職する傾向が強いため、無業者を分母に含む指標は年数を経ると差がなくなっていく。一方、サンプルがフルタイム雇用者のみに限定される賃金構造基本調査の月給や年収は、男性とほぼ同じ傾向になっている。

続いて、世代の特徴を別の角度から把握するために、Rothestein (2021)に倣いそれぞれのアウトカムについて cohort effect を推計する。具体的には、男女別に、高卒、短大高専卒、大卒のそれぞれのサブサンプルで以下の式を推計し、学卒年ダミーの係数 $\theta_{sc}$ をその学卒年コーホートの cohort effect とする。

$$Y_{sctri} = \theta_{sc} + \delta_{s,t-c-1} + \lambda_s \frac{\phi(p_{ct}^s)}{1 - \Phi(p_{ct}^s)} + \eta_{sr} + \varepsilon_{sctri} \dots (1)$$

- Y: アウトカム変数
- 下付き文字

- s: 学歴・性別グループ
- c: 学卒年
- t: 調査年
- r: 地域
- i: 個人
- $\theta_{sc}$  : グループ s で c 年卒のコーホートの cohort effect
  - $\theta_{s1984}$  は 0 に標準化
- $\delta_{s,t-c-1}$  潜在経験年数ダミーの係数.
- $\frac{\phi(p_{ct}^s)}{1-\phi(p_{ct}^s)}$  は学歴構成の変化の影響を吸収するための invers mill's ratio (Rothstein 2021 参照)
- $\eta_{sr}$  地域固定効果

得られた cohort effect を、横軸に学卒年をとってそのままプロットしたのが図 5 である。概ね図 4 と同じ傾向が確認できる。

さらに、(1)式に調査年ダミーを加え、 $\theta_{s1992}$  もゼロに標準化したものが図 6 である。調査年は学卒年と潜在経験年数を足し合わせたものなので、調査年をコントロールするためにもう 1 つ cohort effect を 0 にする必要があったため、氷河期の始まる直前の 1992 を 0 とした。比較のために、図 5 のグラフを  $\theta_{s1992}$  もゼロになるよう回転させたものも同じグラフに図示した。time effect の有無で大きくなるか小さくなるかは指標によるが、特に収入に関して、time effect をコントロールすると上昇傾向が強くなる点は興味深い。2000 年代以降、日本全体で賃金水準が低迷する中、若年層の賃金は上の世代に比べれば比較的高い水準にあったということだろう。

続いて、学卒時の景気と cohort effect の関係を見たのが図 7 の散布図である。横軸に学卒前年の全国の失業率を取る。就業率や正規雇用比率、年収などは学卒時の失業率と負の相関があるように見えるが、よく見ると両端にぐちゃぐちゃした塊があり、その間を右下がりの線がつないでいる形になっている。右下がりの線は 1990 年代の失業率が上昇し続けていた時期に当たるので、この時期のトレンド的な変化なのか景気の影響なのかの判別は難しい。

そこで、地域別失業率を用いて、学卒年ダミーをコントロールした推計を行う。具体的には、Genda et al (2010) と同じ式を推計する。

$$Y_{sctri} = \beta_{sp}u_{cr} + \gamma_{sp}u_{tr} + \delta_{sp} + \phi_{st} + \eta_{sr} + \theta_{srt} + \mu_{sc} + \varepsilon_{sctri} \dots (2)$$

下付き文字の p は潜在経験年数を表し、実際の推計は 1-3, 4-6, 7-9, 10-12 年の 4 グループに分けて行った。  $u_{tr}$  が学卒年の地域別失業率で、 $\theta_{srt}$  は地域別の線形トレンド、他のノテーションは(1)式と同じである。就職氷河期世代の前後で変化があるかを見るために、就職氷河期世代以前(1984-2004 年卒)と就職氷河期世代以後(1993-2013 年卒)に分けた分析も行った。また、地域別の線形トレンドはコントロールすべきか否かコン

センサスがないので、表3にはコントロールしていない結果、表に4はコントロールした結果をそれぞれ示す。先行研究で、学卒時の失業率が影響するとされてきた変数（正規雇用、年収、離職率など）は、就職氷河期以前の世代では有意な影響が検出されるが、就職氷河期以降の世代では有意でなく係数も小さく、あるいは符号が逆になることが多い。やはり、就職氷河期を境に、なんらかの恒久的な変化が生じている可能性が高い。

最後に、就職氷河期世代前後の所得格差についてみる。まず、図8は賃金構造基本調査を用いて、フルタイム雇用者の年収や月給の、卒業後5, 10, 15年の段階の10%点、中央値、90%点と、中央値/10%点および90%点/中央値を、横軸に卒業年をとって性・学歴別にプロットしたものだ。バブル世代から氷河期前期世代にかけてパーセンタイル比が拡大する傾向があるが、どちらかという中央値/10%点の上昇がより顕著に見える。ただし、賃金構造基本調査はフルタイム雇用者しか含まれないという欠点がある。

そこで、無業者を含む労働力調査を用いた分析も行う。労働力調査では、年収を「100～199万円」などといった選択式で尋ねていたため、パーセント点ではなく、階級ごとの分布を示したのが図9である。高卒と大卒それぞれ、卒業5年目と10年目の年収の分布を世代別に図示した。男性の場合、やはりまず目につくのは、一番左のバブル世代の所得が全体的に高いことだが、分布の上のほうと下のほうの動きの違いに注目してみよう。バブル世代から就職氷河期世代にかけての変化は、格差が拡大しているというより、全体的に所得分布が下側に動いているという印象だ。ところが、氷河期世代ともっと若い世代を比べると、比較的所得の高い階層は増えているのに低い階層はそこまで減っていない。

細かく見ると、ポスト氷河期世代の卒業5年目の状況は就職氷河期後期世代とあまり変わらないのだが、10年目になると所得の高い階層の割合（高卒の年収400万以上、大卒の年収500万以上）の割合ははっきりと増えている。それに引き換え、無収入と所得の低い階層（高卒の100万円未満、大卒の200万円未満）を合わせた割合は、ほとんど減っていない。また、ポスト氷河期世代とリーマン震災世代の5年目の状況を比べると、やはり所得の高い階層の割合が増えているのに比べると、低い階層の減り方は小さい。

一つ留意すべき点がある。ポスト氷河期世代の5年目と氷河期後期世代の10年目は、ちょうどリーマンショック後から東日本大震災にかけての不況期にあたるので、世代間の差に加えてその時の不況の影響も反映されている可能性が高い。したがって所得の高い層の割合が増え始めたのがいつからかの判別は難しいのだが、所得の高い層の割合の増え方に対して低い層の減り方が小さいという傾向は一貫している。

女性に関しては、特に卒業後10年目において、上の世代ほど収入無しが多くなるため男性ほどはっきりした傾向は見えてこない。

#### 4. 国民生活基礎調査を用いた健康状態の動向の把握

氷河期世代は過酷な労働状況から健康を害しやすい、という通説がある。そこで、不完全ではあるが、国民生活基礎調査を用いて健康状態の指標の世代観推移をみる。国民生活基礎調査は、ごく最近の調査を除き学歴を訊いていないので、4/1時点で20歳の年を学卒年とみなして、生年月に基づき世代を定義し、図3と同じ要領で男女別にプロットしたのが図10である。各変数の定義は以下の通り。

- nyuin 入院中
- jikakushojo 自覚症状あり（入院はしていない人のみ）
- 当てはまる自覚症状
  - darui 体がだるい
  - headache 頭痛
  - katakori 肩こり
  - yotsu 腰痛
  - kansetsu 手足の関節が痛む
  - pain 肩こり腰痛手足の関節のどれか一つでもある
- nochiry01 自覚症状があるのに治療していない（不詳を分母にも分子にも含まない）
- nochiry02 自覚症状があるのに治療していない（不詳を分母にも分子にも含む）
- tsuin 通院中
- 通院中の者の罹患傷病
  - mentaladd05 うつ病やその他こころの病気(h19以降)、06精神病（躁うつ病、統合失調症（精神分裂病）等）、07神経症、08自律神経失調症(h16以前)、06精神病（躁うつ病、統合失調症（精神分裂病）等）、07神経症、08自律神経失調症(h16以前)のいずれか
  - tonyoby0 糖尿病
  - koketsuastu 高血圧
- mentalpoint メンタルヘルス指標：メンタルヘルスの悪化を示す複数の項目の点数合計
- smoker 喫煙者
- activity6\_ 睡眠を十分にとっている
- kenshin 健診を受けている

明確な傾向がみられないグラフが多いが、2つ特筆すべき点がある。まず、メンタルヘルスに関連する mentaladd, mentalpoint を見ると、若い世代ほど精神疾患で通院している割合が高く、メンタルヘルスに問題を抱えている割合も高い。次に、若い世代ほど

喫煙率が低く、健診受診率が高い。ここから、予防医療はより若い世代のほうがきちんと受けていることがわかる。ただし、いずれも就職氷河期世代とその上で差があるというよりも、氷河期世代よりも若い世代も含めて、より若い世代ほど高くなる傾向があり、おそらく氷河期世代問題とは切り分けて考える必要がある。

## 5. まとめと今後の課題

本稿では、学卒時点の景気動向が、雇用状況、所得、健康状態や予防的行動などに与える長期的な影響を包括的に検証し、いわゆる「就職氷河期世代」の現状について分析するために、複数の政府統計を用いて記述的分析を行った。就職氷河期世代の前後で景気に対する感応度が異なること、雇用や所得以外のアウトカムへの影響は限定的であることなどが示唆された。

ただし、本稿の分析はあくまで記述的なものにとどまり、より厳密な手法を用いた因果関係の検証や、氷河期前後の構造的変化の原因を探ることはできていない。今後も継続的に探求していく必要があるといえる。

## 参考文献

- Genda, Yuji, Ayako Kondo, and Souichi Ohta. 2010. Long-Term Effects of a Recession at Labor Market Entry in Japan and the United States. *J. Human Resources* 45:157-196
- Rothstein, Jesse. 2021. The Lost Generation? Labor Market Outcomes for Post Great Recession Entrants. *J. Human Resources* 0920-11206R1 doi:10.3368/jhr.58.5.0920-11206R1

表 1-1a 学歴別・初職が正規雇用だった割合（平成 29 年就業構造基本調査・男性のみ）

	高校	専門学校	短大・高専	大学	学歴計
バブル世代(87-92 年卒)	84.5%	84.6%	90.5%	91.5%	85.8%
氷河期前期世代(93-98 年卒)	79.4%	82.4%	84.8%	89.1%	82.9%
氷河期後期世代(99-04 年卒)	72.5%	76.7%	80.3%	84.2%	78.1%
ポスト氷河期世代(05-09 年卒)	73.2%	77.1%	80.6%	87.2%	79.9%
リーマン震災世代（10-13 年卒）	71.3%	79.5%	83.4%	83.7%	79.3%

表 1-1b 学歴別・初職が正規雇用だった割合（平成 29 年就業構造基本調査・女性のみ）

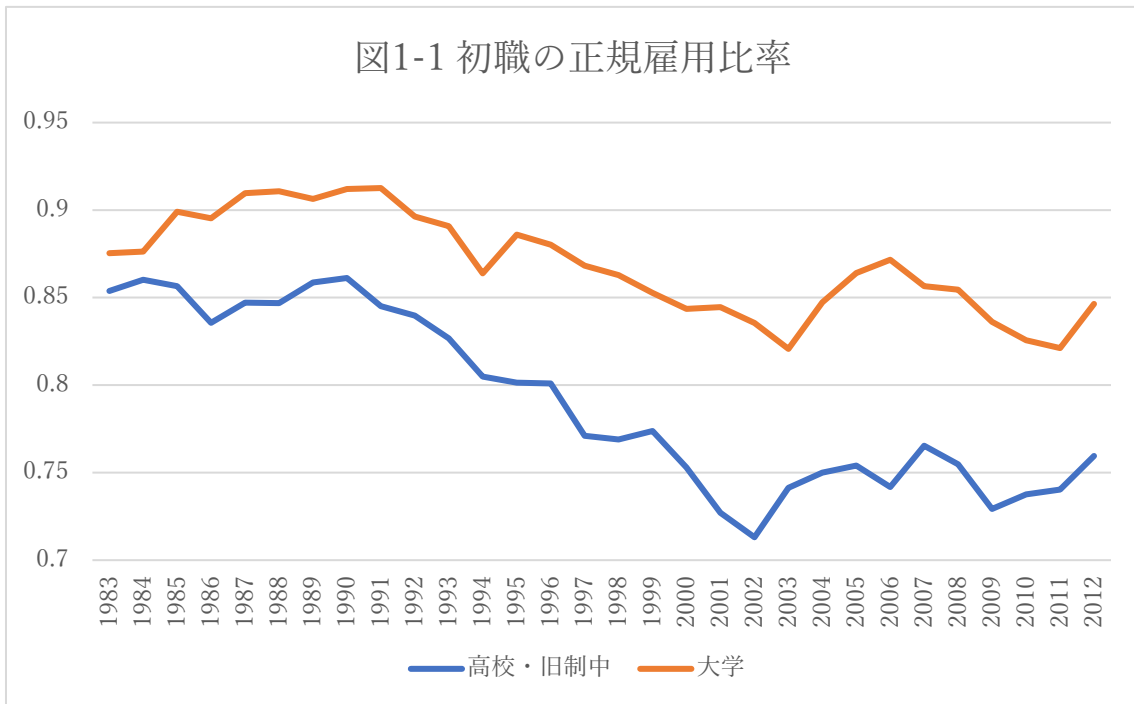
	高校	専門学校	短大・高専	大学	学歴計
バブル世代(87-92 年卒)	78.4%	79.2%	83.6%	82.8%	78.9%
氷河期前期世代(93-98 年卒)	67.2%	72.8%	75.3%	76.4%	71.0%
氷河期後期世代(99-04 年卒)	54.1%	67.3%	68.5%	73.3%	64.0%
ポスト氷河期世代(05-09 年卒)	55.0%	70.8%	71.1%	80.0%	68.8%
リーマン震災世代（10-13 年卒）	54.4%	70.9%	74.6%	79.3%	70.3%

表 1-2a 学歴別・初職が非正規雇用だった割合（平成 29 年就業構造基本調査・男性のみ）

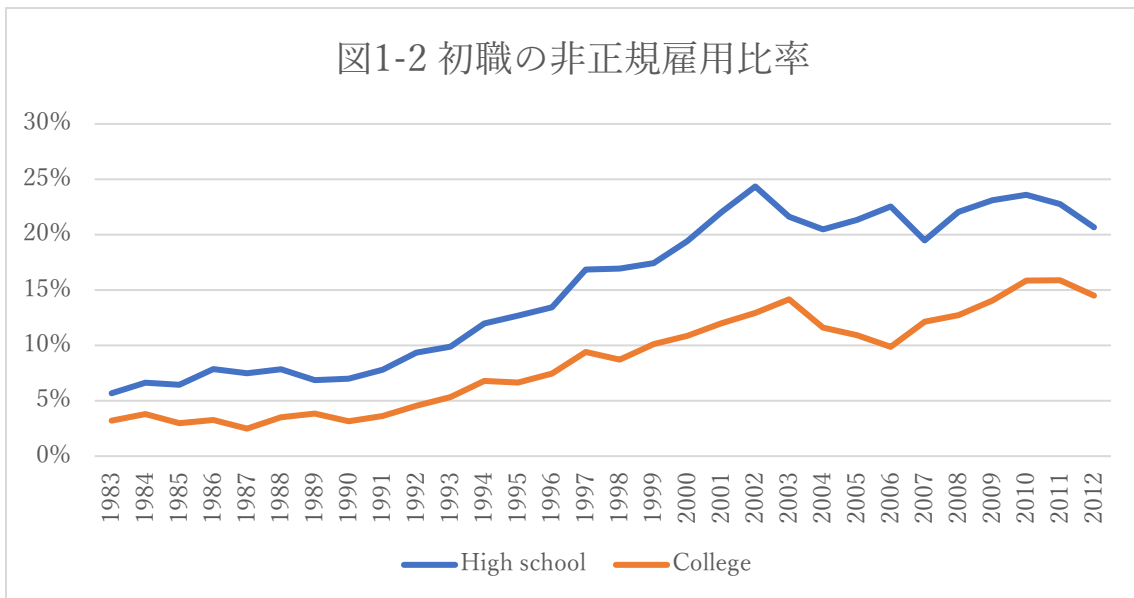
	高校	専門学校	短大・高専	大学	学歴計
バブル世代(87-92 年卒)	8.7%	6.1%	3.9%	2.9%	7.1%
氷河期前期世代(93-98 年卒)	14.0%	9.2%	7.5%	6.0%	10.6%
氷河期後期世代(99-04 年卒)	22.4%	16.6%	13.4%	11.5%	16.7%
ポスト氷河期世代(05-09 年卒)	23.5%	19.2%	15.1%	10.0%	16.7%
リーマン震災世代（10-13 年卒）	25.8%	17.4%	14.0%	14.5%	18.3%

表 1-2b 学歴別・初職が非正規雇用だった割合（平成 29 年就業構造基本調査・女性のみ）

	高校	専門学校	短大・高専	大学	学歴計
バブル世代(87-92 年卒)	19.9%	17.9%	14.7%	13.5%	18.8%
氷河期前期世代(93-98 年卒)	30.4%	24.0%	22.9%	20.9%	26.5%
氷河期後期世代(99-04 年卒)	43.8%	30.6%	30.3%	24.7%	34.0%
ポスト氷河期世代(05-09 年卒)	43.2%	27.2%	27.8%	18.9%	29.7%
リーマン震災世代（10-13 年卒）	42.9%	28.0%	24.7%	19.9%	28.4%



※横軸は学卒前年



※横軸は学卒前年

表 2-1a 学卒前年失業率が初職が正規雇用である確率に与える影響（男性）

	高校卒			大学卒		
	84-13 年卒	84-04 年卒	93-13 年卒	84-13 年卒	84-04 年卒	93-13 年卒
学卒前年地域失業率	-0.015** [0.005]	-0.016*** [0.004]	-0.003 [0.011]	-0.003 [0.003]	-0.009 [0.006]	-0.002 [0.003]
サンプルサイズ	63,234	51,843	36,707	51,269	38,785	34,510

表 2-1b 学卒前年失業率が初職が正規雇用である確率に与える影響（女性）

	高校卒			大学卒		
	84-13 年卒	84-04 年卒	93-13 年卒	84-13 年卒	84-04 年卒	93-13 年卒
学卒前年地域失業率	-0.016 [0.012]	-0.021* [0.011]	0.002 [0.011]	0.006 [0.008]	0.012 [0.011]	0.002 [0.010]
サンプルサイズ	56,934	47,834	30,654	30,771	20,170	24,183

表 2-2a 学卒前年失業率が初職が非正規雇用である確率に与える影響（男性）

	高校卒			大学卒		
	84-13 年卒	84-04 年卒	93-13 年卒	84-13 年卒	84-04 年卒	93-13 年卒
学卒前年地域失業率	0.014* [0.006]	0.018** [0.006]	0 [0.011]	0.001 [0.004]	0.004 [0.005]	0.001 [0.004]
サンプルサイズ	63,234	51,843	36,707	51,269	38,785	34,510

表 2-2b 学卒前年失業率が初職が非正規雇用である確率に与える影響（女性）

	高校卒			大学卒		
	84-13 年卒	84-04 年卒	93-13 年卒	84-13 年卒	84-04 年卒	93-13 年卒
学卒前年地域失業率	0.011 [0.010]	0.015 [0.010]	-0.009 [0.008]	-0.005 [0.007]	-0.006 [0.011]	-0.002 [0.010]
サンプルサイズ	56,934	47,834	30,654	30,771	20,170	24,183

図2a 生年コーホート別学歴分布, 男性

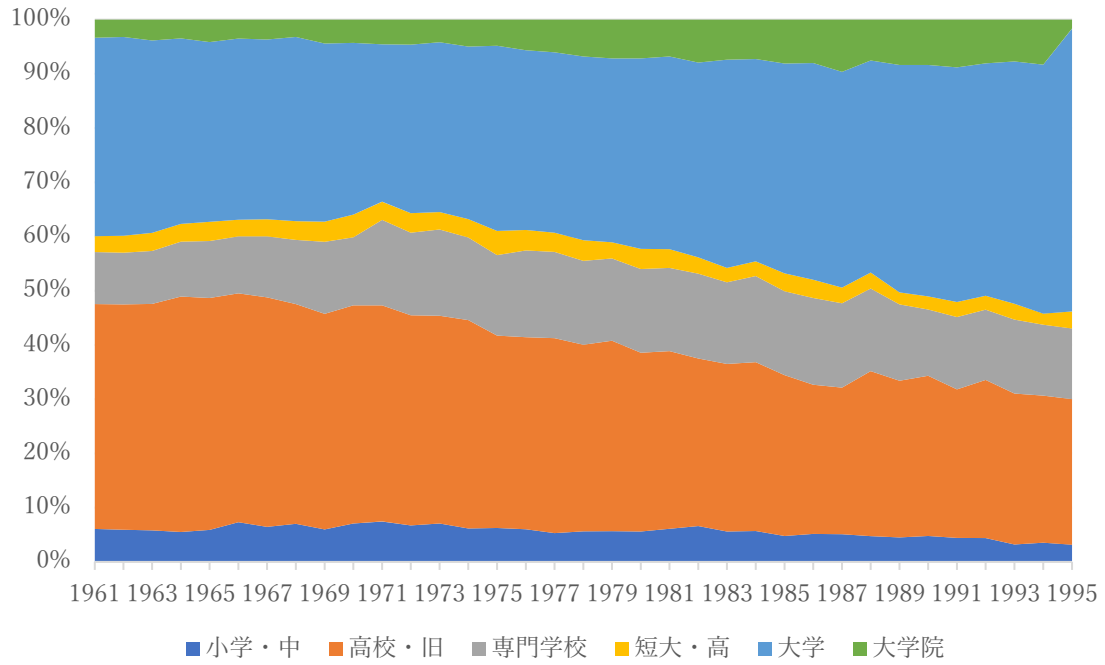


図2b 生年コーホート別学歴分布, 女性

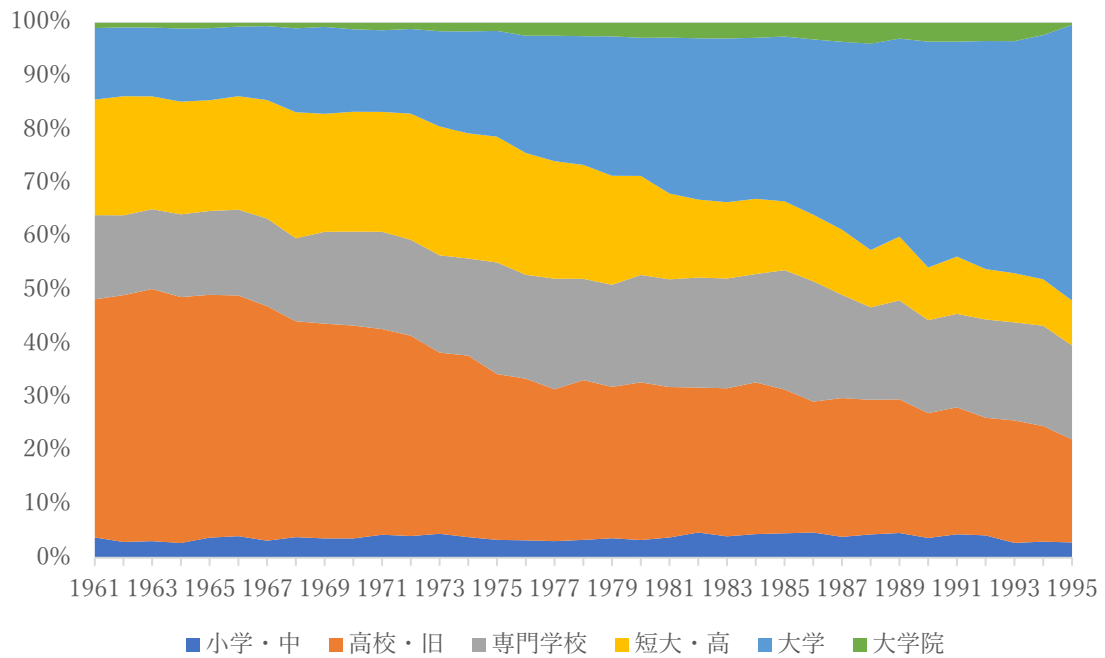


図3a 学卒年別高卒男性の地域分布

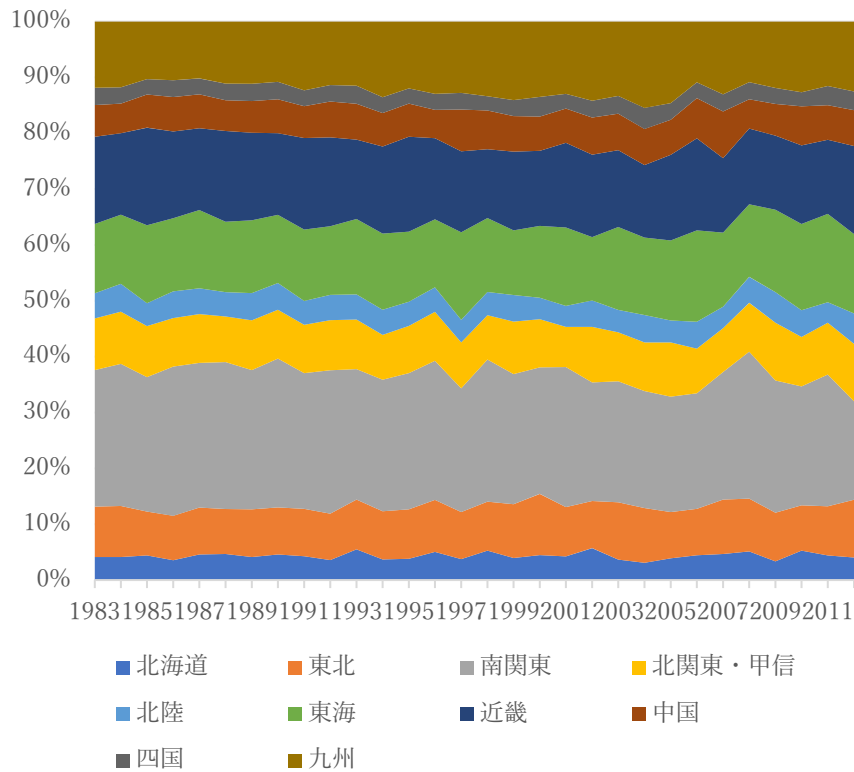


図3b 学卒年別大卒男性の地域分布

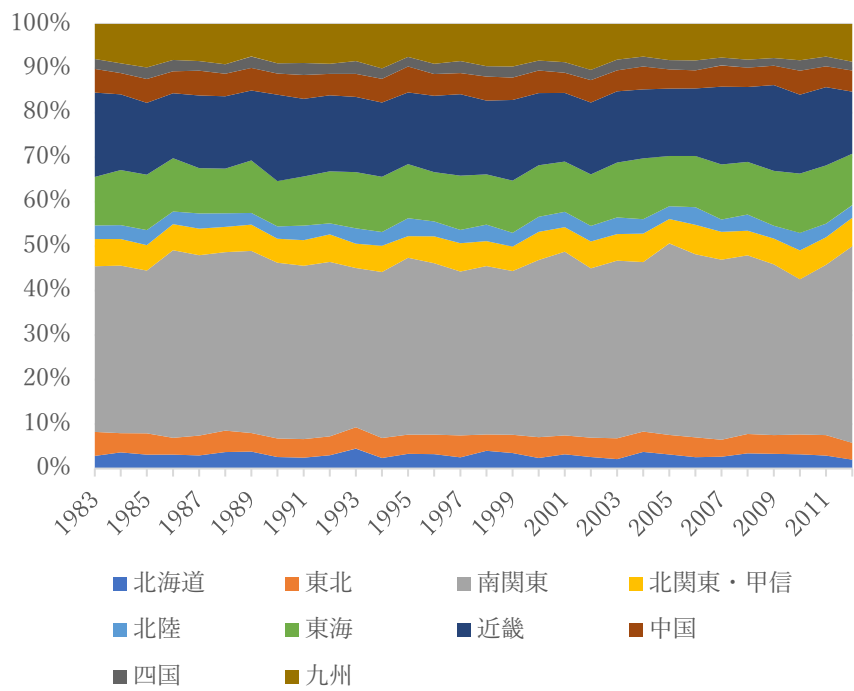


図4 性・学歴・学卒年コーホート別、卒業後の就業状態や収入の推移

男性、女性の順

Employed:就業率

Seiki: 正規雇用割合（分母は無業者を含む人口）

Hiseiki: 非正規雇用割合（分母は無業者を含む人口）

Lrinc2\_r: 対数実質年収平均値

Hours: 週当たり労働時間平均値（就業者のみ）

Over60a: 週60時間以上労働割合（分母は就業者のみ）

Largefirm: 企業規模500人以上割合（分母は無業者を含む人口）

Largeseiki: 企業規模500人以上で正規雇用（分母は無業者を含む人口）

Manuinemp: 製造業割合（分母は就業者のみ）

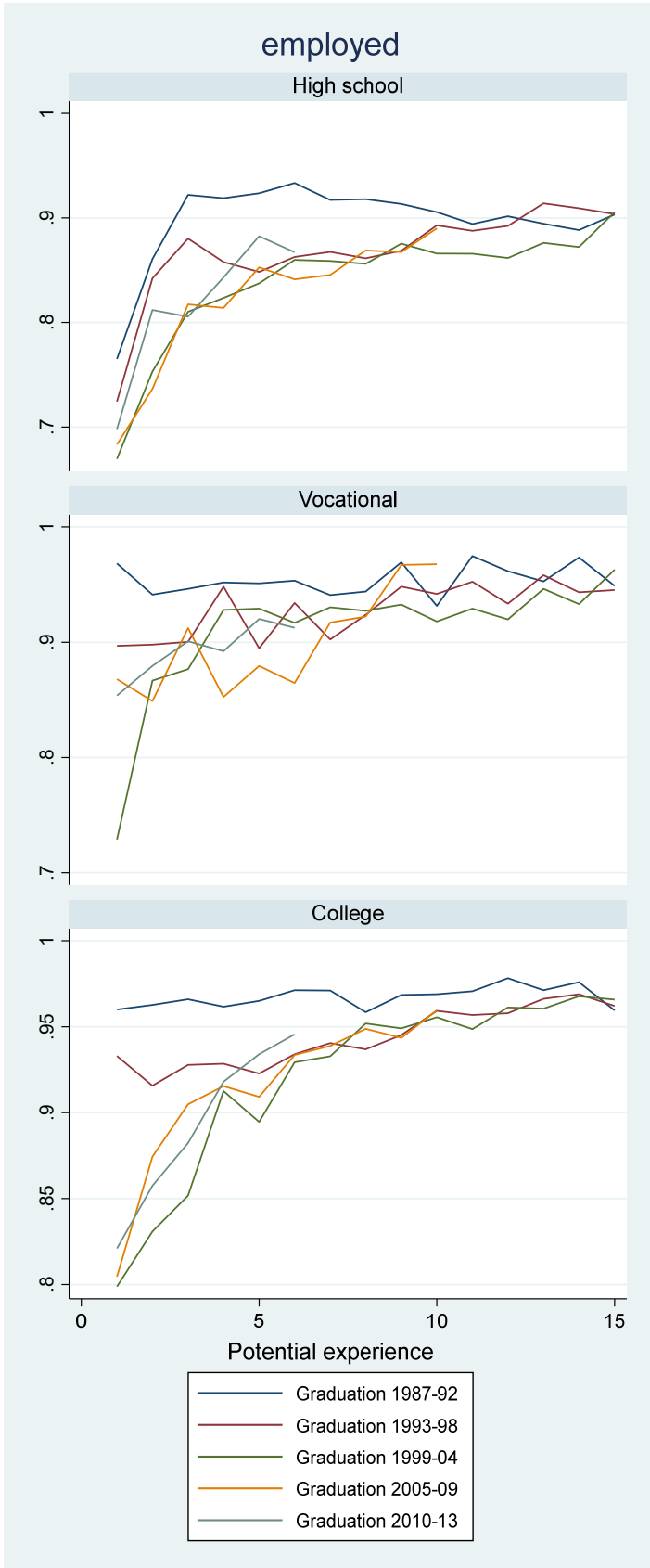
Leave1yr2: 直近1年以内離職

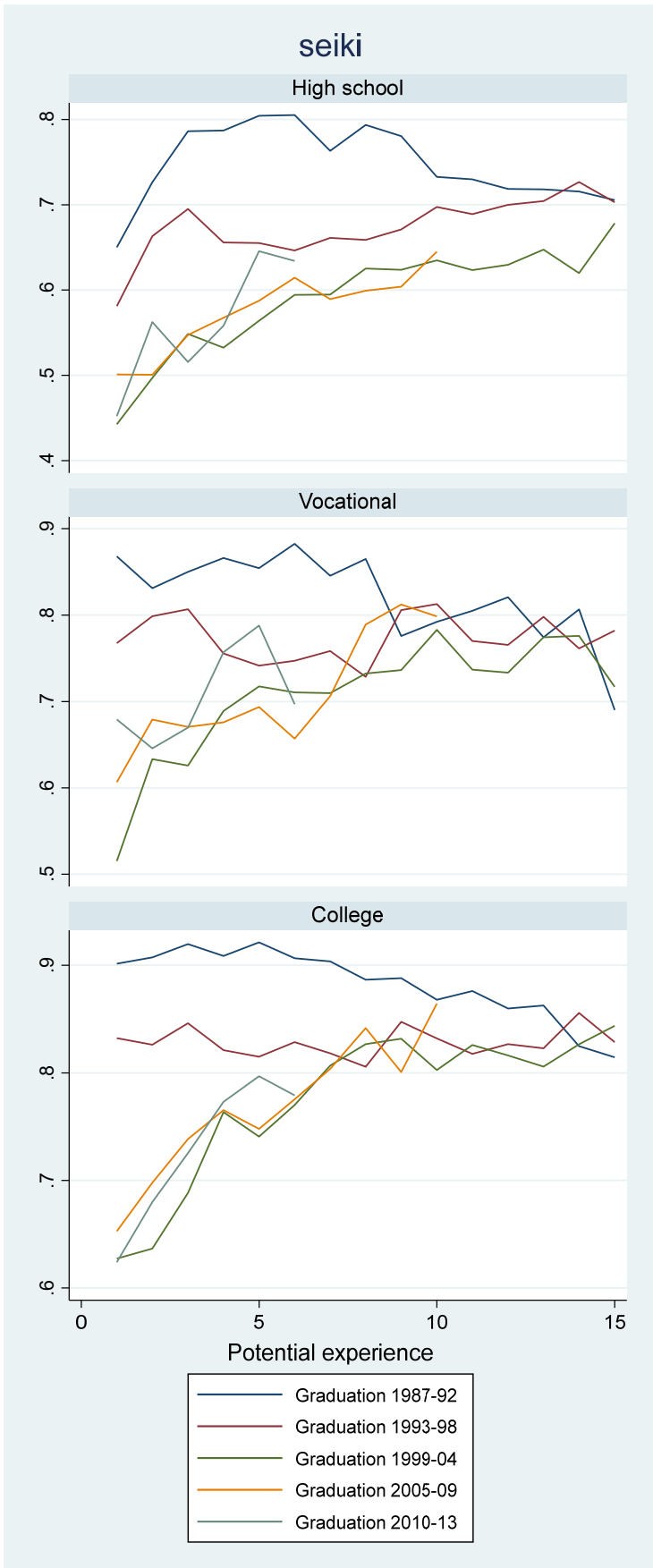
Getjobd: 直近1年以内就職（就業者のみ）

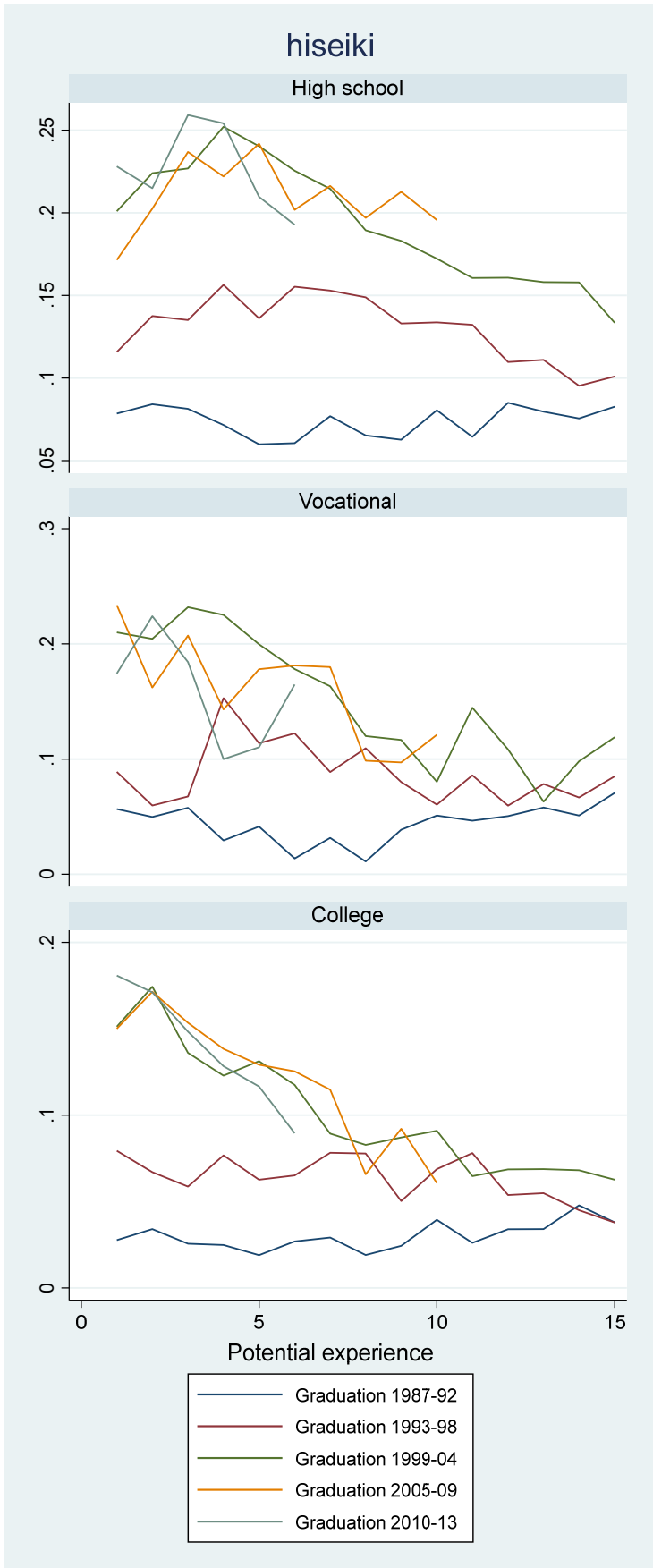
earnings: 実質年収（万円・フルタイム雇用者のみ）

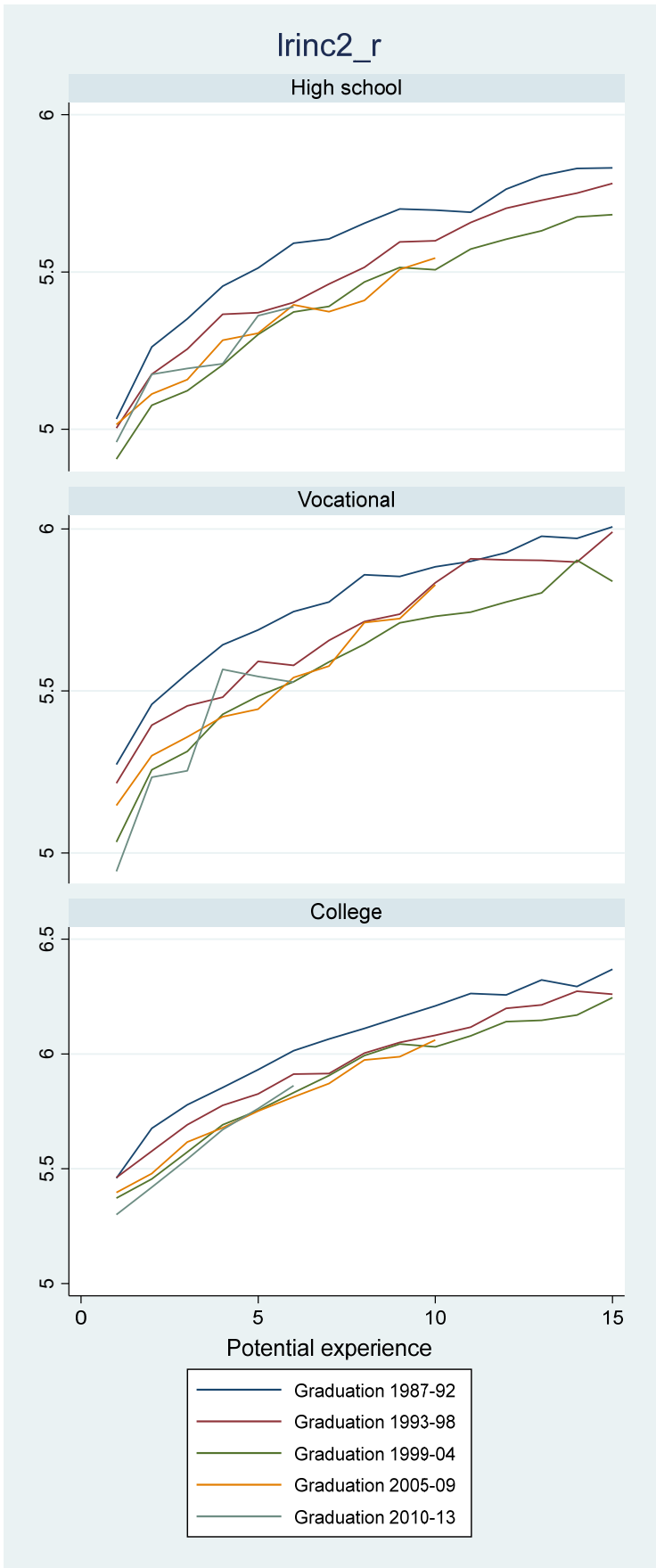
Lrgekkyu: 対数実質月給（フルタイム雇用者のみ）

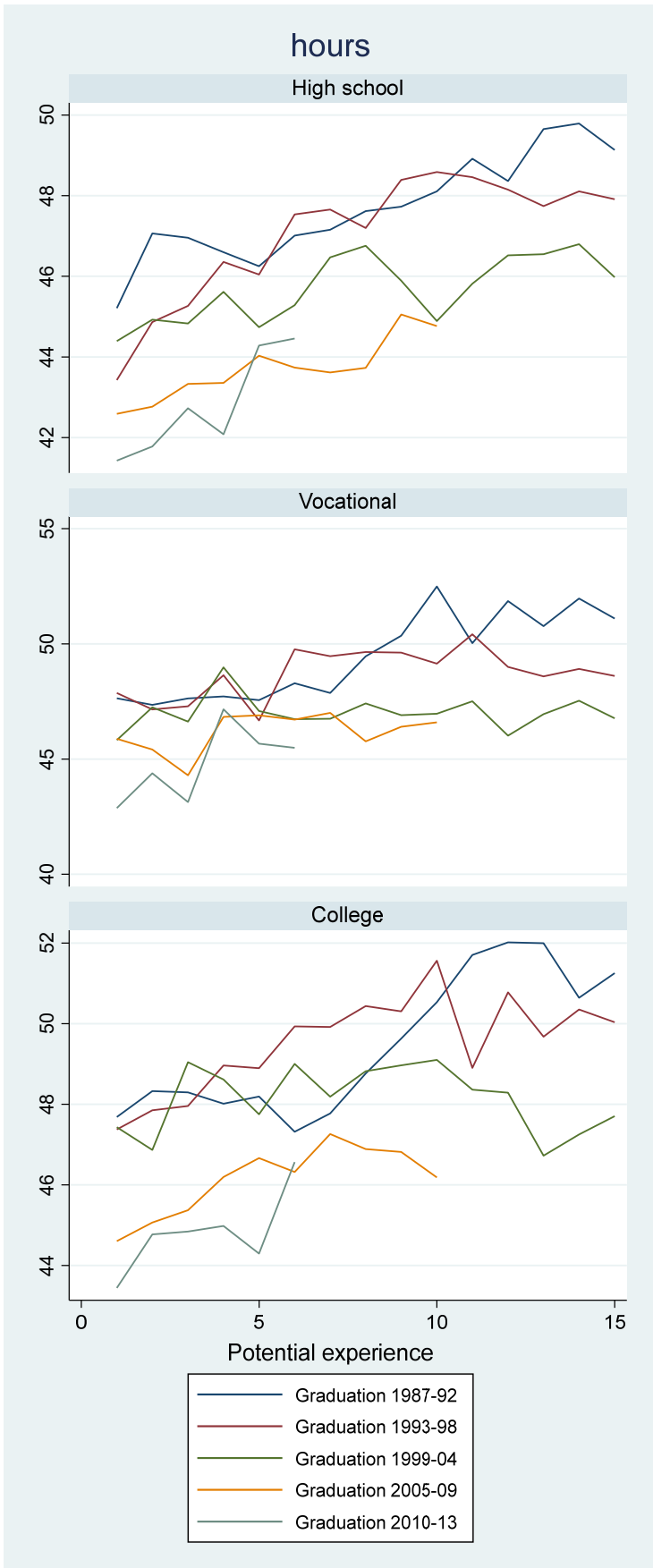
lnnenshu: 対数実質年収（フルタイム雇用者のみ）



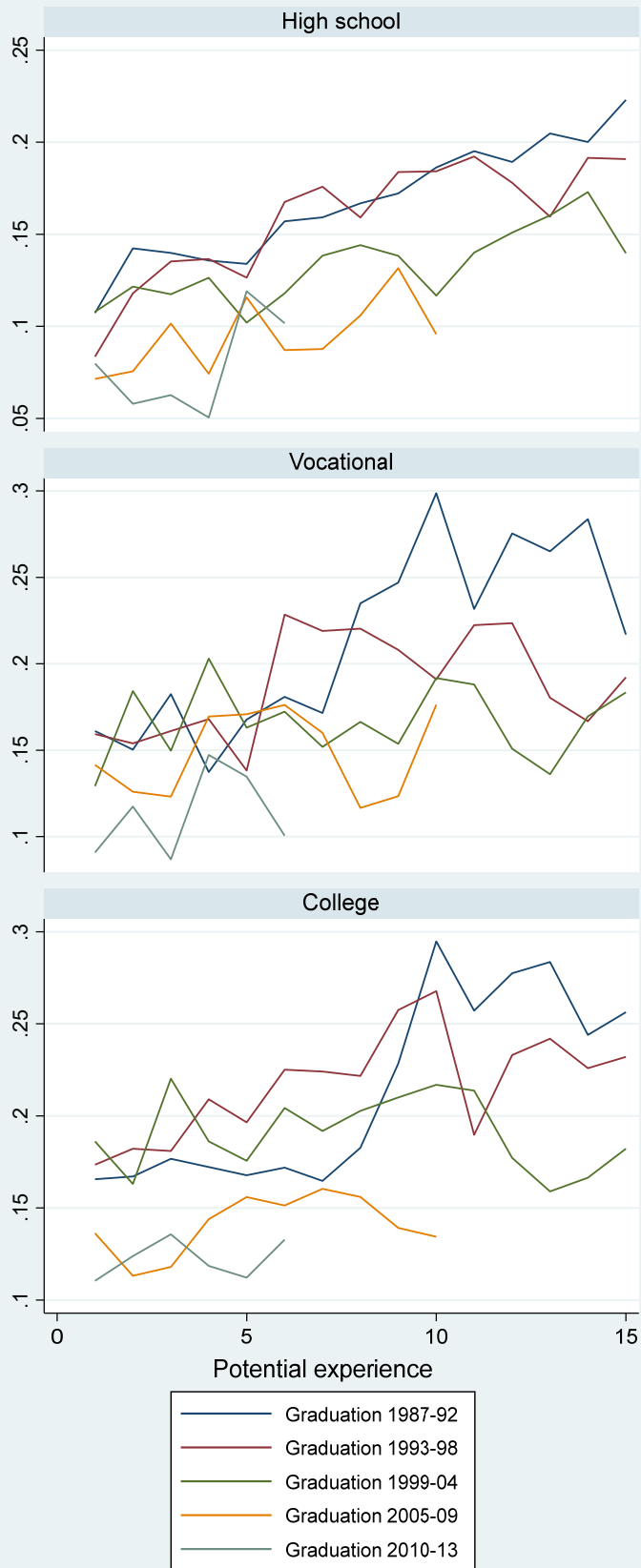


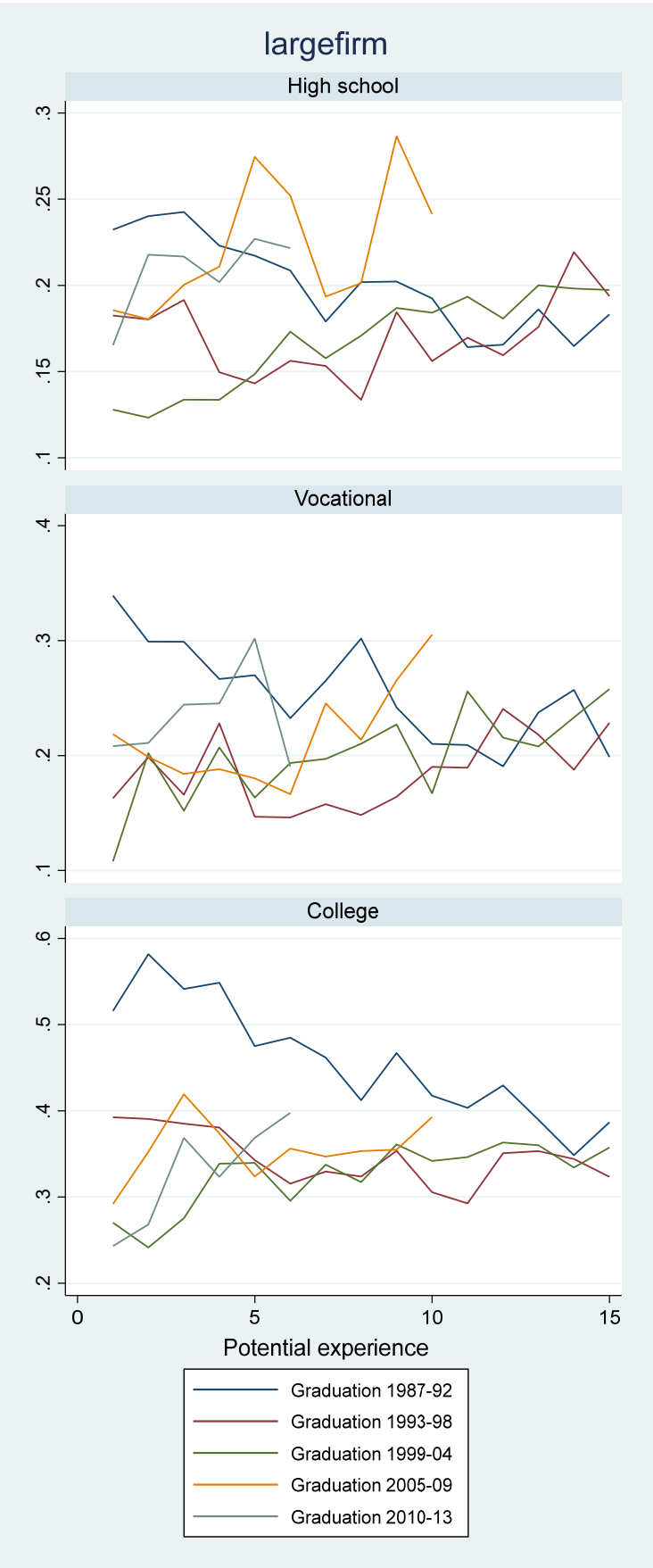




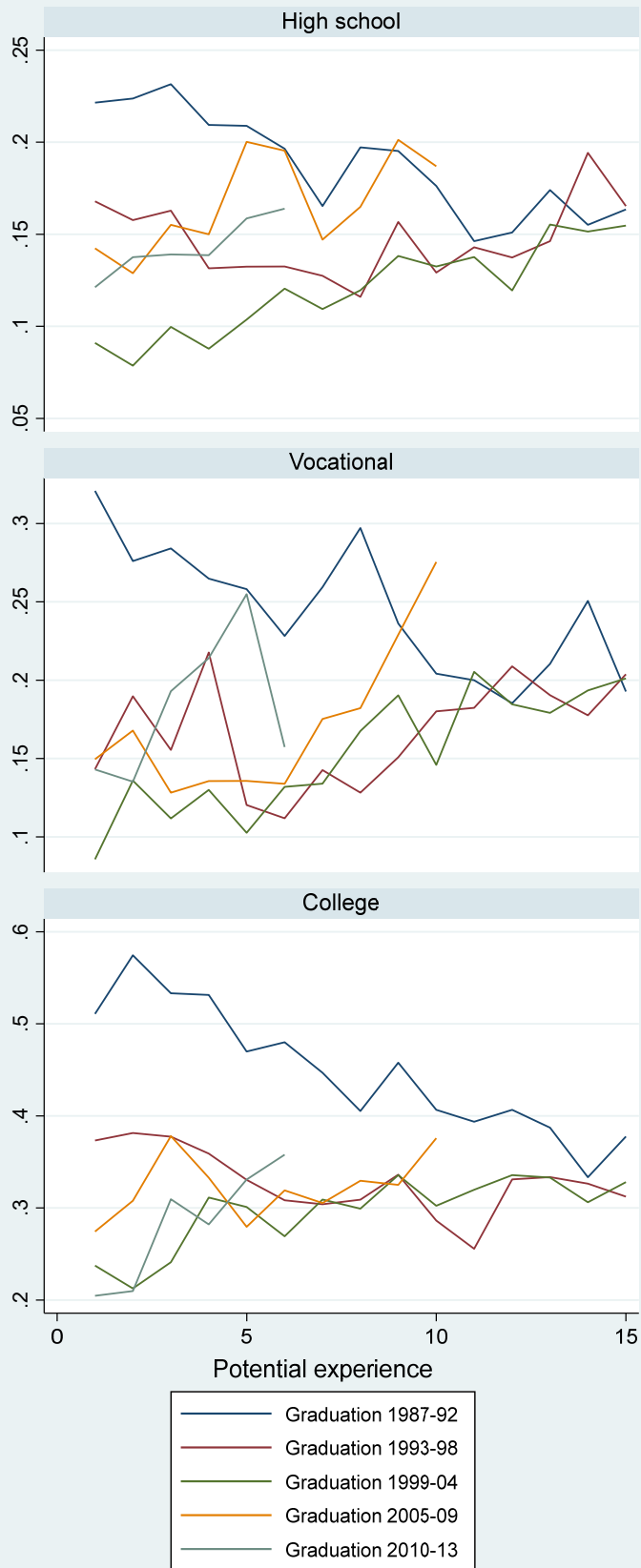


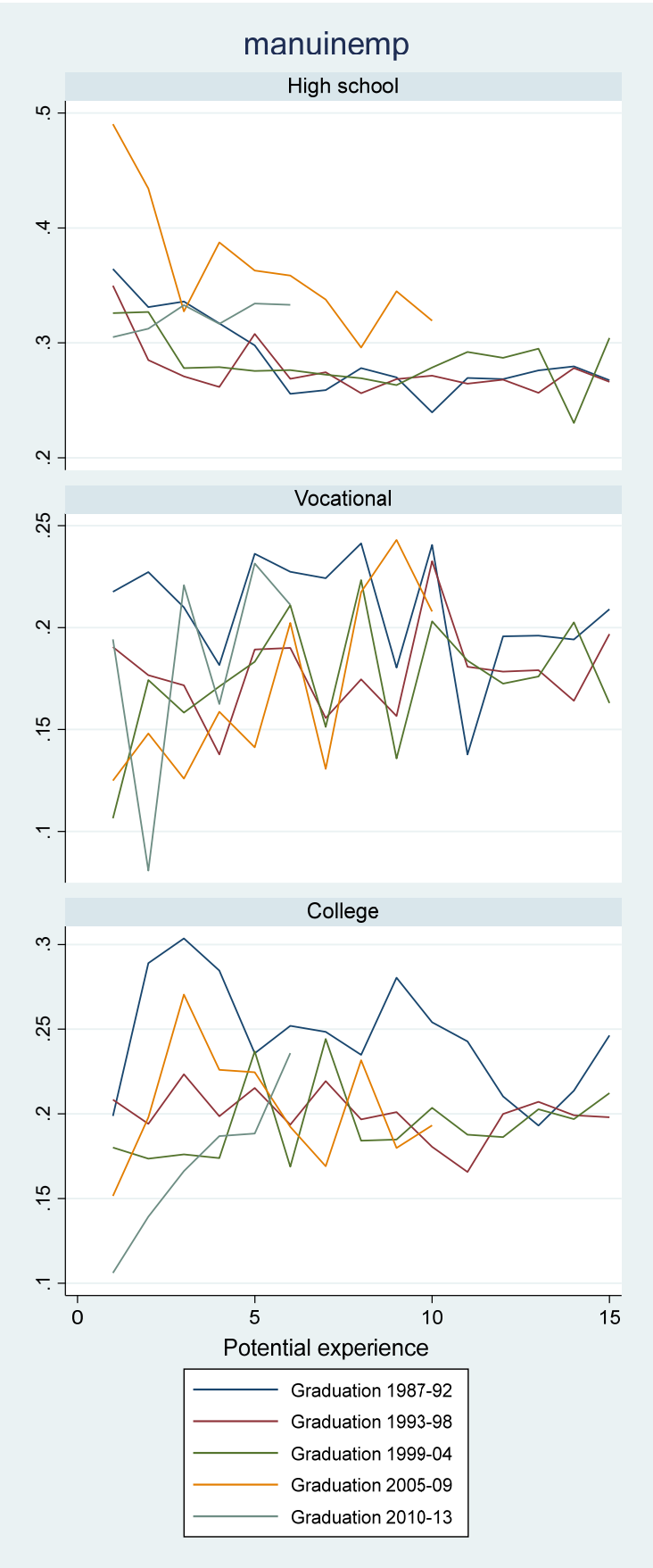
### over60a

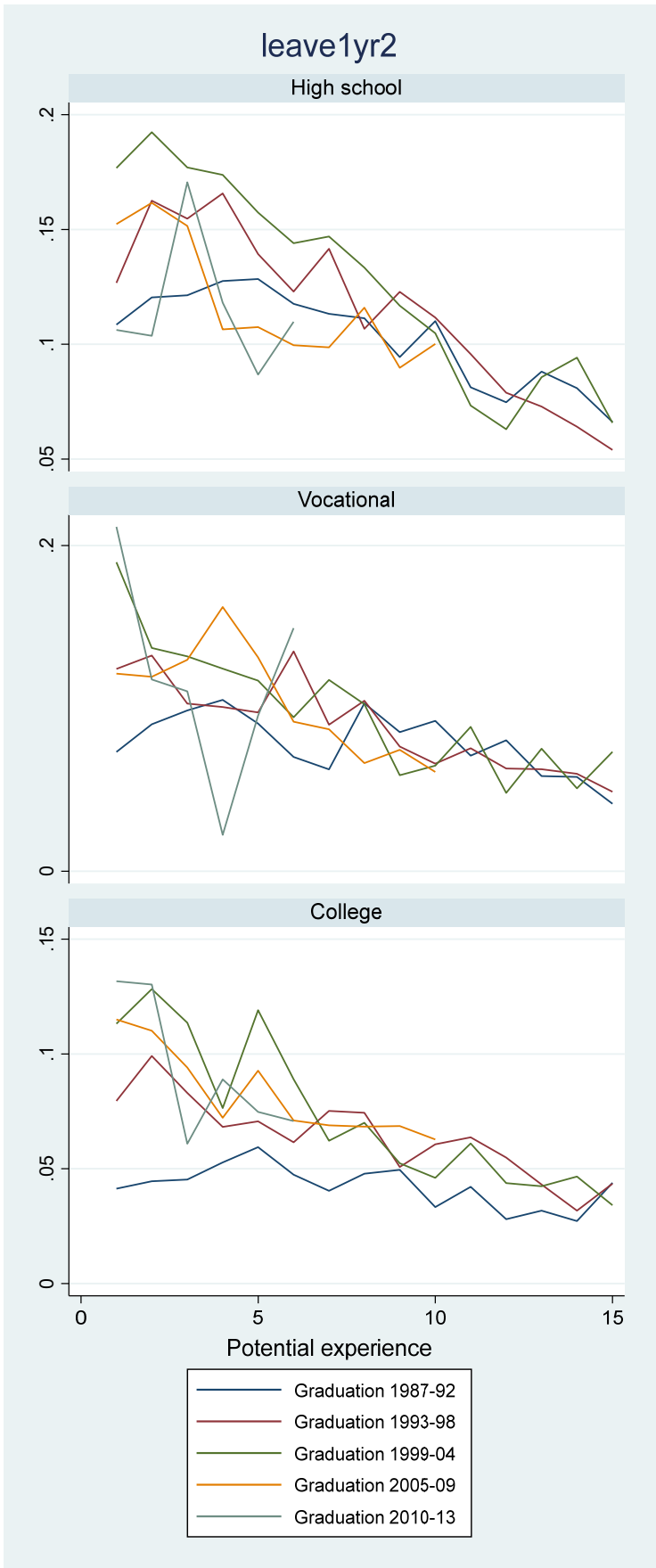




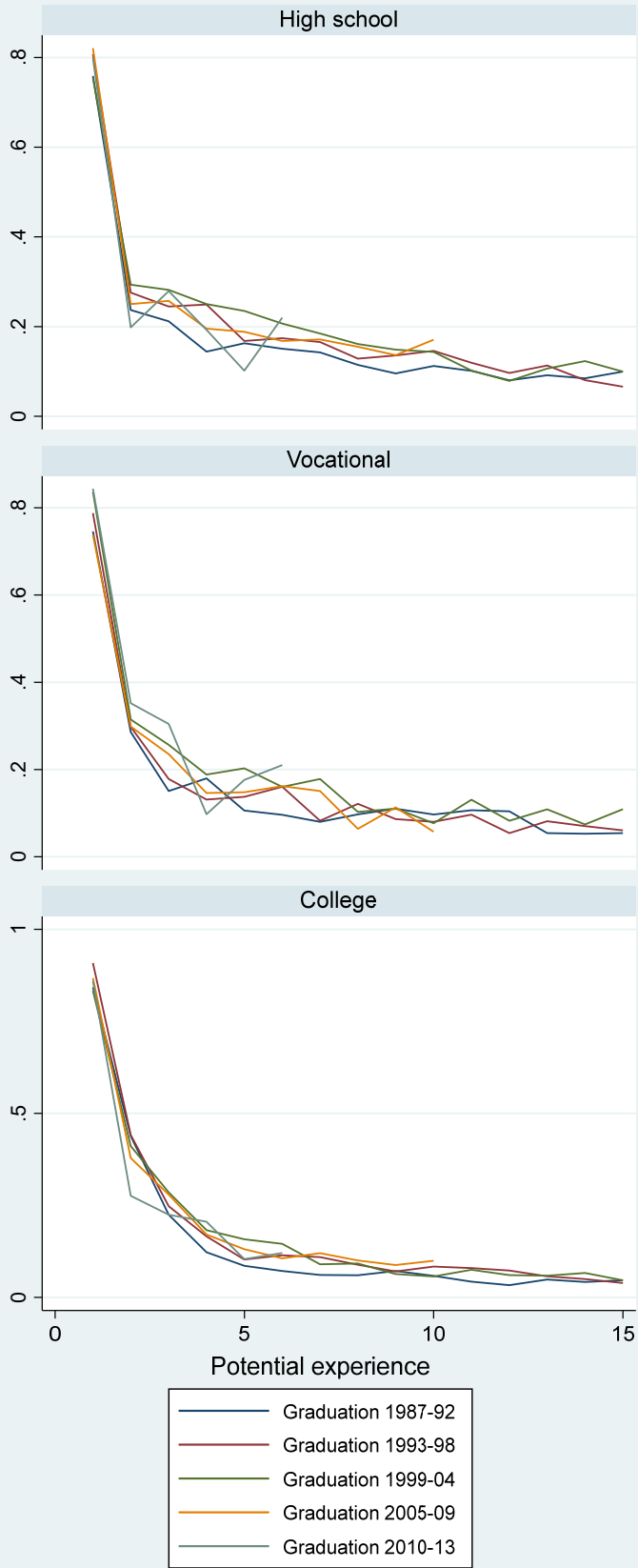
# largeseiki

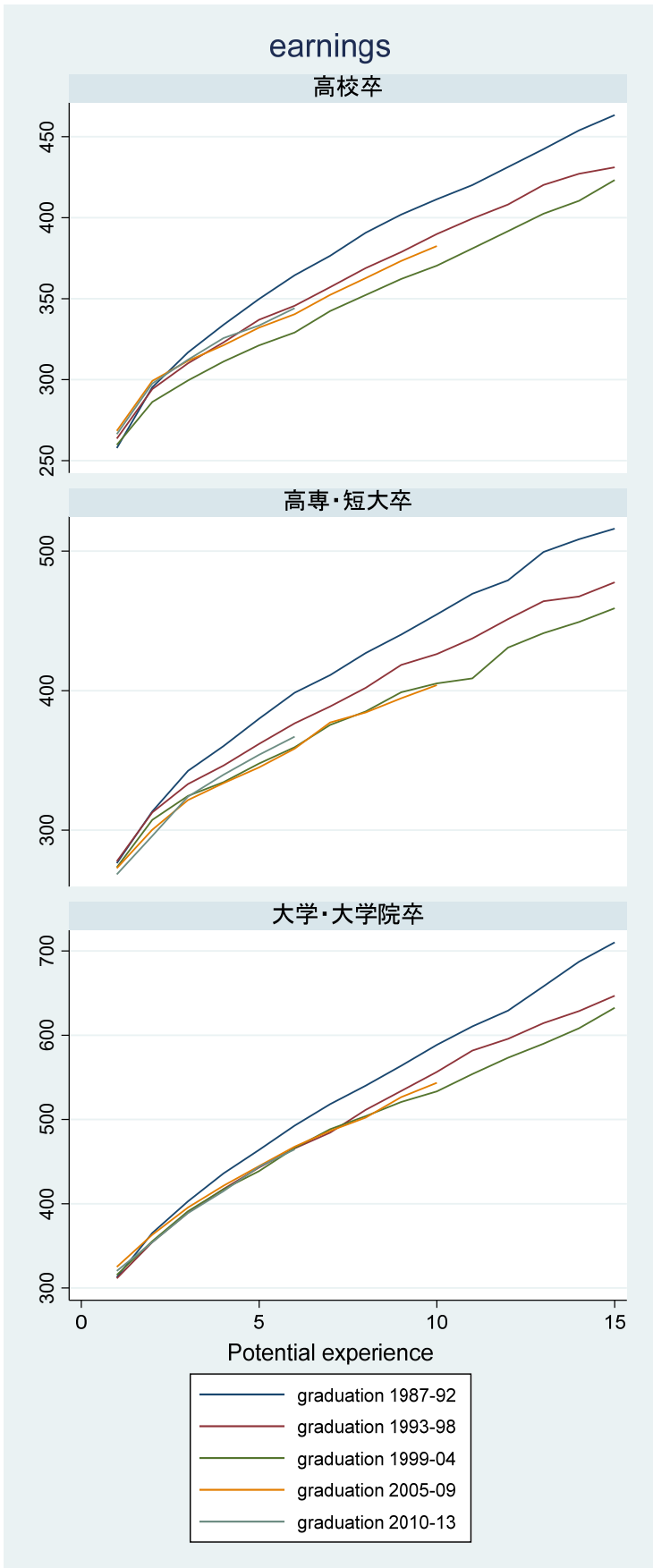






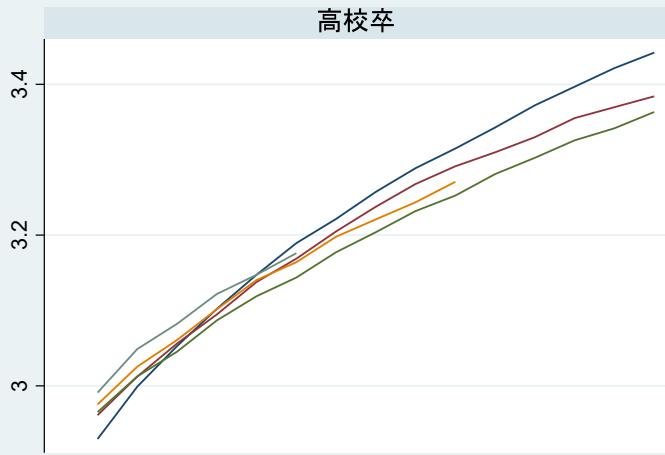
# getjobd



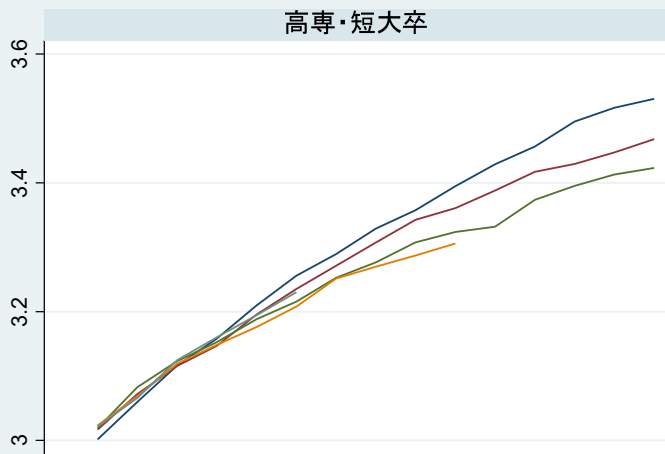


# Irgekkyu

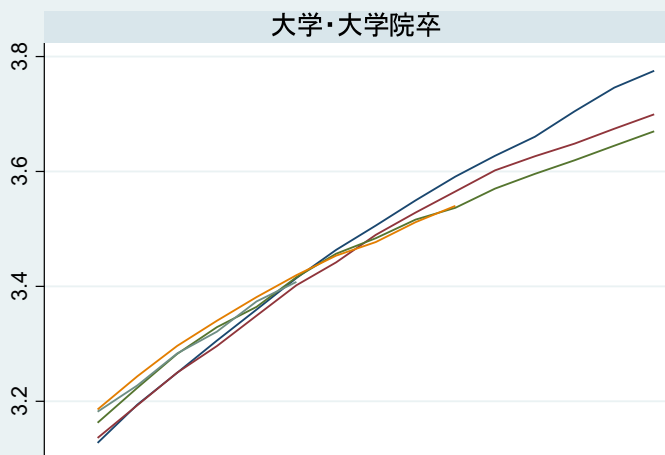
## 高校卒



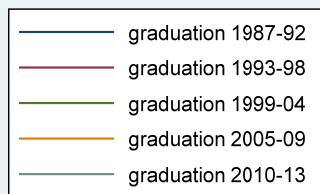
## 高専・短大卒



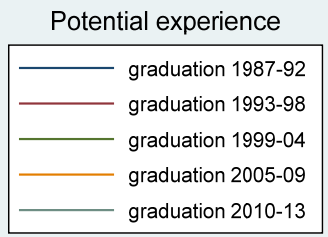
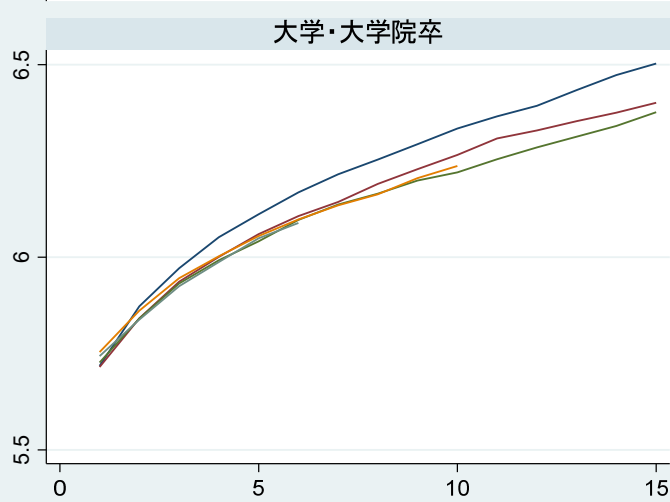
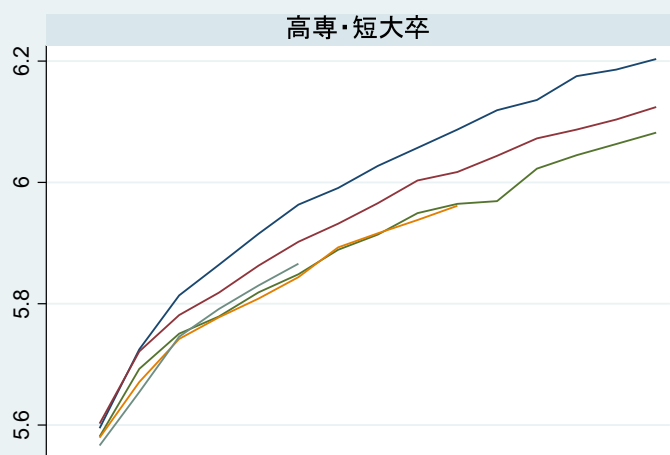
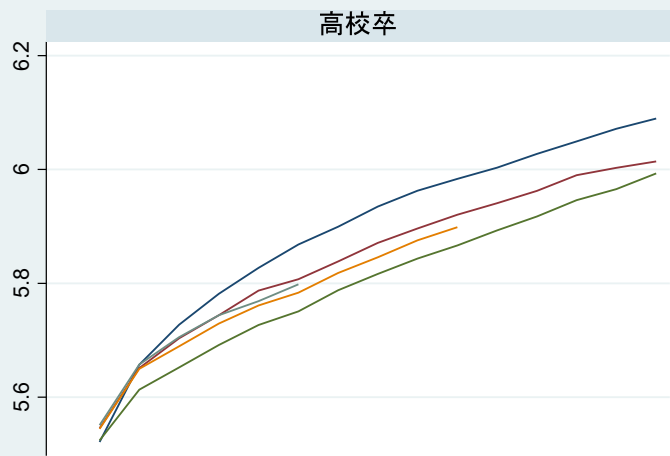
## 大学・大学院卒



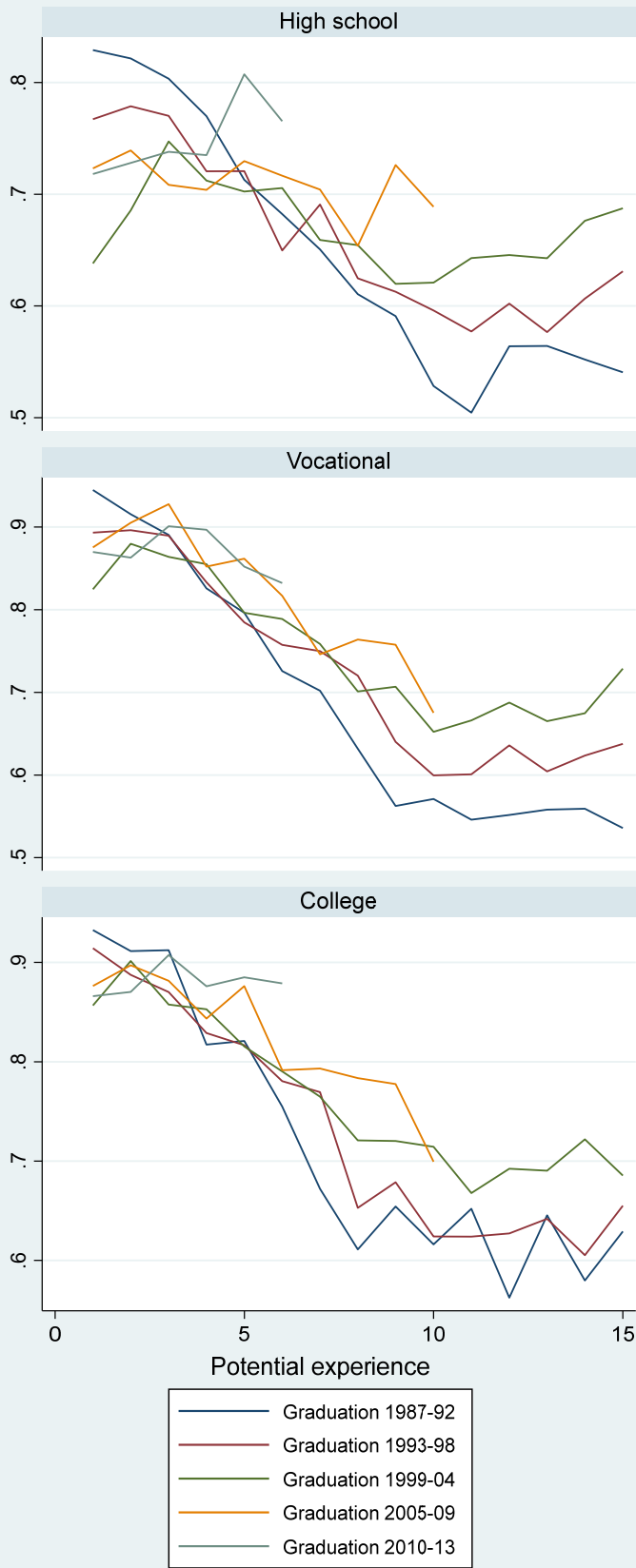
Potential experience



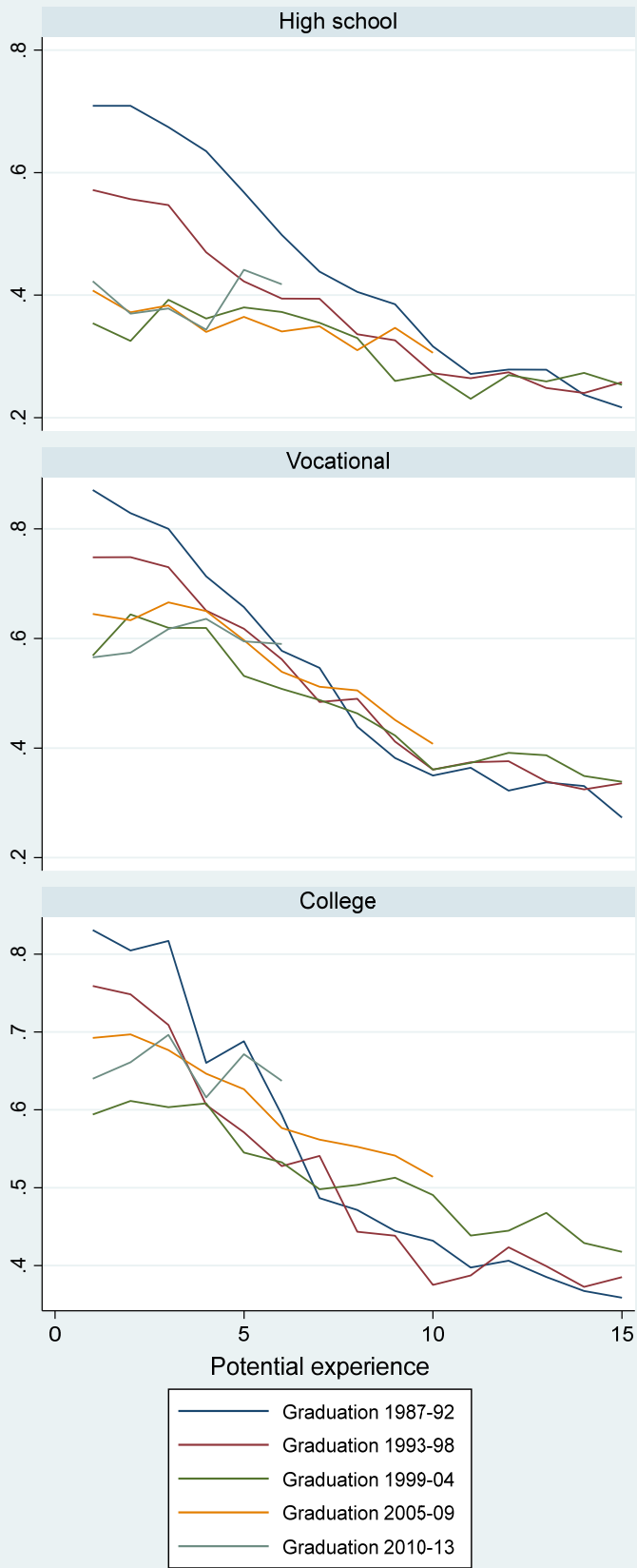
# Irnenshu



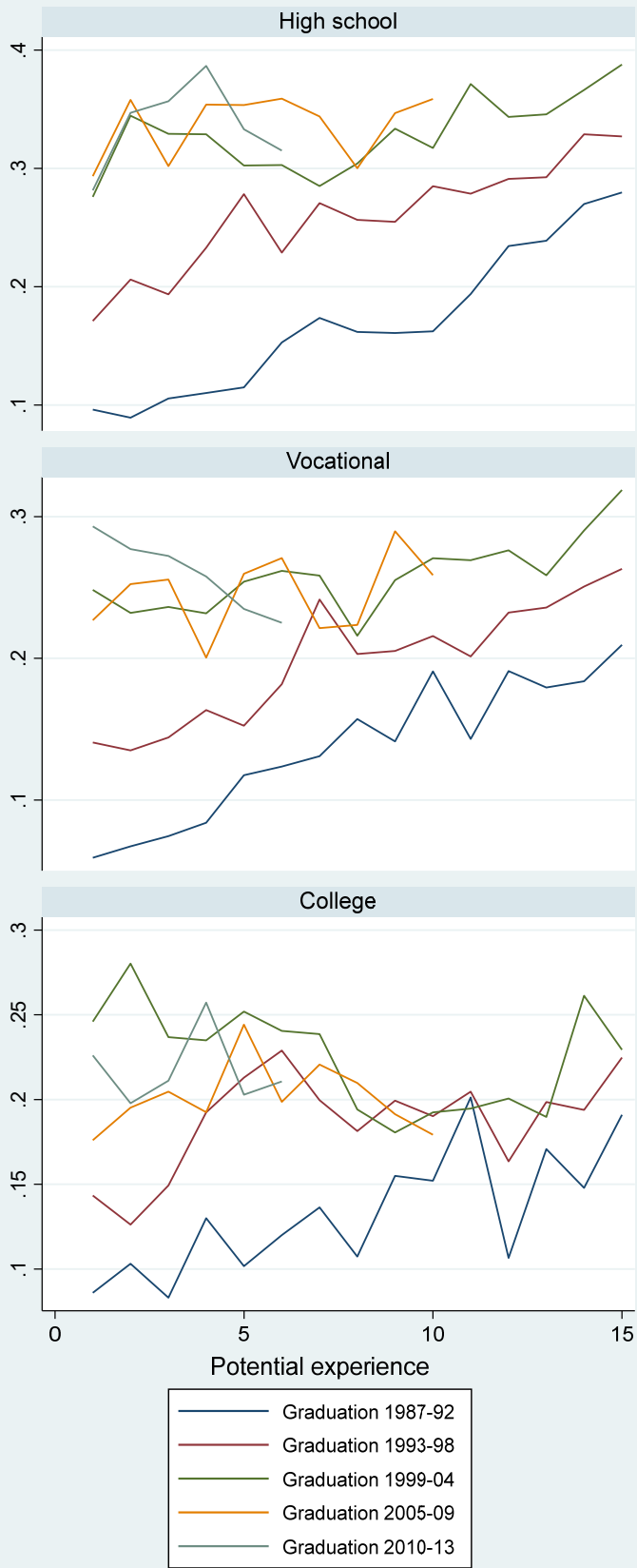
# employed

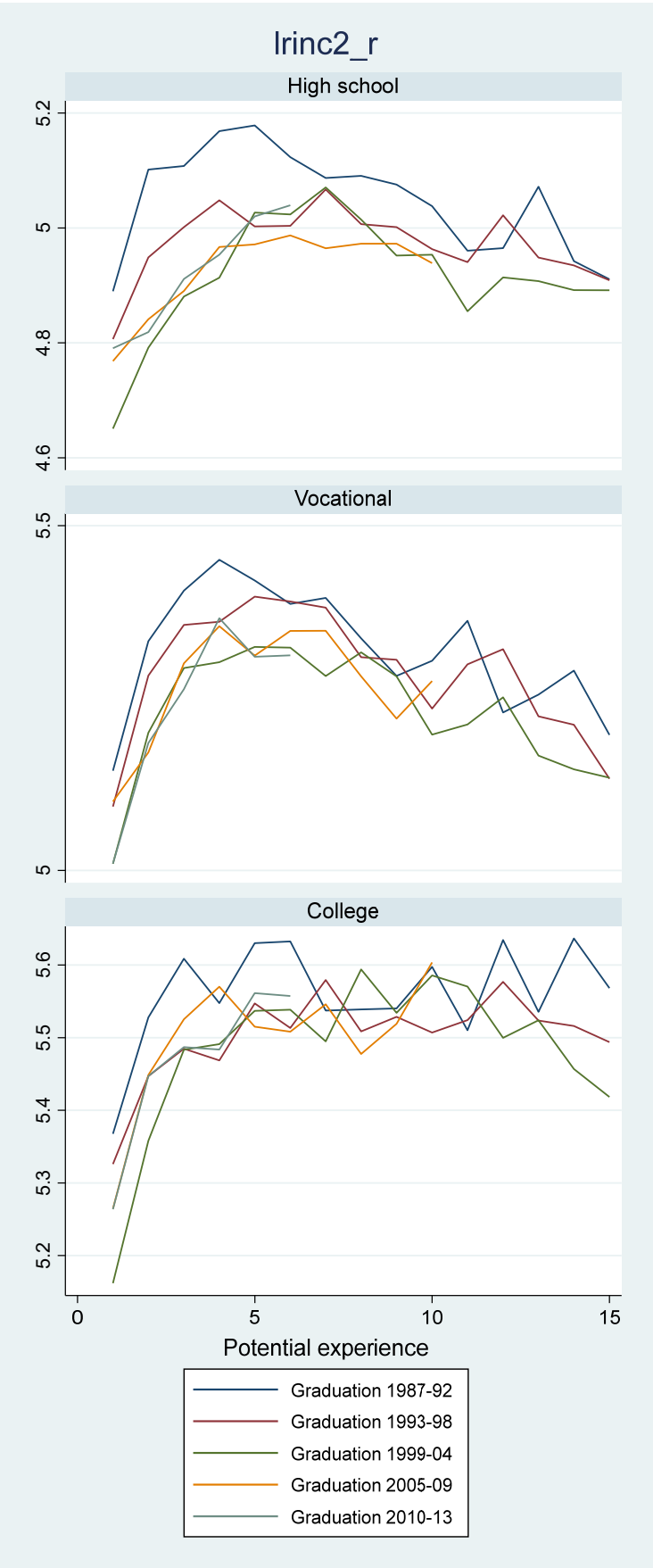


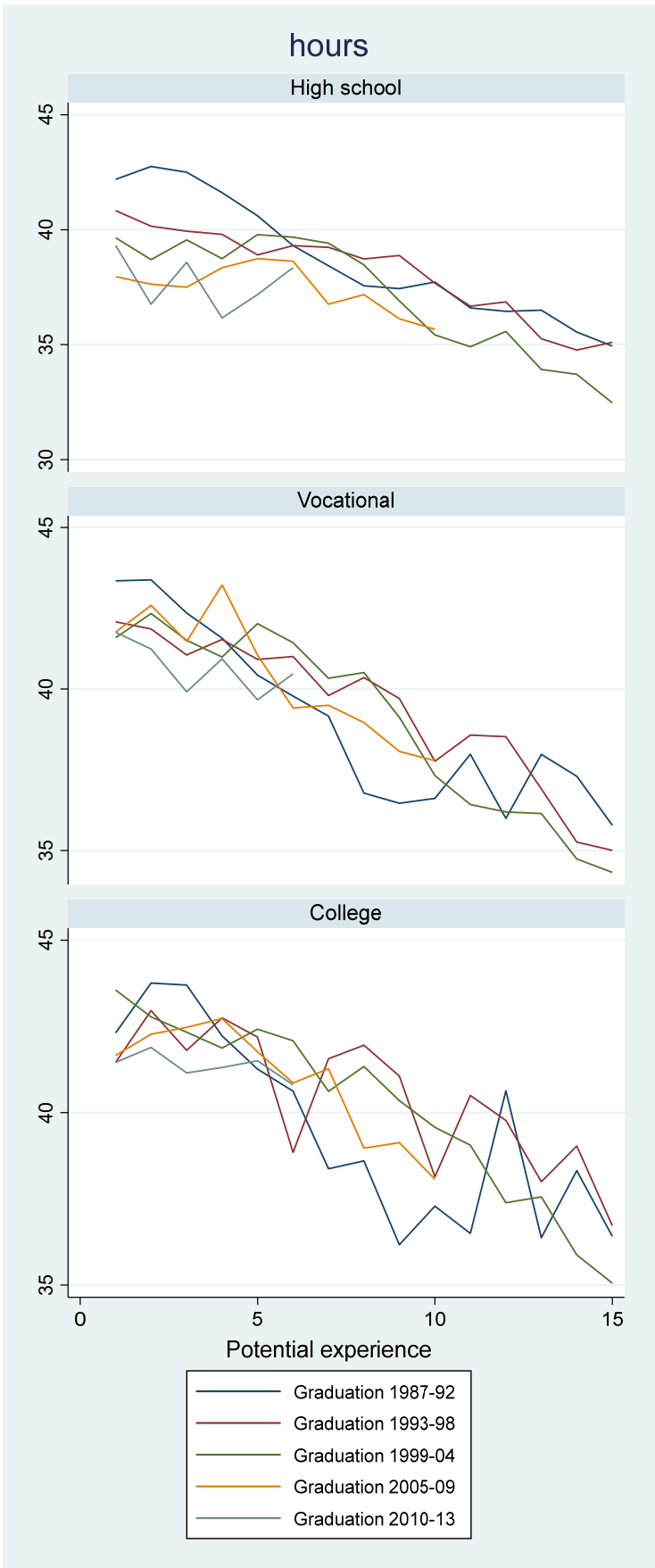
# seiki

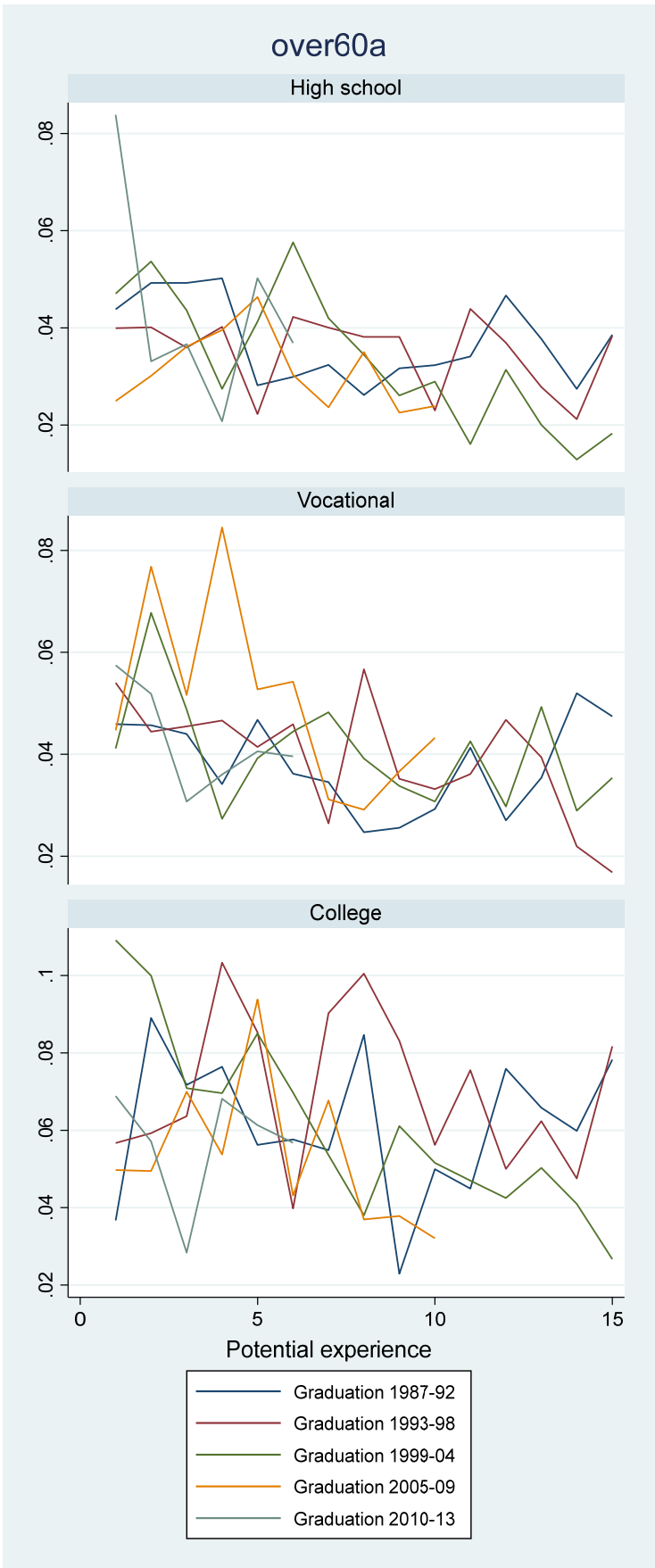


# hiseiki

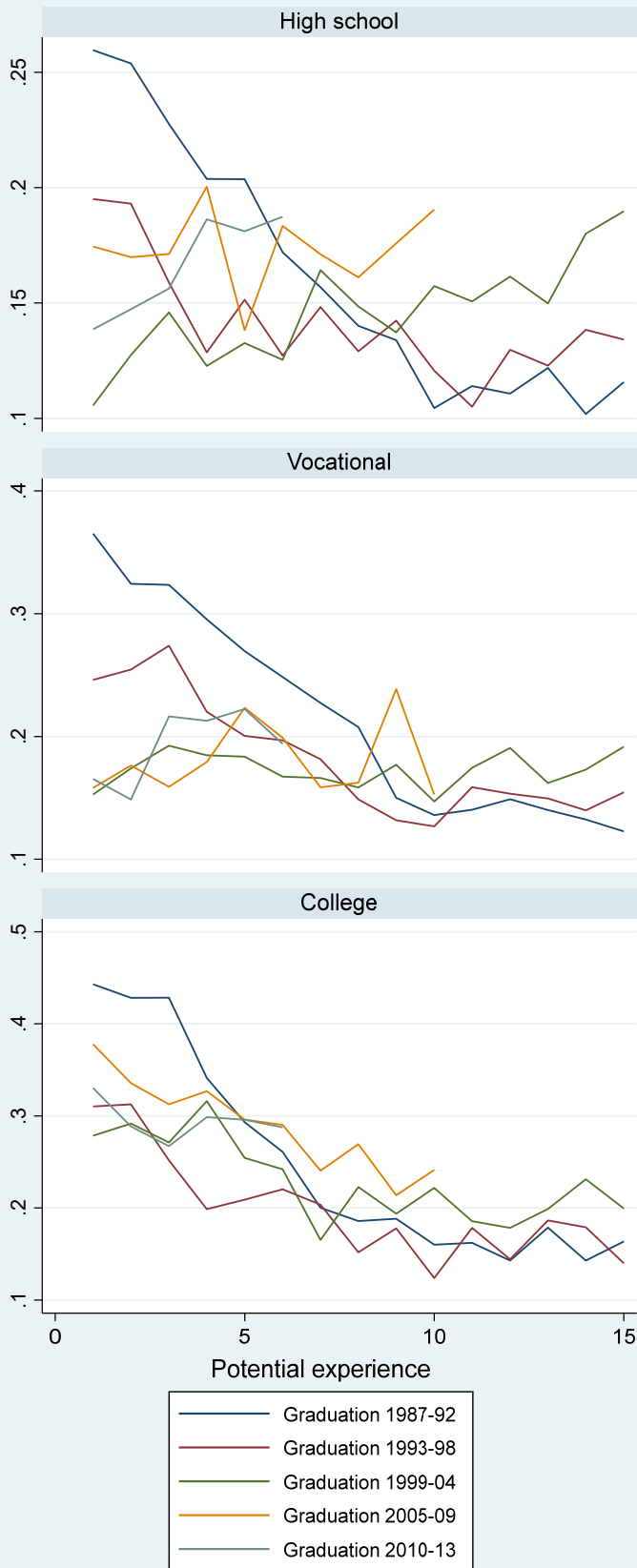




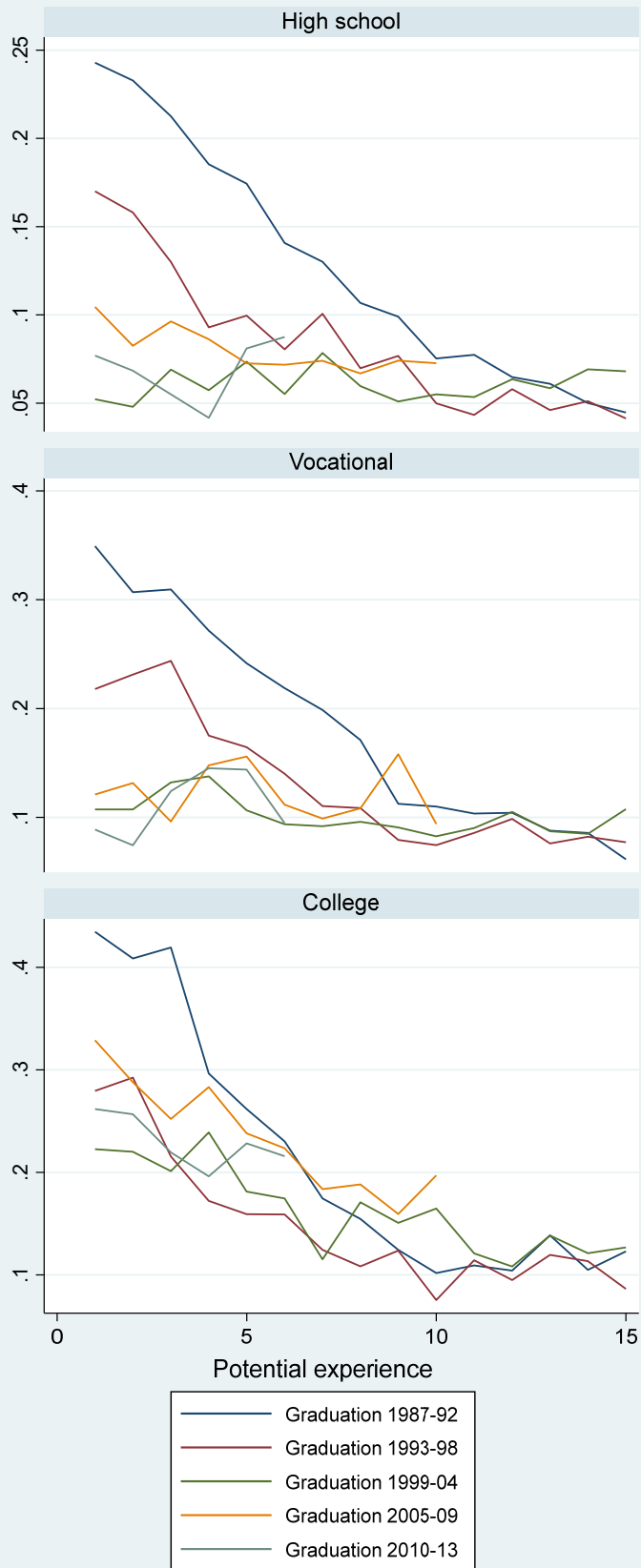


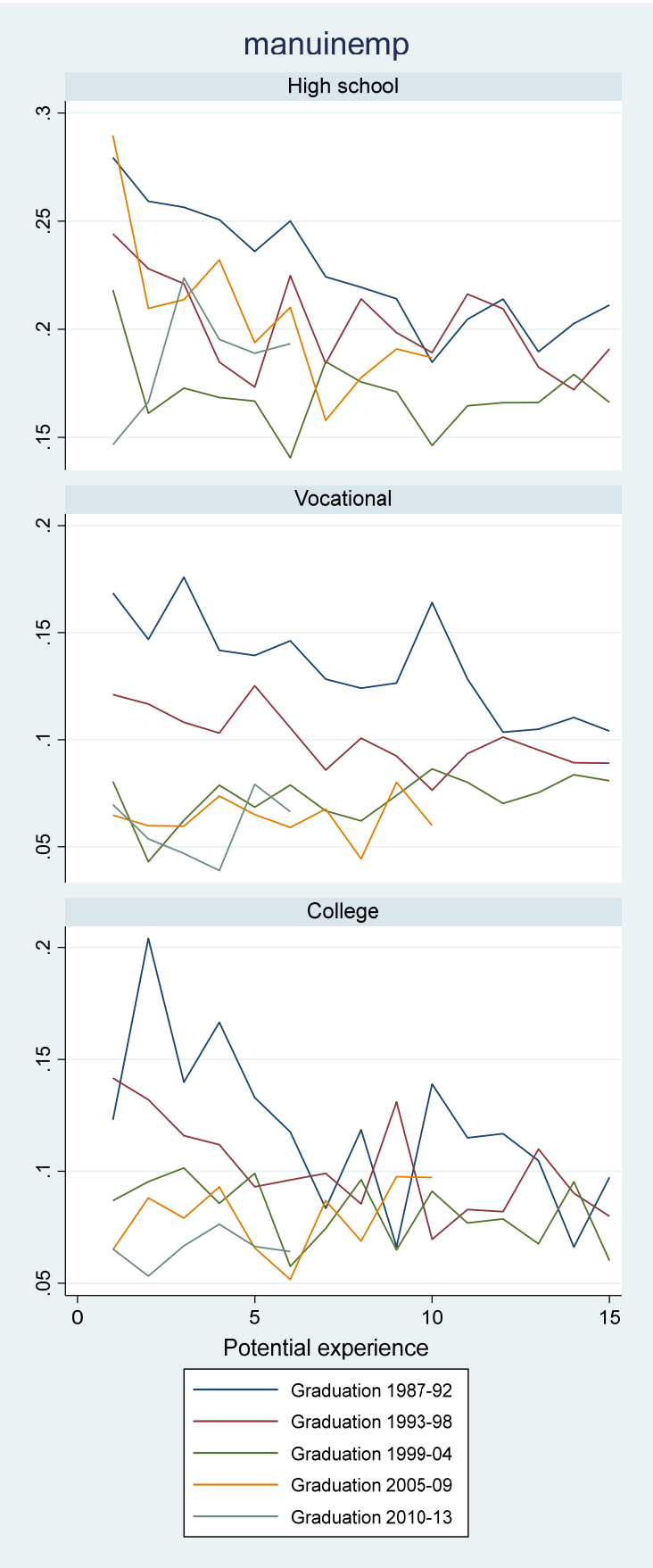


# largefirm



# largeseiki

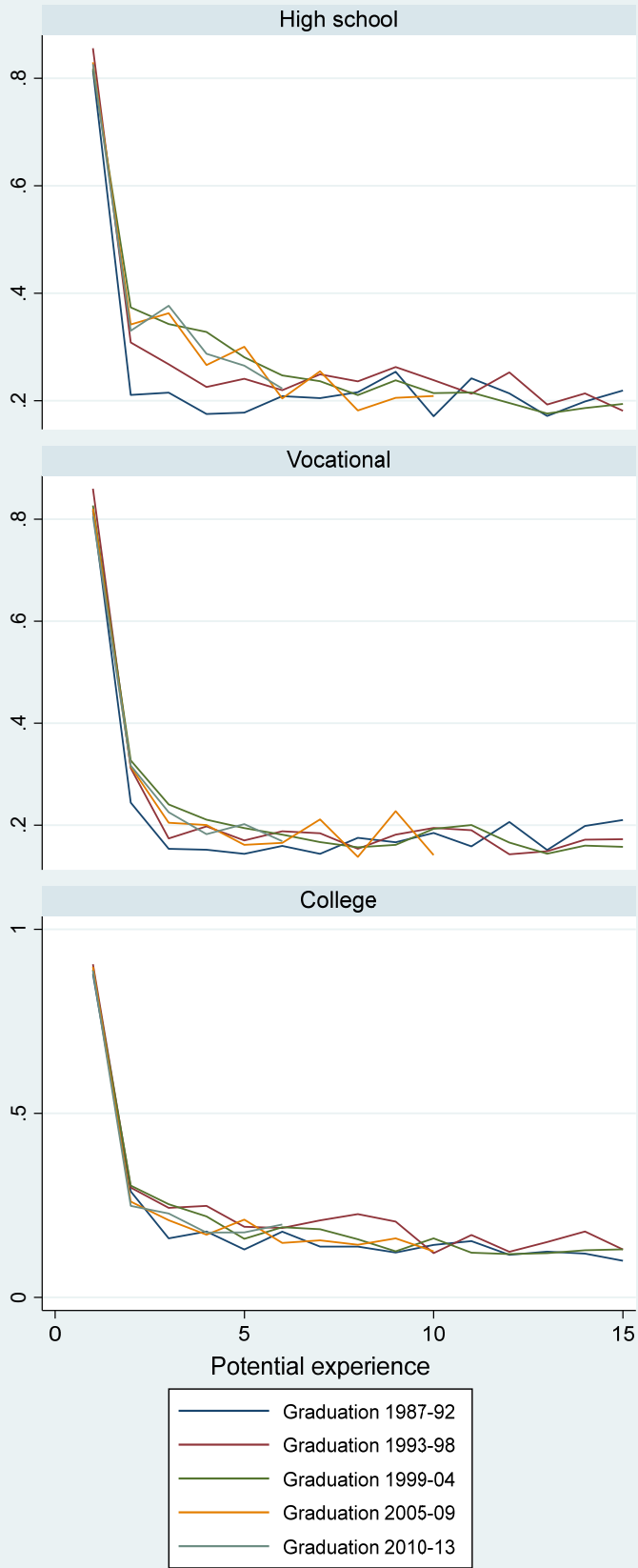


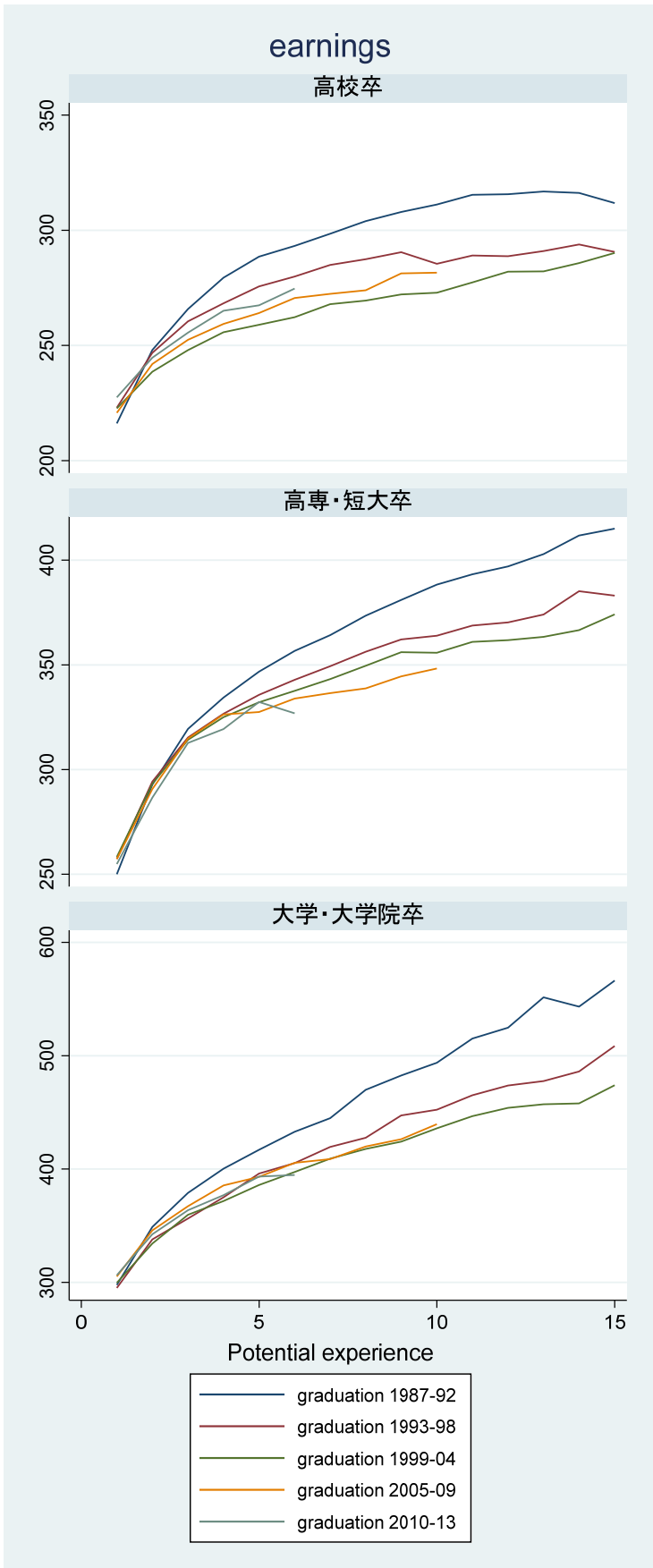


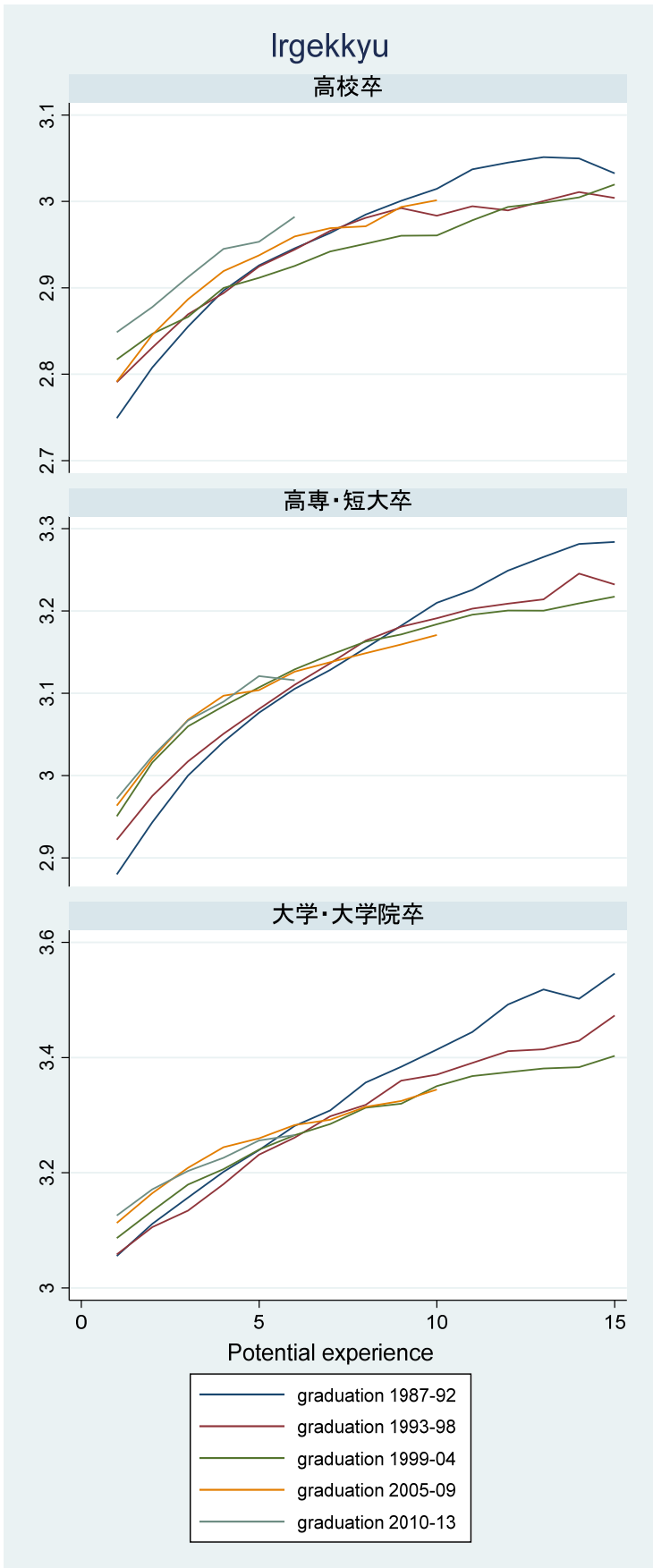
# leave1yr2



# getjobd







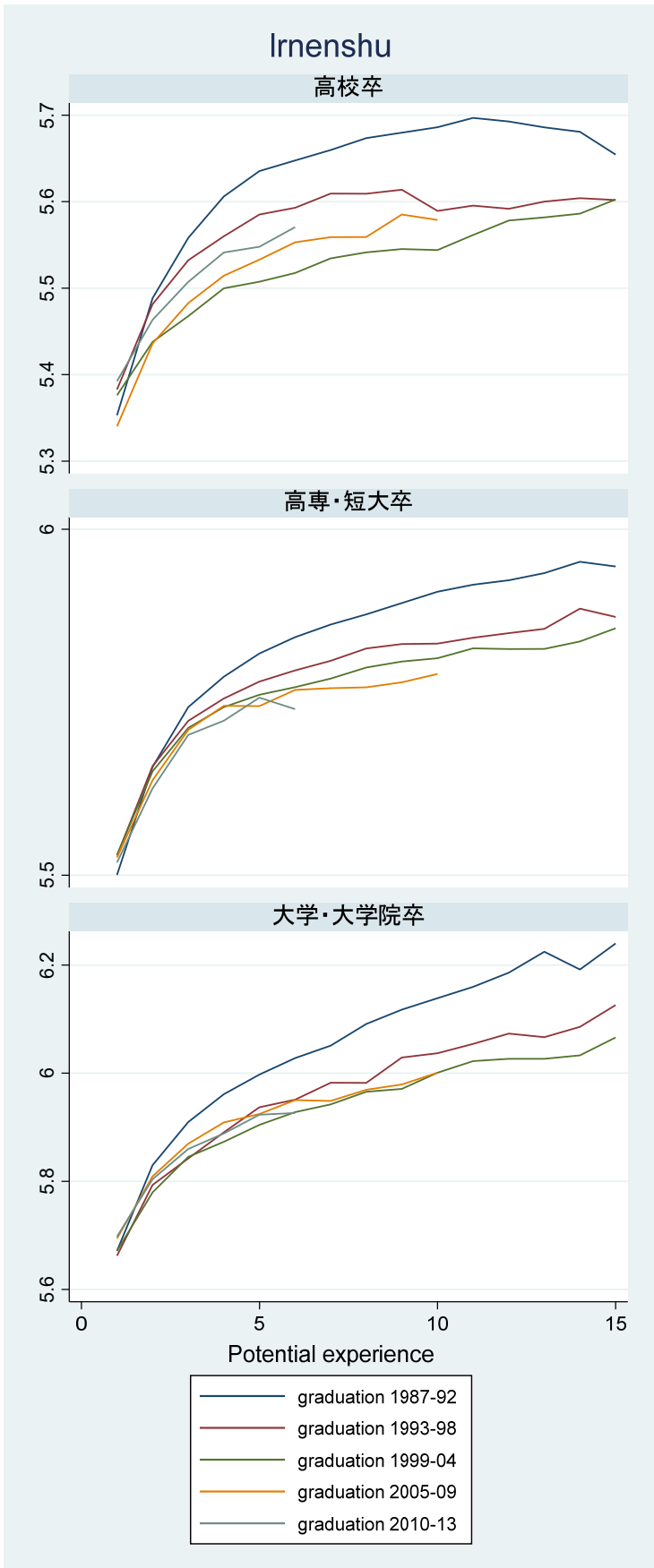


図5 性・学歴別、卒業後の就業状態や収入におけるコーホート効果

Employed:就業率

Seiki: 正規雇用割合（分母は無業者を含む人口）

Hiseiki: 非正規雇用割合（分母は無業者を含む人口）

Lrinc2\_r: 対数実質年収平均値

Hours: 週当たり労働時間平均値（就業者のみ）

Over60a: 週60時間以上労働割合（分母は就業者のみ）

Largefirm: 企業規模500人以上割合（分母は無業者を含む人口）

Largeseiki: 企業規模500人以上で正規雇用（分母は無業者を含む人口）

Manuinemp: 製造業割合（分母は就業者のみ）

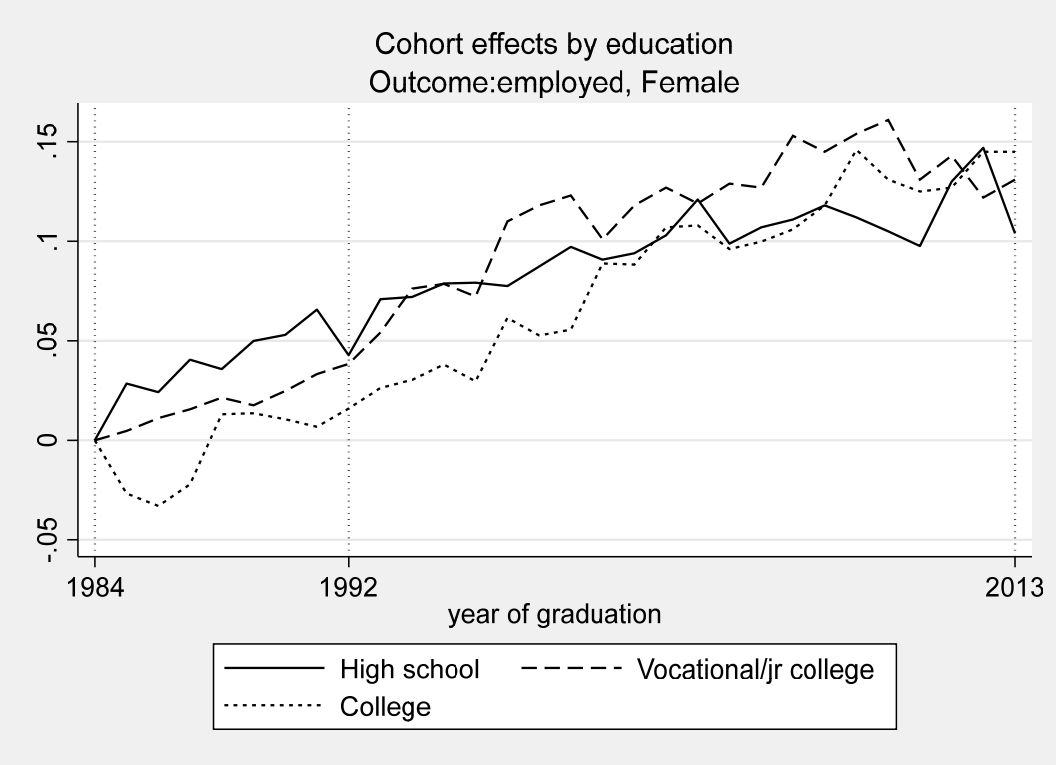
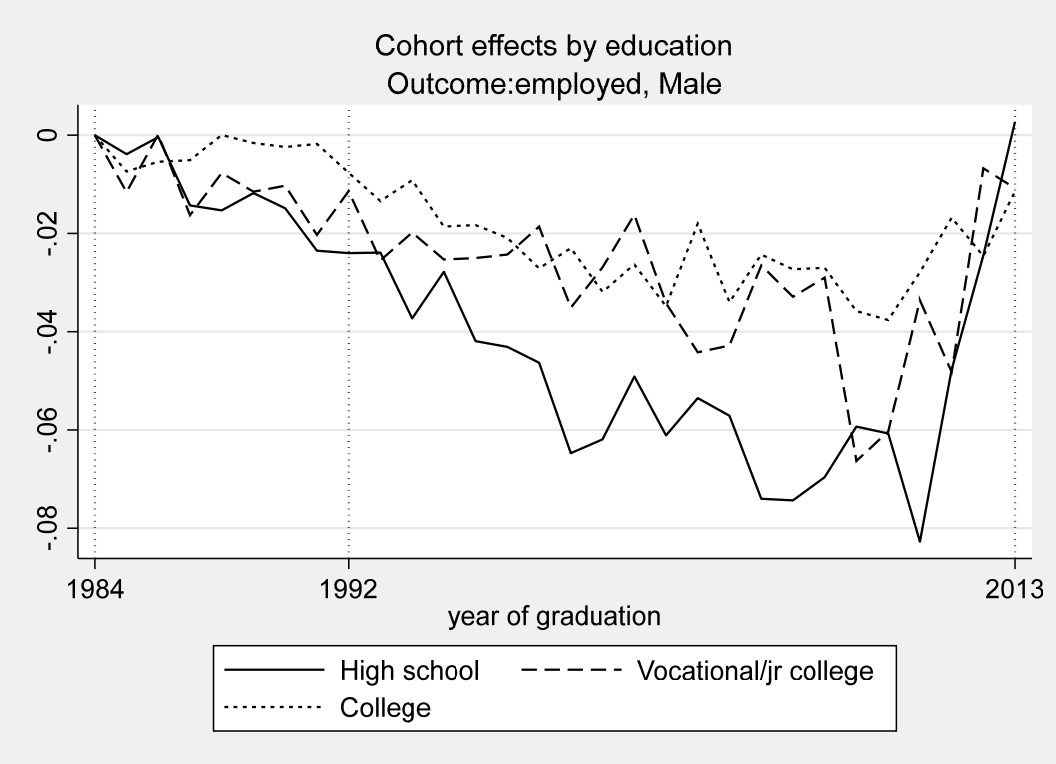
Leave1yr2: 直近1年以内離職

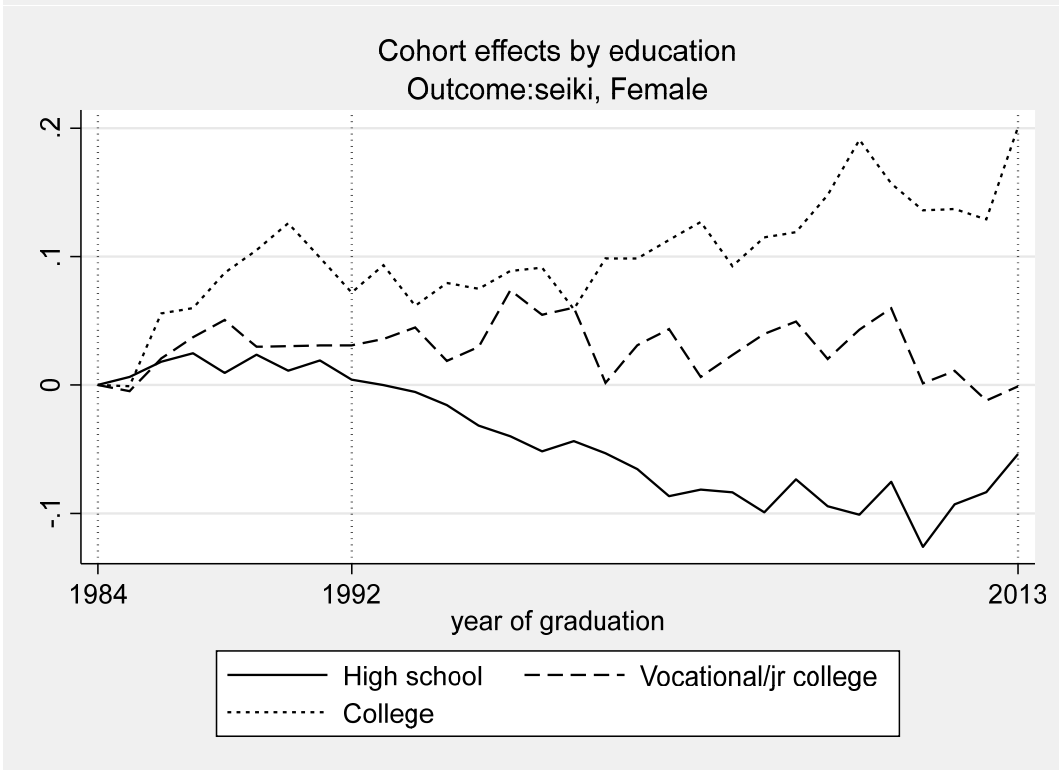
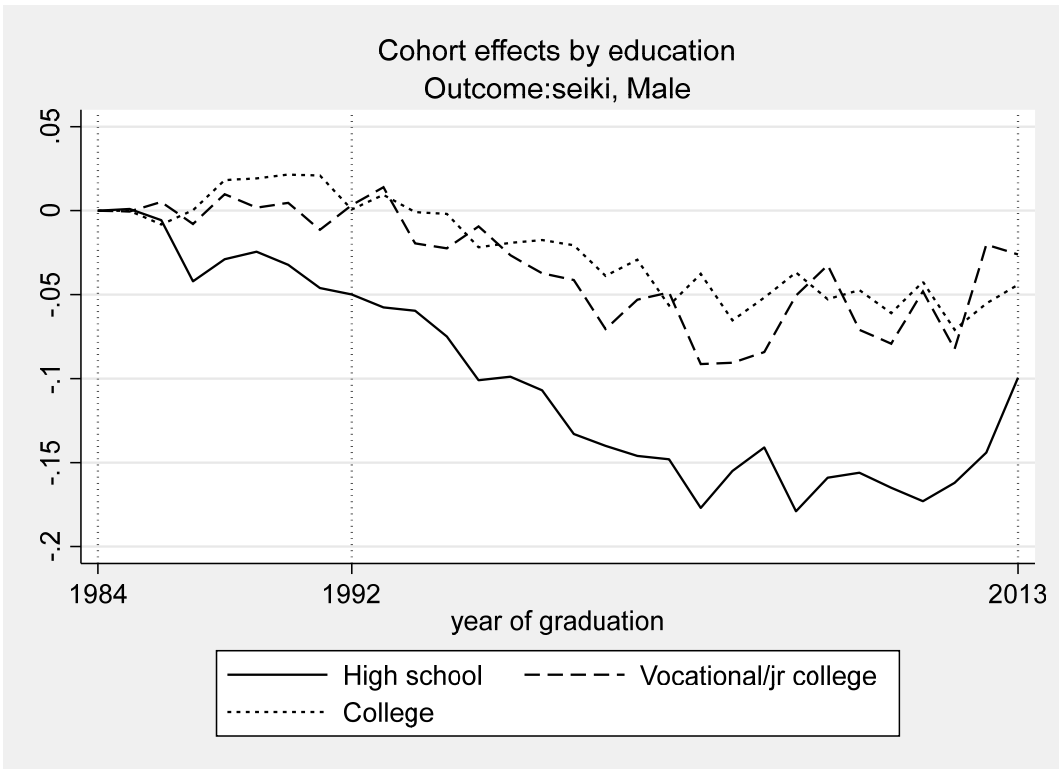
Getjobd: 直近1年以内就職（就業者のみ）

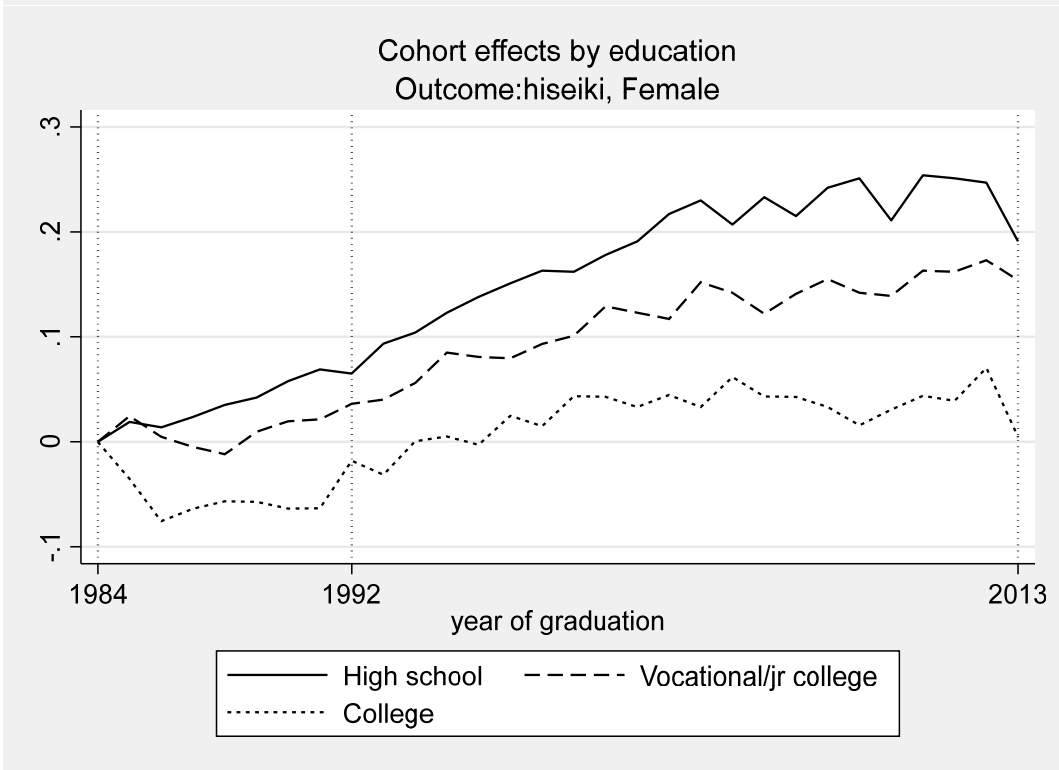
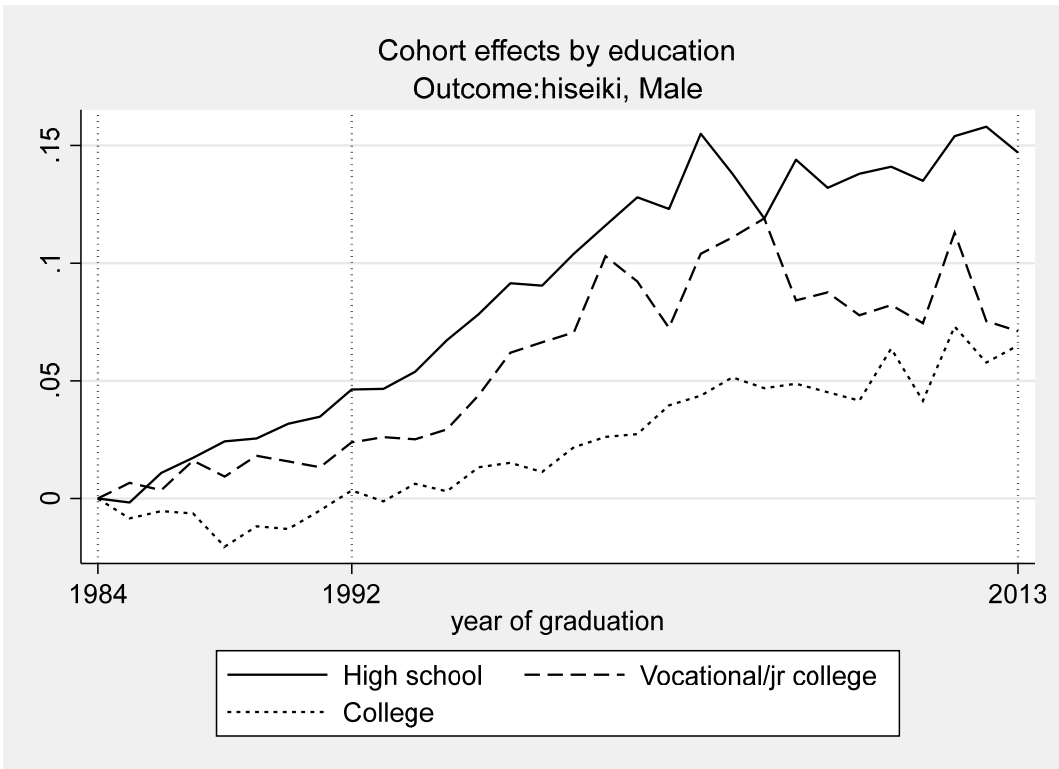
earnings: 実質年収（万円・フルタイム雇用者のみ）

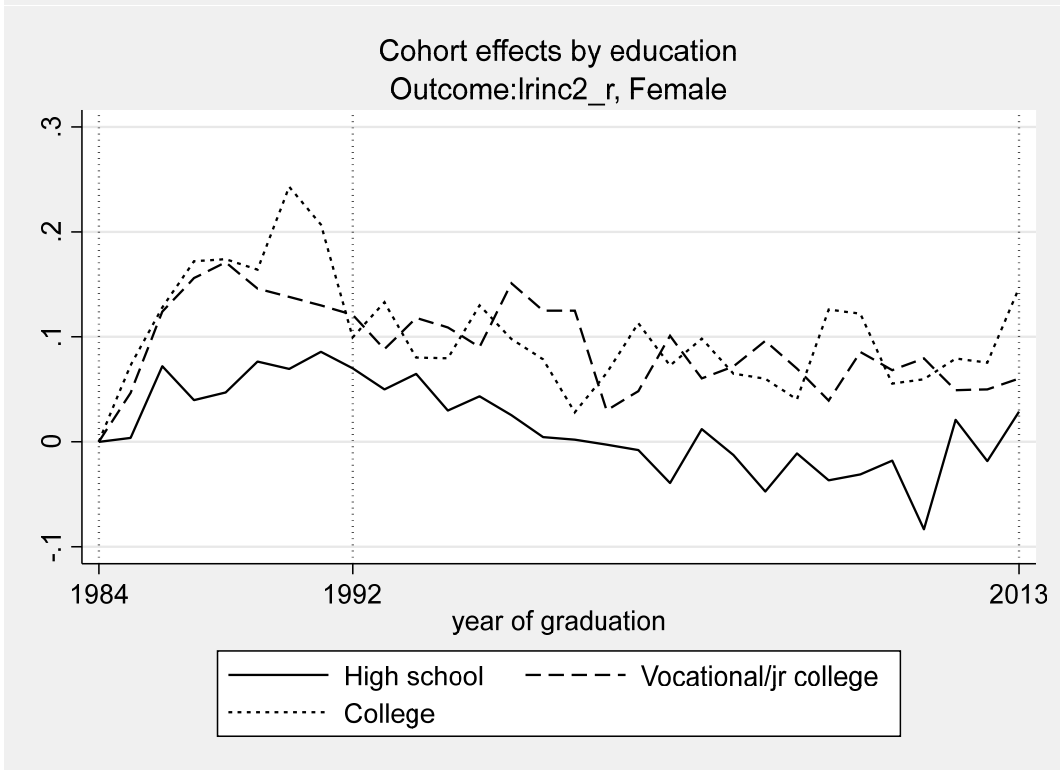
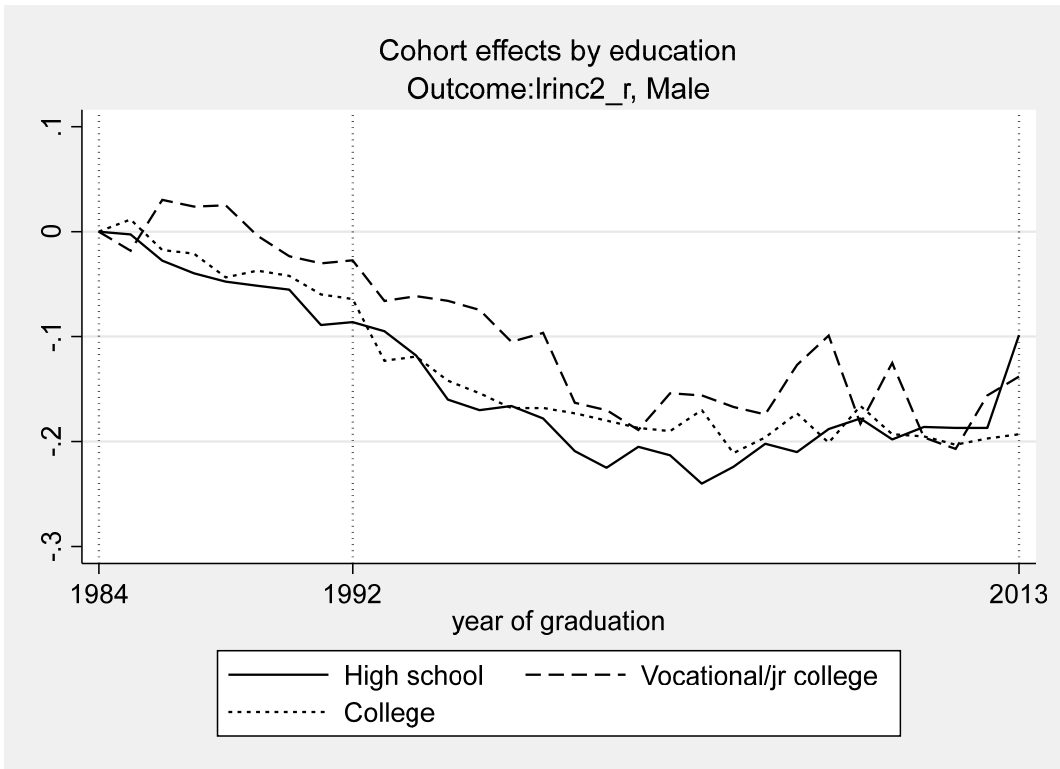
Lrgekkyu: 対数実質月給（フルタイム雇用者のみ）

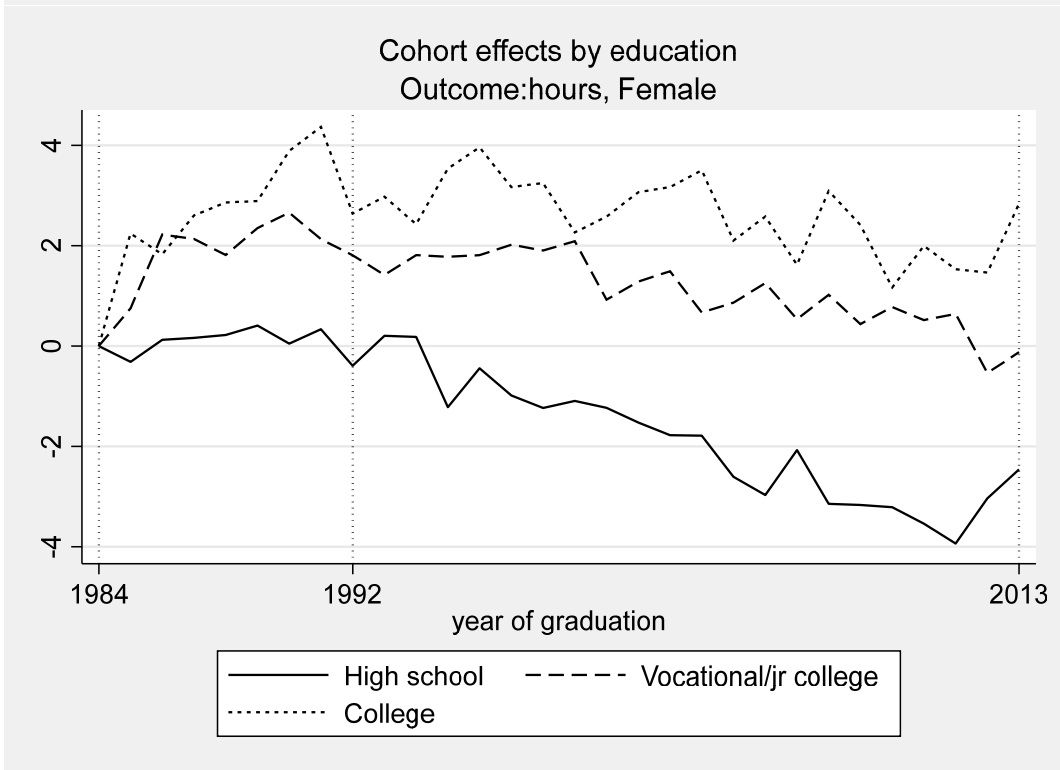
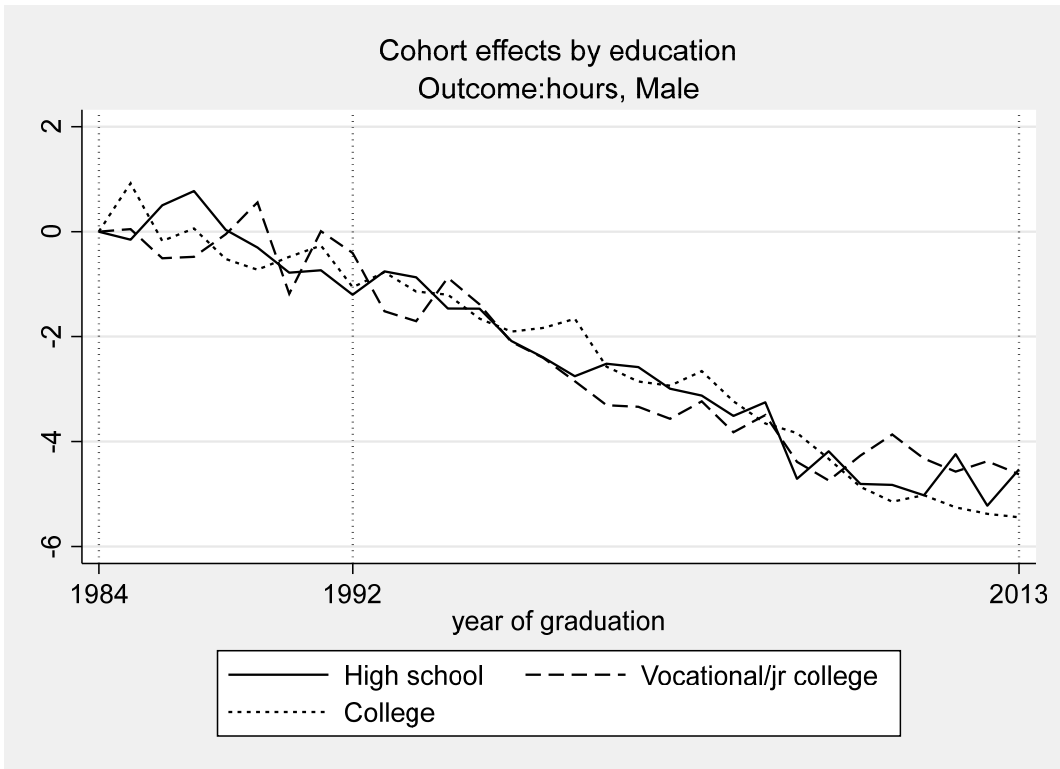
lnnenshu: 対数実質年収（フルタイム雇用者のみ）

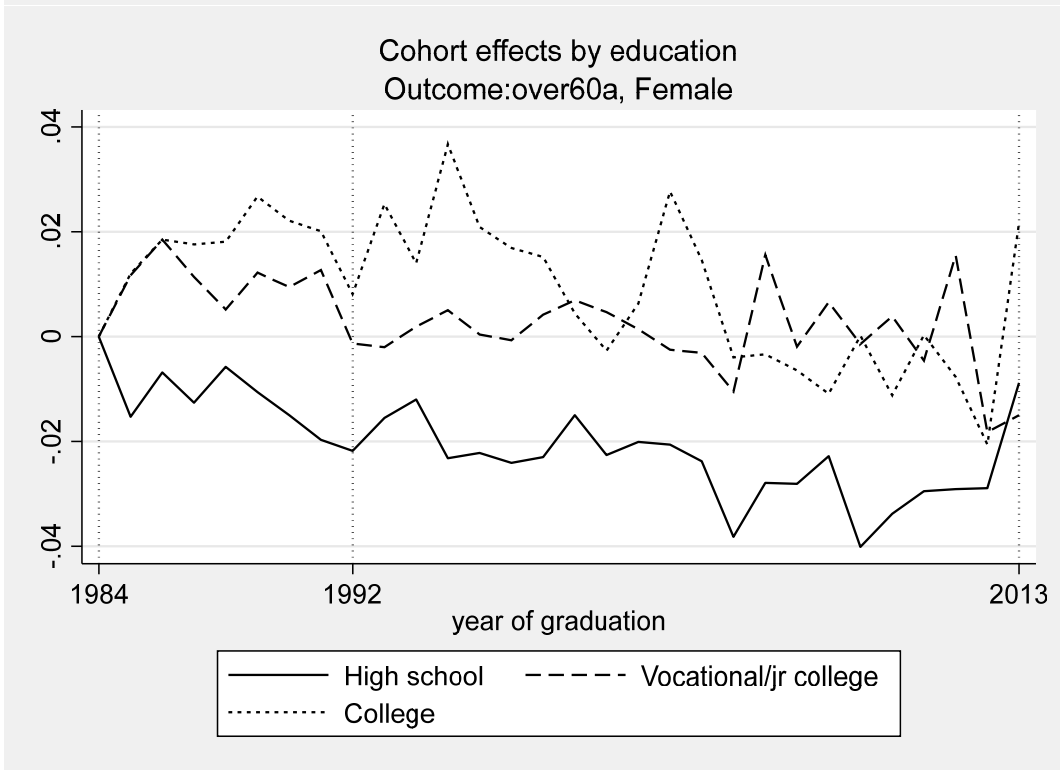
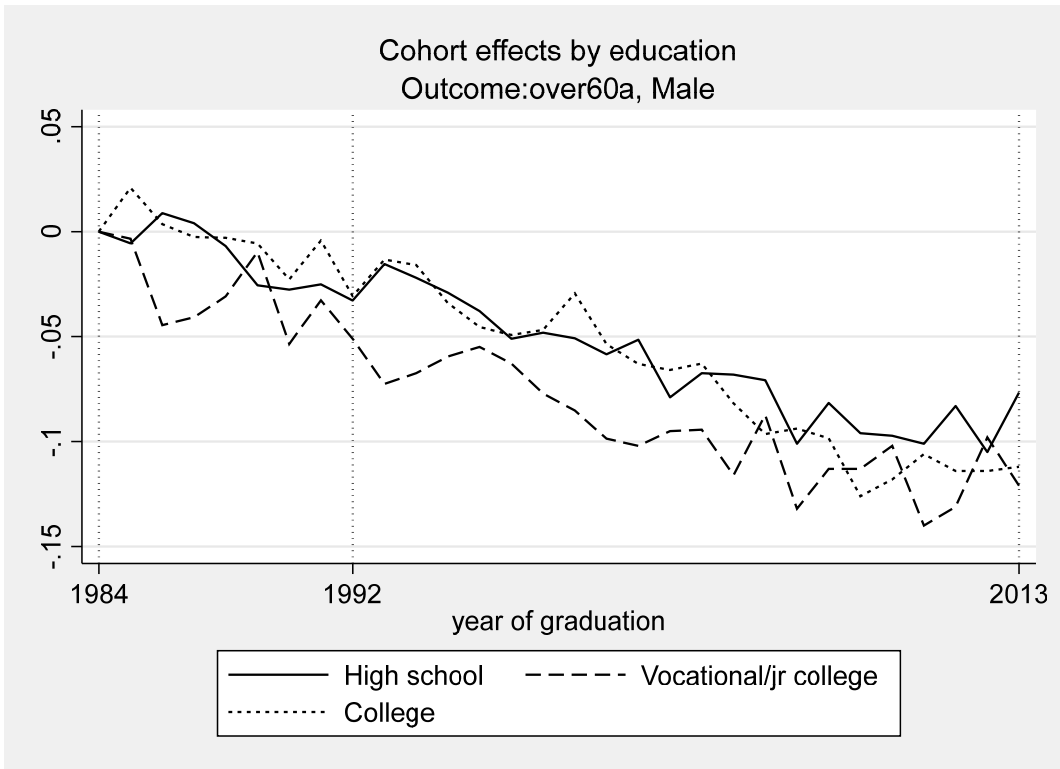


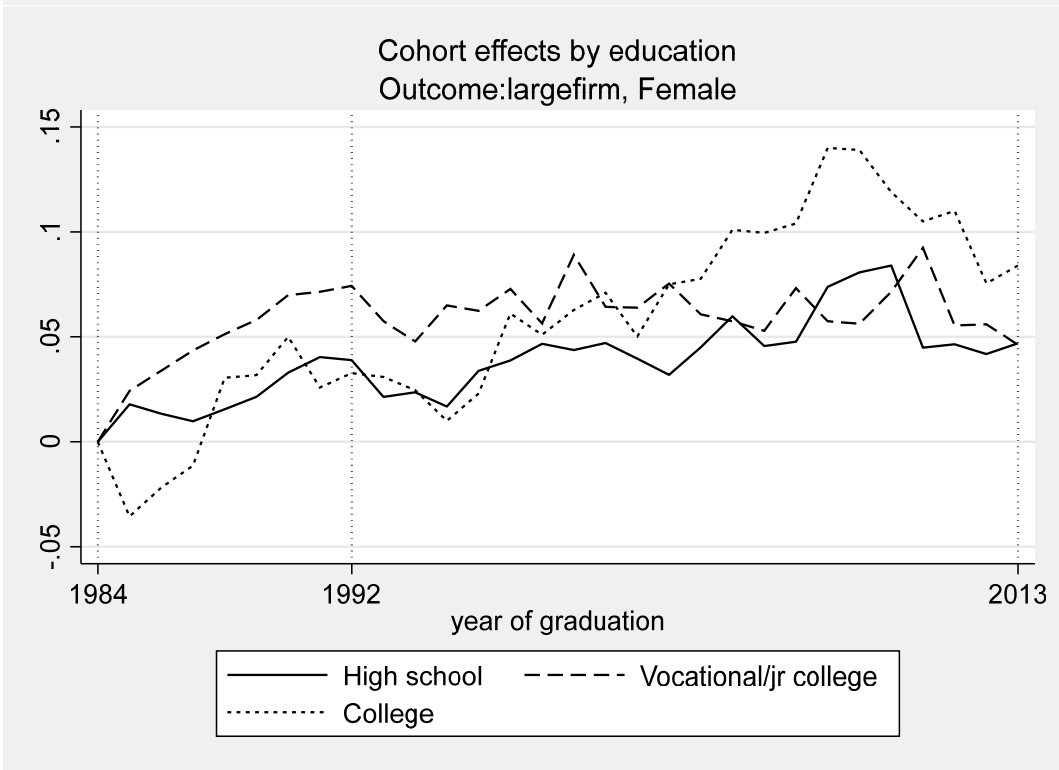
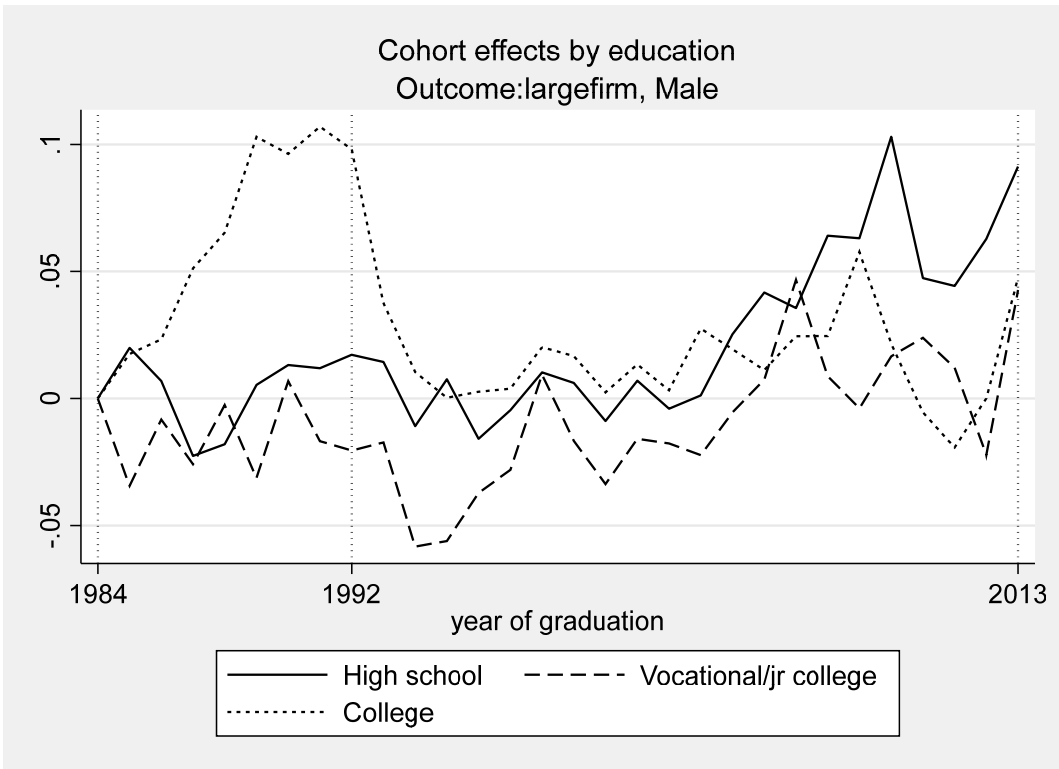


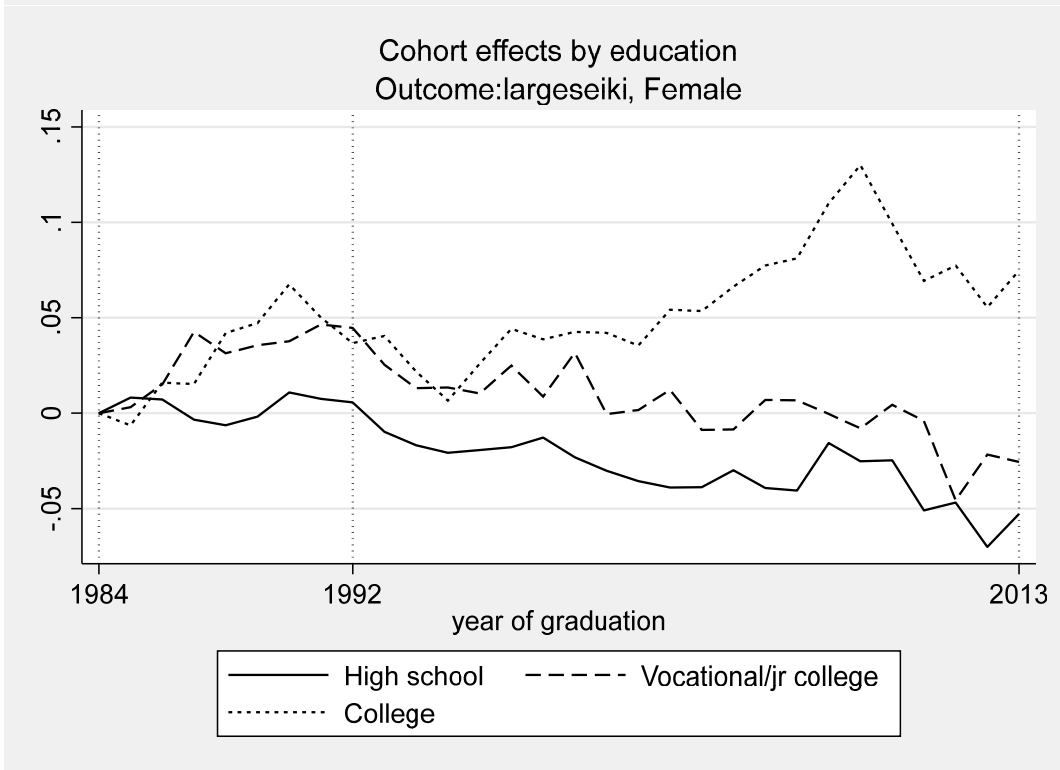
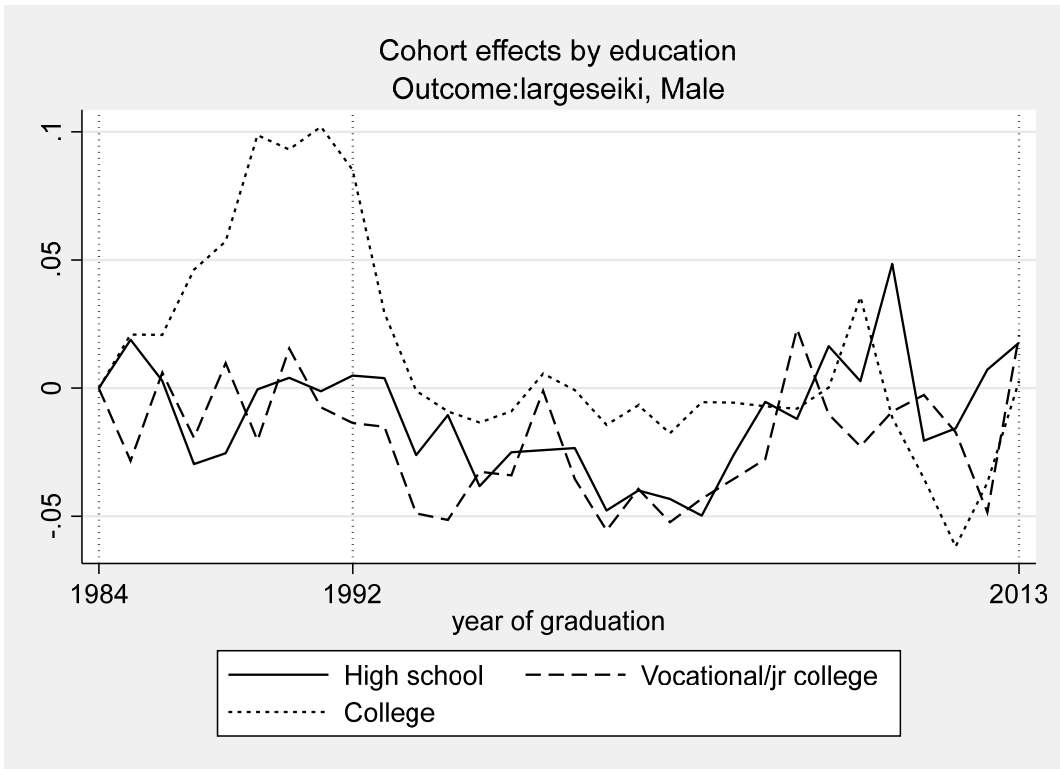


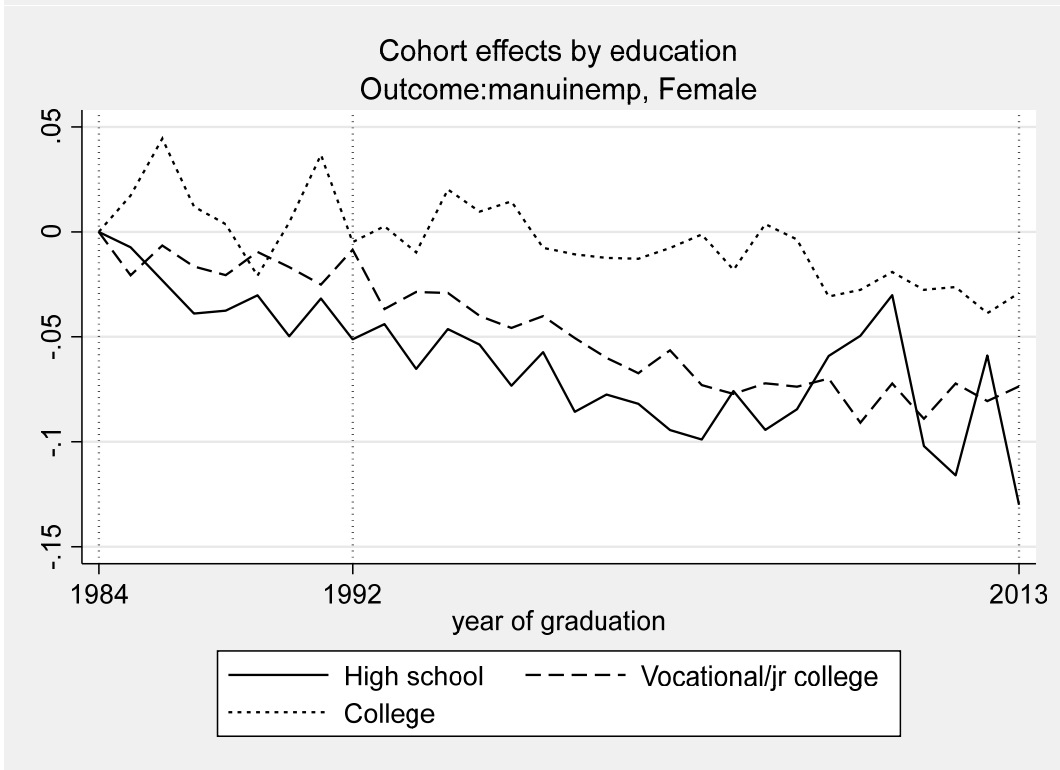
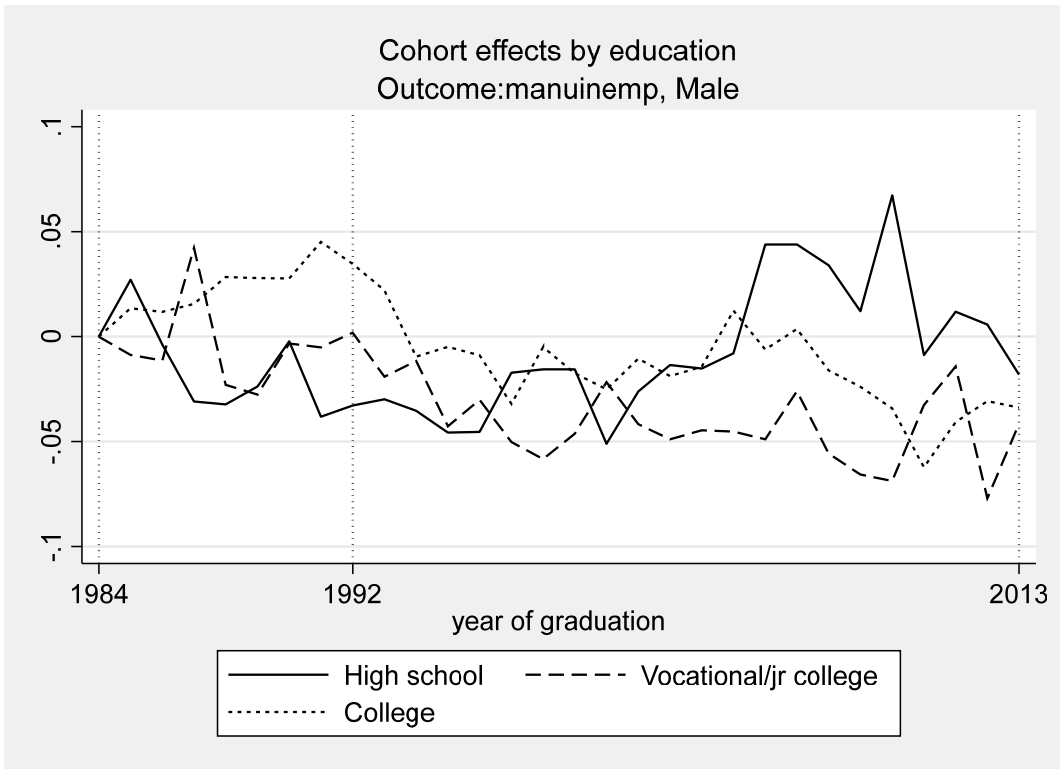


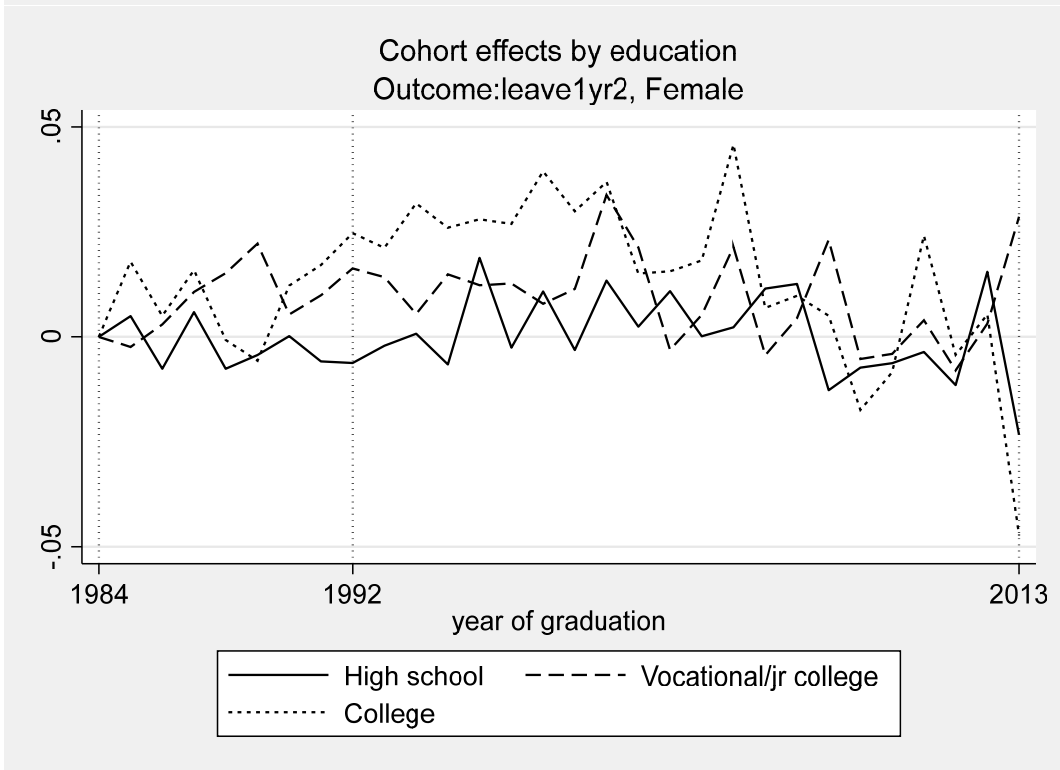
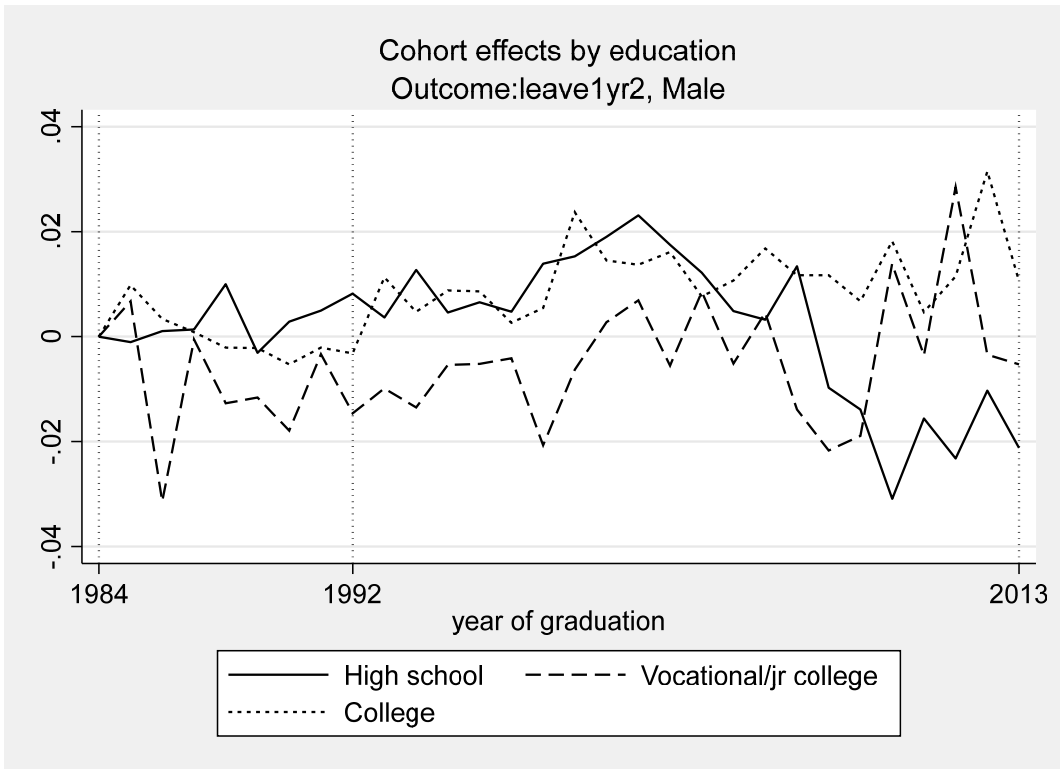


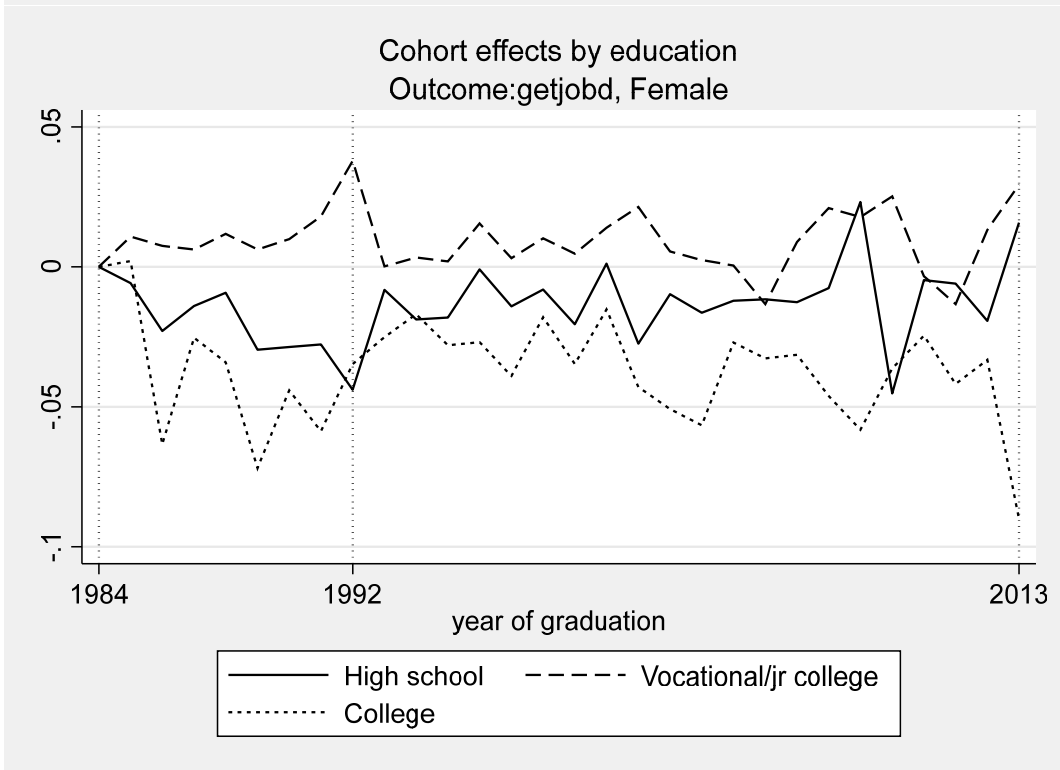
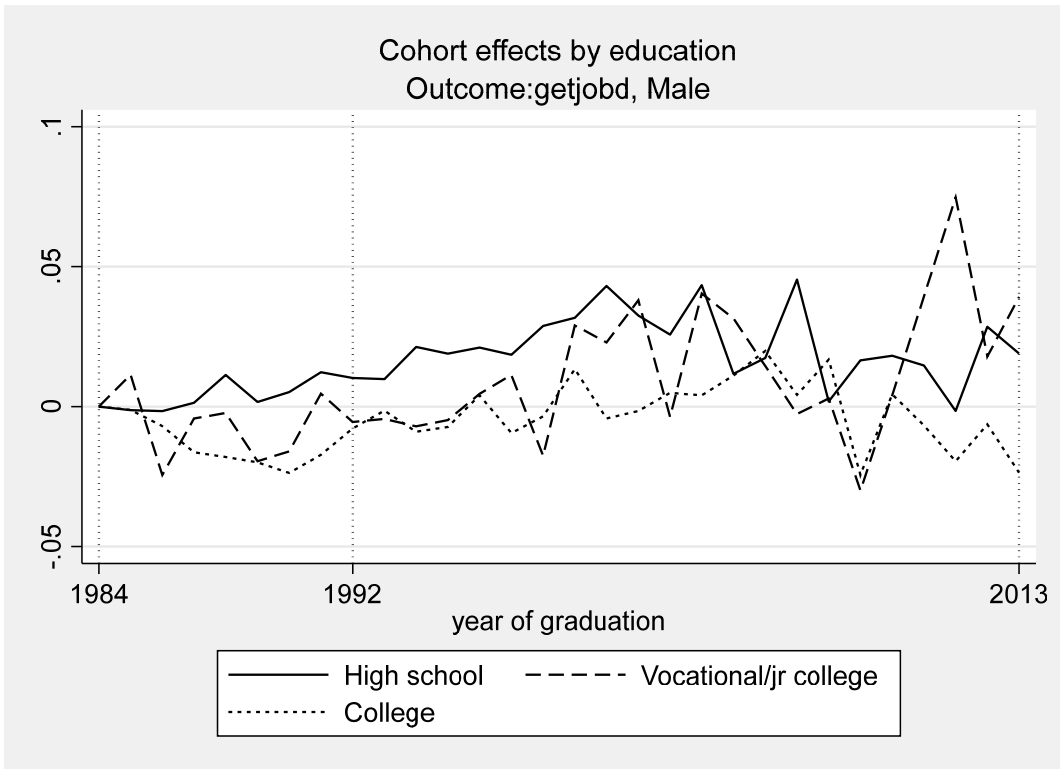




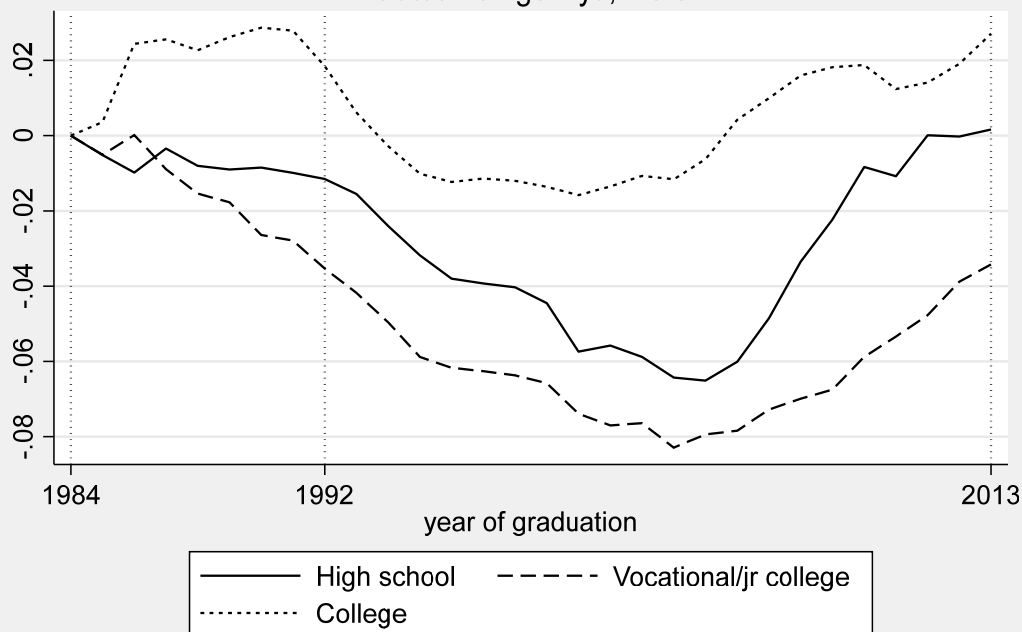




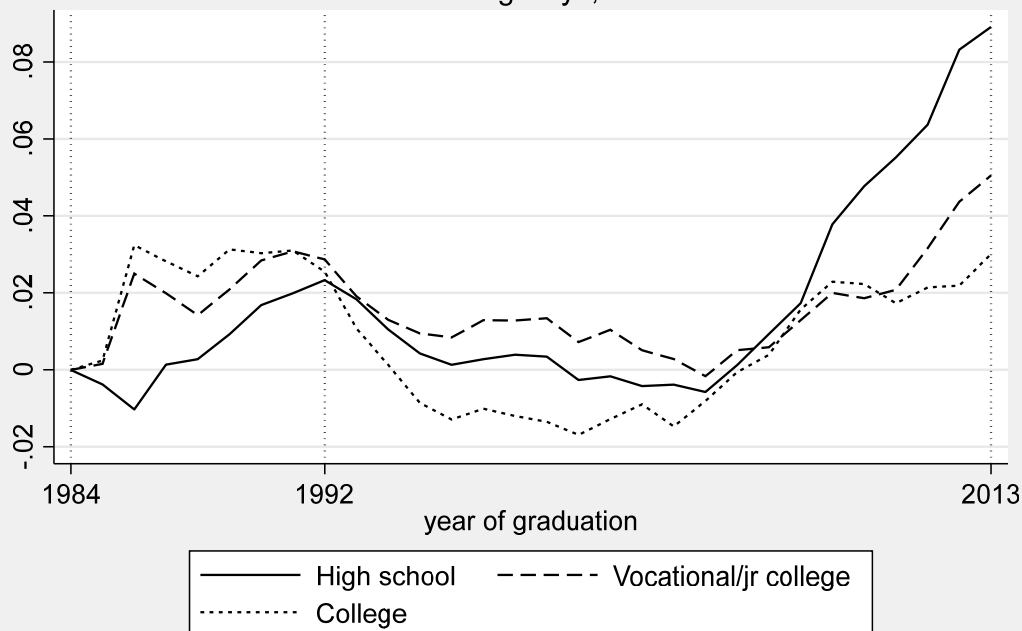




Cohort effects by education  
Outcome:lrgekkyu, Male



Cohort effects by education  
Outcome:lrgekkyu, Female



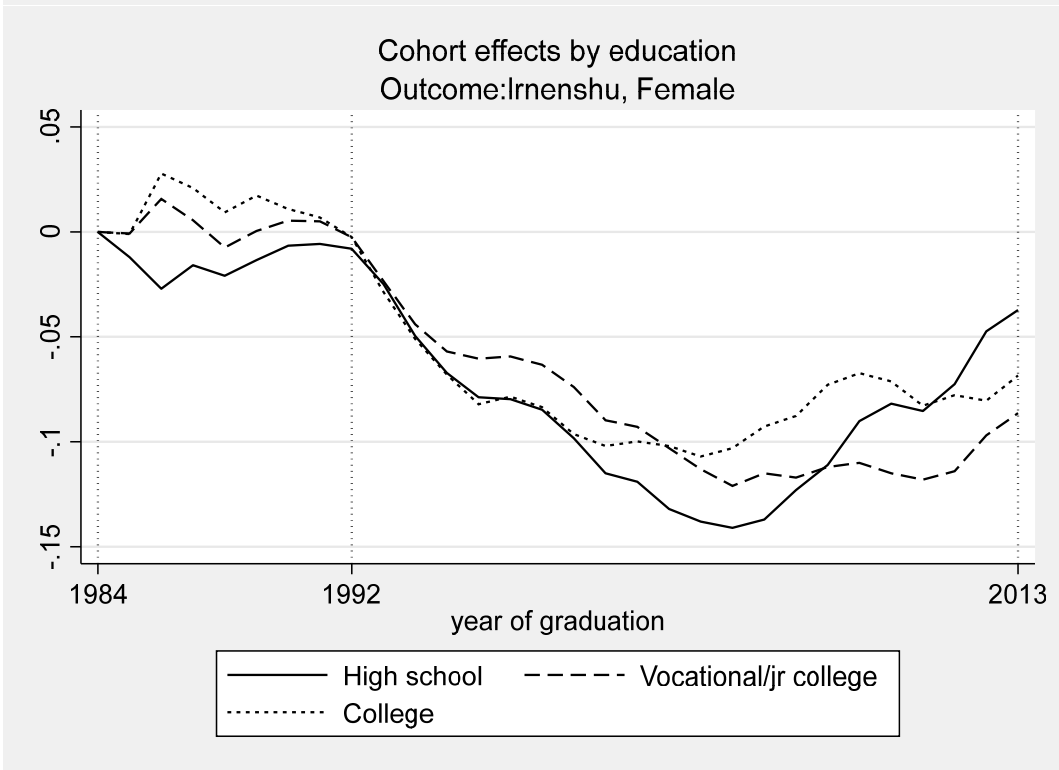
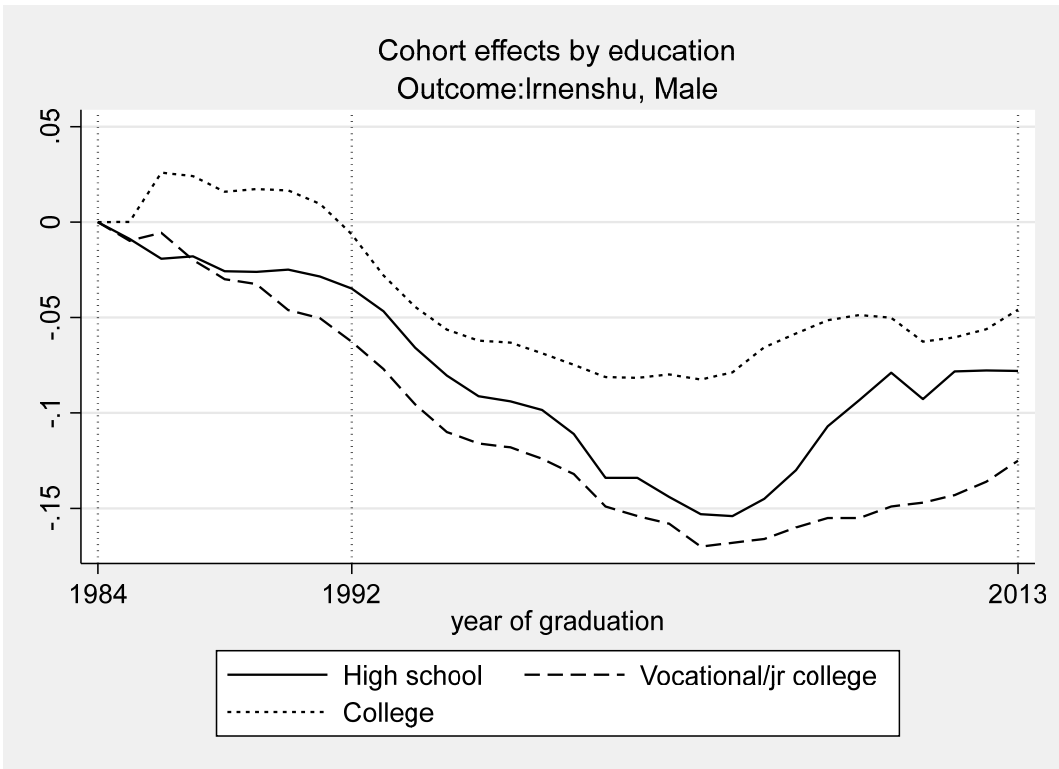


図6 性・学歴別、卒業後の就業状態や収入における正規化コーホート効果  
(1984年と1992年を0に正規化、調査年ダミー有無の比較)

Employed:就業率

Seiki: 正規雇用割合 (分母は無業者を含む人口)

Hiseiki: 非正規雇用割合 (分母は無業者を含む人口)

Lrinc2\_r: 対数実質年収平均値

Hours: 週当たり労働時間平均値 (就業者のみ)

Over60a: 週60時間以上労働割合 (分母は就業者のみ)

Largefirm: 企業規模500人以上割合 (分母は無業者を含む人口)

Largeseiki: 企業規模500人以上で正規雇用 (分母は無業者を含む人口)

Manuinemp: 製造業割合 (分母は就業者のみ)

Leave1yr2: 直近1年以内離職

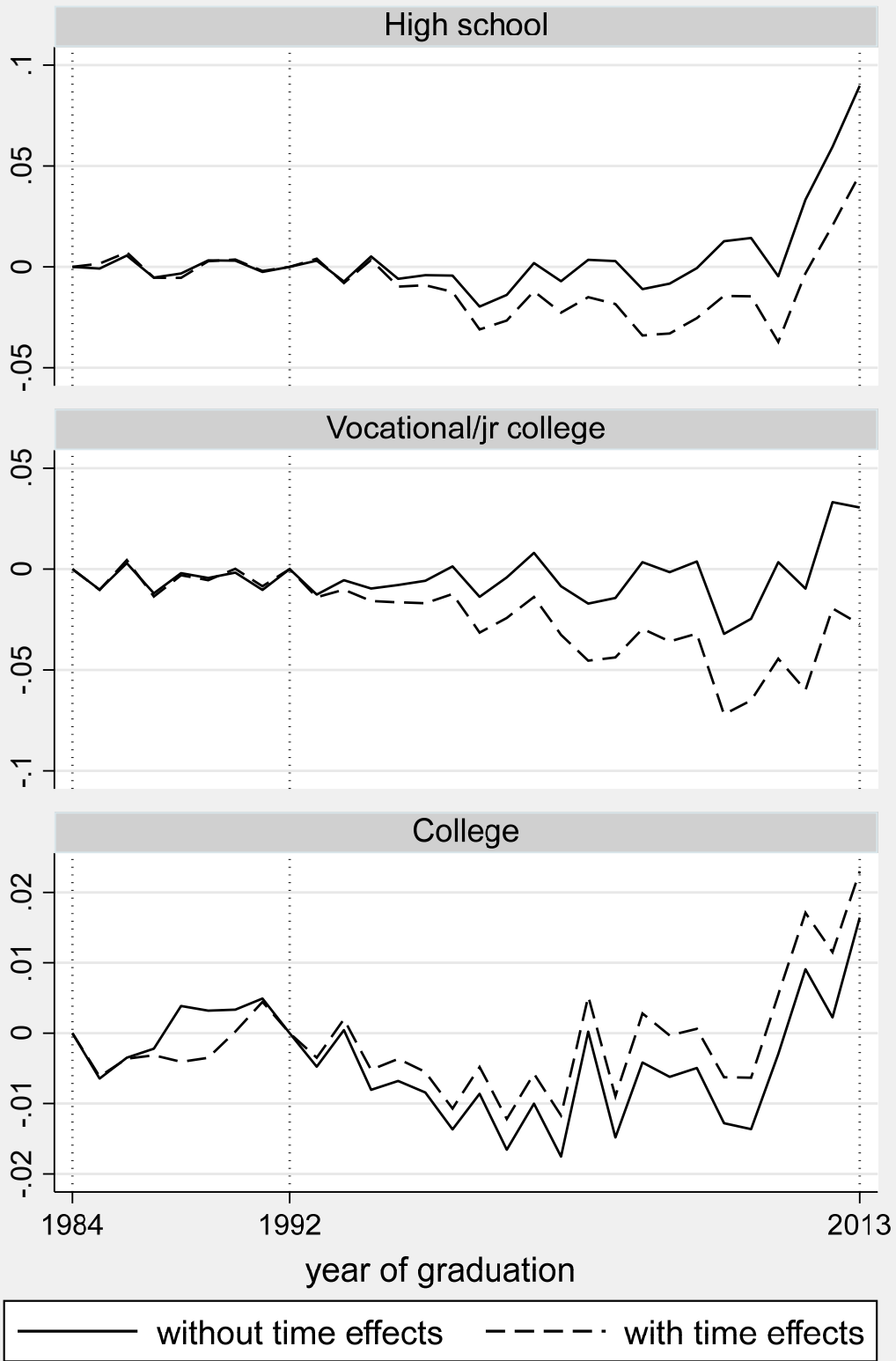
Getjobd: 直近1年以内就職 (就業者のみ)

earnings: 実質年収 (万円・フルタイム雇用者のみ)

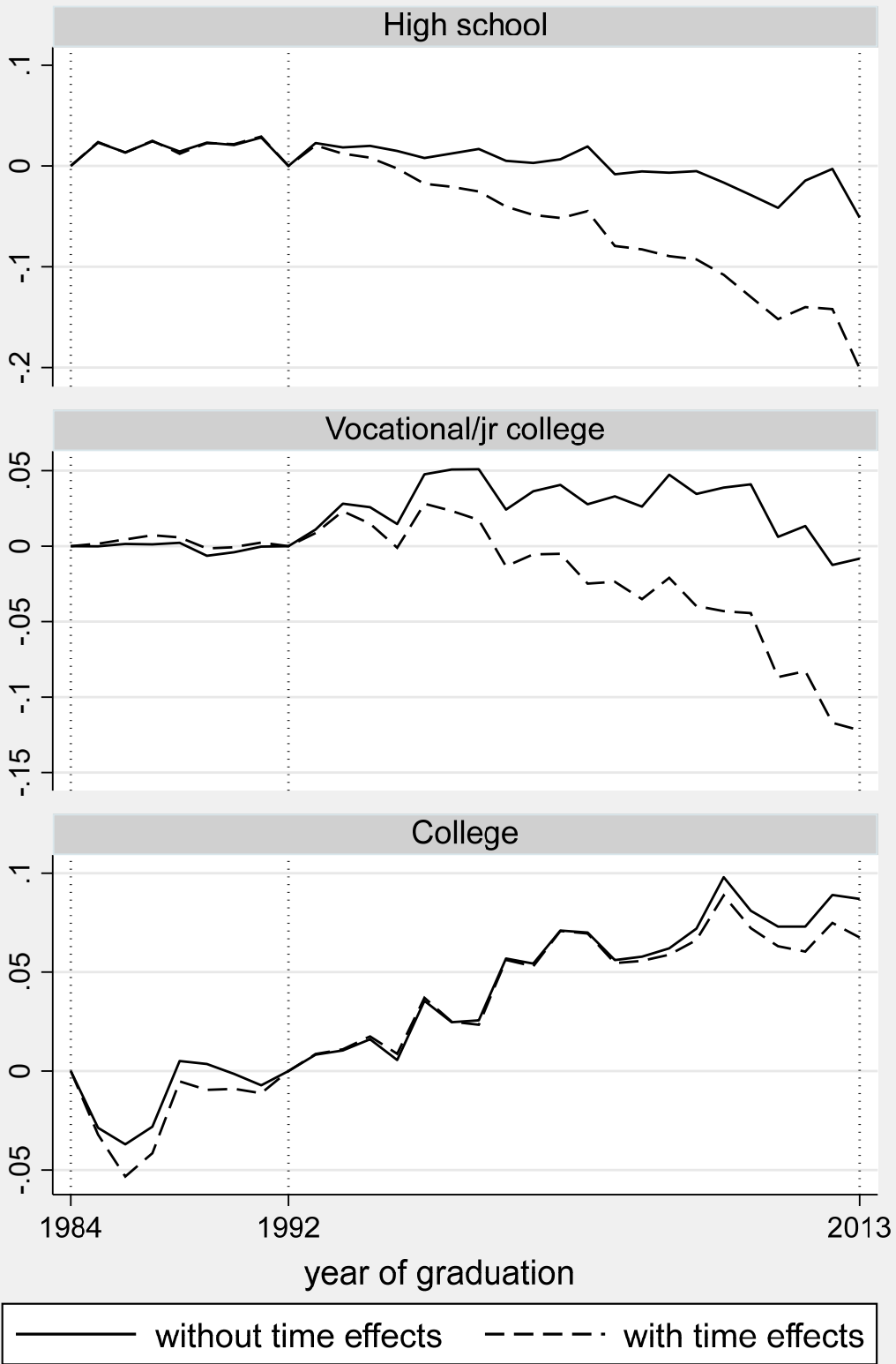
Lrgekkyu: 対数実質月給 (フルタイム雇用者のみ)

lnnenshu: 対数実質年収 (フルタイム雇用者のみ)

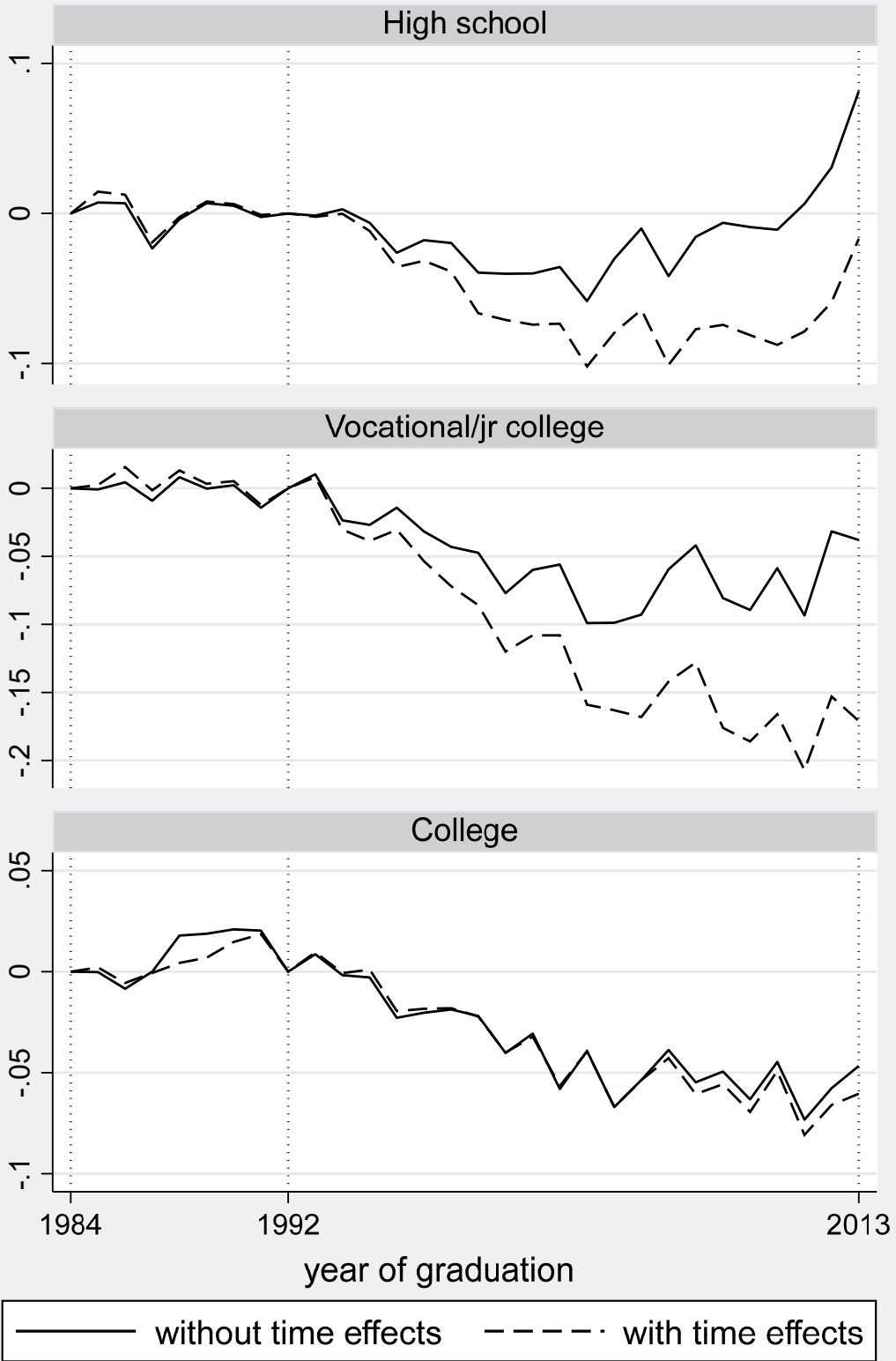
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:employed, Male



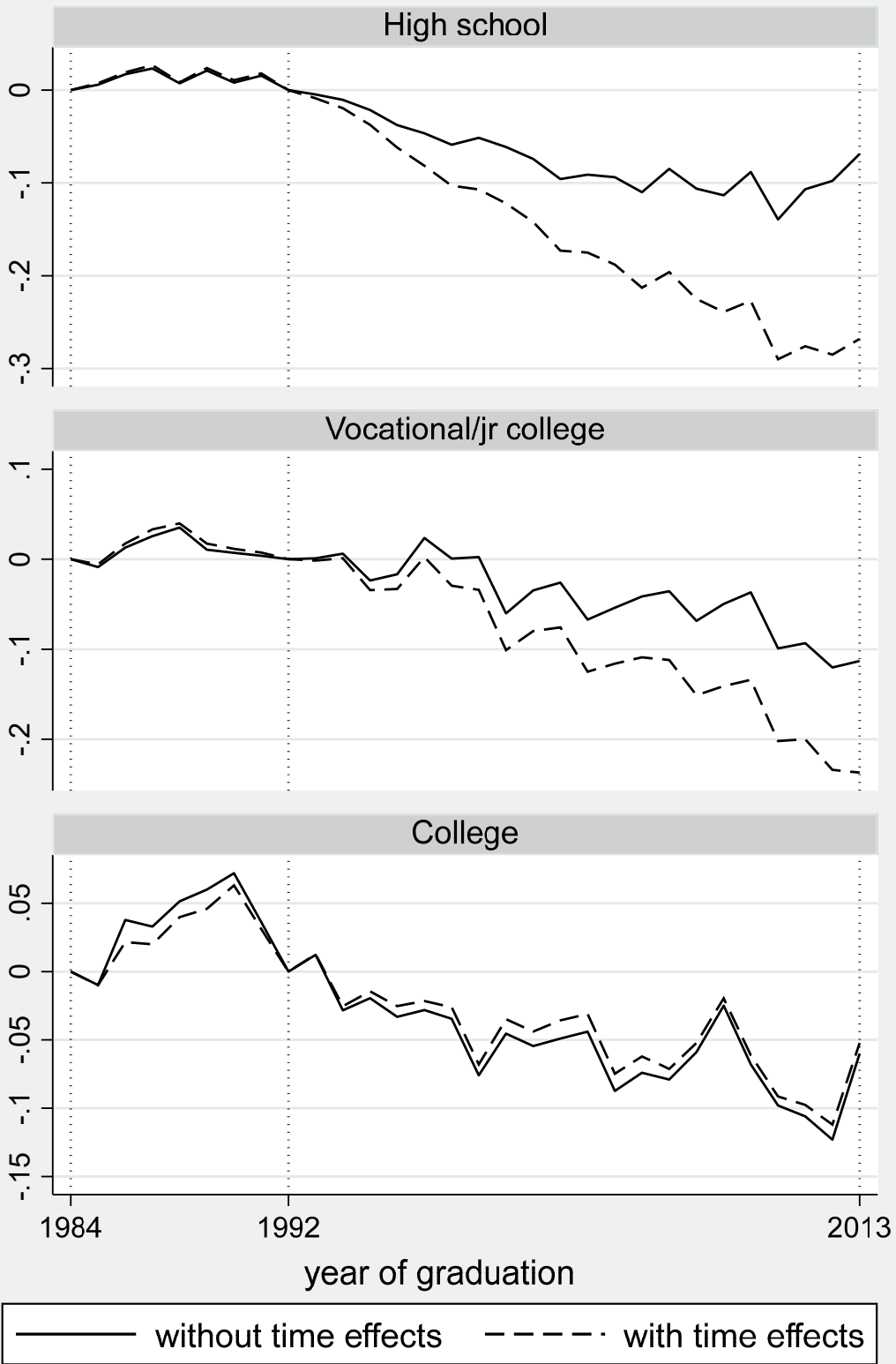
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:employed, Female



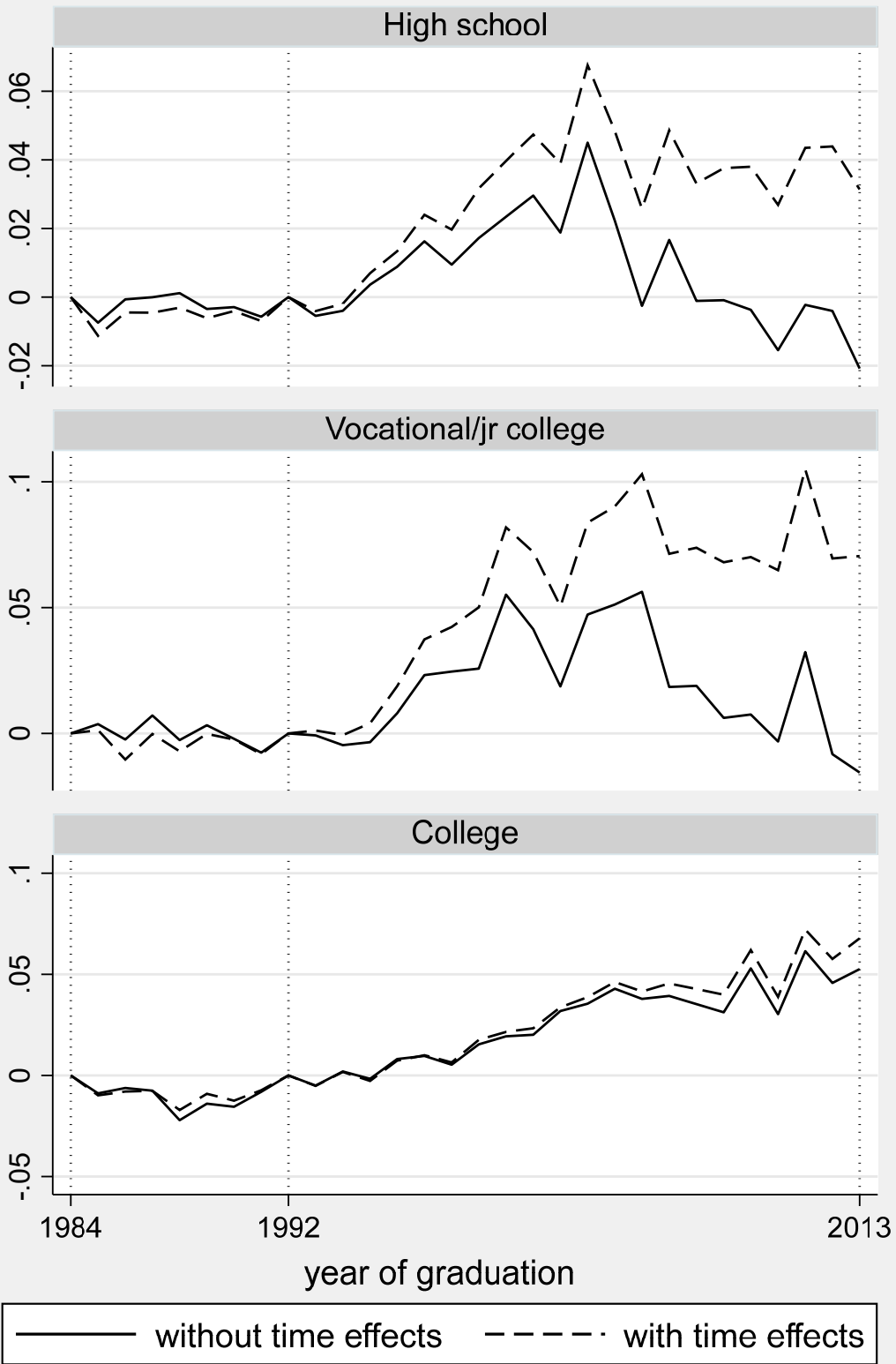
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:seiki, Male



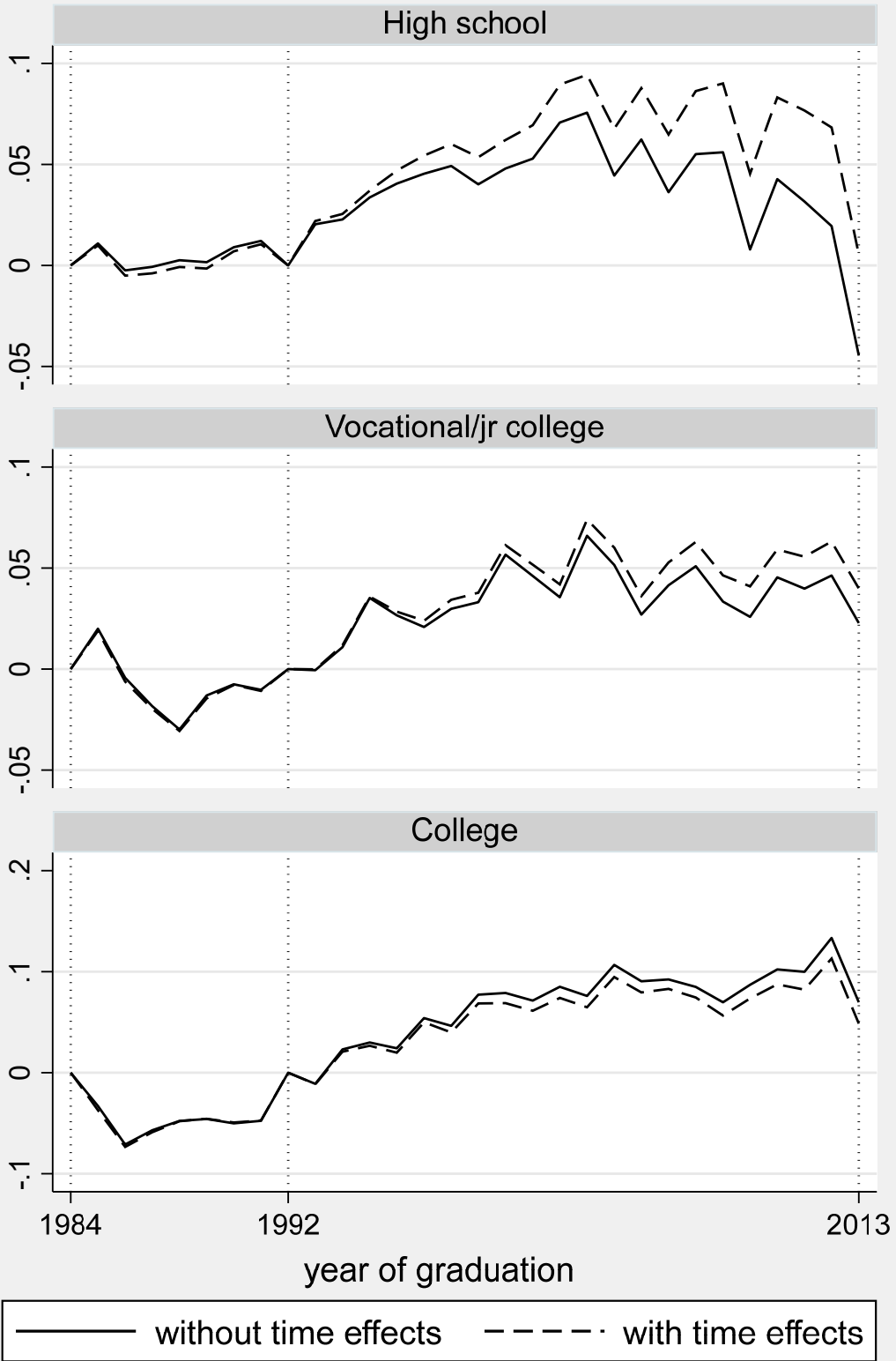
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:seiki, Female



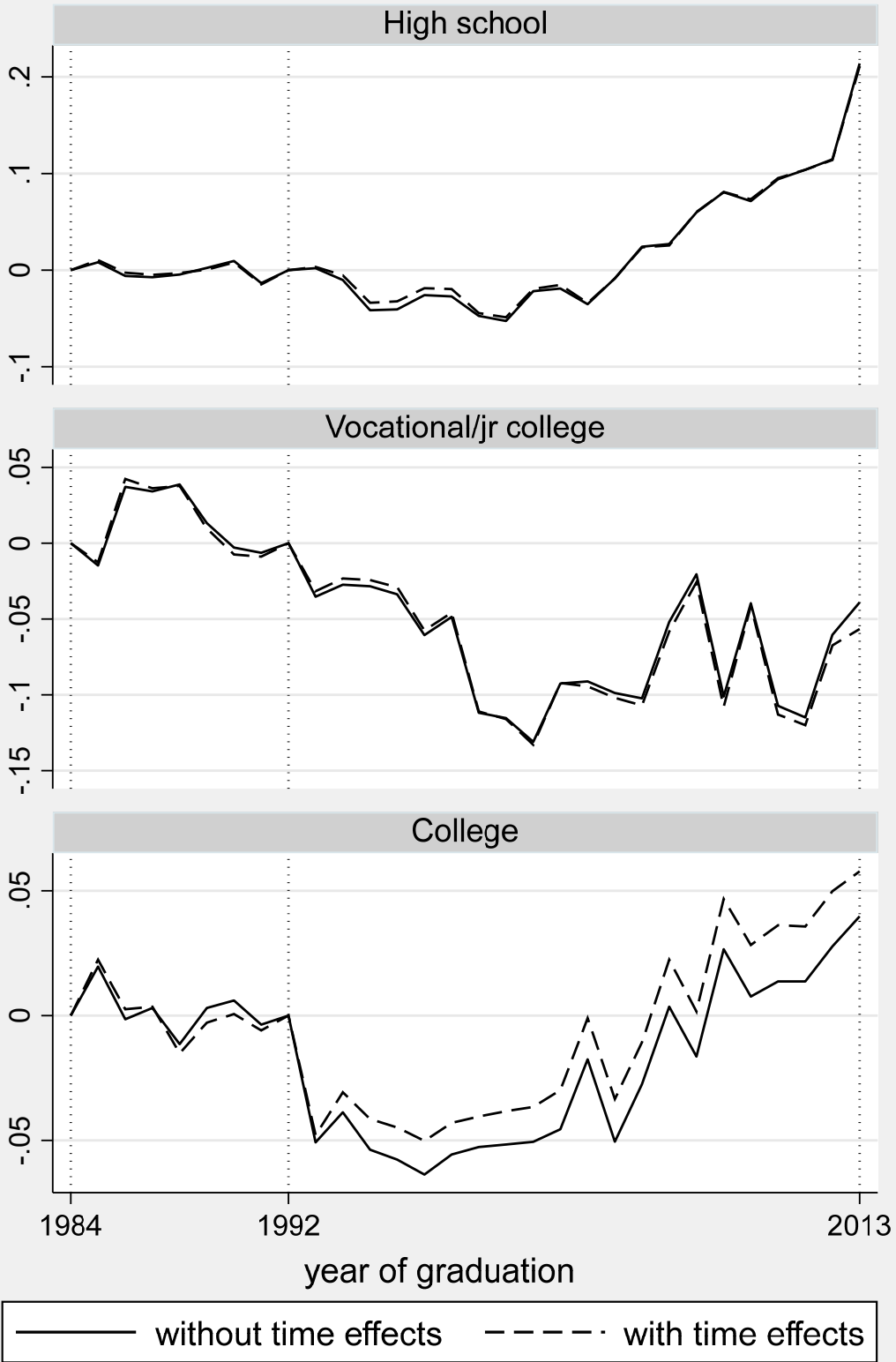
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:hiseiki, Male



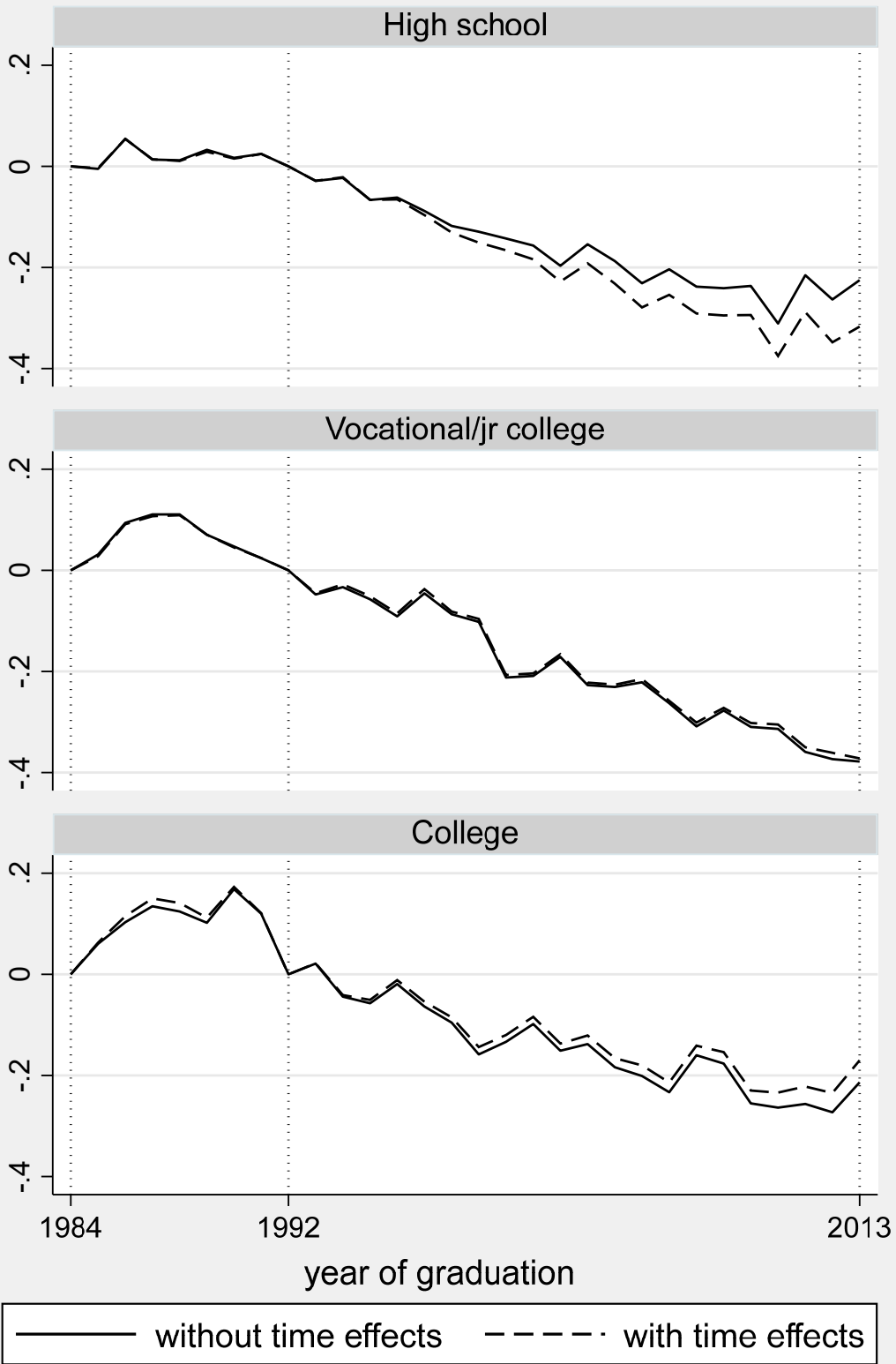
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:hiseiki, Female



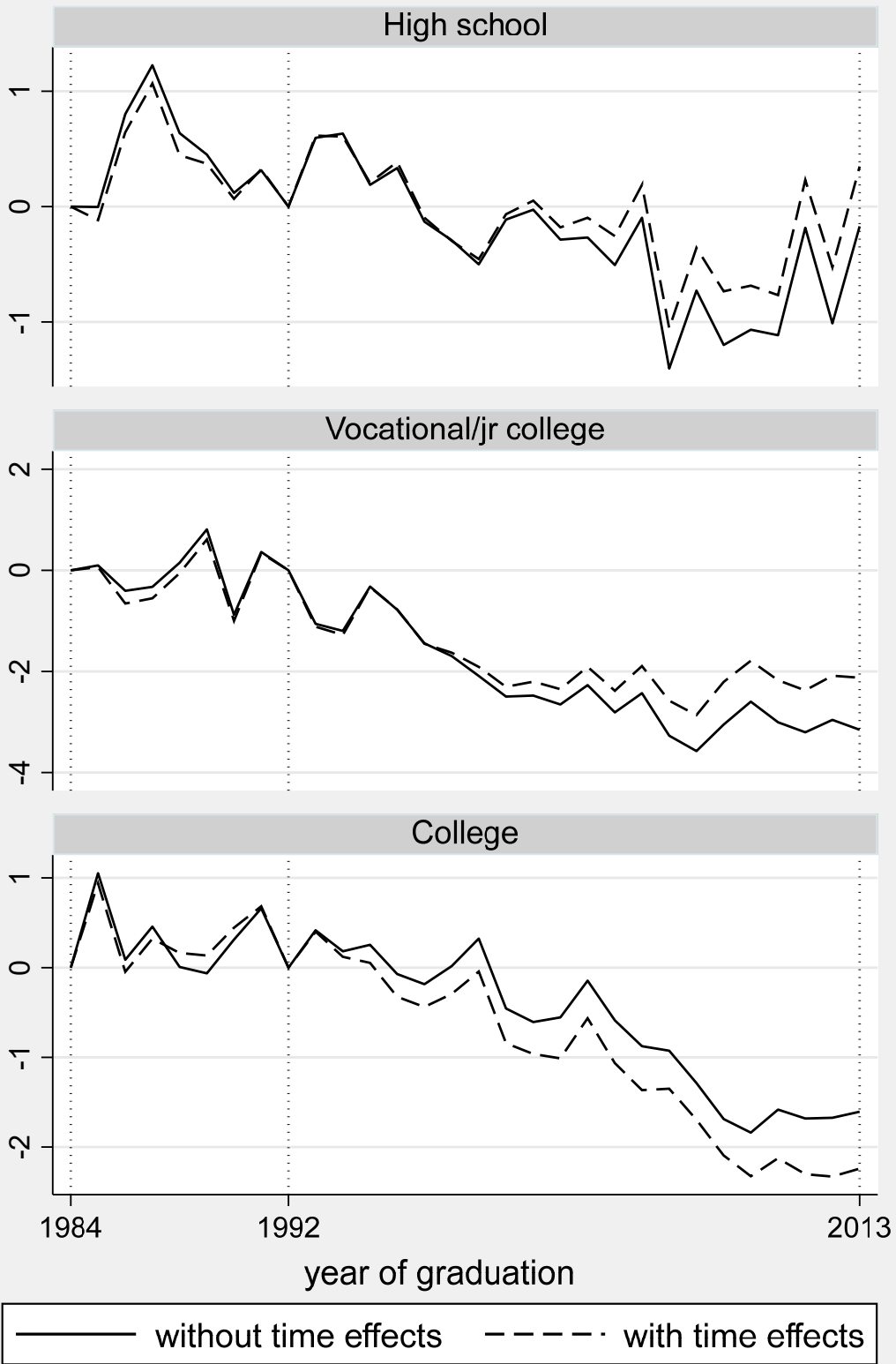
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:lrinc2\_r, Male



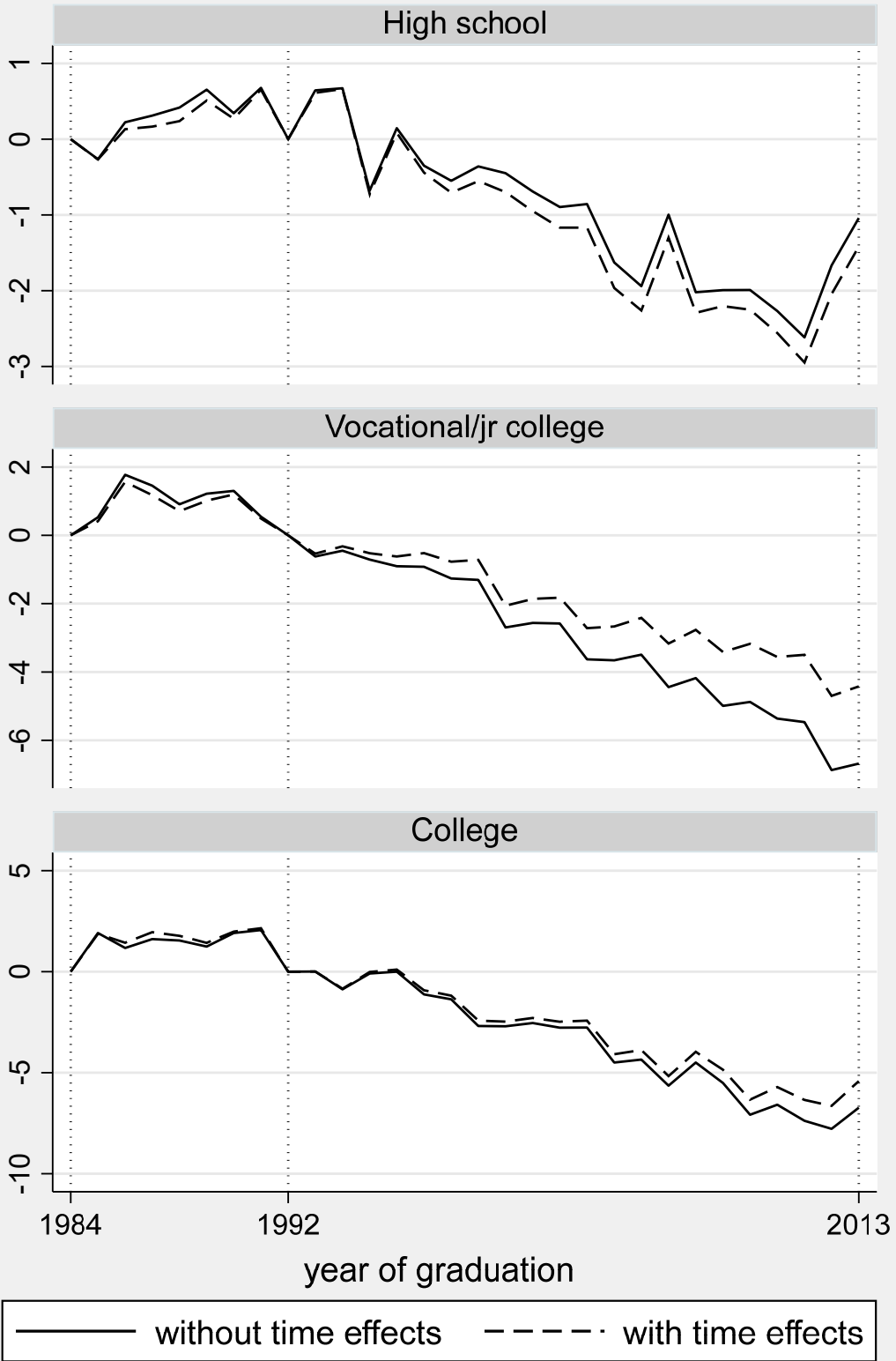
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:lrinc2\_r, Female



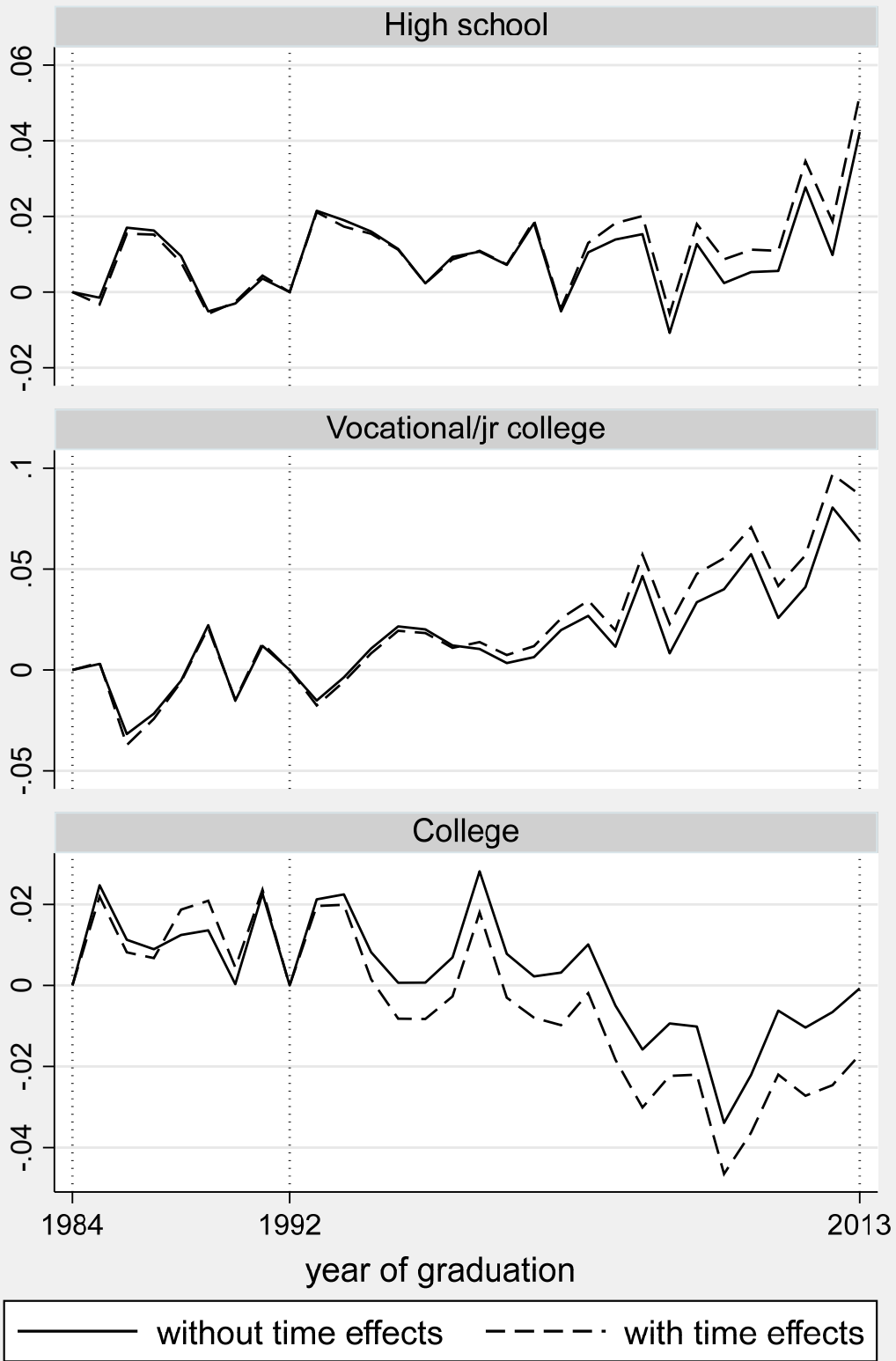
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:hours, Male



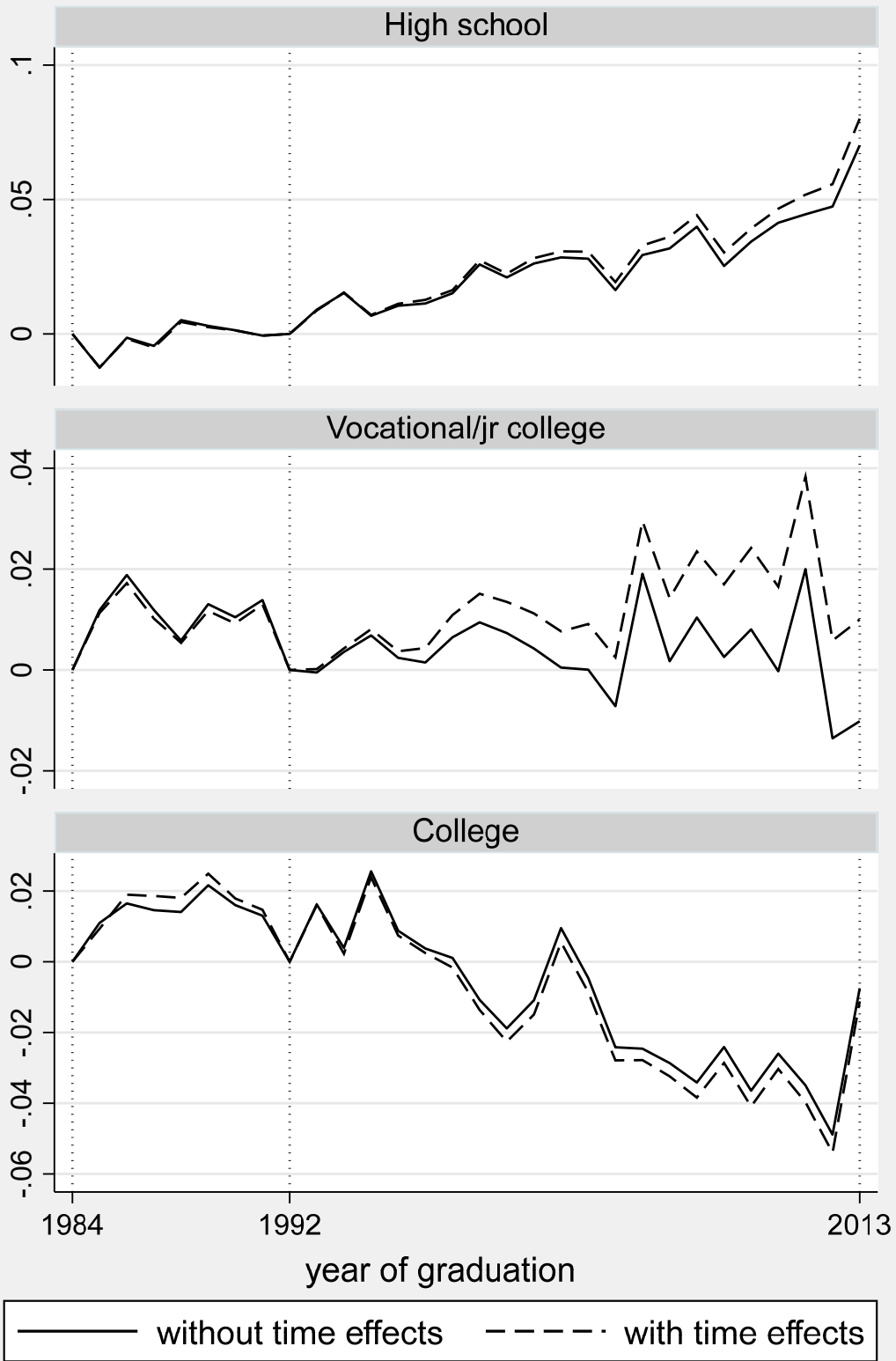
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:hours, Female



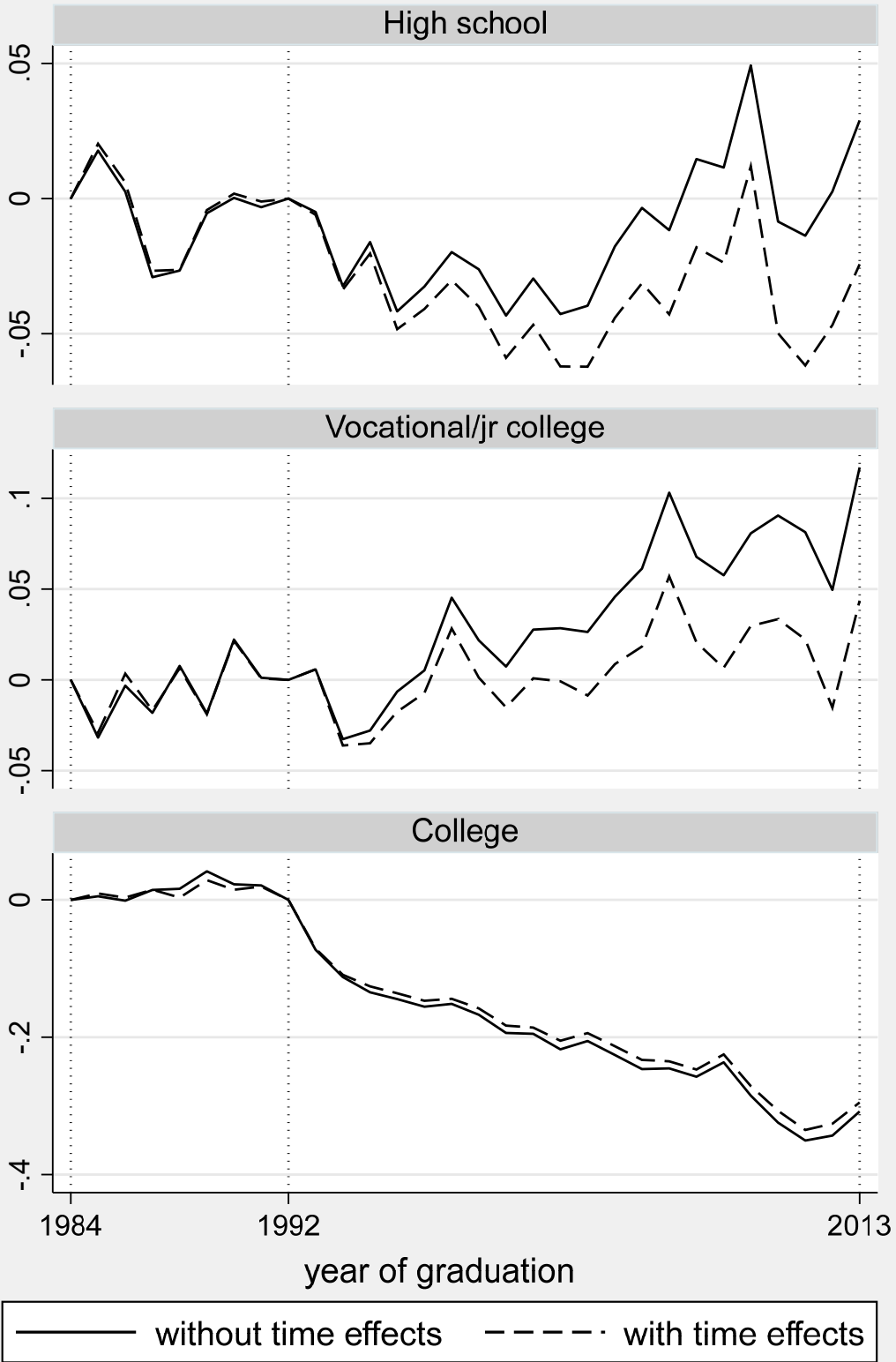
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:over60a, Male



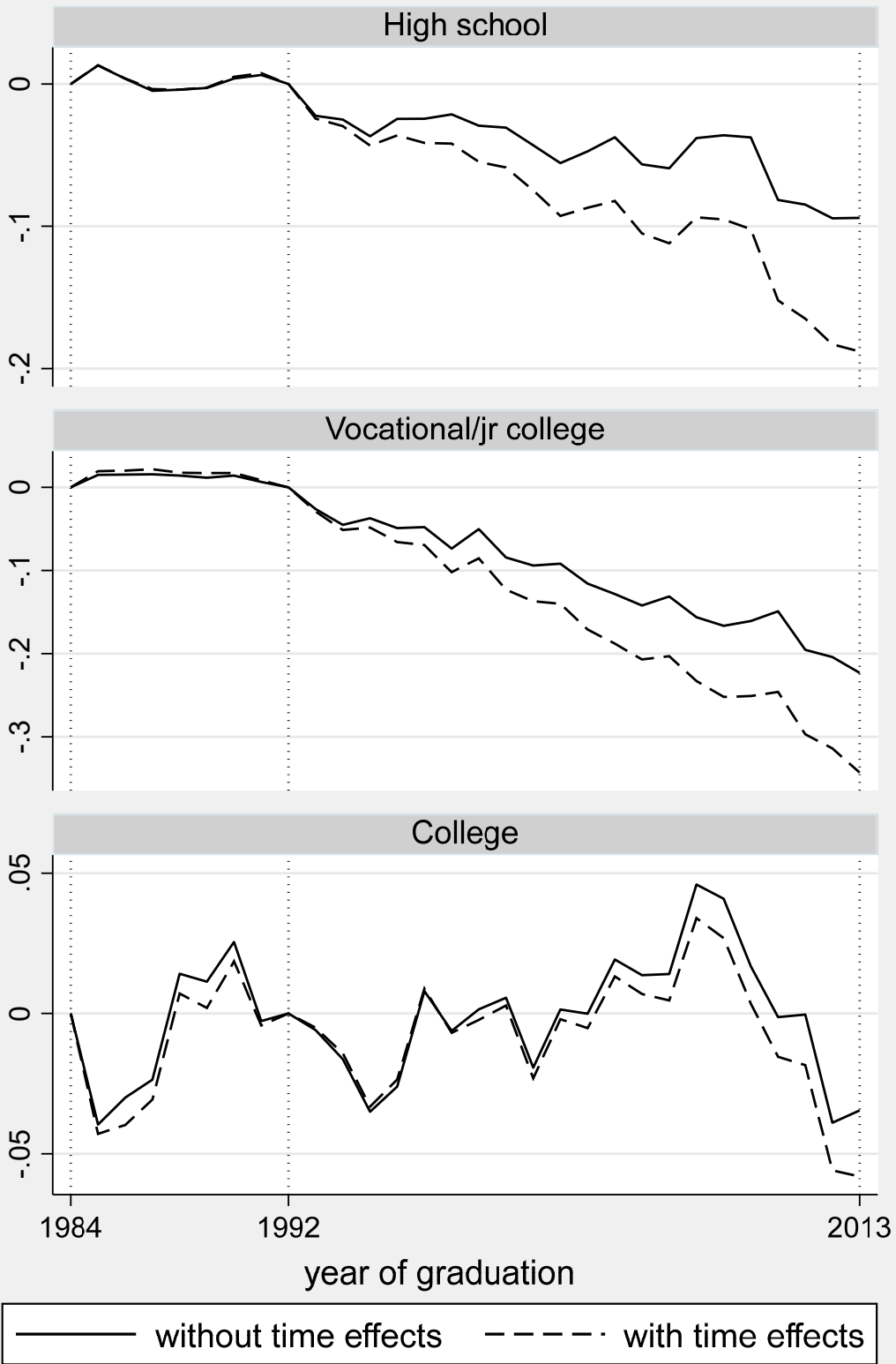
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:over60a, Female



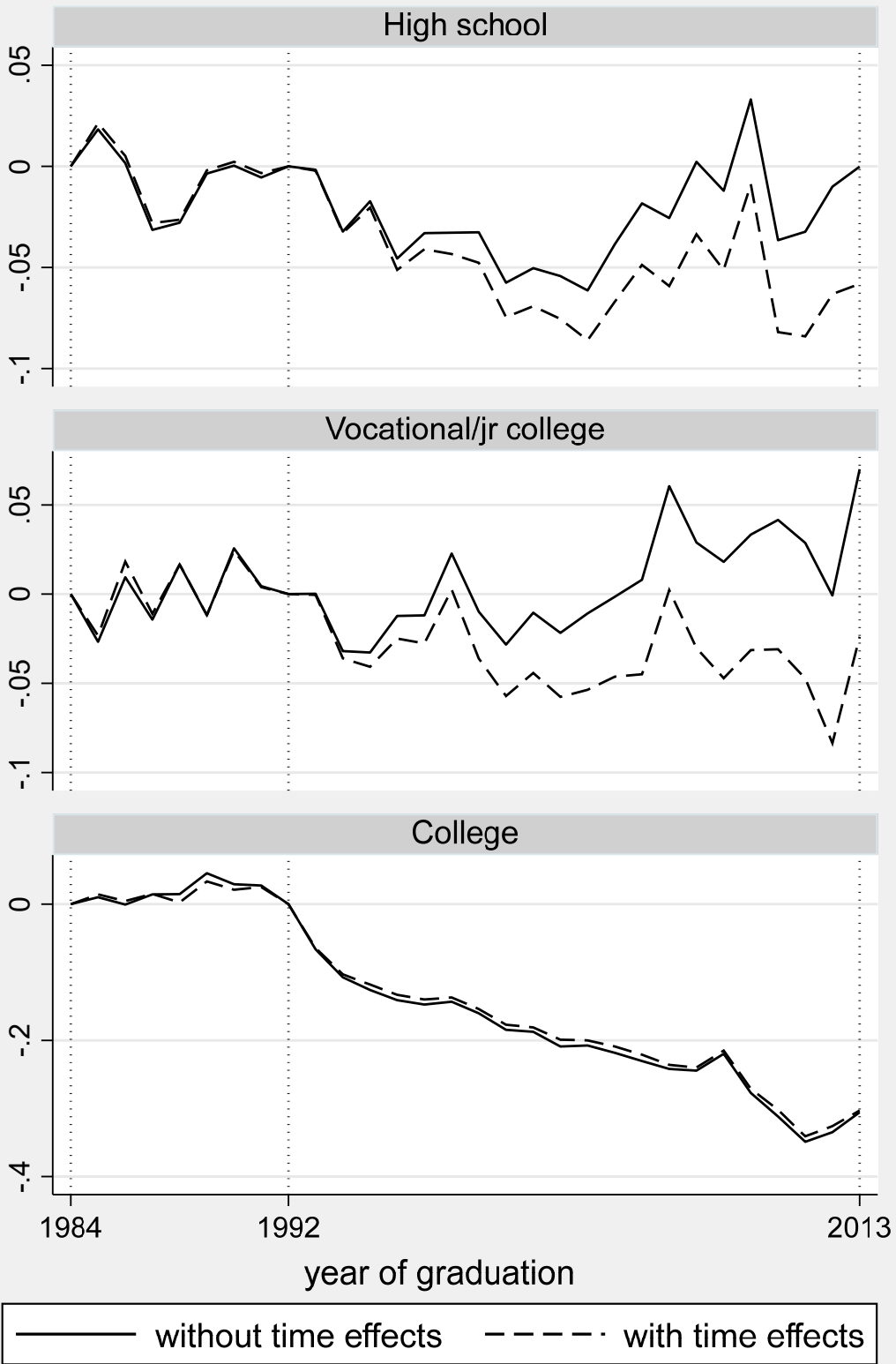
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome: largefirm, Male



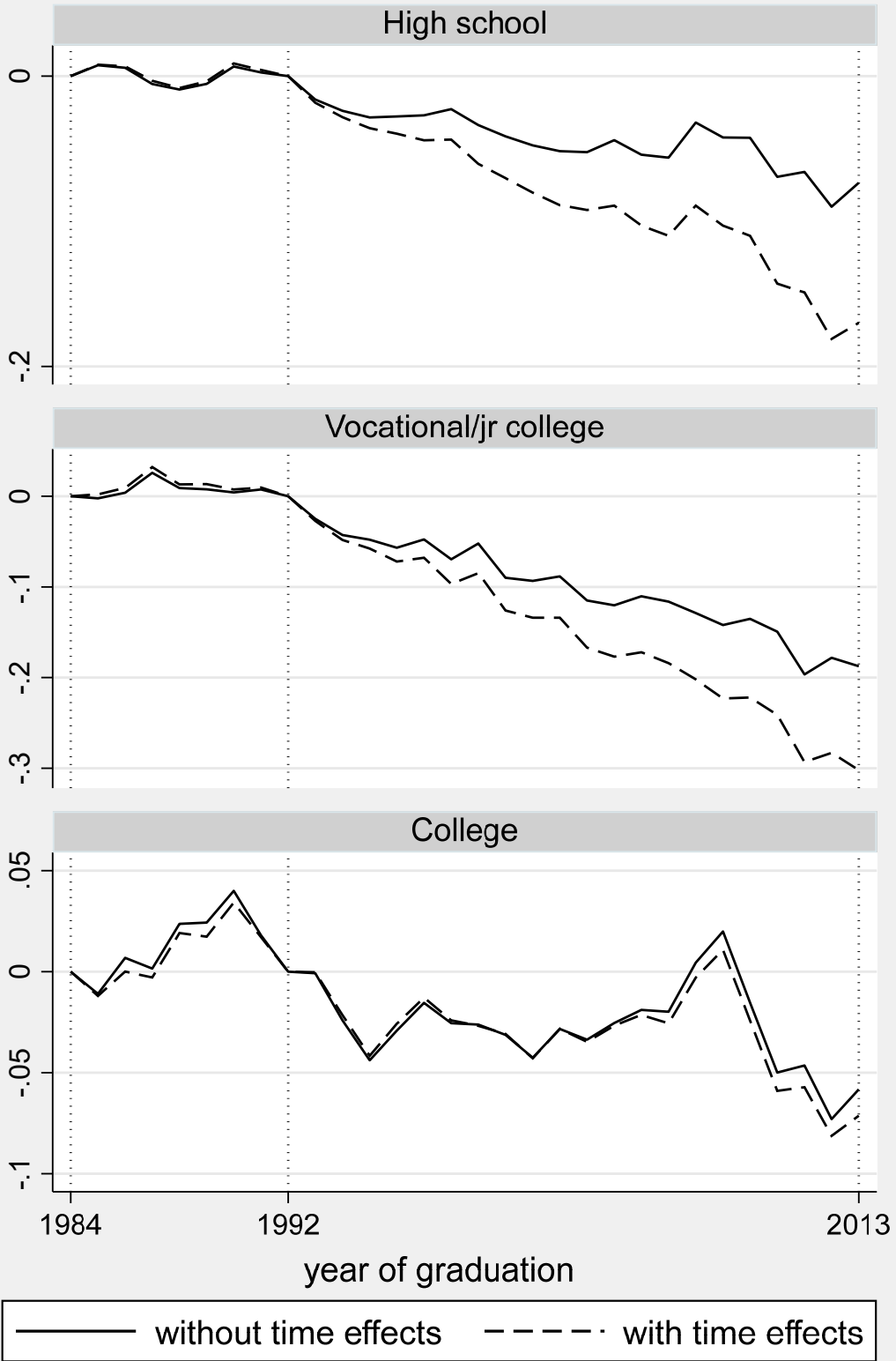
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome: largefirm, Female



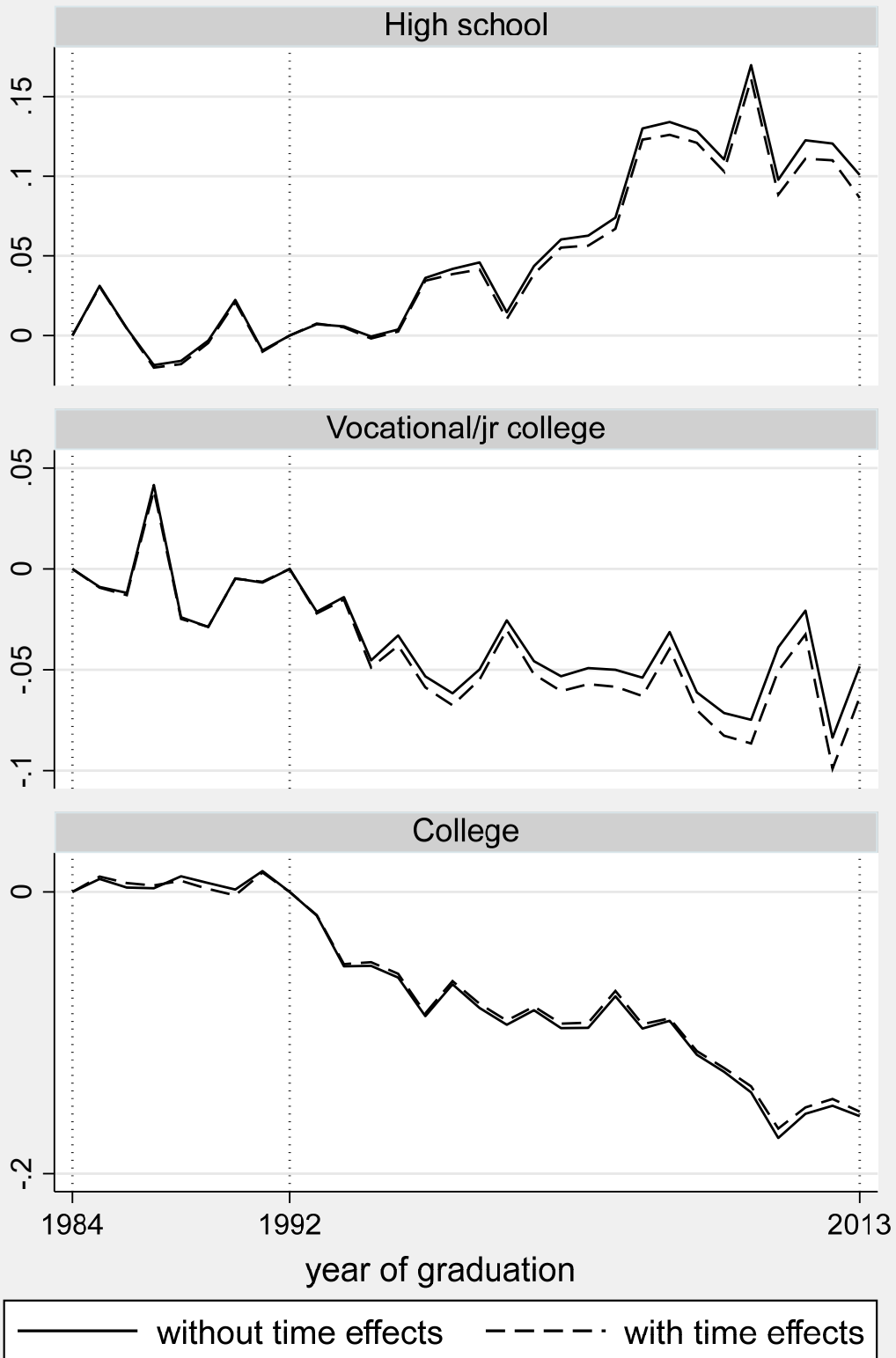
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome: largeseiki, Male



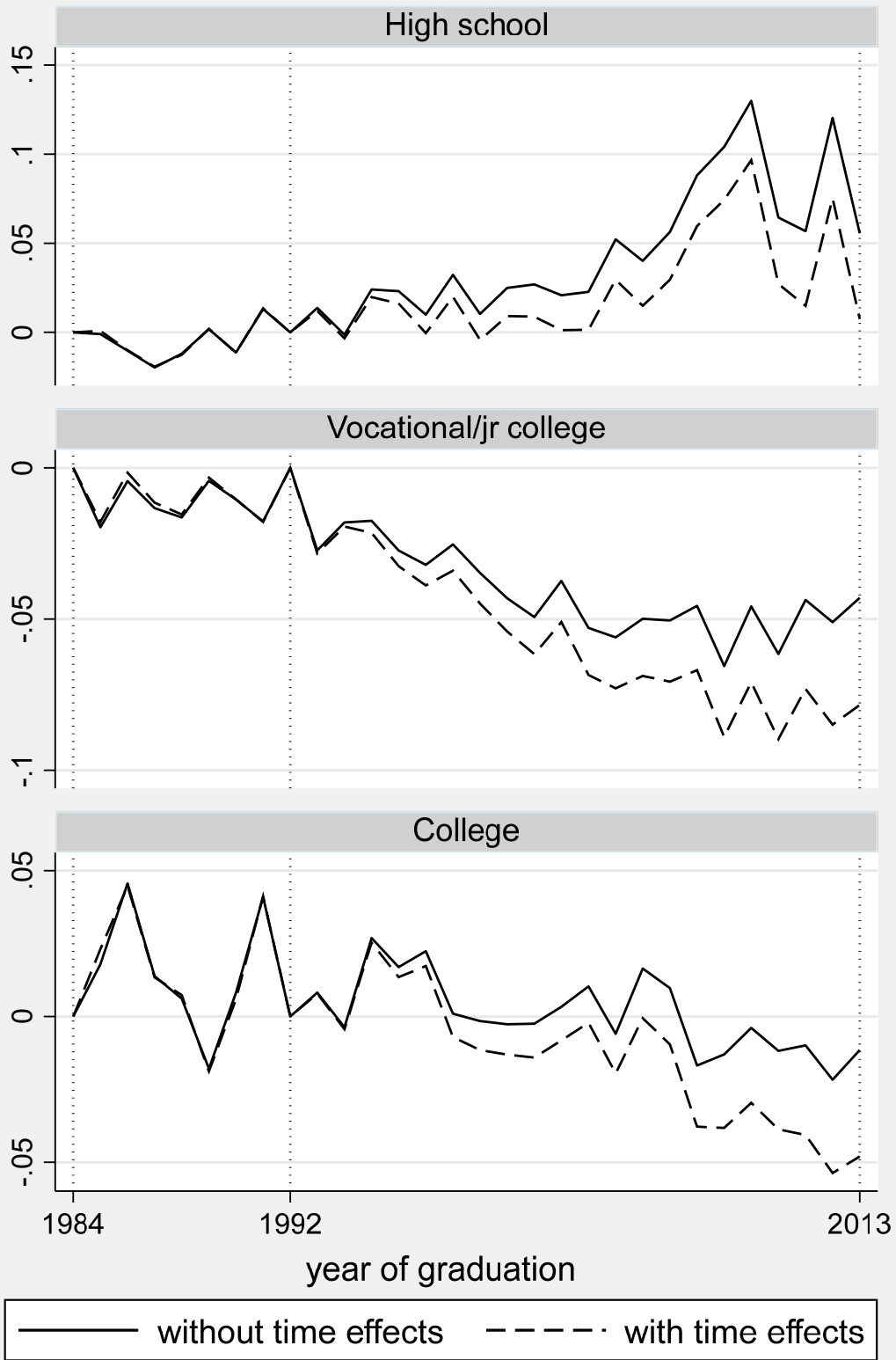
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome: largeseiki, Female



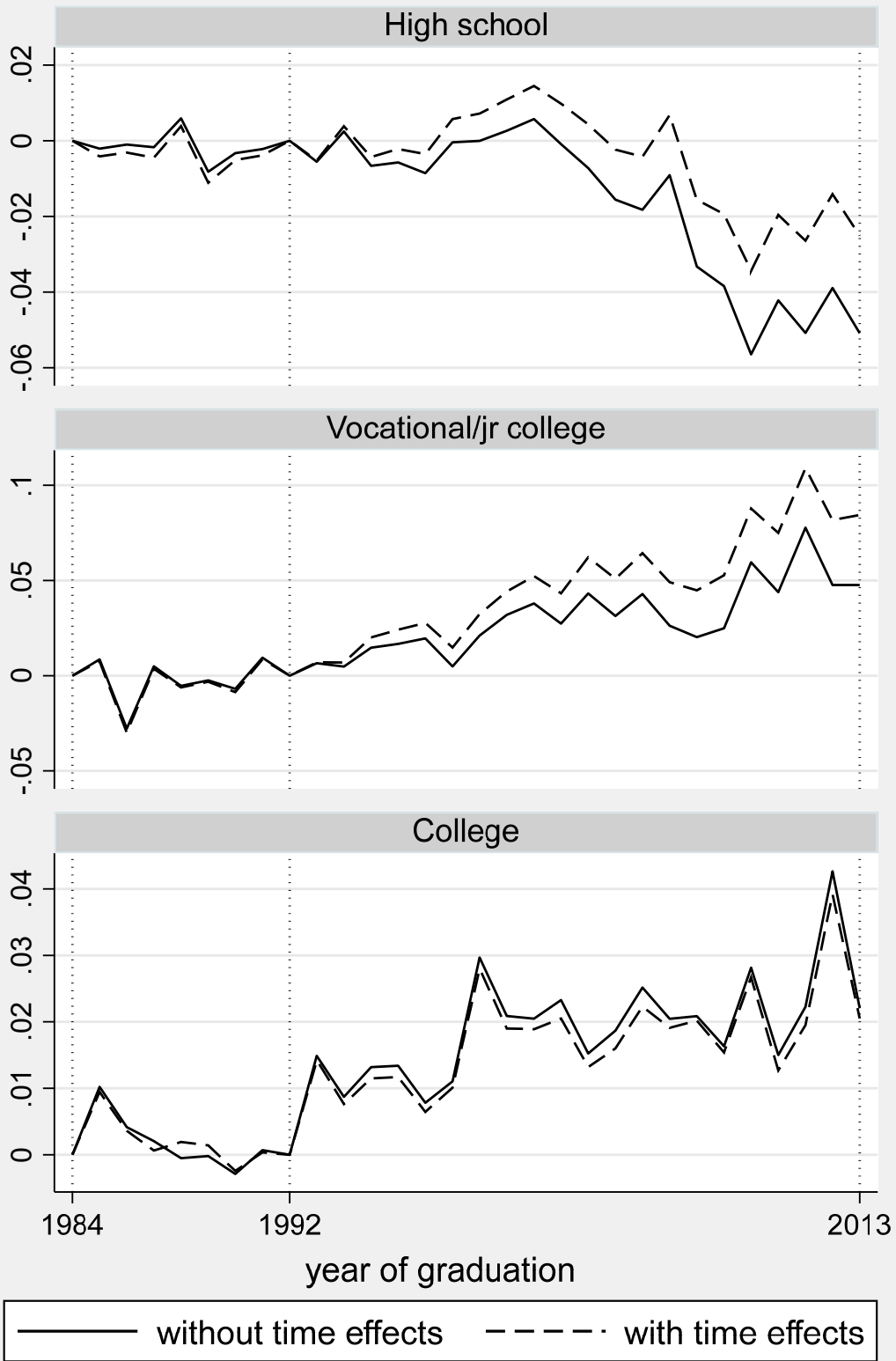
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:manuinemp, Male



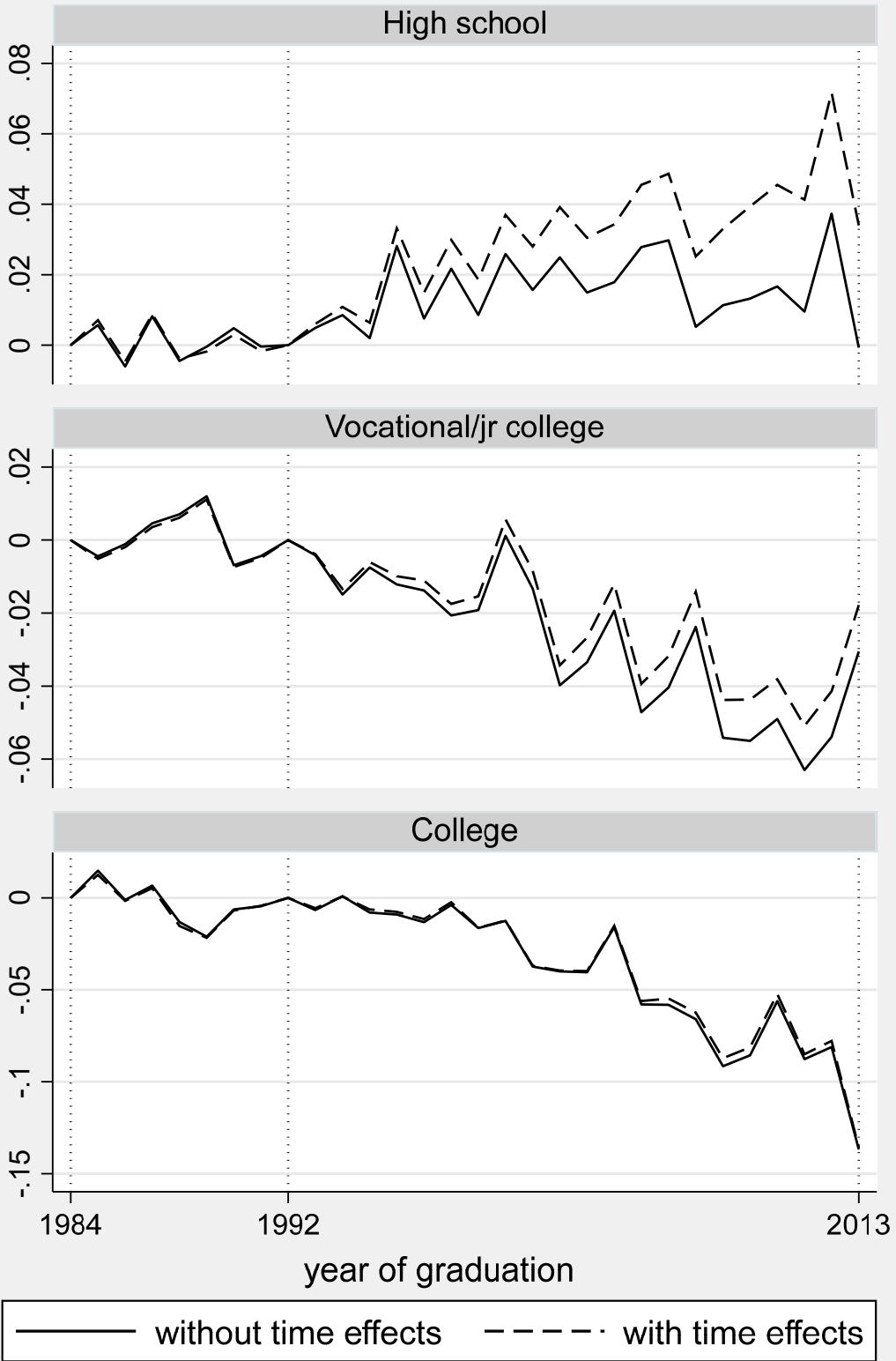
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:manuinemp, Female



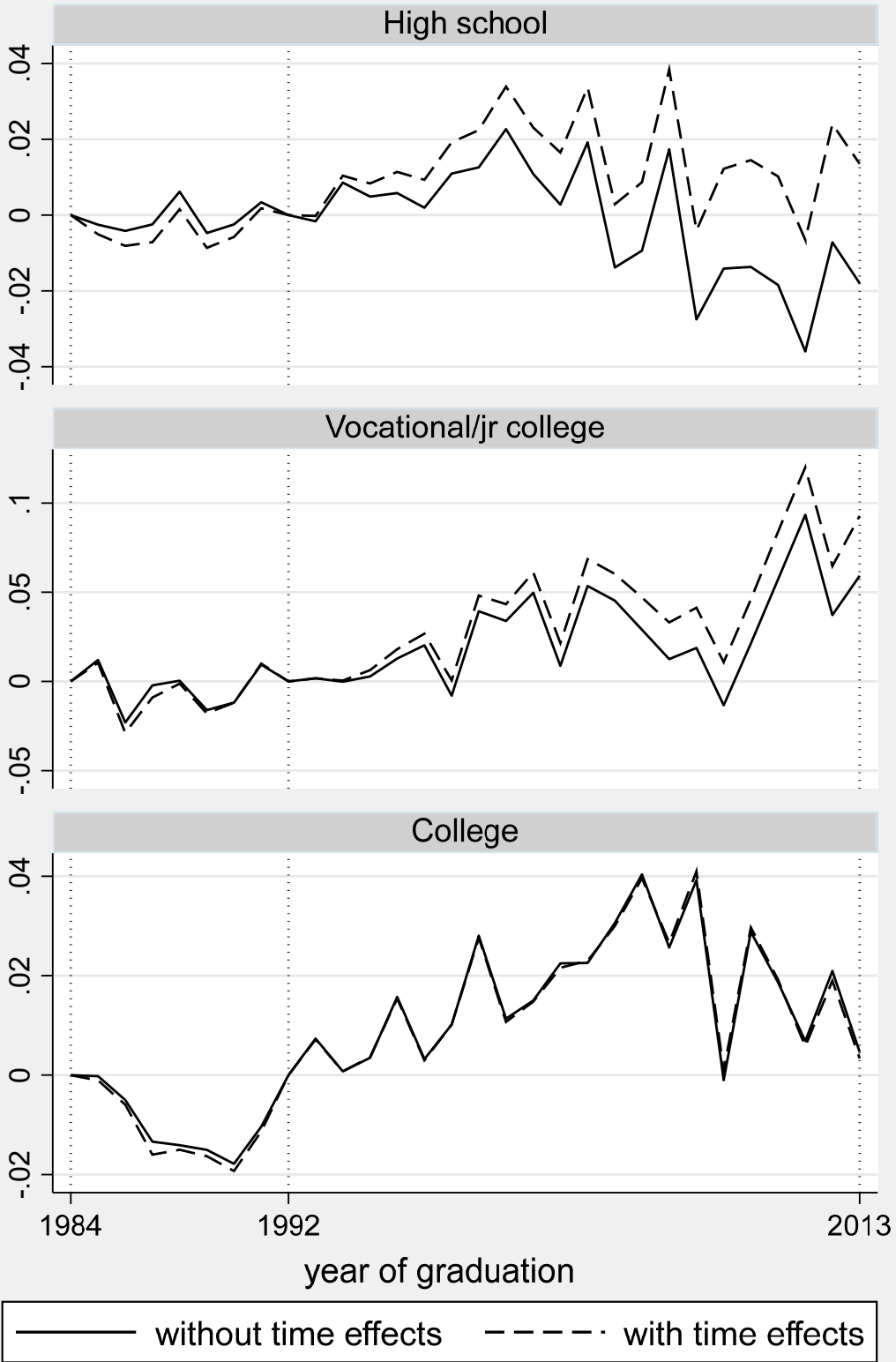
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:leave1yr2, Male



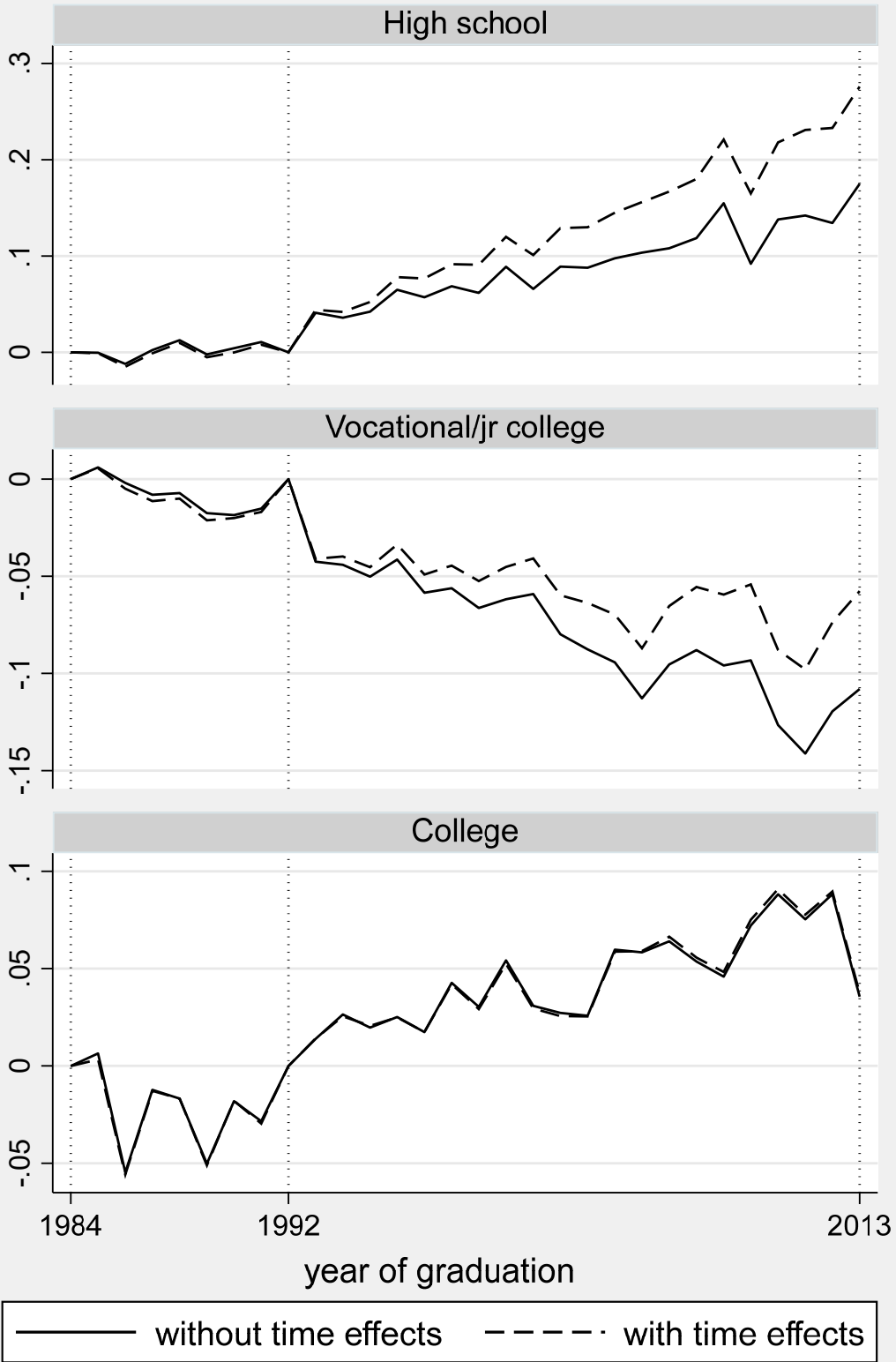
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:leave1yr2, Female



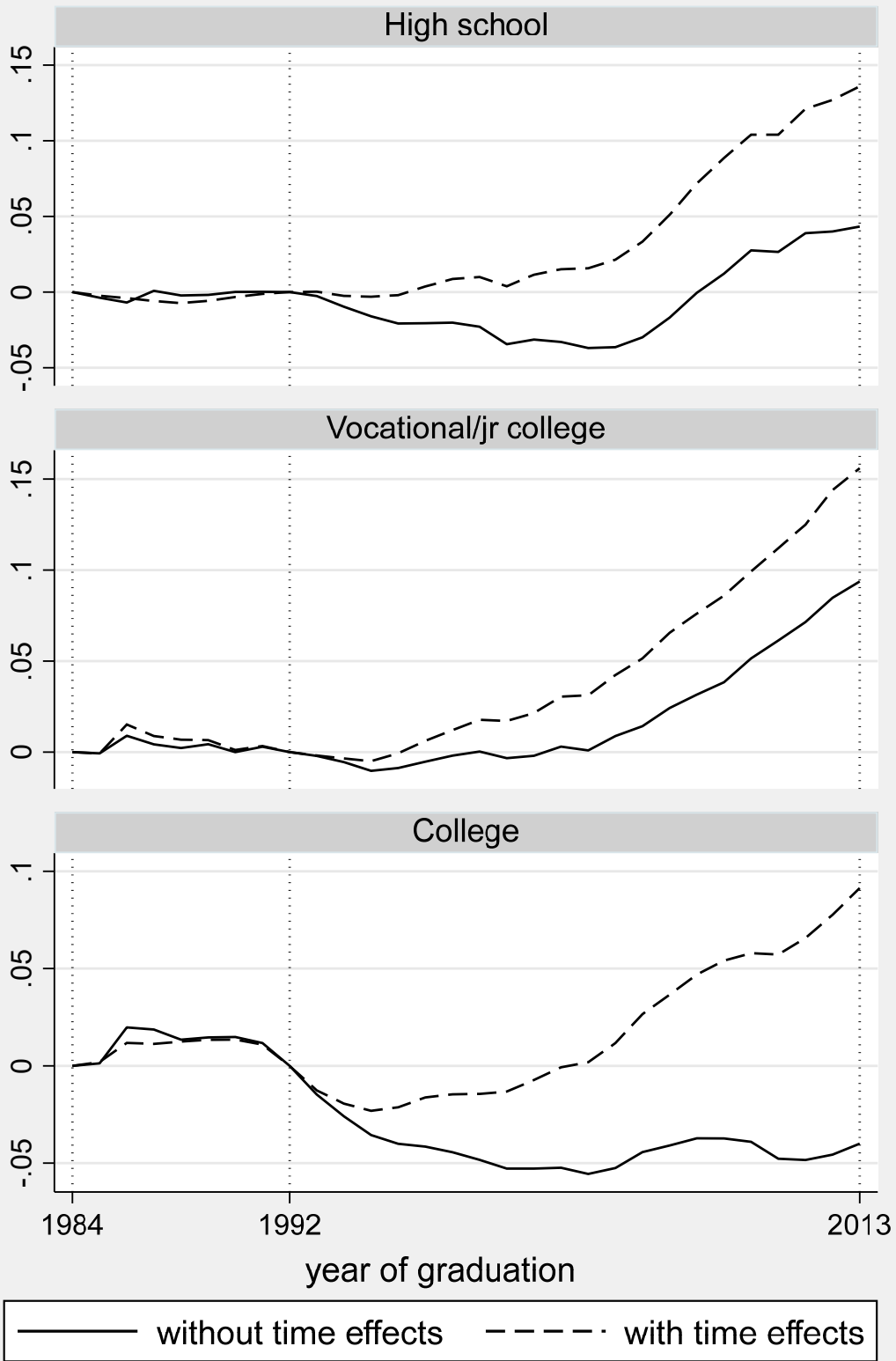
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome: getjobd, Male



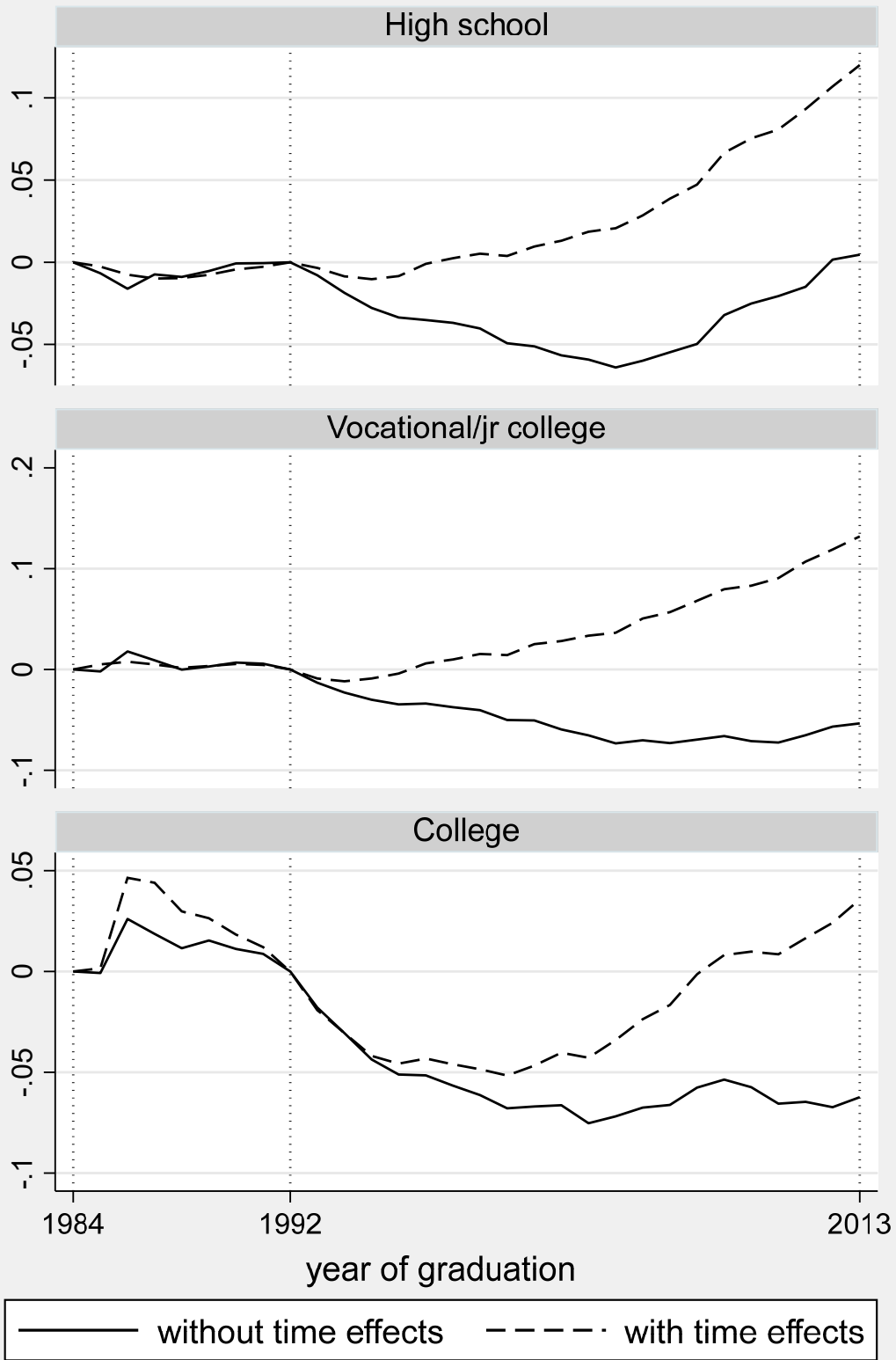
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome: getjobd, Female



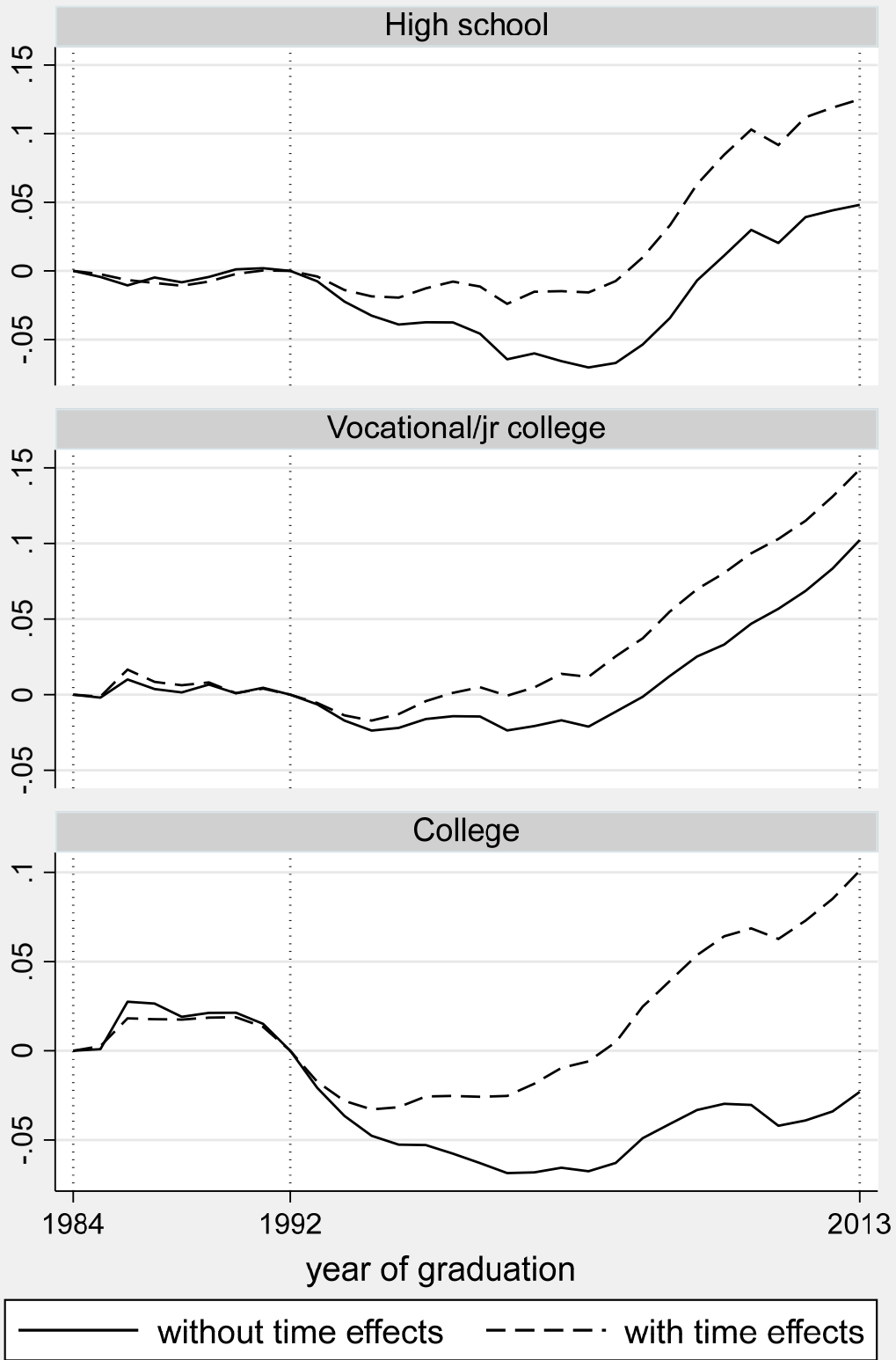
Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:lrgekkyu, Male



Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:lrgekkyu, Female



Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:lnenshu, Male



Normalized cohort effects with and without time effects  
 Outcome:lnrenshu, Female

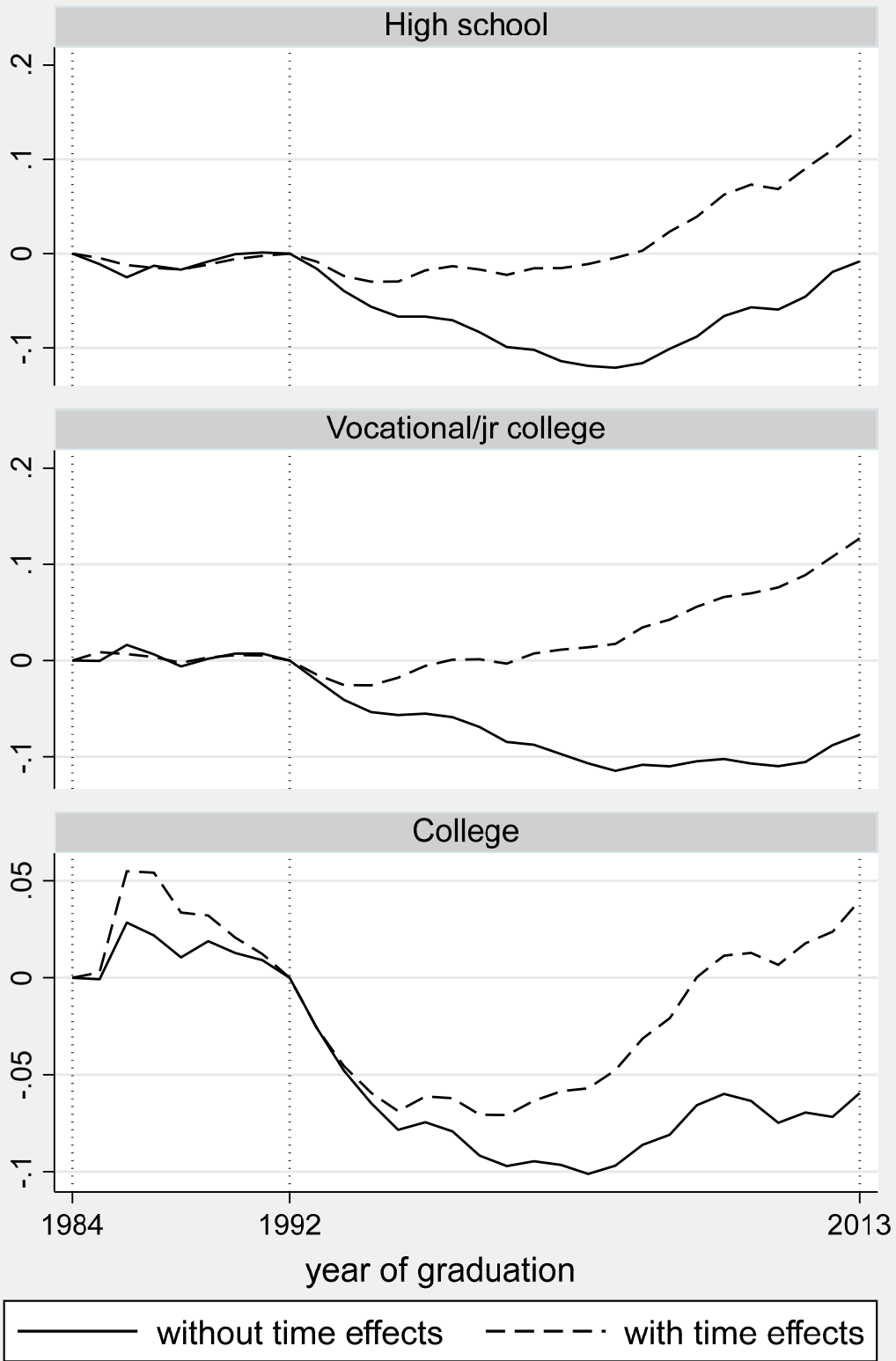


図7 コーホート効果と学卒前年失業率の散布図

Employed: 就業率

Seiki: 正規雇用割合 (分母は無業者を含む人口)

Hiseiki: 非正規雇用割合 (分母は無業者を含む人口)

Lrinc2\_r: 対数実質年収平均値

Hours: 週当たり労働時間平均値 (就業者のみ)

Over60a: 週60時間以上労働割合 (分母は就業者のみ)

Largefirm: 企業規模500人以上割合 (分母は無業者を含む人口)

Largeseiki: 企業規模500人以上で正規雇用 (分母は無業者を含む人口)

Manuinemp: 製造業割合 (分母は就業者のみ)

Leave1yr2: 直近1年以内離職

Getjobd: 直近1年以内就職 (就業者のみ)

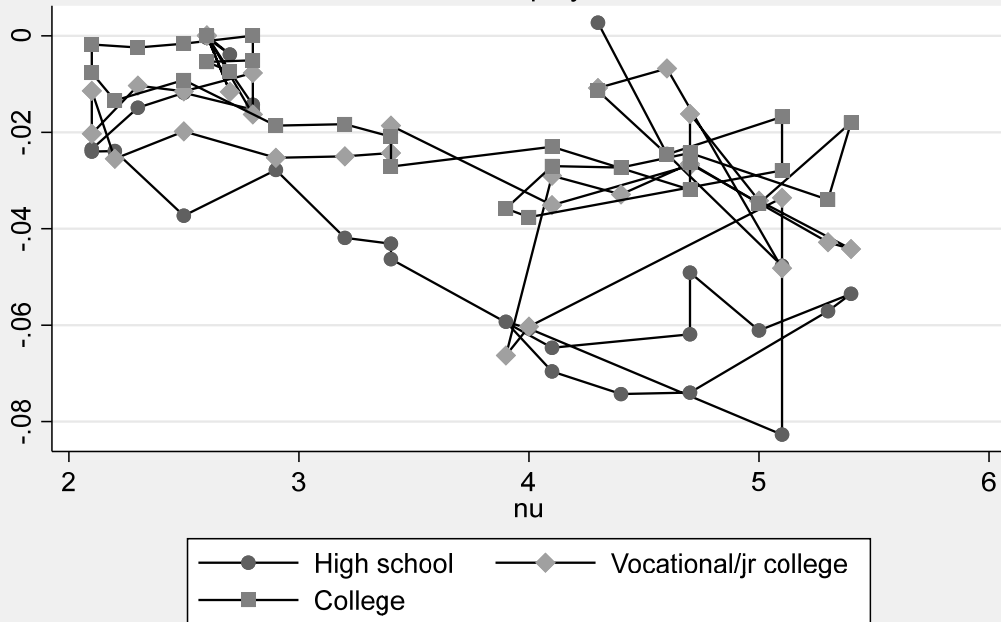
earnings: 実質年収 (万円・フルタイム雇用者のみ)

Lrgekkyu: 対数実質月給 (フルタイム雇用者のみ)

lnnenshu: 対数実質年収 (フルタイム雇用者のみ)

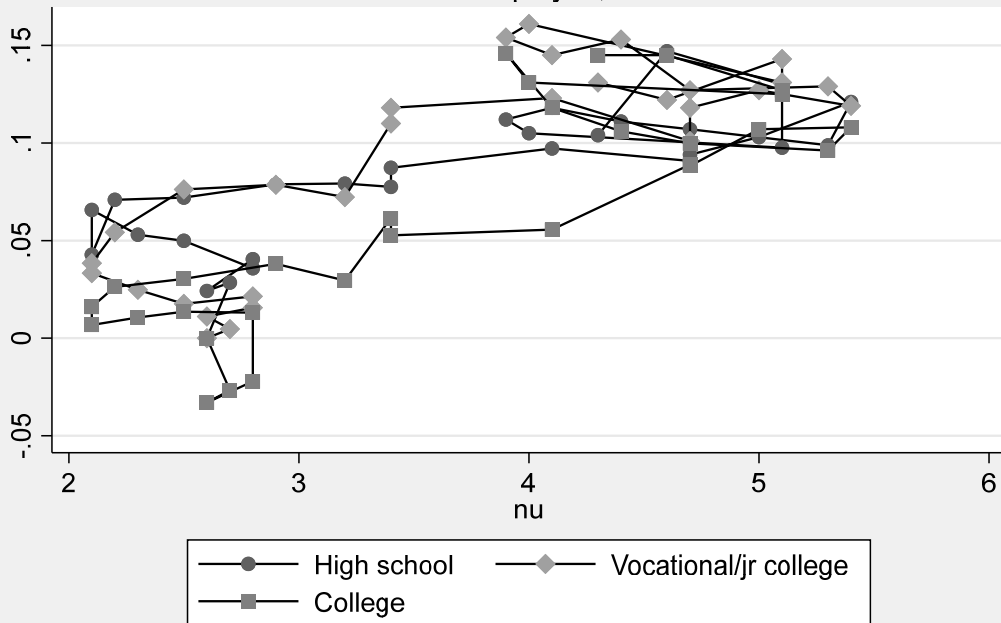
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:employed, Male



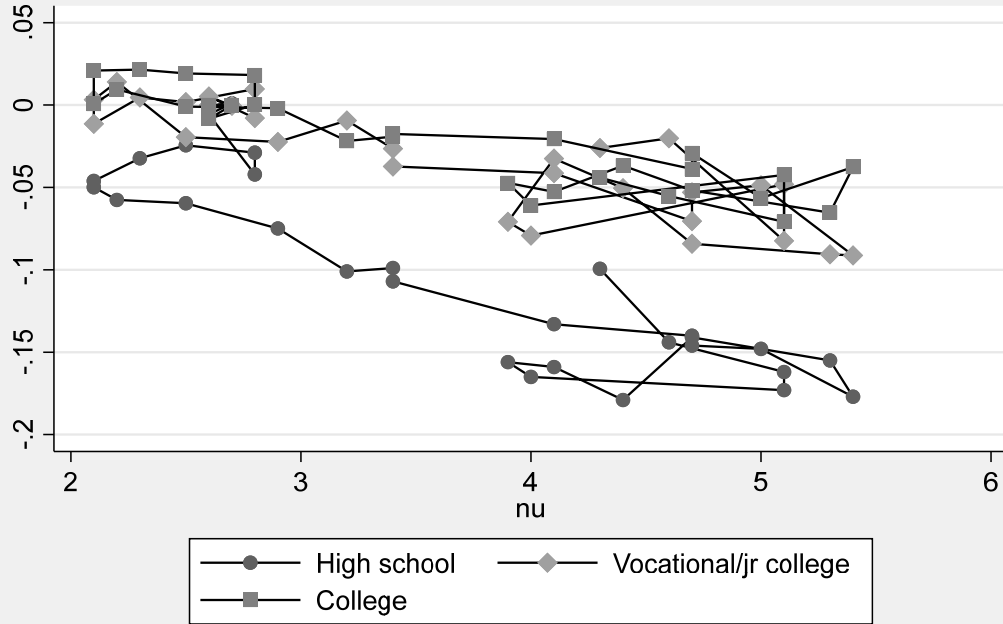
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:employed, Female



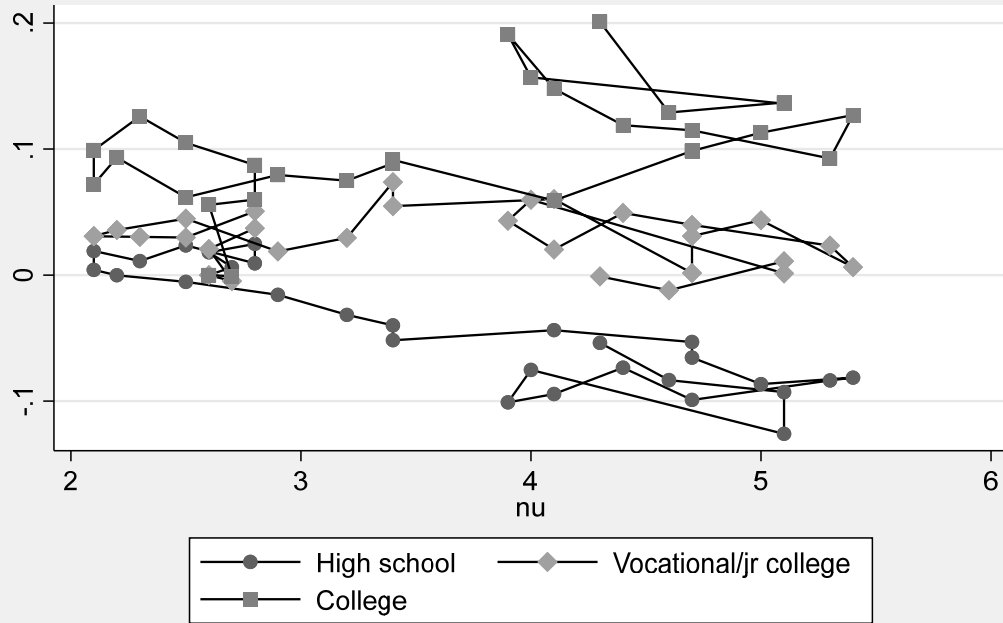
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:seiki, Male



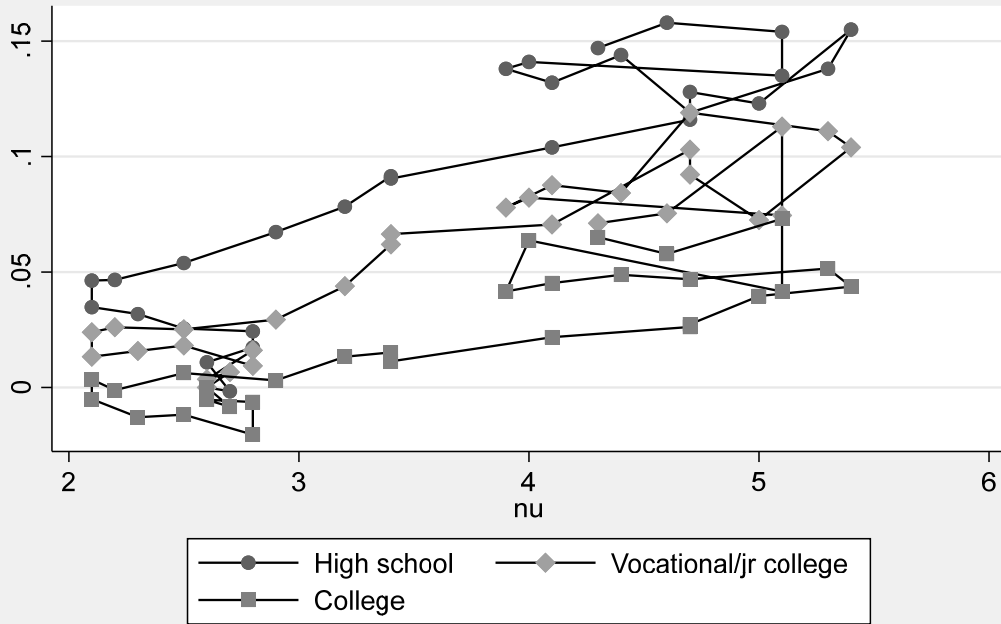
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:seiki, Female



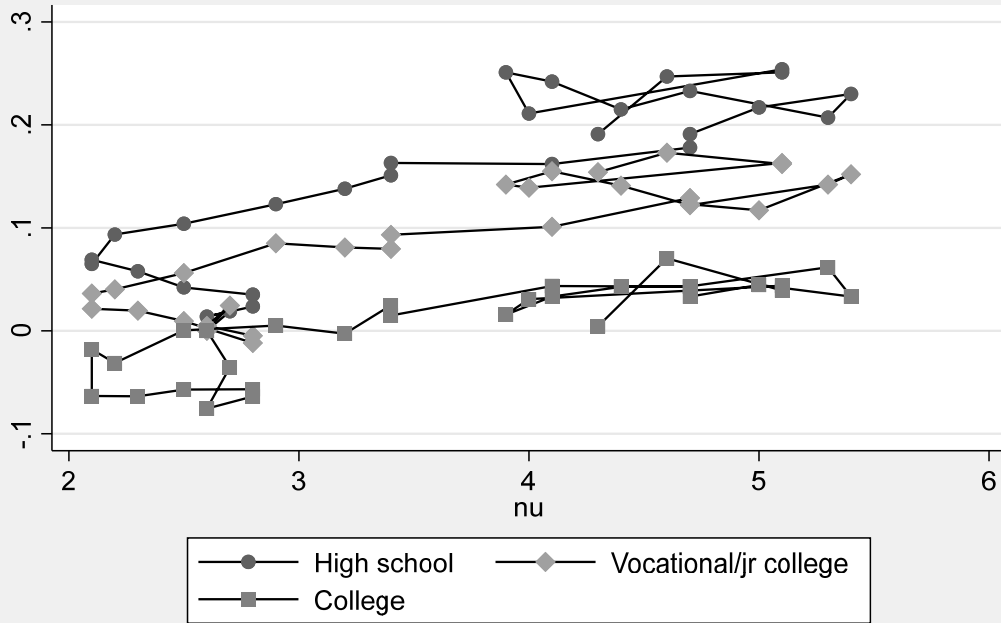
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:hiseiki, Male



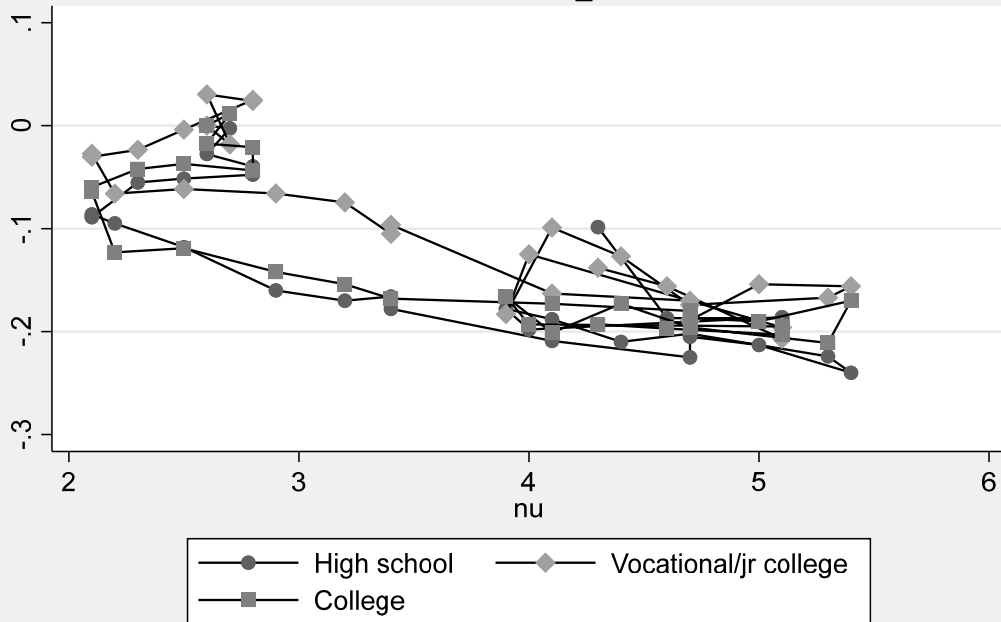
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:hiseiki, Female



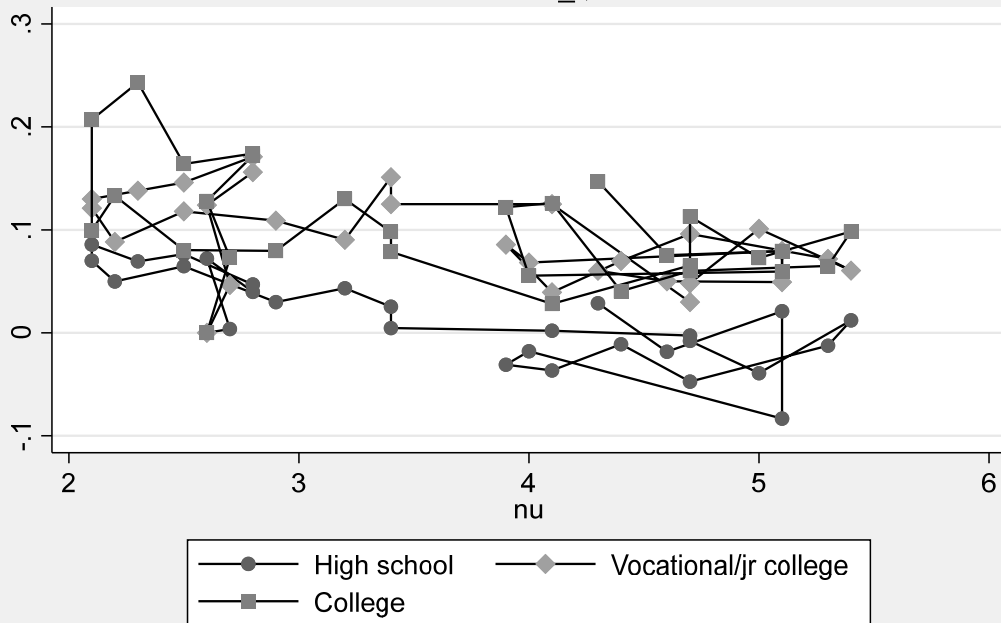
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:lrinc2\_r, Male



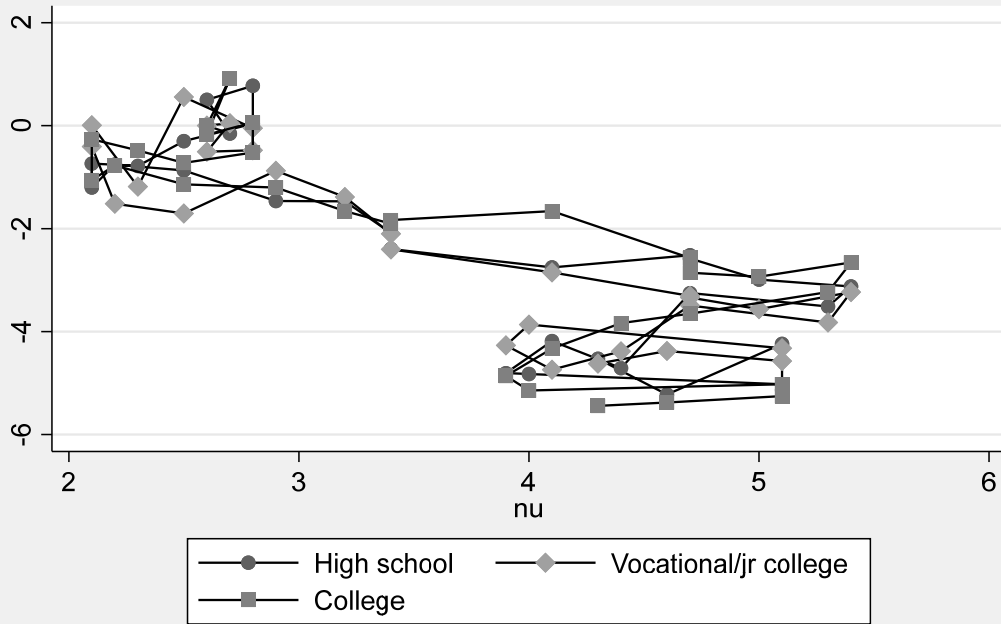
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:lrinc2\_r, Female



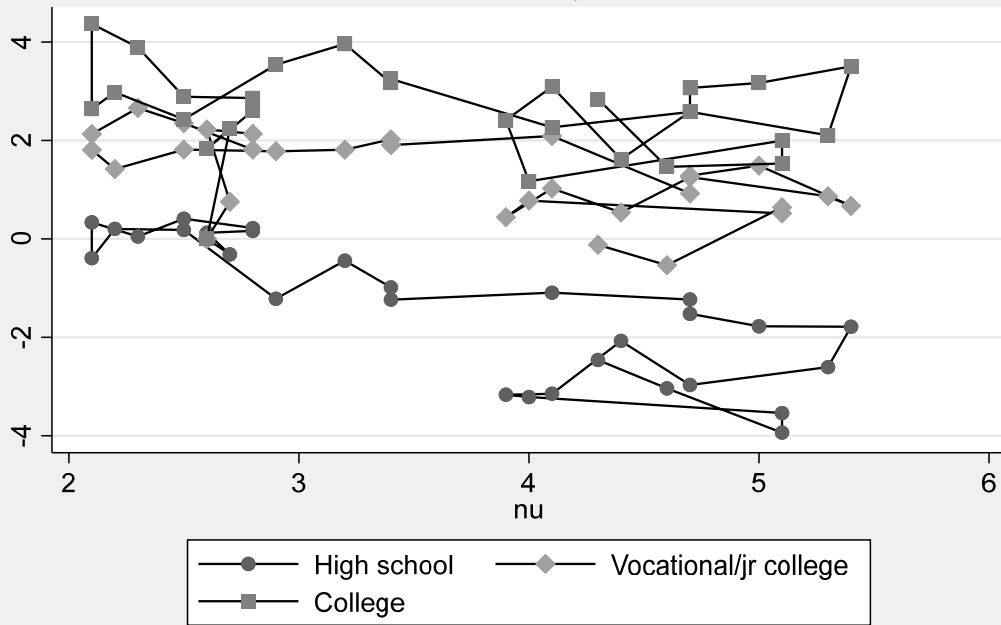
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:hours, Male



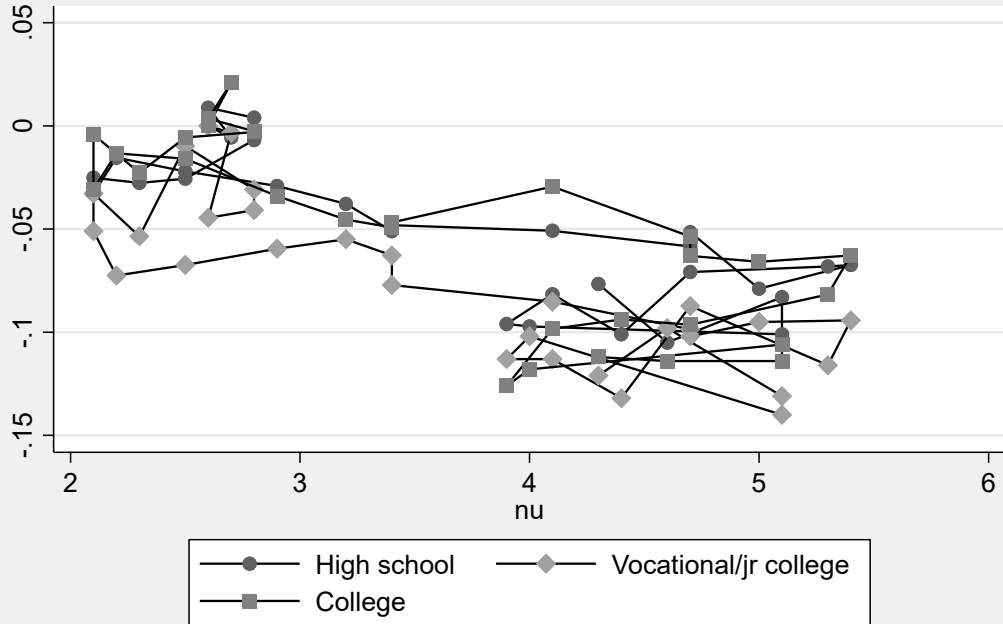
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:hours, Female



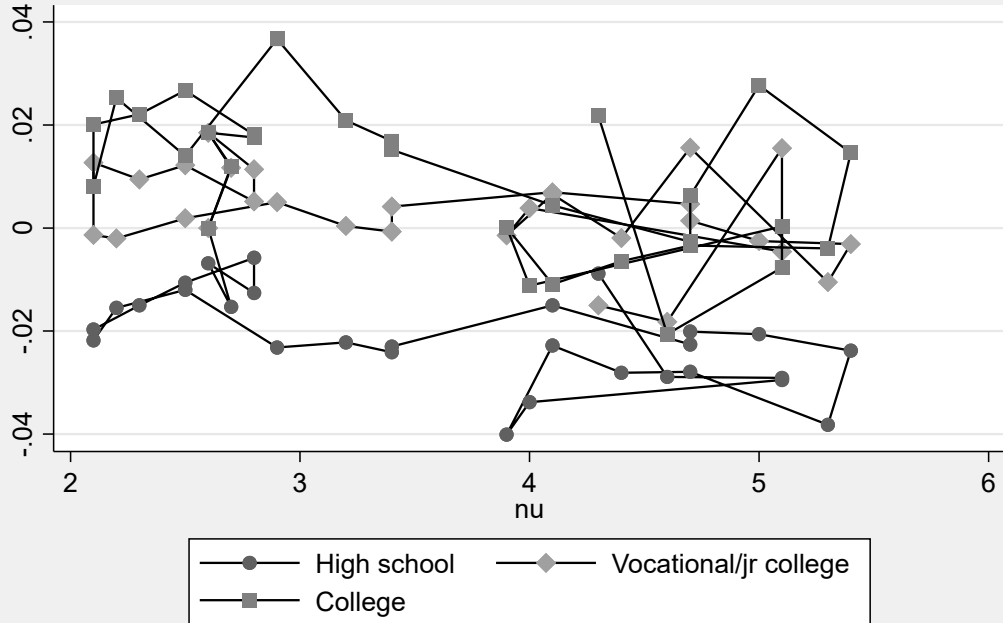
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:over60a, Male



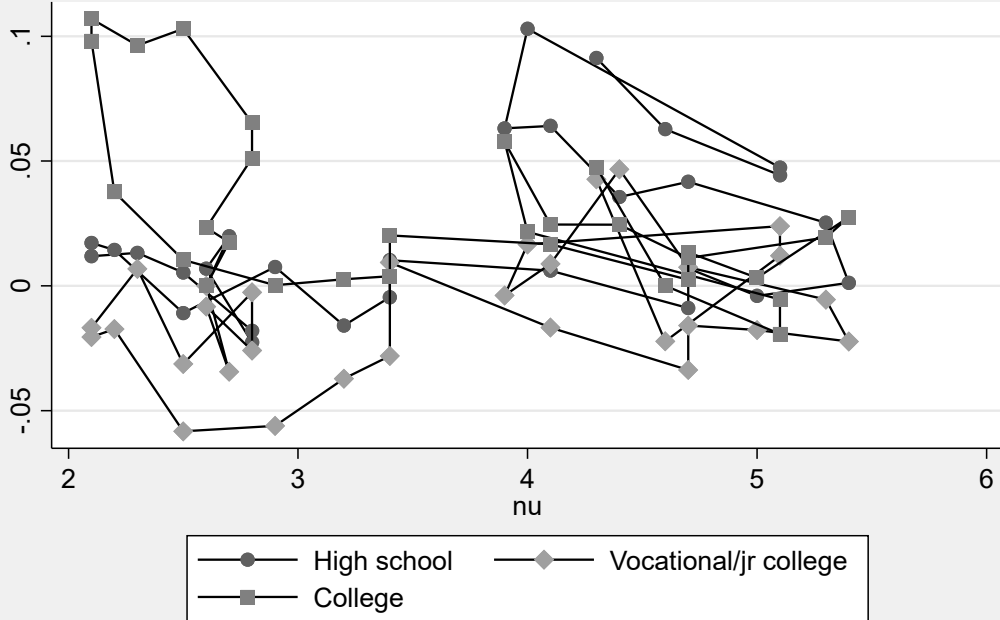
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:over60a, Female



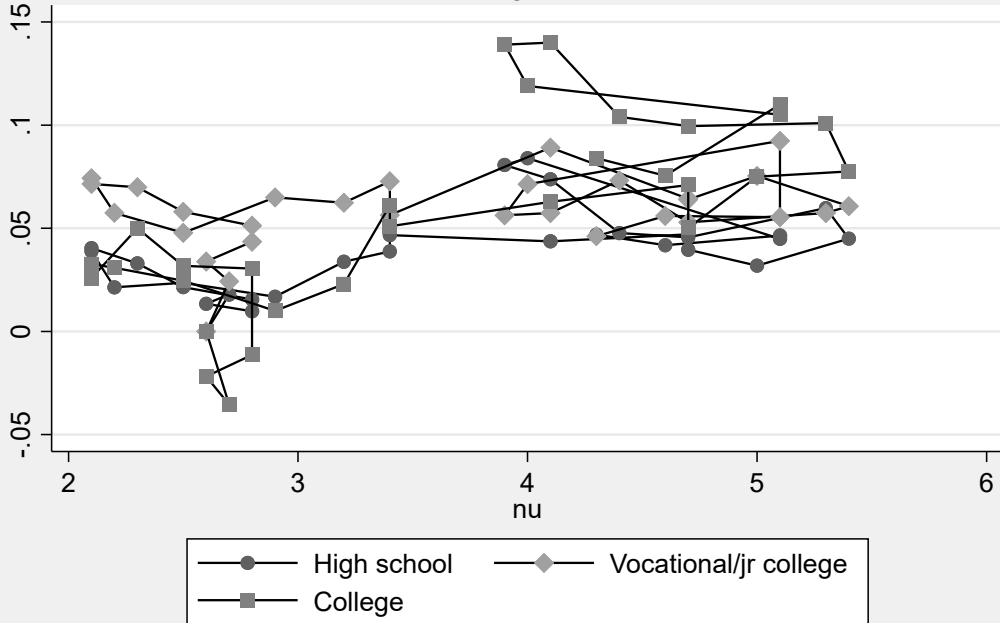
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:largefirm, Male



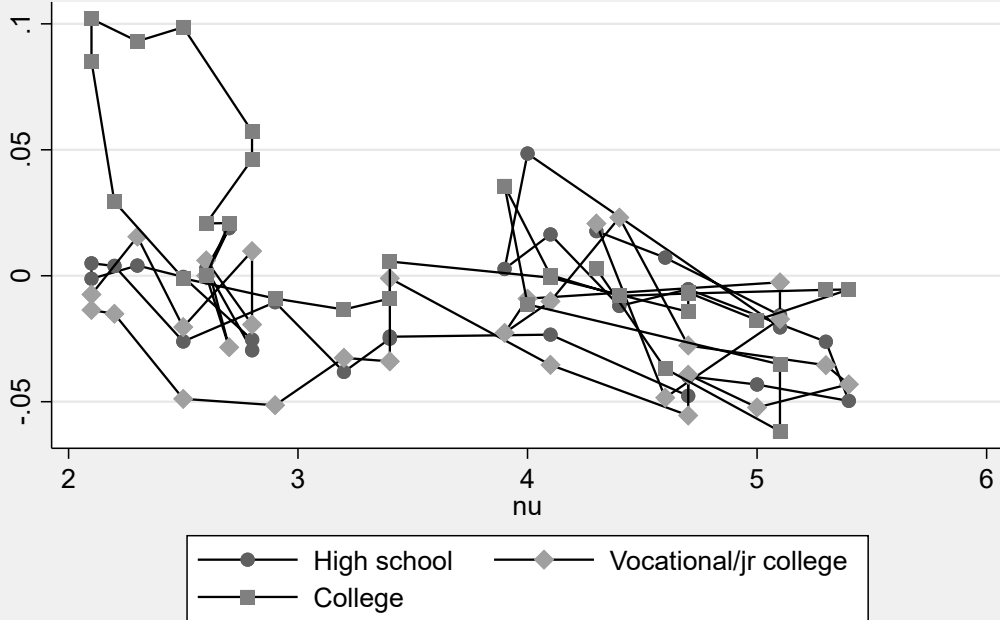
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:largefirm, Female



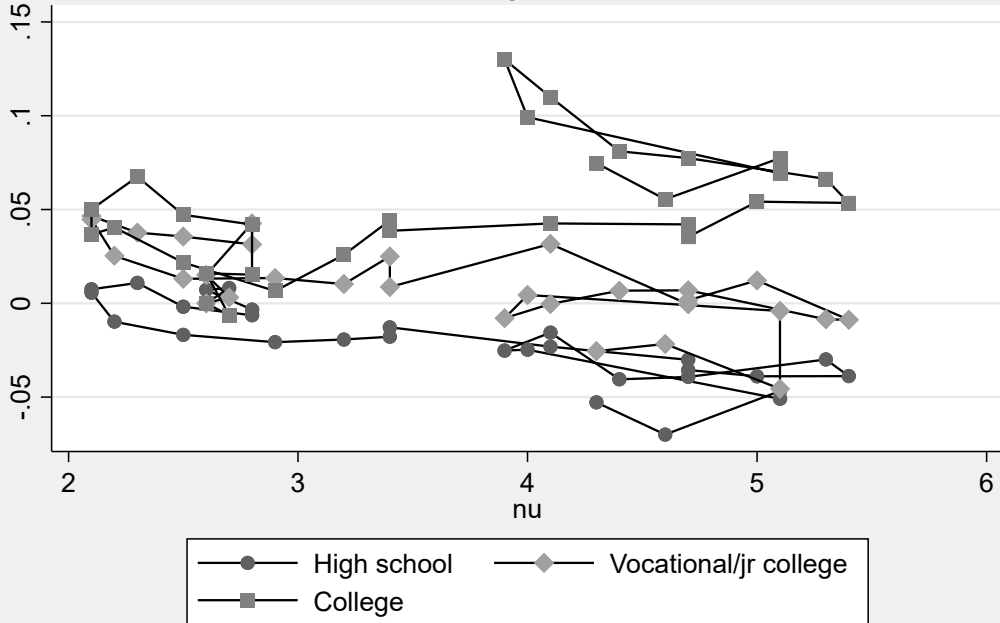
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome: largeseiki, Male



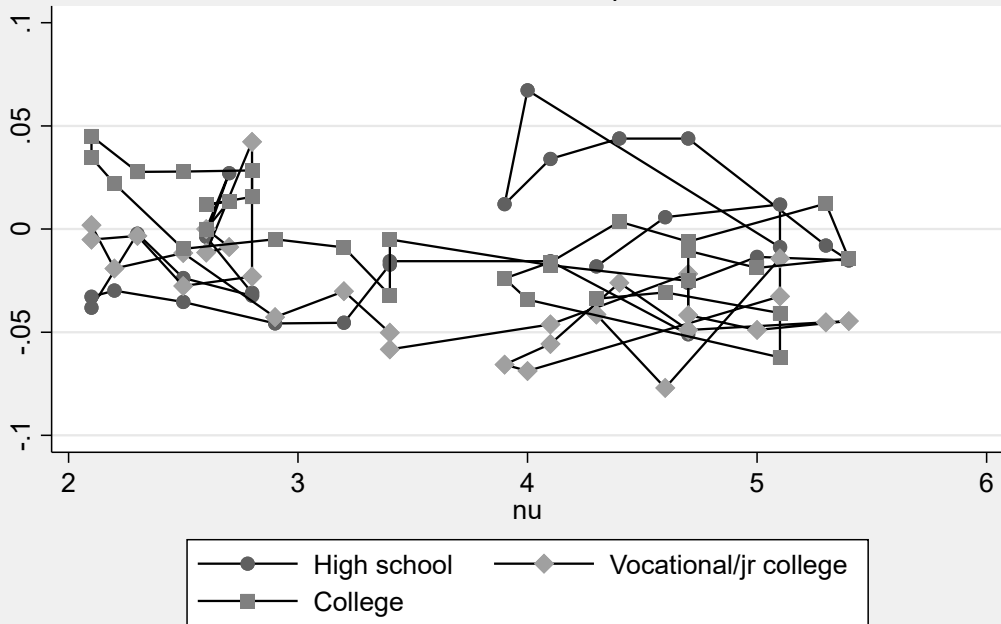
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome: largeseiki, Female



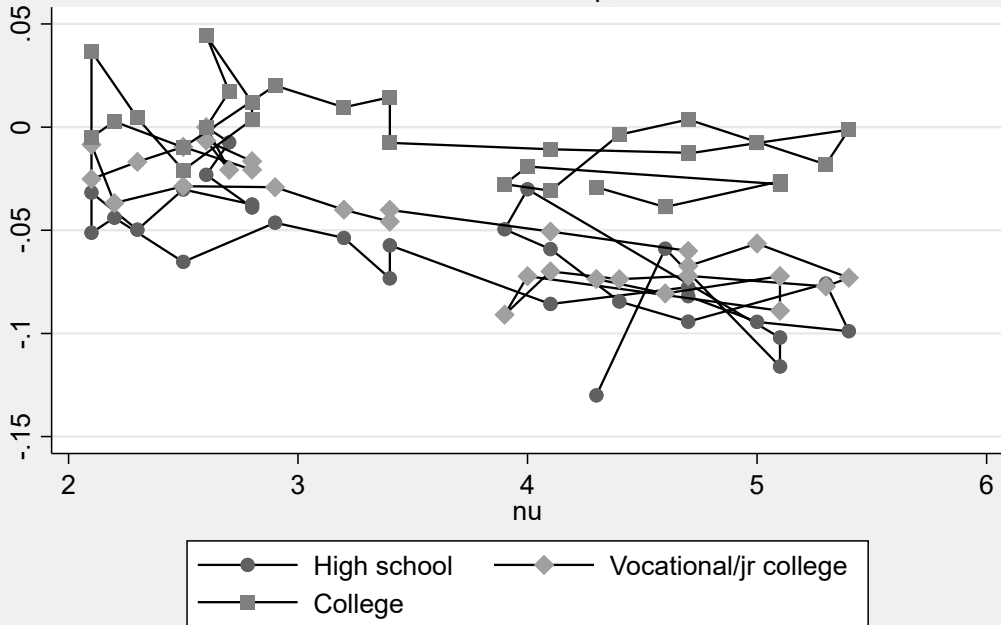
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:manuinemp, Male



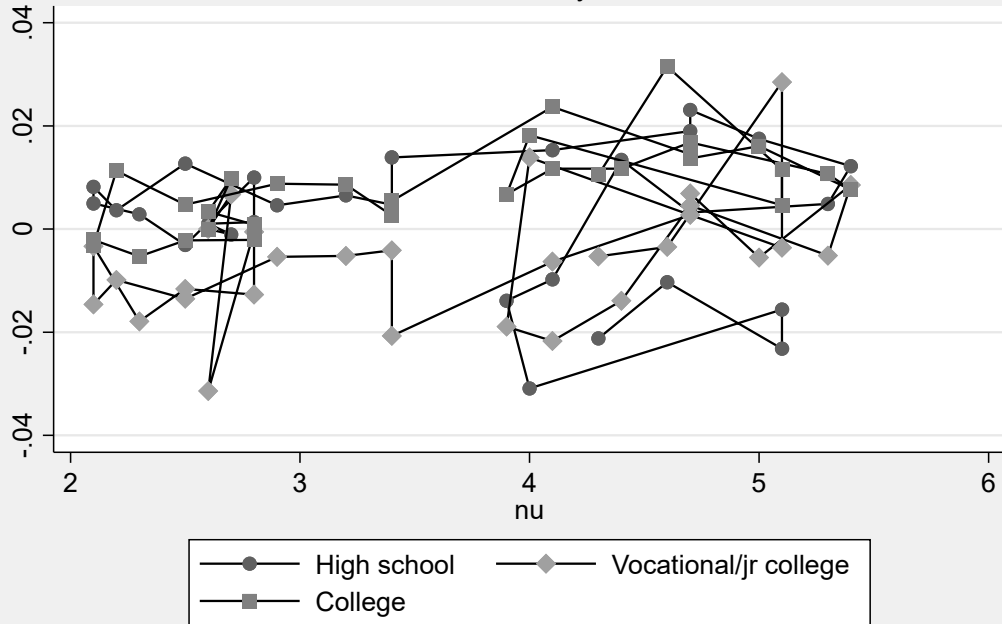
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:manuinemp, Female



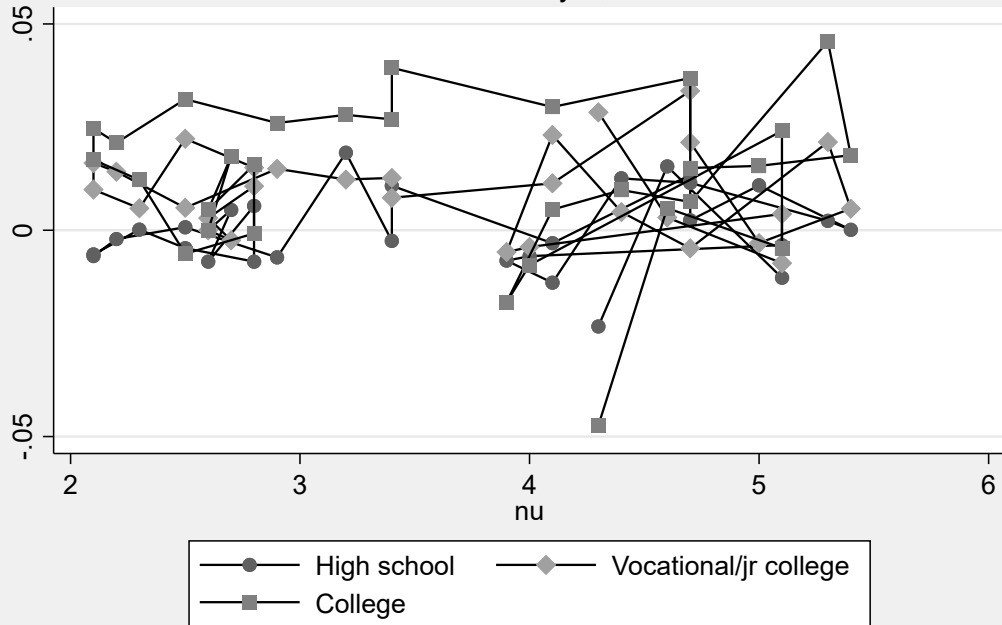
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:leave1yr2, Male



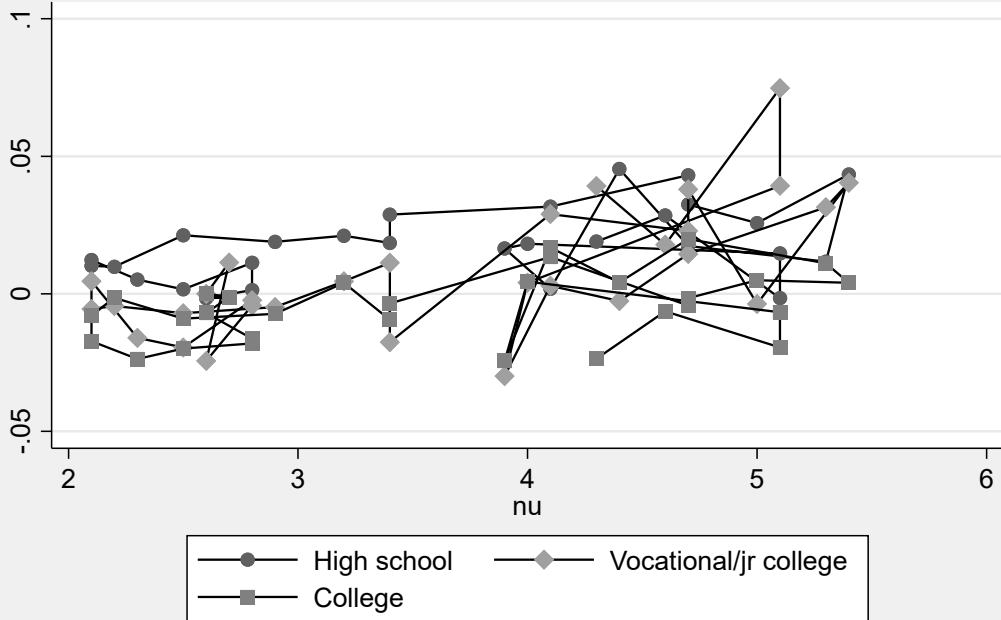
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:leave1yr2, Female



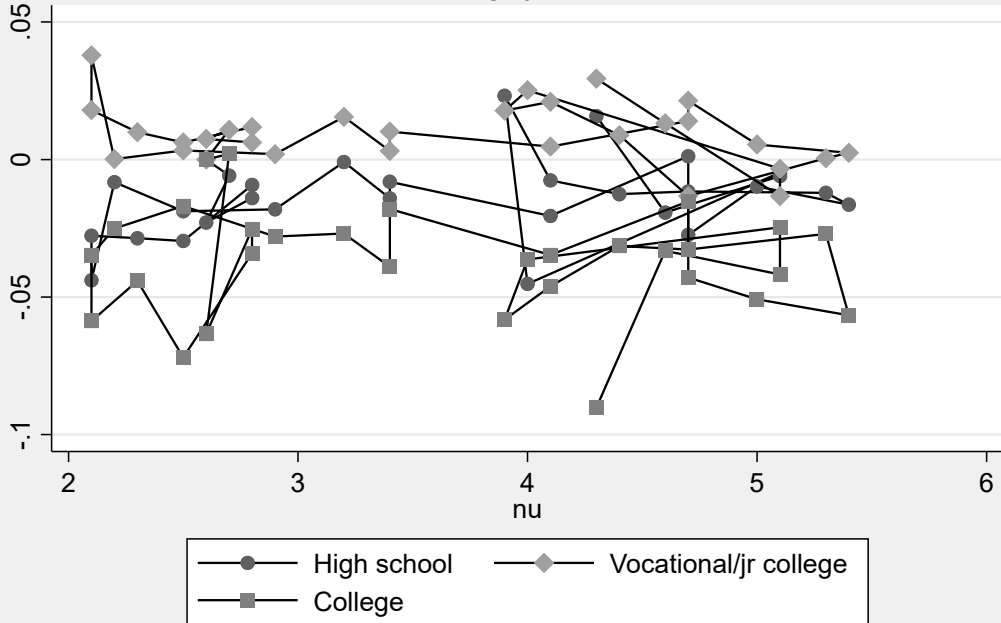
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:getjobd, Male



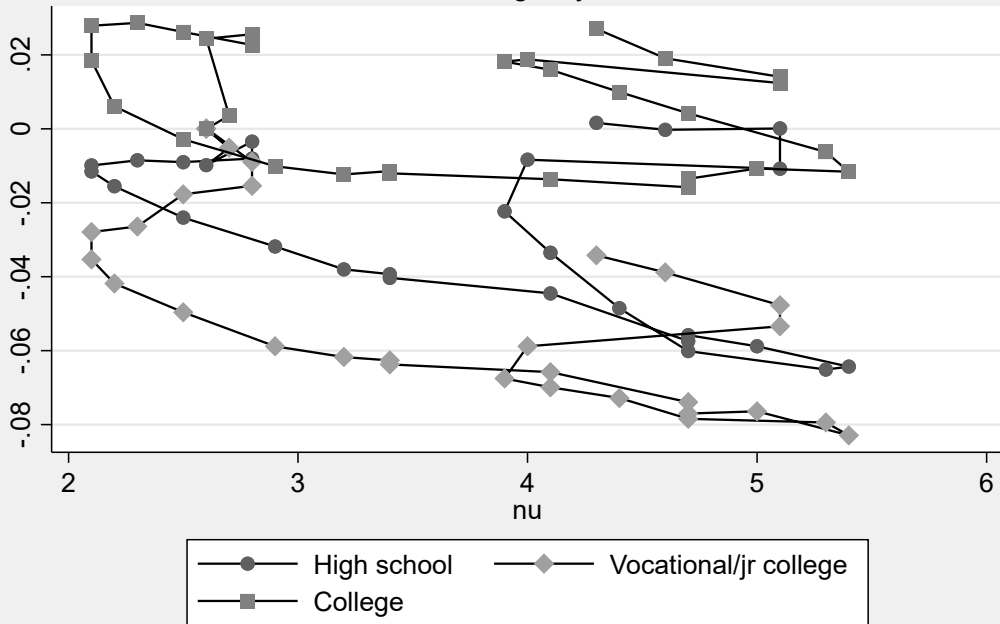
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:getjobd, Female



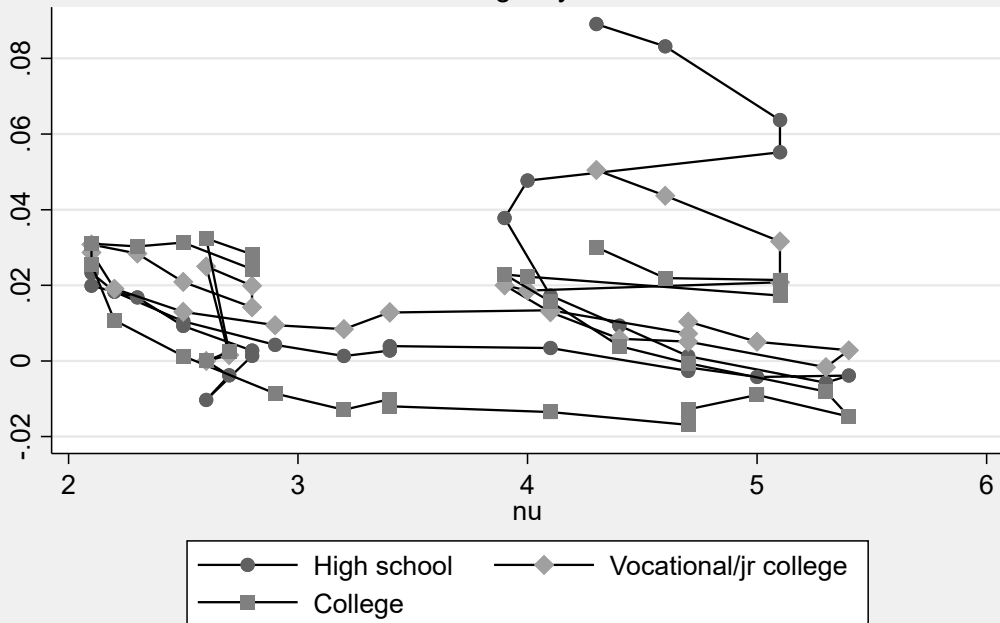
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:lrgekkyu, Male



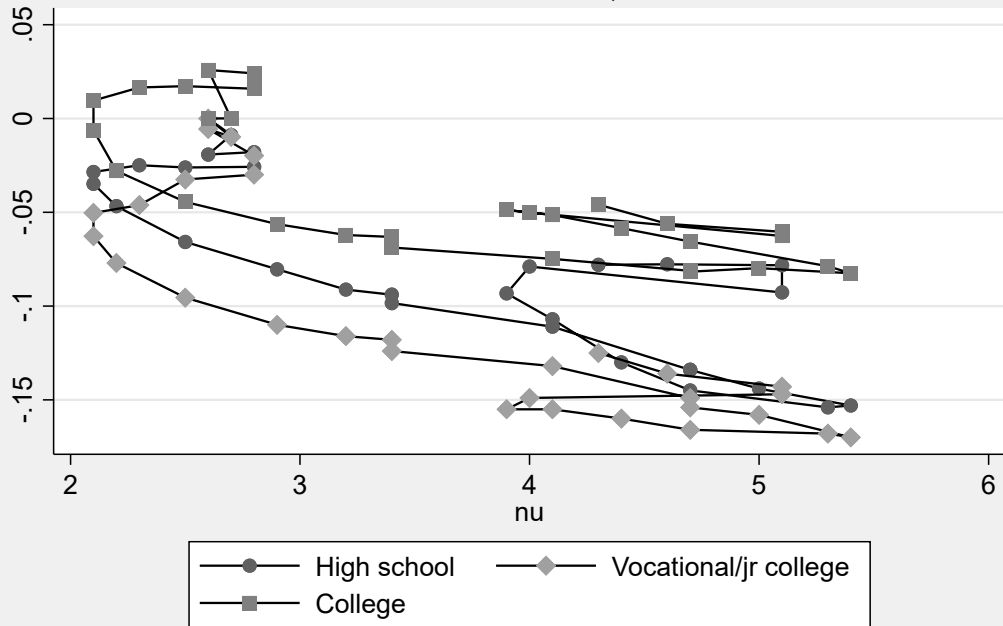
### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:lrgekkyu, Female



### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:lnenshu, Male



### コーホート効果と卒業前年失業率の関係

Outcome:lnenshu, Female

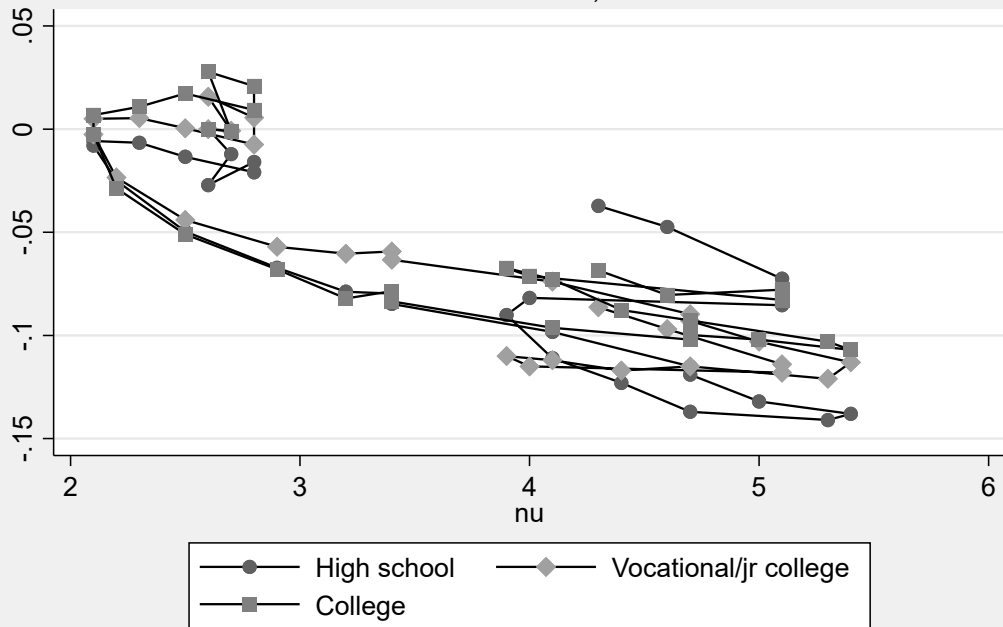


表 3a(1) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドなし）・男性

被説明変数	就業ダミー			正規雇用ダミー		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	-0.036*** [0.007]	-0.043*** [0.011]	-0.033*** [0.009]	-0.037*** [0.010]	-0.045** [0.014]	-0.038*** [0.011]
gru4_6	-0.030*** [0.005]	-0.032*** [0.006]	-0.019** [0.007]	-0.035*** [0.008]	-0.039** [0.012]	-0.028*** [0.008]
gru7_9	-0.020*** [0.004]	-0.019*** [0.004]	-0.009 [0.009]	-0.016** [0.007]	-0.017* [0.008]	-0.011 [0.009]
gru10_12	-0.020*** [0.004]	-0.012** [0.004]	-0.013 [0.008]	0.001 [0.006]	0.006 [0.007]	-0.007 [0.008]
obs	75,266	68,023	34,073	75,303	68,060	34,082
短大・高専卒						
gru1_3	-0.006 [0.017]	-0.012 [0.016]	0 [0.021]	-0.024* [0.012]	-0.040** [0.016]	0.004 [0.016]
gru4_6	-0.004 [0.010]	0.001 [0.010]	0 [0.015]	-0.009 [0.008]	-0.011 [0.014]	0.024 [0.017]
gru7_9	0.005 [0.010]	0.006 [0.009]	0.009 [0.014]	0.011 [0.011]	0 [0.014]	0.042*** [0.011]
gru10_12	0.001 [0.007]	-0.001 [0.008]	0.009 [0.010]	0.015 [0.010]	0.005 [0.010]	0.048*** [0.010]
obs	18,924	16,537	10,666	18,935	16,548	10,670
大卒						
gru1_3	-0.019** [0.008]	-0.023** [0.008]	-0.022** [0.007]	-0.039*** [0.010]	-0.044*** [0.012]	-0.044** [0.014]
gru4_6	-0.006 [0.004]	-0.009 [0.005]	-0.007 [0.006]	-0.017* [0.009]	-0.022* [0.011]	-0.022 [0.016]
gru7_9	-0.004 [0.004]	-0.006 [0.004]	-0.006 [0.005]	-0.007 [0.008]	-0.013 [0.008]	-0.01 [0.014]
gru10_12	-0.007 [0.005]	-0.006 [0.004]	-0.006 [0.007]	-0.01 [0.008]	-0.015 [0.009]	-0.011 [0.011]
obs	48,075	40,662	26,802	48,093	40,680	26,804

表 3a(2) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドなし）・男性

被説明変数	非正規雇用ダミー			対数実質年収		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	0.003 [0.006]	0.005 [0.006]	0.004 [0.007]	-0.057*** [0.015]	-0.073*** [0.020]	-0.066*** [0.016]
gru4_6	0.013** [0.005]	0.016* [0.008]	0.015** [0.007]	-0.052*** [0.012]	-0.059*** [0.017]	-0.056*** [0.015]
gru7_9	0.003 [0.007]	0.007 [0.008]	0.006 [0.010]	-0.033** [0.015]	-0.041* [0.018]	-0.022 [0.012]
gru10_12	-0.008 [0.007]	-0.005 [0.007]	-0.005 [0.012]	-0.015 [0.012]	-0.023 [0.017]	-0.005 [0.012]
obs	75,303	68,060	34,082	66,709	60,702	29,030
短大・高専卒						
gru1_3	0.026** [0.009]	0.033*** [0.008]	0.016 [0.012]	-0.034* [0.017]	-0.050** [0.020]	-0.032 [0.024]
gru4_6	0.020** [0.007]	0.027*** [0.008]	-0.005 [0.012]	-0.016 [0.020]	-0.035* [0.017]	0.015 [0.035]
gru7_9	0.009 [0.006]	0.015** [0.006]	-0.011 [0.012]	-0.001 [0.017]	-0.008 [0.015]	0.035 [0.034]
gru10_12	0.001 [0.007]	0.006 [0.006]	-0.013 [0.011]	0.01 [0.024]	0.006 [0.024]	0.034 [0.036]
obs	18,935	16,548	10,670	17,873	15,683	9,934
大卒						
gru1_3	0.013 [0.008]	0.012 [0.007]	0.021 [0.013]	-0.029* [0.015]	-0.033* [0.015]	-0.054*** [0.010]
gru4_6	0.008 [0.007]	0.009 [0.006]	0.017 [0.013]	-0.005 [0.012]	-0.012 [0.011]	-0.028 [0.015]
gru7_9	0 [0.005]	0.001 [0.005]	0.006 [0.011]	0.007 [0.011]	0.004 [0.010]	-0.007 [0.018]
gru10_12	0 [0.004]	0.003 [0.007]	0.005 [0.008]	0.006 [0.011]	-0.003 [0.013]	-0.001 [0.014]
obs	48,093	40,680	26,804	45,672	38,838	25,032

表 3a(3) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドなし）・男性

被説明変数	週の労働時間			週 60 時間以上労働		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	0.388 [0.339]	0.273 [0.380]	-0.065 [0.219]	0.019* [0.009]	0.021** [0.009]	0.012 [0.008]
gru4_6	0.311** [0.128]	0.278 [0.180]	-0.136 [0.153]	0.027*** [0.006]	0.030*** [0.007]	0.016*** [0.005]
gru7_9	0.305** [0.099]	0.350** [0.136]	0.312* [0.163]	0.025*** [0.007]	0.027*** [0.007]	0.022** [0.009]
gru10_12	0.348** [0.123]	0.325 [0.202]	0.425** [0.166]	0.022** [0.007]	0.022** [0.008]	0.019** [0.007]
obs	64,864	59,012	27,921	64,864	59,012	27,921
短大・高専卒						
gru1_3	0.077 [0.432]	-0.013 [0.432]	-0.102 [0.696]	0.002 [0.008]	-0.001 [0.009]	-0.008 [0.013]
gru4_6	0.544 [0.424]	0.336 [0.417]	0.541 [0.664]	0.013 [0.010]	0.011 [0.011]	0.013 [0.014]
gru7_9	-0.181 [0.491]	-0.564 [0.472]	-0.431 [0.818]	-0.007 [0.012]	-0.013 [0.013]	-0.013 [0.019]
gru10_12	-0.178 [0.505]	-0.542 [0.506]	-0.196 [0.691]	-0.004 [0.016]	-0.009 [0.016]	-0.01 [0.020]
obs	17,548	15,409	9,679	17,548	15,409	9,679
大卒						
gru1_3	0.346 [0.337]	0.182 [0.301]	0.066 [0.237]	0.01 [0.012]	0.009 [0.014]	0.015 [0.011]
gru4_6	0.431 [0.306]	0.28 [0.343]	0.029 [0.275]	0.009 [0.010]	0.008 [0.012]	0.009 [0.007]
gru7_9	0.433* [0.215]	0.327 [0.189]	0.266 [0.281]	0.008 [0.008]	0.008 [0.009]	0.007 [0.009]
gru10_12	0.141 [0.182]	0.23 [0.181]	-0.055 [0.293]	0 [0.008]	0.003 [0.008]	0.007 [0.010]
obs	45,183	38,460	24,613	45,183	38,460	24,613

表 3a(4) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドなし）・男性

被説明変数	企業規模 500 人以上			企業規模 500 人以上で正規雇用		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	-0.019* [0.008]	-0.024** [0.008]	-0.02 [0.012]	-0.019** [0.008]	-0.023** [0.008]	-0.015 [0.011]
gru4_6	-0.01 [0.008]	-0.008 [0.007]	-0.015 [0.013]	-0.013** [0.005]	-0.013* [0.006]	-0.015 [0.011]
gru7_9	-0.007 [0.007]	-0.001 [0.004]	-0.017 [0.012]	-0.007 [0.004]	-0.003 [0.003]	-0.013 [0.010]
gru10_12	-0.006 [0.009]	0.008 [0.005]	-0.017 [0.017]	-0.003 [0.006]	0.006 [0.004]	-0.013 [0.012]
obs	75,266	68,023	34,073	75,266	68,023	34,073
短大・高専卒						
gru1_3	-0.003 [0.010]	0.002 [0.017]	0.012 [0.008]	-0.009 [0.010]	-0.003 [0.015]	0.009 [0.011]
gru4_6	-0.012* [0.006]	-0.005 [0.010]	-0.001 [0.010]	-0.021*** [0.003]	-0.018** [0.008]	-0.002 [0.008]
gru7_9	-0.015* [0.008]	-0.009 [0.010]	0.006 [0.010]	-0.024*** [0.007]	-0.021** [0.009]	0.002 [0.010]
gru10_12	-0.01 [0.006]	-0.015** [0.005]	0.004 [0.011]	-0.015* [0.007]	-0.020*** [0.006]	0.004 [0.012]
obs	18,924	16,537	10,666	18,924	16,537	10,666
大卒						
gru1_3	-0.034*** [0.009]	-0.052*** [0.014]	-0.017 [0.011]	-0.041*** [0.009]	-0.055*** [0.016]	-0.027** [0.010]
gru4_6	-0.013 [0.009]	-0.022 [0.012]	-0.003 [0.015]	-0.016 [0.009]	-0.023* [0.013]	-0.008 [0.015]
gru7_9	-0.017 [0.013]	-0.022 [0.015]	-0.009 [0.017]	-0.014 [0.014]	-0.019 [0.015]	-0.007 [0.017]
gru10_12	-0.028* [0.013]	-0.036** [0.015]	-0.009 [0.018]	-0.027* [0.014]	-0.036* [0.017]	-0.011 [0.018]
obs	48,075	40,662	26,802	48,075	40,662	26,802

表 3a(5) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドなし）・男性

被説明変数	製造業（就業者のみ）			直近 1 年以内離職		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	-0.006 [0.017]	0.002 [0.018]	0.005 [0.017]	0.003 [0.008]	0 [0.006]	0.001 [0.010]
gru4_6	-0.011 [0.012]	-0.013 [0.014]	-0.011 [0.017]	0.006 [0.006]	0.006 [0.006]	0.009 [0.009]
gru7_9	-0.004 [0.012]	-0.006 [0.012]	0.001 [0.020]	0.01 [0.005]	0.010* [0.005]	0.014 [0.008]
gru10_12	0.003 [0.010]	0.002 [0.012]	0.001 [0.020]	0.003 [0.006]	0.003 [0.006]	0 [0.007]
obs	65,342	59,409	28,244	75,266	68,023	34,073
短大・高専卒						
gru1_3	-0.003 [0.017]	-0.008 [0.020]	0.003 [0.016]	-0.002 [0.014]	0.009 [0.016]	-0.008 [0.019]
gru4_6	-0.012 [0.013]	-0.014 [0.016]	-0.007 [0.016]	0.001 [0.008]	0.007 [0.009]	-0.007 [0.011]
gru7_9	-0.027* [0.013]	-0.029** [0.013]	-0.013 [0.013]	-0.001 [0.008]	0.002 [0.009]	-0.003 [0.011]
gru10_12	-0.035*** [0.011]	-0.033** [0.013]	-0.032** [0.010]	-0.001 [0.007]	0.004 [0.006]	-0.013 [0.014]
obs	17,648	15,490	9,751	18,924	16,537	10,666
大卒						
gru1_3	-0.036** [0.015]	-0.039* [0.019]	-0.019* [0.010]	0.005 [0.005]	0.008** [0.004]	0.006 [0.009]
gru4_6	-0.006 [0.014]	-0.01 [0.015]	0.004 [0.016]	0.007** [0.002]	0.013*** [0.002]	0.007 [0.006]
gru7_9	-0.006 [0.014]	-0.006 [0.018]	0.002 [0.013]	0.003 [0.002]	0.008*** [0.002]	0.001 [0.006]
gru10_12	-0.007 [0.012]	-0.006 [0.014]	-0.001 [0.016]	0.004 [0.003]	0.012*** [0.003]	0.001 [0.007]
obs	45,475	38,675	24,811	48,075	40,662	26,802

表 3a(6) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドなし）・男性

被説明変数	直近 1 年以内就職（就業者のみ）			対数実質月給（フルタイム雇用者のみ）		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	0.044*** [0.007]	0.062*** [0.005]	0.055*** [0.011]	-0.012** [0.004]	-0.018*** [0.005]	-0.008** [0.003]
gru4_6	0.023** [0.007]	0.034*** [0.007]	0.02 [0.011]	-0.008** [0.003]	-0.013*** [0.004]	-0.001 [0.004]
gru7_9	0.009 [0.005]	0.01 [0.007]	0.008 [0.007]	-0.006* [0.003]	-0.010** [0.004]	0.003 [0.006]
gru10_12	-0.008 [0.006]	-0.020** [0.008]	-0.014 [0.009]	-0.007 [0.004]	-0.011** [0.004]	0.003 [0.006]
obs	65,342	59,409	28,244	2,211,914	1,971,372	1,059,883
短大・高専卒						
gru1_3	0.055*** [0.013]	0.079*** [0.015]	0.065*** [0.017]	-0.012*** [0.002]	-0.016*** [0.003]	-0.012*** [0.002]
gru4_6	0.028** [0.009]	0.037*** [0.010]	0.017 [0.015]	-0.006*** [0.002]	-0.009*** [0.002]	-0.003 [0.002]
gru7_9	-0.002 [0.005]	-0.006 [0.008]	-0.003 [0.010]	-0.005** [0.002]	-0.008** [0.002]	0 [0.003]
gru10_12	-0.017** [0.007]	-0.034*** [0.010]	-0.018 [0.012]	-0.005* [0.003]	-0.006* [0.003]	-0.002 [0.003]
obs	17,648	15,490	9,751	620,553	536,027	371,623
大卒						
gru1_3	0.025* [0.012]	0.063*** [0.009]	0.037** [0.012]	-0.001 [0.005]	-0.004 [0.004]	-0.008* [0.004]
gru4_6	0.034*** [0.005]	0.053*** [0.004]	0.028** [0.011]	0.002 [0.005]	0.001 [0.004]	-0.001 [0.005]
gru7_9	0.009** [0.004]	0.015*** [0.004]	-0.001 [0.010]	0.001 [0.005]	0.002 [0.005]	0.001 [0.006]
gru10_12	0.001 [0.006]	-0.003 [0.004]	-0.006 [0.011]	0.001 [0.006]	0.001 [0.005]	0 [0.007]
obs	45,475	38,675	24,811	2,171,701	1,807,513	1,307,927

表 3a(7) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドなし）・男性

被説明変数	対数実質年収（フルタイム雇用者のみ）		
学卒年 コーホート	1984-2013	1984-2004	1993-2013
高卒			
gru1_3	-0.022*** [0.004]	-0.031*** [0.003]	-0.013** [0.005]
gru4_6	-0.017*** [0.004]	-0.023*** [0.004]	-0.003 [0.006]
gru7_9	-0.011** [0.004]	-0.016*** [0.005]	0.004 [0.007]
gru10_12	-0.008 [0.005]	-0.013** [0.005]	0.007 [0.007]
obs	2,213,007	1,972,370	1,060,365
短大・高専卒			
gru1_3	-0.019*** [0.002]	-0.031*** [0.003]	-0.017*** [0.004]
gru4_6	-0.010*** [0.002]	-0.016*** [0.003]	-0.004 [0.004]
gru7_9	-0.006** [0.002]	-0.010*** [0.003]	0.002 [0.004]
gru10_12	-0.004 [0.003]	-0.004 [0.003]	0.001 [0.005]
obs	620,808	536,242	371,776
大卒			
gru1_3	-0.007 [0.005]	-0.016** [0.005]	-0.012** [0.004]
gru4_6	-0.003 [0.005]	-0.006 [0.004]	-0.003 [0.006]
gru7_9	0 [0.006]	0 [0.005]	0.003 [0.008]
gru10_12	0.002 [0.007]	0.005 [0.007]	0.003 [0.009]
obs	2,172,298	1,807,991	1,308,329

表 3b(1) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドなし）・女性

被説明変数	就業ダミー			正規雇用ダミー		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	-0.026** [0.010]	-0.030** [0.011]	-0.018 [0.010]	-0.049*** [0.012]	-0.054*** [0.014]	-0.038* [0.018]
gru4_6	-0.012 [0.009]	-0.01 [0.011]	-0.007 [0.008]	-0.029** [0.010]	-0.028** [0.011]	-0.02 [0.016]
gru7_9	-0.004 [0.008]	-0.008 [0.010]	0.001 [0.008]	-0.009 [0.009]	-0.013 [0.010]	-0.006 [0.013]
gru10_12	0.005 [0.010]	0.008 [0.012]	0.003 [0.012]	0.001 [0.010]	-0.001 [0.011]	0.014 [0.016]
obs	68,320	61,962	29,494	68,343	61,985	29,497
短大・高専卒						
gru1_3	0.009 [0.014]	0.014 [0.012]	0.005 [0.013]	-0.021 [0.011]	-0.023 [0.013]	-0.021 [0.013]
gru4_6	0.013 [0.012]	0.017 [0.011]	0.004 [0.012]	-0.002 [0.011]	-0.007 [0.013]	-0.008 [0.008]
gru7_9	0.012 [0.011]	0.018 [0.011]	-0.005 [0.008]	0.007 [0.009]	0.008 [0.011]	-0.007 [0.009]
gru10_12	0.013 [0.012]	0.017 [0.011]	-0.005 [0.014]	0.007 [0.015]	0.009 [0.014]	-0.011 [0.012]
obs	49,370	44,313	25,725	49,374	44,317	25,726
大卒						
gru1_3	0.024 [0.014]	0.048*** [0.010]	0.007 [0.014]	-0.011 [0.017]	0.019 [0.013]	-0.034* [0.018]
gru4_6	0.025** [0.011]	0.042*** [0.007]	0.01 [0.009]	0.008 [0.015]	0.039*** [0.009]	-0.017 [0.012]
gru7_9	0.027* [0.013]	0.035** [0.014]	0.009 [0.013]	0.012 [0.014]	0.028* [0.013]	-0.02 [0.015]
gru10_12	0.015 [0.015]	0.021 [0.016]	0.007 [0.017]	0.002 [0.016]	0.01 [0.021]	-0.015 [0.014]
obs	27,125	20,945	18,814	27,130	20,950	18,815

表 3b(2) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドなし）・女性

被説明変数	非正規雇用ダミー			対数実質年収		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	0.024** [0.009]	0.025** [0.009]	0.015 [0.012]	-0.072*** [0.021]	-0.095*** [0.019]	-0.048** [0.021]
gru4_6	0.017*** [0.004]	0.018*** [0.005]	0.007 [0.011]	-0.044** [0.017]	-0.054** [0.019]	-0.026 [0.020]
gru7_9	0.008 [0.005]	0.009** [0.004]	0.003 [0.009]	-0.021* [0.012]	-0.032** [0.014]	0.002 [0.018]
gru10_12	0.004 [0.005]	0.010* [0.005]	-0.017 [0.009]	-0.004 [0.012]	-0.01 [0.015]	0.031 [0.024]
obs	68,343	61,985	29,497	49,807	44,958	21,830
短大・高専卒						
gru1_3	0.030*** [0.009]	0.035*** [0.010]	0.027* [0.014]	-0.041** [0.018]	-0.062*** [0.018]	-0.033 [0.025]
gru4_6	0.014 [0.008]	0.021* [0.010]	0.013 [0.013]	-0.004 [0.018]	-0.017 [0.020]	0.016 [0.023]
gru7_9	0.002 [0.009]	0.005 [0.009]	0.004 [0.014]	0.014 [0.016]	0.01 [0.019]	0.027 [0.027]
gru10_12	0.003 [0.009]	0.002 [0.010]	0.002 [0.014]	0.018 [0.019]	0.025 [0.023]	0.013 [0.021]
obs	49,374	44,317	25,726	39,344	34,992	21,257
大卒						
gru1_3	0.033*** [0.009]	0.025* [0.011]	0.038** [0.015]	-0.01 [0.017]	-0.007 [0.015]	-0.02 [0.023]
gru4_6	0.020** [0.008]	0.007 [0.009]	0.030** [0.012]	0.018 [0.025]	0.03 [0.020]	0.002 [0.025]
gru7_9	0.017** [0.006]	0.007 [0.009]	0.029** [0.010]	0.018 [0.026]	0.027 [0.021]	-0.014 [0.029]
gru10_12	0.012* [0.006]	0.01 [0.008]	0.021** [0.009]	0.039 [0.025]	0.048* [0.026]	0.026 [0.029]
obs	27,130	20,950	18,815	21,869	16,589	15,525

表 3b(3) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドなし）・女性

被説明変数	週の労働時間			週 60 時間以上労働		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	-0.096 [0.380]	-0.177 [0.316]	-0.675 [0.610]	0.003 [0.007]	0.007 [0.008]	-0.007 [0.006]
gru4_6	0.196 [0.278]	0.183 [0.176]	-0.463 [0.606]	0.004 [0.004]	0.005 [0.005]	-0.004 [0.004]
gru7_9	0.44 [0.290]	0.389* [0.197]	-0.337 [0.575]	0.001 [0.003]	0.002 [0.003]	-0.009* [0.005]
gru10_12	0.202 [0.289]	0.002 [0.166]	0.072 [0.543]	-0.002 [0.003]	-0.003 [0.003]	-0.004 [0.004]
obs	46,059	41,616	19,999	46,059	41,616	19,999
短大・高専卒						
gru1_3	0.172 [0.250]	0.166 [0.254]	0.268 [0.417]	0.009 [0.006]	0.007 [0.006]	0.019* [0.009]
gru4_6	0.468 [0.292]	0.473 [0.318]	0.586 [0.372]	0.006 [0.005]	0.003 [0.005]	0.011 [0.008]
gru7_9	0.638* [0.288]	0.627* [0.323]	0.666** [0.282]	0.006 [0.005]	0.002 [0.004]	0.008 [0.005]
gru10_12	0.41 [0.373]	0.24 [0.454]	0.418 [0.241]	0.003 [0.006]	-0.002 [0.007]	0.007 [0.006]
obs	36,746	32,709	19,766	36,746	32,709	19,766
大卒						
gru1_3	0.168 [0.354]	0.245 [0.318]	0.354 [0.468]	-0.001 [0.007]	-0.004 [0.011]	0 [0.007]
gru4_6	0.412 [0.256]	0.539* [0.283]	0.549* [0.296]	0.004 [0.005]	0.001 [0.006]	0.006 [0.004]
gru7_9	0.281 [0.256]	0.552** [0.228]	-0.286 [0.243]	-0.003 [0.004]	-0.002 [0.004]	-0.009 [0.006]
gru10_12	0.359 [0.261]	0.787*** [0.239]	0.292 [0.293]	0.004 [0.005]	0.009 [0.006]	-0.001 [0.005]
obs	20,249	15,412	14,231	20,249	15,412	14,231

表 3b(4) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドなし）・女性

被説明変数	企業規模 500 人以上			企業規模 500 人以上で正規雇用		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	-0.041*** [0.008]	-0.047*** [0.009]	-0.019** [0.006]	-0.045*** [0.009]	-0.050*** [0.012]	-0.019** [0.008]
gru4_6	-0.027*** [0.004]	-0.031*** [0.005]	-0.015** [0.006]	-0.023*** [0.005]	-0.026*** [0.007]	-0.007 [0.007]
gru7_9	-0.013** [0.005]	-0.01 [0.006]	-0.01 [0.007]	-0.011** [0.005]	-0.01 [0.006]	-0.006 [0.007]
gru10_12	-0.002 [0.005]	0.003 [0.007]	-0.002 [0.008]	0 [0.007]	0.001 [0.008]	0.005 [0.009]
obs	68,320	61,962	29,494	68,320	61,962	29,494
短大・高専卒						
gru1_3	-0.022** [0.007]	-0.030*** [0.007]	-0.01 [0.006]	-0.033*** [0.007]	-0.044*** [0.006]	-0.019** [0.007]
gru4_6	-0.001 [0.006]	-0.006 [0.005]	0.014 [0.010]	-0.009 [0.006]	-0.018** [0.006]	0.007 [0.008]
gru7_9	0.004 [0.006]	0.003 [0.005]	0.01 [0.011]	0.001 [0.005]	-0.005 [0.005]	0.007 [0.006]
gru10_12	0.006 [0.006]	0.011* [0.005]	0.006 [0.011]	0.002 [0.006]	0.004 [0.007]	0.003 [0.006]
obs	49,370	44,313	25,725	49,370	44,313	25,725
大卒						
gru1_3	-0.014 [0.014]	-0.024 [0.016]	0.004 [0.015]	-0.037** [0.012]	-0.044** [0.014]	-0.026** [0.010]
gru4_6	0.003 [0.010]	-0.009 [0.010]	0.024** [0.010]	-0.020* [0.010]	-0.024** [0.010]	-0.009 [0.009]
gru7_9	-0.007 [0.010]	-0.021* [0.011]	0.009 [0.010]	-0.018* [0.009]	-0.024* [0.012]	-0.012 [0.009]
gru10_12	-0.001 [0.010]	-0.014 [0.013]	0.008 [0.010]	-0.015* [0.008]	-0.021 [0.012]	-0.013* [0.007]
obs	27,125	20,945	18,814	27,125	20,945	18,814

表 3b(5) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドなし）・女性

被説明変数	製造業（就業者のみ）			直近 1 年以内離職		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	-0.021** [0.007]	-0.019 [0.011]	-0.002 [0.018]	0.012 [0.009]	0.013 [0.011]	-0.003 [0.008]
gru4_6	-0.014 [0.010]	-0.012 [0.013]	0.016 [0.016]	0.01 [0.008]	0.013 [0.010]	0.003 [0.010]
gru7_9	-0.01 [0.007]	-0.005 [0.011]	0.008 [0.015]	0.009 [0.006]	0.011 [0.007]	0.008 [0.008]
gru10_12	-0.004 [0.007]	-0.001 [0.011]	0.005 [0.014]	0.009 [0.008]	0.009 [0.007]	0 [0.009]
obs	46,717	42,129	20,490	68,320	61,962	29,494
短大・高専卒						
gru1_3	-0.005 [0.009]	-0.009 [0.012]	0.012 [0.011]	0.005 [0.011]	0.01 [0.011]	0.007 [0.010]
gru4_6	-0.007 [0.008]	-0.01 [0.010]	0.009 [0.011]	-0.002 [0.009]	-0.003 [0.010]	-0.001 [0.008]
gru7_9	-0.006 [0.007]	-0.011 [0.008]	0.01 [0.012]	-0.002 [0.006]	-0.004 [0.007]	0.001 [0.006]
gru10_12	-0.003 [0.007]	-0.008 [0.007]	0.012 [0.011]	0.001 [0.007]	0.001 [0.009]	-0.001 [0.009]
obs	37,460	33,224	20,376	49,370	44,313	25,725
大卒						
gru1_3	-0.008 [0.009]	-0.022 [0.014]	0.008 [0.005]	0.007 [0.007]	-0.014 [0.013]	0.011 [0.009]
gru4_6	-0.005 [0.009]	-0.017 [0.010]	0.015** [0.006]	-0.005 [0.006]	-0.02 [0.014]	0.005 [0.010]
gru7_9	-0.002 [0.009]	-0.011 [0.009]	0.003 [0.009]	-0.005 [0.009]	-0.013 [0.013]	0.005 [0.012]
gru10_12	-0.005 [0.010]	-0.015 [0.009]	0.007 [0.010]	0.005 [0.010]	0.001 [0.013]	0.009 [0.011]
obs	21,104	15,904	15,042	27,125	20,945	18,814

表 3b(6) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドなし）・女性

被説明変数	直近 1 年以内就職（就業者のみ）			対数実質月給（フルタイム雇用者のみ）		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	0.042*** [0.011]	0.063*** [0.012]	0.047*** [0.012]	-0.011* [0.005]	-0.012* [0.006]	-0.013*** [0.003]
gru4_6	0.023*** [0.006]	0.033*** [0.007]	0.013 [0.011]	-0.008* [0.004]	-0.010** [0.004]	-0.001 [0.005]
gru7_9	-0.009 [0.008]	-0.006 [0.007]	-0.024* [0.013]	-0.010*** [0.003]	-0.012*** [0.004]	0.001 [0.007]
gru10_12	-0.013 [0.008]	-0.026*** [0.007]	-0.029** [0.012]	-0.010** [0.003]	-0.013*** [0.003]	0.005 [0.007]
obs	46,717	42,129	20,490	1,342,419	1,209,440	576,923
短大・高専卒						
gru1_3	0.054*** [0.016]	0.084*** [0.017]	0.053** [0.017]	-0.007 [0.005]	-0.008 [0.004]	-0.015* [0.007]
gru4_6	0.007 [0.011]	0.016 [0.010]	-0.003 [0.014]	-0.004 [0.005]	-0.004 [0.004]	-0.008 [0.007]
gru7_9	-0.019 [0.011]	-0.021 [0.012]	-0.035** [0.013]	-0.003 [0.005]	-0.002 [0.004]	-0.002 [0.008]
gru10_12	-0.026** [0.010]	-0.045*** [0.010]	-0.039** [0.013]	-0.003 [0.006]	-0.001 [0.006]	-0.001 [0.009]
obs	37,460	33,224	20,376	1,135,019	1,008,494	622,141
大卒						
gru1_3	0.049*** [0.008]	0.074*** [0.015]	0.058*** [0.015]	0.004 [0.004]	-0.006 [0.004]	0.005 [0.004]
gru4_6	0.021** [0.009]	0.021 [0.015]	0.024 [0.016]	0.008 [0.005]	0.002 [0.003]	0.01 [0.006]
gru7_9	-0.008 [0.009]	-0.021 [0.016]	-0.008 [0.016]	0.006 [0.006]	0.002 [0.004]	0.011 [0.007]
gru10_12	-0.013 [0.011]	-0.046*** [0.014]	0 [0.020]	0.006 [0.006]	0.003 [0.006]	0.013 [0.007]
obs	21,104	15,904	15,042	773,077	541,416	610,599

表 3b(7) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドなし）・女性

被説明変数	対数実質年収（フルタイム雇用者のみ）		
学卒年	1984-2013	1984-2004	1993-2013
コーホート			
高卒			
gru1_3	-0.021*** [0.005]	-0.027*** [0.005]	-0.013** [0.005]
gru4_6	-0.017*** [0.003]	-0.022*** [0.003]	0.002 [0.006]
gru7_9	-0.014*** [0.003]	-0.019*** [0.003]	0.008 [0.008]
gru10_12	-0.009* [0.004]	-0.013*** [0.004]	0.015 [0.009]
obs	1,347,818	1,214,293	579,576
短大・高専卒			
gru1_3	-0.017*** [0.005]	-0.023*** [0.006]	-0.023** [0.007]
gru4_6	-0.009 [0.006]	-0.011** [0.004]	-0.01 [0.008]
gru7_9	-0.002 [0.006]	-0.003 [0.005]	0.001 [0.009]
gru10_12	0.003 [0.008]	0.007 [0.008]	0.006 [0.010]
obs	1,140,587	1,013,488	625,686
大卒			
gru1_3	0.001 [0.004]	-0.018*** [0.005]	0.004 [0.005]
gru4_6	0.006 [0.006]	-0.004 [0.004]	0.012 [0.007]
gru7_9	0.01 [0.007]	0.004 [0.005]	0.018* [0.009]
gru10_12	0.012 [0.008]	0.013* [0.007]	0.020** [0.009]
obs	777,679	544,698	614,484

表 4a(1) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドあり）・男性

被説明変数	就業ダミー			正規雇用ダミー		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	-0.038*** [0.008]	-0.051*** [0.013]	-0.017* [0.008]	-0.042*** [0.010]	-0.057*** [0.017]	-0.014 [0.010]
gru4_6	-0.031*** [0.006]	-0.038*** [0.009]	-0.002 [0.011]	-0.038*** [0.010]	-0.047** [0.015]	-0.003 [0.008]
gru7_9	-0.020*** [0.005]	-0.023** [0.007]	0.008 [0.012]	-0.017* [0.008]	-0.022* [0.011]	0.014** [0.005]
gru10_12	-0.020*** [0.004]	-0.014* [0.007]	0.004 [0.014]	0.002 [0.007]	0.006 [0.010]	0.019*** [0.006]
obs	75,266	68,023	34,073	75,303	68,060	34,082
短大・高専卒						
gru1_3	-0.001 [0.016]	-0.004 [0.015]	-0.019 [0.020]	-0.011 [0.015]	-0.021 [0.017]	-0.011 [0.022]
gru4_6	0 [0.009]	0.01 [0.010]	-0.02 [0.015]	0.003 [0.011]	0.009 [0.014]	0.01 [0.023]
gru7_9	0.009 [0.009]	0.016* [0.008]	-0.012 [0.014]	0.025* [0.014]	0.022 [0.015]	0.028 [0.017]
gru10_12	0.006 [0.007]	0.011 [0.007]	-0.012 [0.008]	0.032*** [0.010]	0.031** [0.010]	0.036** [0.013]
obs	18,924	16,537	10,666	18,935	16,548	10,670
大卒						
gru1_3	-0.019** [0.006]	-0.023** [0.007]	-0.017* [0.008]	-0.043*** [0.010]	-0.049*** [0.010]	-0.043** [0.014]
gru4_6	-0.005 [0.004]	-0.009 [0.005]	-0.002 [0.007]	-0.02 [0.012]	-0.026** [0.010]	-0.019 [0.019]
gru7_9	-0.002 [0.004]	-0.005 [0.005]	0.001 [0.006]	-0.009 [0.010]	-0.014* [0.008]	-0.006 [0.013]
gru10_12	-0.005 [0.005]	-0.004 [0.005]	0.001 [0.007]	-0.01 [0.010]	-0.014** [0.006]	-0.007 [0.013]
obs	48,075	40,662	26,802	48,093	40,680	26,804

表 4a(2) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドあり）・男性

被説明変数	非正規雇用ダミー			対数実質年収		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
学卒年 コーホート						
高卒	0.005	0.009	-0.01	-0.070***	-0.097***	-0.02
gru1_3	[0.006]	[0.006]	[0.010]	[0.014]	[0.022]	[0.026]
	0.015**	0.020**	0.001	-0.063***	-0.079***	-0.009
gru4_6	[0.006]	[0.007]	[0.009]	[0.013]	[0.021]	[0.024]
	0.004	0.01	-0.008	-0.041**	-0.055**	0.027
gru7_9	[0.008]	[0.008]	[0.013]	[0.013]	[0.020]	[0.020]
	-0.008	-0.003	-0.02	-0.019	-0.033	0.045*
gru10_12	[0.008]	[0.007]	[0.016]	[0.011]	[0.018]	[0.023]
	75,303	68,060	34,082	66,709	60,702	29,030
obs						
短大・高専卒	0.026**	0.031***	0.019	-0.022	-0.052**	-0.017
gru1_3	[0.010]	[0.009]	[0.012]	[0.015]	[0.017]	[0.027]
	0.020**	0.024**	-0.002	-0.002	-0.032	0.033
gru4_6	[0.007]	[0.008]	[0.013]	[0.017]	[0.018]	[0.029]
	0.008	0.011	-0.01	0.016	0	0.056*
gru7_9	[0.006]	[0.006]	[0.011]	[0.012]	[0.015]	[0.027]
	-0.001	0.001	-0.013	0.032	0.021	0.056**
gru10_12	[0.006]	[0.006]	[0.010]	[0.019]	[0.026]	[0.021]
	18,935	16,548	10,670	17,873	15,683	9,934
obs						
大卒	0.017*	0.015**	0.021	-0.044***	-0.064***	-0.016
gru1_3	[0.009]	[0.006]	[0.014]	[0.012]	[0.012]	[0.020]
	0.011	0.011	0.018	-0.018	-0.040***	0.012
gru4_6	[0.009]	[0.007]	[0.015]	[0.010]	[0.010]	[0.021]
	0.002	0.001	0.006	-0.002	-0.019	0.036*
gru7_9	[0.006]	[0.005]	[0.011]	[0.012]	[0.010]	[0.018]
	0.001	0.002	0.004	0	-0.019	0.042***
gru10_12	[0.005]	[0.005]	[0.008]	[0.012]	[0.013]	[0.011]
	48,093	40,680	26,804	45,672	38,838	25,032
obs	0.005	0.009	-0.01	-0.070***	-0.097***	-0.02

表 4a(3) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドあり）・男性

被説明変数	週の労働時間			週 60 時間以上労働		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	0.218 [0.296]	-0.327 [0.425]	0.206 [0.224]	0.021** [0.009]	0.011 [0.012]	0.020** [0.008]
gru4_6	0.175 [0.126]	-0.255 [0.252]	0.165 [0.253]	0.029*** [0.005]	0.022** [0.007]	0.025*** [0.005]
gru7_9	0.208* [0.108]	-0.105 [0.199]	0.642** [0.243]	0.029*** [0.006]	0.022** [0.008]	0.032*** [0.008]
gru10_12	0.278** [0.096]	-0.066 [0.246]	0.770** [0.243]	0.026*** [0.006]	0.018 [0.010]	0.029*** [0.006]
obs	64,864	59,012	27,921	64,864	59,012	27,921
短大・高専卒						
gru1_3	0.14 [0.499]	0.131 [0.490]	-0.627 [0.530]	0 [0.014]	0.002 [0.018]	-0.029** [0.010]
gru4_6	0.672 [0.434]	0.543 [0.509]	0.058 [0.558]	0.013 [0.013]	0.015 [0.017]	-0.008 [0.011]
gru7_9	-0.014 [0.545]	-0.3 [0.578]	-0.867 [0.784]	-0.006 [0.015]	-0.007 [0.019]	-0.033* [0.017]
gru10_12	0.073 [0.559]	-0.201 [0.643]	-0.572 [0.750]	-0.002 [0.019]	-0.001 [0.023]	-0.029 [0.019]
obs	17,548	15,409	9,679	17,548	15,409	9,679
大卒						
gru1_3	0.424 [0.330]	0.009 [0.274]	0.026 [0.227]	0.018 [0.012]	0.011 [0.011]	0.016 [0.014]
gru4_6	0.528 [0.311]	0.131 [0.324]	0.007 [0.287]	0.017 [0.010]	0.011 [0.010]	0.012 [0.012]
gru7_9	0.568** [0.230]	0.22 [0.210]	0.266 [0.335]	0.017* [0.008]	0.011 [0.006]	0.01 [0.014]
gru10_12	0.309 [0.270]	0.153 [0.288]	-0.045 [0.309]	0.01 [0.009]	0.007 [0.007]	0.01 [0.016]
obs	45,183	38,460	24,613	45,183	38,460	24,613

表 4a(4) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドあり）・男性

被説明変数	企業規模 500 人以上			企業規模 500 人以上で正規雇用		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	-0.018* [0.009]	-0.024** [0.008]	-0.01 [0.017]	-0.019* [0.008]	-0.022** [0.009]	-0.004 [0.016]
gru4_6	-0.009 [0.007]	-0.008 [0.007]	-0.004 [0.018]	-0.013** [0.005]	-0.012* [0.006]	-0.003 [0.015]
gru7_9	-0.006 [0.006]	-0.001 [0.004]	-0.007 [0.018]	-0.006 [0.005]	-0.002 [0.005]	0 [0.015]
gru10_12	-0.005 [0.009]	0.008 [0.005]	-0.007 [0.022]	-0.002 [0.005]	0.007 [0.006]	0 [0.016]
obs	75,266	68,023	34,073	75,266	68,023	34,073
短大・高専卒						
gru1_3	0.004 [0.011]	0.012 [0.018]	0.025** [0.011]	0.002 [0.012]	0.012 [0.016]	0.024 [0.013]
gru4_6	-0.005 [0.007]	0.005 [0.012]	0.011 [0.015]	-0.010* [0.005]	-0.004 [0.009]	0.012 [0.012]
gru7_9	-0.008 [0.010]	0 [0.010]	0.016 [0.014]	-0.014 [0.009]	-0.007 [0.009]	0.016 [0.011]
gru10_12	-0.003 [0.006]	-0.006 [0.008]	0.013 [0.016]	-0.003 [0.006]	-0.006 [0.008]	0.017 [0.015]
obs	18,924	16,537	10,666	18,924	16,537	10,666
大卒						
gru1_3	-0.039*** [0.009]	-0.066*** [0.012]	0.001 [0.011]	-0.045*** [0.009]	-0.068*** [0.013]	-0.011 [0.010]
gru4_6	-0.017 [0.009]	-0.037*** [0.010]	0.017 [0.012]	-0.020* [0.010]	-0.036*** [0.010]	0.01 [0.013]
gru7_9	-0.02 [0.013]	-0.037*** [0.009]	0.014 [0.014]	-0.018 [0.014]	-0.032** [0.010]	0.014 [0.014]
gru10_12	-0.031* [0.014]	-0.052*** [0.010]	0.014 [0.015]	-0.031* [0.016]	-0.050*** [0.012]	0.01 [0.016]
obs	48,075	40,662	26,802	48,075	40,662	26,802

表 4a(5) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドあり）・男性

被説明変数	製造業（就業者のみ）			直近 1 年以内離職		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	-0.001 [0.021]	-0.001 [0.019]	0.009 [0.012]	-0.002 [0.009]	-0.009 [0.008]	0.005 [0.011]
gru4_6	-0.006 [0.016]	-0.016 [0.014]	-0.005 [0.011]	0.001 [0.007]	-0.002 [0.007]	0.014 [0.011]
gru7_9	0.003 [0.013]	-0.008 [0.012]	0.009 [0.014]	0.005 [0.006]	0.002 [0.005]	0.020* [0.009]
gru10_12	0.011 [0.012]	0.001 [0.014]	0.01 [0.012]	-0.002 [0.005]	-0.007 [0.006]	0.007 [0.006]
obs	65,342	59,409	28,244	75,266	68,023	34,073
短大・高専卒						
gru1_3	0.009 [0.018]	0.001 [0.022]	0.002 [0.019]	-0.004 [0.014]	0.009 [0.016]	0.007 [0.022]
gru4_6	0 [0.013]	-0.003 [0.018]	-0.006 [0.020]	-0.001 [0.006]	0.007 [0.010]	0.008 [0.016]
gru7_9	-0.014 [0.012]	-0.016 [0.017]	-0.011 [0.013]	-0.004 [0.007]	0.002 [0.010]	0.012 [0.014]
gru10_12	-0.021* [0.010]	-0.017 [0.017]	-0.029* [0.016]	-0.005 [0.010]	0.003 [0.011]	0.002 [0.019]
obs	17,648	15,490	9,751	18,924	16,537	10,666
大卒						
gru1_3	-0.029* [0.013]	-0.030* [0.016]	-0.018 [0.015]	0.006 [0.005]	0.009* [0.005]	0.003 [0.009]
gru4_6	0.002 [0.011]	0.001 [0.014]	0.007 [0.013]	0.007** [0.003]	0.013** [0.004]	0.004 [0.006]
gru7_9	0.003 [0.010]	0.007 [0.015]	0.007 [0.010]	0.003 [0.003]	0.008** [0.003]	-0.003 [0.006]
gru10_12	0.003 [0.008]	0.012 [0.011]	0.005 [0.011]	0.004 [0.004]	0.011* [0.006]	-0.003 [0.007]
obs	45,475	38,675	24,811	48,075	40,662	26,802

表 4a(6) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドあり）・男性

被説明変数	直近 1 年以内就職（就業者のみ）			対数実質月給（フルタイム雇用者のみ）		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	0.038*** [0.009]	0.054*** [0.010]	0.058*** [0.011]	-0.012*** [0.004]	-0.026*** [0.003]	0.003 [0.009]
gru4_6	0.017* [0.009]	0.026** [0.010]	0.023* [0.011]	-0.008* [0.004]	-0.020*** [0.004]	0.011 [0.008]
gru7_9	0.004 [0.005]	0.001 [0.008]	0.012 [0.007]	-0.005 [0.004]	-0.015*** [0.004]	0.015 [0.009]
gru10_12	-0.013* [0.006]	-0.030** [0.010]	-0.01 [0.008]	-0.005 [0.006]	-0.013** [0.005]	0.016 [0.009]
obs	65,342	59,409	28,244	2,211,914	1,971,372	1,059,883
短大・高専卒						
gru1_3	0.055*** [0.013]	0.083*** [0.015]	0.077** [0.025]	-0.011*** [0.003]	-0.021*** [0.002]	0.001 [0.006]
gru4_6	0.028** [0.010]	0.040*** [0.011]	0.029 [0.023]	-0.005** [0.002]	-0.013*** [0.002]	0.01 [0.005]
gru7_9	-0.003 [0.007]	-0.004 [0.009]	0.008 [0.021]	-0.004 [0.002]	-0.010*** [0.002]	0.013** [0.006]
gru10_12	-0.018* [0.009]	-0.034** [0.012]	-0.008 [0.021]	-0.003 [0.003]	-0.007** [0.003]	0.011* [0.006]
obs	17,648	15,490	9,751	620,553	536,027	371,623
大卒						
gru1_3	0.027** [0.010]	0.065*** [0.007]	0.036* [0.016]	0 [0.004]	-0.015*** [0.004]	0.013 [0.007]
gru4_6	0.035*** [0.004]	0.053*** [0.008]	0.026 [0.015]	0.004 [0.005]	-0.010** [0.004]	0.020* [0.009]
gru7_9	0.010** [0.003]	0.013** [0.005]	-0.004 [0.013]	0.003 [0.005]	-0.007 [0.005]	0.022* [0.010]
gru10_12	0.002 [0.006]	-0.007 [0.008]	-0.009 [0.013]	0.003 [0.006]	-0.007 [0.006]	0.020* [0.010]
obs	45,475	38,675	24,811	2,171,701	1,807,513	1,307,927

表 4a(7) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドあり）・男性

被説明変数	対数実質年収（フルタイム雇用者のみ）		
学卒年 コーホート	1984-2013	1984-2004	1993-2013
高卒			
gru1_3	-0.018*** [0.005]	-0.036*** [0.004]	-0.004 [0.010]
gru4_6	-0.012** [0.005]	-0.026*** [0.004]	0.007 [0.009]
gru7_9	-0.007 [0.005]	-0.018*** [0.005]	0.015 [0.009]
gru10_12	-0.002 [0.006]	-0.012** [0.005]	0.018* [0.010]
obs	2,213,007	1,972,370	1,060,365
短大・高専卒			
gru1_3	-0.019*** [0.003]	-0.035*** [0.003]	-0.006 [0.007]
gru4_6	-0.009** [0.003]	-0.018*** [0.003]	0.008 [0.007]
gru7_9	-0.005 [0.004]	-0.011*** [0.003]	0.014* [0.007]
gru10_12	-0.002 [0.004]	-0.003 [0.004]	0.013* [0.007]
obs	620,808	536,242	371,776
大卒			
gru1_3	-0.005 [0.004]	-0.028*** [0.005]	0.012 [0.008]
gru4_6	-0.001 [0.005]	-0.018*** [0.005]	0.022* [0.010]
gru7_9	0.002 [0.006]	-0.009 [0.006]	0.028* [0.012]
gru10_12	0.004 [0.008]	-0.004 [0.007]	0.027* [0.012]
obs	2,172,298	1,807,991	1,308,329

表 4b(1) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドあり）・女性

被説明変数	就業ダミー			正規雇用ダミー		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	-0.025** [0.009]	-0.026** [0.010]	-0.020* [0.010]	-0.046*** [0.011]	-0.051*** [0.014]	-0.026 [0.018]
gru4_6	-0.011 [0.008]	-0.007 [0.011]	-0.008 [0.006]	-0.025** [0.011]	-0.026** [0.011]	-0.005 [0.015]
gru7_9	-0.003 [0.009]	-0.006 [0.011]	0 [0.009]	-0.004 [0.011]	-0.012 [0.011]	0.013 [0.013]
gru10_12	0.005 [0.012]	0.01 [0.014]	0.003 [0.011]	0.006 [0.013]	-0.001 [0.014]	0.034* [0.018]
obs	68,320	61,962	29,494	68,343	61,985	29,497
短大・高専卒						
gru1_3	0.006 [0.014]	0.018 [0.011]	-0.012 [0.021]	-0.027** [0.010]	-0.016 [0.013]	-0.043** [0.015]
gru4_6	0.009 [0.013]	0.02 [0.011]	-0.014 [0.022]	-0.007 [0.011]	0.001 [0.014]	-0.031** [0.012]
gru7_9	0.008 [0.011]	0.019 [0.011]	-0.024 [0.018]	0.002 [0.010]	0.016 [0.012]	-0.030** [0.009]
gru10_12	0.007 [0.015]	0.017 [0.012]	-0.024 [0.018]	0.004 [0.016]	0.019 [0.015]	-0.033** [0.011]
obs	49,370	44,313	25,725	49,374	44,317	25,726
大卒						
gru1_3	0.030* [0.013]	0.043*** [0.013]	0.004 [0.014]	0.001 [0.017]	0.02 [0.017]	-0.053* [0.025]
gru4_6	0.031** [0.010]	0.038*** [0.011]	0.006 [0.010]	0.021 [0.014]	0.040** [0.017]	-0.036 [0.020]
gru7_9	0.033** [0.013]	0.032* [0.017]	0.005 [0.014]	0.025 [0.013]	0.03 [0.023]	-0.039* [0.020]
gru10_12	0.021 [0.017]	0.018 [0.022]	0.003 [0.016]	0.016 [0.018]	0.011 [0.032]	-0.034* [0.017]
obs	27,125	20,945	18,814	27,130	20,950	18,815

表 4b(2) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドあり）・女性

被説明変数	非正規雇用ダミー			対数実質年収		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	0.020** [0.008]	0.023* [0.011]	0.001 [0.016]	-0.075*** [0.016]	-0.082*** [0.014]	-0.017 [0.027]
gru4_6	0.012* [0.006]	0.016** [0.006]	-0.008 [0.013]	-0.046** [0.018]	-0.042** [0.015]	0.008 [0.024]
gru7_9	0.002 [0.006]	0.007 [0.004]	-0.013 [0.012]	-0.022 [0.013]	-0.021 [0.012]	0.04 [0.026]
gru10_12	-0.002 [0.005]	0.009* [0.005]	-0.034** [0.012]	-0.002 [0.015]	0.001 [0.014]	0.071** [0.030]
obs	68,343	61,985	29,497	49,807	44,958	21,830
短大・高専卒						
gru1_3	0.032*** [0.008]	0.030** [0.011]	0.031* [0.014]	-0.061*** [0.017]	-0.077*** [0.023]	-0.035 [0.022]
gru4_6	0.015* [0.008]	0.015 [0.010]	0.017 [0.013]	-0.023 [0.017]	-0.029 [0.024]	0.014 [0.022]
gru7_9	0.002 [0.008]	-0.001 [0.010]	0.007 [0.015]	-0.003 [0.017]	0.002 [0.028]	0.025 [0.024]
gru10_12	0.001 [0.010]	-0.006 [0.011]	0.004 [0.015]	0.003 [0.020]	0.021 [0.033]	0.011 [0.021]
obs	49,374	44,317	25,726	39,344	34,992	21,257
大卒						
gru1_3	0.026** [0.011]	0.019 [0.015]	0.052** [0.018]	-0.001 [0.019]	-0.014 [0.025]	0.001 [0.037]
gru4_6	0.012 [0.009]	0.001 [0.014]	0.044** [0.016]	0.028 [0.028]	0.027 [0.028]	0.025 [0.041]
gru7_9	0.008 [0.007]	0.002 [0.014]	0.042** [0.015]	0.03 [0.027]	0.028 [0.028]	0.009 [0.044]
gru10_12	0.004 [0.007]	0.006 [0.016]	0.034** [0.014]	0.052* [0.028]	0.052 [0.033]	0.049 [0.044]
obs	27,130	20,950	18,815	21,869	16,589	15,525

表 4b(3) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドあり）・女性

被説明変数	週の労働時間			週 60 時間以上労働		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	-0.205 [0.311]	-0.444 [0.313]	-0.545 [0.487]	-0.001 [0.007]	-0.001 [0.009]	-0.009 [0.008]
gru4_6	0.162 [0.238]	0 [0.203]	-0.251 [0.474]	0 [0.005]	-0.001 [0.006]	-0.006 [0.005]
gru7_9	0.515* [0.244]	0.335 [0.265]	-0.04 [0.415]	-0.002 [0.004]	-0.003 [0.004]	-0.011** [0.004]
gru10_12	0.390* [0.177]	0.071 [0.181]	0.419 [0.496]	-0.004 [0.004]	-0.007 [0.004]	-0.006 [0.004]
obs	46,059	41,616	19,999	46,059	41,616	19,999
短大・高専卒						
gru1_3	0.185 [0.264]	0.329 [0.330]	0.046 [0.570]	0.008 [0.007]	0.006 [0.008]	0.018* [0.009]
gru4_6	0.511 [0.291]	0.693 [0.398]	0.37 [0.446]	0.006 [0.006]	0.003 [0.006]	0.01 [0.006]
gru7_9	0.718** [0.272]	0.937** [0.354]	0.448 [0.338]	0.006 [0.004]	0.004 [0.005]	0.007 [0.005]
gru10_12	0.54 [0.332]	0.639 [0.401]	0.21 [0.289]	0.004 [0.006]	0 [0.008]	0.008 [0.006]
obs	36,746	32,709	19,766	36,746	32,709	19,766
大卒						
gru1_3	0.334 [0.304]	0.126 [0.254]	0.362 [0.416]	-0.001 [0.006]	-0.007 [0.010]	-0.003 [0.007]
gru4_6	0.590** [0.241]	0.443* [0.228]	0.569* [0.281]	0.004 [0.005]	-0.001 [0.005]	0.004 [0.005]
gru7_9	0.496*** [0.153]	0.485** [0.204]	-0.255 [0.255]	-0.003 [0.004]	-0.003 [0.005]	-0.011 [0.008]
gru10_12	0.601** [0.211]	0.733*** [0.182]	0.33 [0.271]	0.004 [0.006]	0.01 [0.009]	-0.002 [0.005]
obs	20,249	15,412	14,231	20,249	15,412	14,231

表 4b(4) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドあり）・女性

被説明変数	企業規模 500 人以上			企業規模 500 人以上で正規雇用		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	-0.034*** [0.007]	-0.027** [0.010]	-0.022** [0.007]	-0.035*** [0.009]	-0.028** [0.011]	-0.028*** [0.007]
gru4_6	-0.021*** [0.004]	-0.012* [0.006]	-0.019** [0.008]	-0.015** [0.005]	-0.007 [0.006]	-0.016* [0.007]
gru7_9	-0.008* [0.004]	0.005 [0.005]	-0.015 [0.008]	-0.003 [0.004]	0.006 [0.006]	-0.015* [0.007]
gru10_12	0.002 [0.005]	0.015* [0.007]	-0.006 [0.009]	0.007 [0.006]	0.015* [0.007]	-0.004 [0.009]
obs	68,320	61,962	29,494	68,320	61,962	29,494
短大・高専卒						
gru1_3	-0.017** [0.006]	-0.018* [0.008]	-0.019* [0.009]	-0.029*** [0.005]	-0.030*** [0.006]	-0.030*** [0.008]
gru4_6	0.003 [0.002]	0.005 [0.003]	0.004 [0.013]	-0.006 [0.003]	-0.003 [0.003]	-0.003 [0.011]
gru7_9	0.007 [0.005]	0.012** [0.005]	0.001 [0.013]	0.004 [0.003]	0.009*** [0.003]	-0.003 [0.010]
gru10_12	0.009 [0.006]	0.020*** [0.006]	-0.003 [0.013]	0.005 [0.005]	0.018** [0.006]	-0.007 [0.010]
obs	49,370	44,313	25,725	49,370	44,313	25,725
大卒						
gru1_3	-0.01 [0.020]	-0.006 [0.018]	-0.009 [0.020]	-0.033* [0.017]	-0.025 [0.016]	-0.040** [0.014]
gru4_6	0.007 [0.015]	0.01 [0.013]	0.011 [0.017]	-0.015 [0.013]	-0.005 [0.011]	-0.023 [0.015]
gru7_9	-0.002 [0.013]	-0.001 [0.013]	-0.003 [0.016]	-0.013 [0.011]	-0.003 [0.012]	-0.025* [0.013]
gru10_12	0.006 [0.012]	0.009 [0.016]	-0.003 [0.014]	-0.008 [0.011]	0.002 [0.017]	-0.025** [0.011]
obs	27,125	20,945	18,814	27,125	20,945	18,814

表 4b(5) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドあり）・女性

被説明変数	製造業（就業者のみ）			直近 1 年以内離職		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	-0.001 [0.010]	-0.001 [0.013]	0.007 [0.012]	0.01 [0.008]	0.002 [0.011]	-0.002 [0.012]
gru4_6	0.005 [0.013]	0.004 [0.014]	0.028* [0.013]	0.008 [0.007]	0.003 [0.010]	0.004 [0.013]
gru7_9	0.009 [0.010]	0.008 [0.014]	0.022* [0.011]	0.006 [0.006]	0.002 [0.008]	0.008 [0.011]
gru10_12	0.014 [0.011]	0.009 [0.014]	0.02 [0.012]	0.005 [0.008]	0 [0.007]	-0.001 [0.013]
obs	46,717	42,129	20,490	68,320	61,962	29,494
短大・高専卒						
gru1_3	0.007 [0.008]	0.005 [0.011]	0.009 [0.010]	0.012 [0.011]	0.019 [0.011]	0.01 [0.010]
gru4_6	0.005 [0.007]	0.003 [0.009]	0.007 [0.010]	0.005 [0.009]	0.007 [0.010]	0.003 [0.011]
gru7_9	0.004 [0.006]	0.003 [0.007]	0.009 [0.011]	0.006 [0.007]	0.006 [0.009]	0.005 [0.010]
gru10_12	0.008 [0.006]	0.006 [0.006]	0.012 [0.010]	0.009 [0.008]	0.011 [0.010]	0.004 [0.011]
obs	37,460	33,224	20,376	49,370	44,313	25,725
大卒						
gru1_3	-0.001 [0.008]	-0.004 [0.013]	-0.001 [0.008]	0.001 [0.006]	-0.025** [0.009]	0.008 [0.011]
gru4_6	0.004 [0.006]	0.003 [0.008]	0.007 [0.009]	-0.012 [0.006]	-0.032** [0.010]	0.001 [0.014]
gru7_9	0.006 [0.006]	0.011 [0.007]	-0.004 [0.010]	-0.012 [0.010]	-0.027* [0.012]	0.002 [0.013]
gru10_12	0.004 [0.006]	0.009 [0.006]	0.001 [0.011]	-0.002 [0.010]	-0.013 [0.016]	0.007 [0.011]
obs	21,104	15,904	15,042	27,125	20,945	18,814

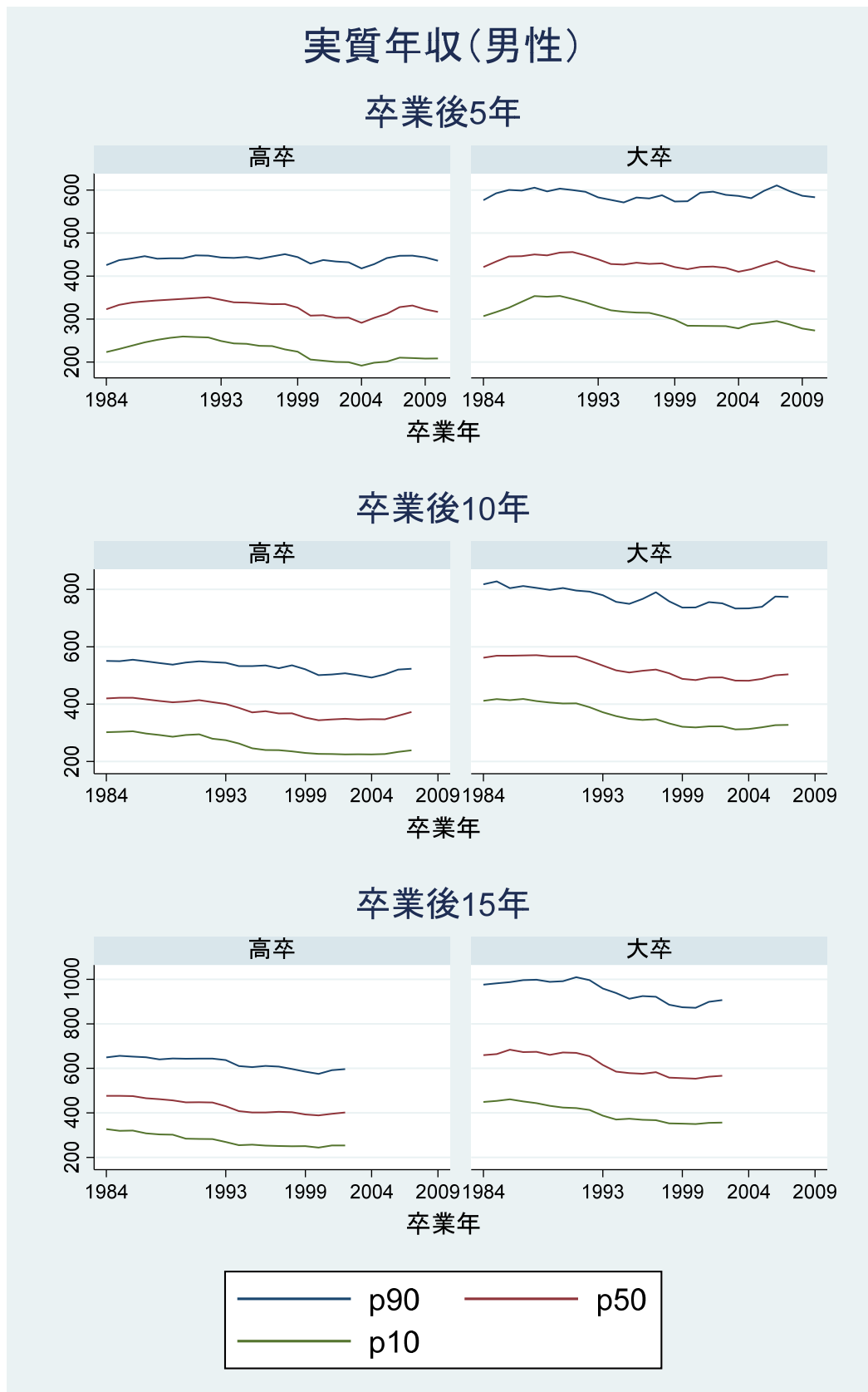
表 4b(6) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響 (地域線形トレンドあり)・女性

被説明変数	直近 1 年以内就職 (就業者のみ)			対数実質月給 (フルタイム雇用者のみ)		
	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013	1984- 2013	1984- 2004	1993- 2013
高卒						
gru1_3	0.040*** [0.010]	0.055*** [0.014]	0.041** [0.014]	-0.013*** [0.003]	-0.022*** [0.004]	0.002 [0.008]
gru4_6	0.021*** [0.006]	0.026** [0.009]	0.007 [0.013]	-0.009*** [0.003]	-0.019*** [0.003]	0.014 [0.009]
gru7_9	-0.01 [0.007]	-0.012 [0.010]	-0.031* [0.017]	-0.010** [0.003]	-0.018*** [0.003]	0.016 [0.011]
gru10_12	-0.014 [0.010]	-0.031** [0.010]	-0.036* [0.018]	-0.009* [0.004]	-0.017*** [0.004]	0.02 [0.011]
obs	46,717	42,129	20,490	1,342,419	1,209,440	576,923
短大・高専卒						
gru1_3	0.057*** [0.017]	0.092*** [0.018]	0.051** [0.016]	-0.011** [0.004]	-0.020*** [0.005]	0.001 [0.006]
gru4_6	0.01 [0.012]	0.023 [0.013]	-0.007 [0.013]	-0.007 [0.005]	-0.014** [0.005]	0.008 [0.008]
gru7_9	-0.017 [0.011]	-0.017 [0.014]	-0.040** [0.012]	-0.005 [0.005]	-0.010* [0.005]	0.013 [0.009]
gru10_12	-0.025** [0.011]	-0.044** [0.014]	-0.044*** [0.014]	-0.004 [0.006]	-0.007 [0.007]	0.014 [0.009]
obs	37,460	33,224	20,376	1,135,019	1,008,494	622,141
大卒						
gru1_3	0.049*** [0.011]	0.060*** [0.017]	0.068*** [0.012]	0.008 [0.005]	-0.007 [0.005]	0.019* [0.010]
gru4_6	0.021* [0.011]	0.006 [0.017]	0.035** [0.013]	0.013* [0.007]	0.002 [0.006]	0.024* [0.012]
gru7_9	-0.009 [0.012]	-0.039** [0.017]	0.004 [0.014]	0.012 [0.008]	0.004 [0.007]	0.026* [0.013]
gru10_12	-0.013 [0.013]	-0.067*** [0.016]	0.011 [0.017]	0.012 [0.008]	0.008 [0.008]	0.026* [0.013]
obs	21,104	15,904	15,042	773,077	541,416	610,599

表 4b(7) 学卒前年の失業率が n 年後に与える影響（地域線形トレンドあり）・女性

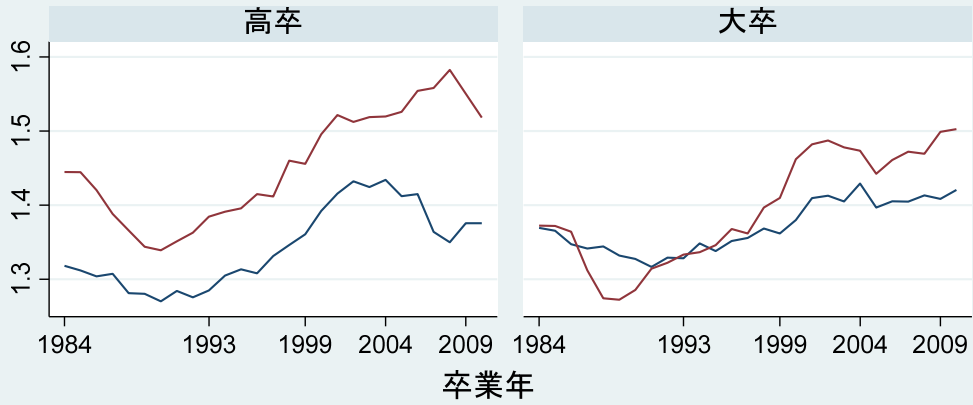
被説明変数	対数実質年収（フルタイム雇用者のみ）		
学卒年	1984-2013	1984-2004	1993-2013
コーホート			
高卒			
gru1_3	-0.019*** [0.004]	-0.034*** [0.004]	-0.004 [0.008]
gru4_6	-0.015*** [0.003]	-0.027*** [0.003]	0.012 [0.009]
gru7_9	-0.012** [0.004]	-0.022*** [0.004]	0.019 [0.011]
gru10_12	-0.006 [0.006]	-0.015** [0.006]	0.026* [0.011]
obs	1,347,818	1,214,293	579,576
短大・高専卒			
gru1_3	-0.021*** [0.003]	-0.035*** [0.006]	-0.009 [0.005]
gru4_6	-0.013** [0.005]	-0.022*** [0.006]	0.005 [0.008]
gru7_9	-0.005 [0.006]	-0.011 [0.007]	0.016 [0.009]
gru10_12	0.001 [0.008]	0.001 [0.010]	0.021* [0.010]
obs	1,140,587	1,013,488	625,686
大卒			
gru1_3	0.005 [0.005]	-0.017** [0.007]	0.02 [0.011]
gru4_6	0.011 [0.007]	-0.001 [0.008]	0.028* [0.013]
gru7_9	0.015 [0.008]	0.009 [0.009]	0.035** [0.014]
gru10_12	0.018* [0.009]	0.021* [0.010]	0.035** [0.014]
obs	777,679	544,698	614,484

図8 フルタイム雇用者の年収・月給のパーセンタイルおよび比の推移

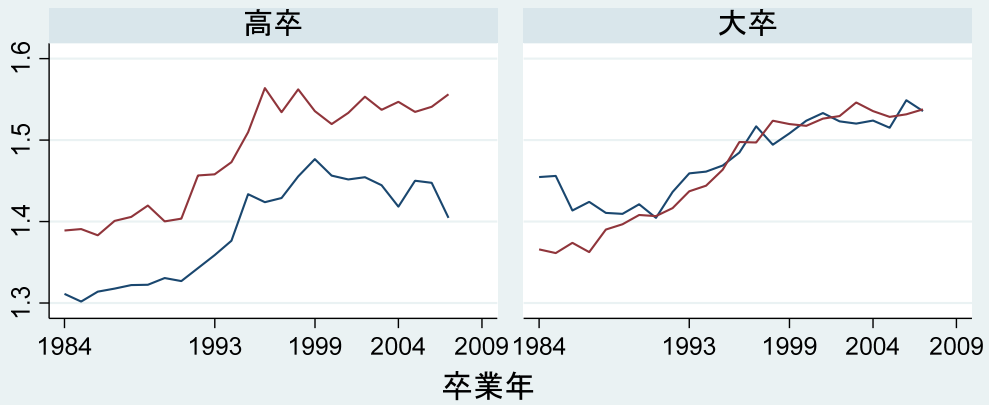


# 実質年収のパーセンタイル比(男性)

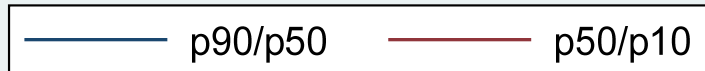
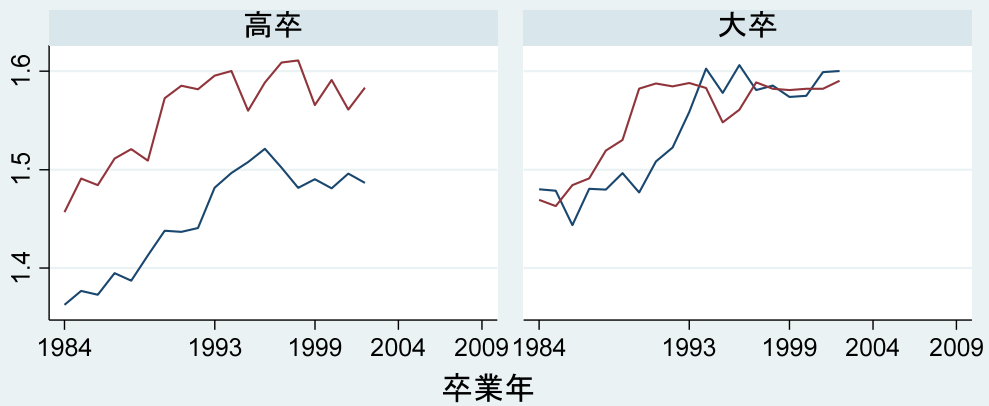
## 卒業後5年



## 卒業後10年

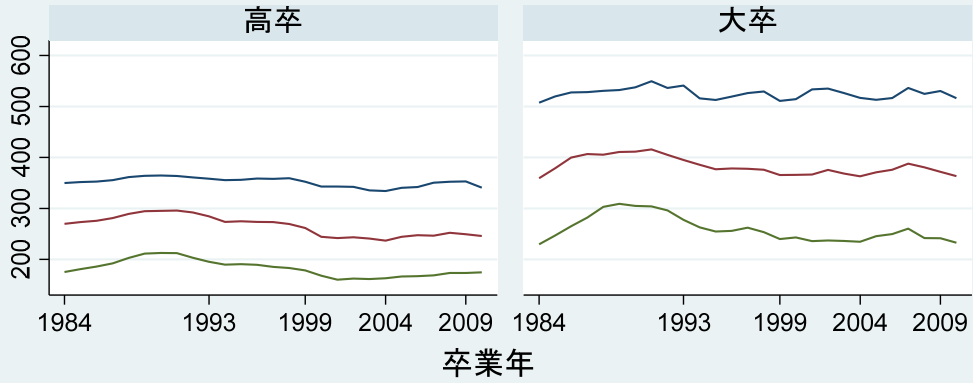


## 卒業後15年

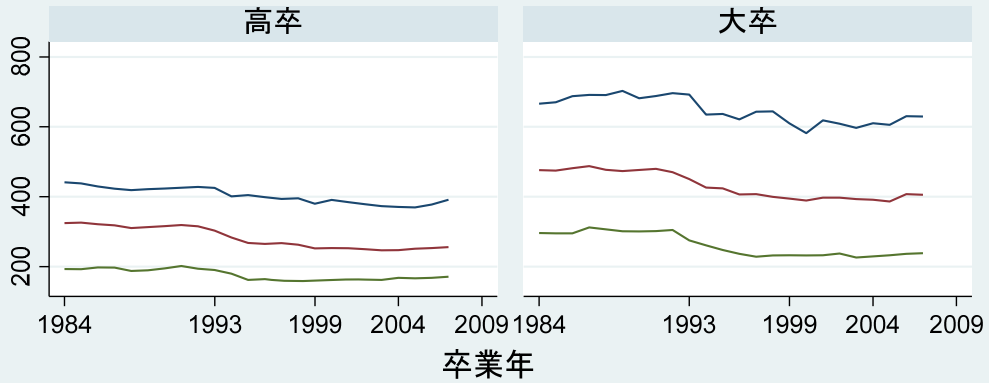


# 実質年収(女性)

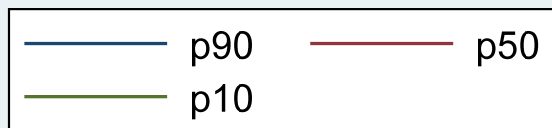
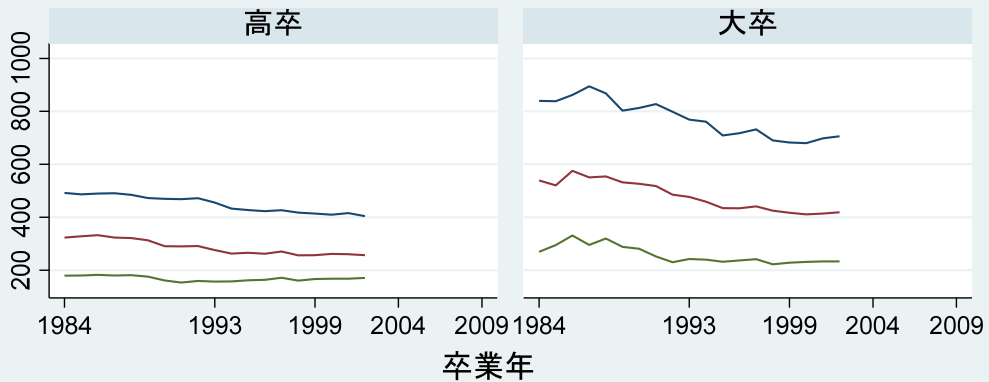
## 卒業後5年



## 卒業後10年

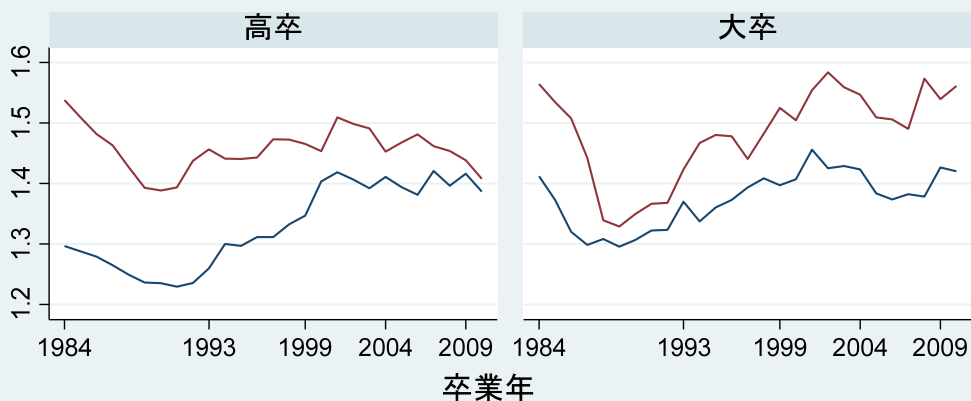


## 卒業後15年

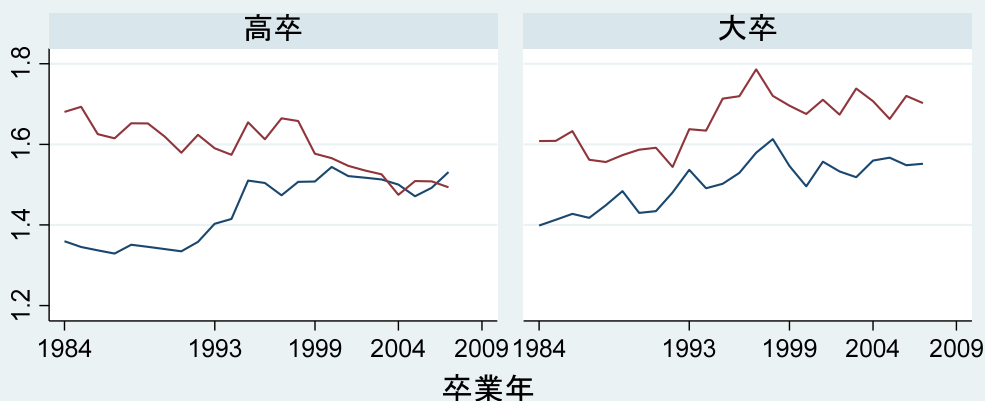


# 実質年収のパーセンタイル比(女性)

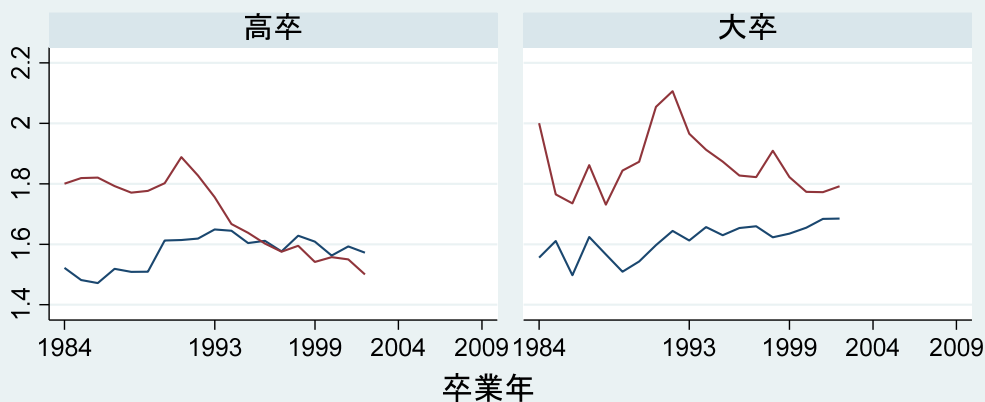
## 卒業後5年



## 卒業後10年

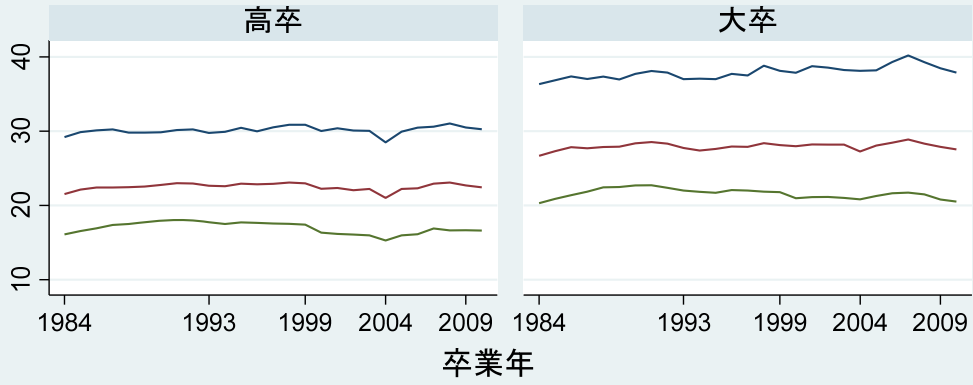


## 卒業後15年

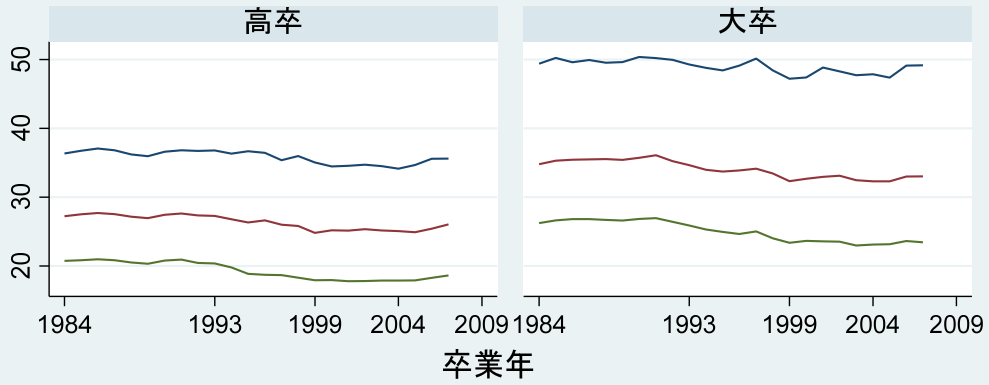


# 実質月給(男性)

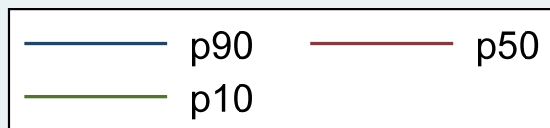
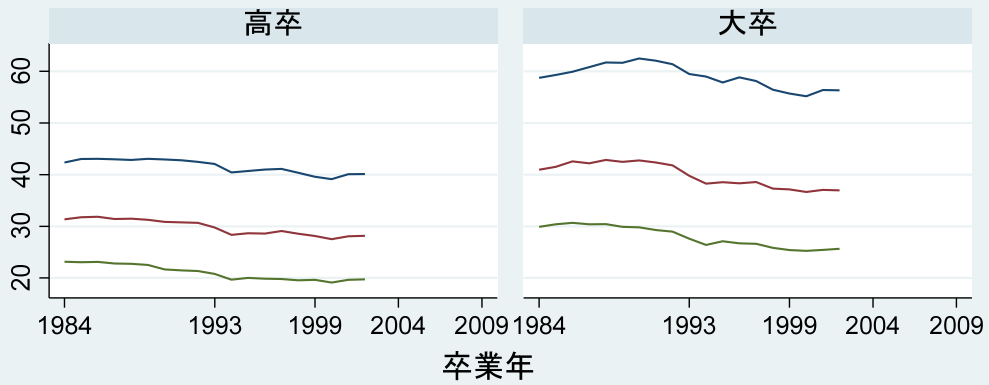
## 卒業後5年



## 卒業後10年

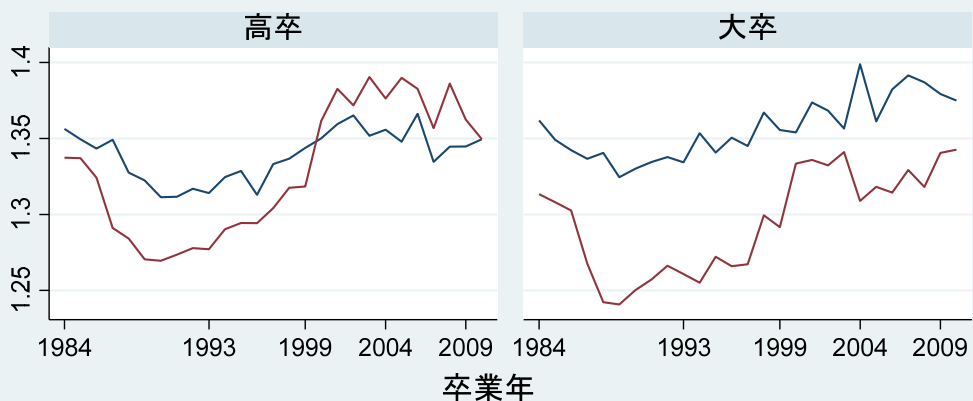


## 卒業後15年

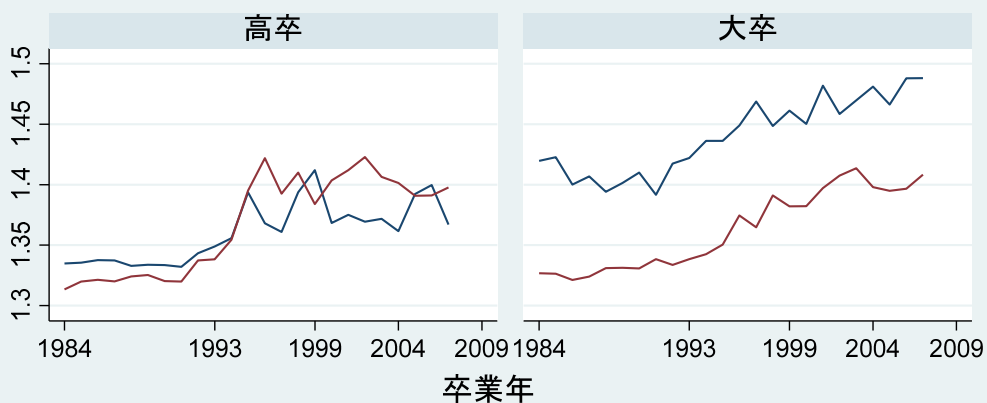


# 実質月給のパーセンタイル比(男性)

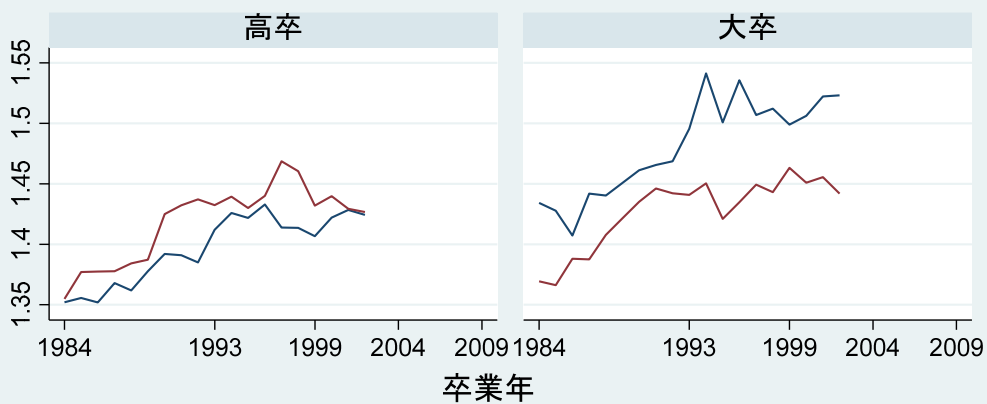
## 卒業後5年



## 卒業後10年

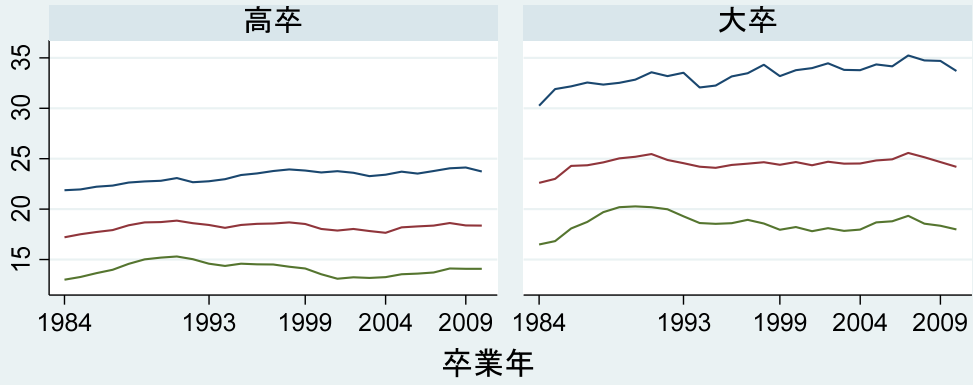


## 卒業後15年

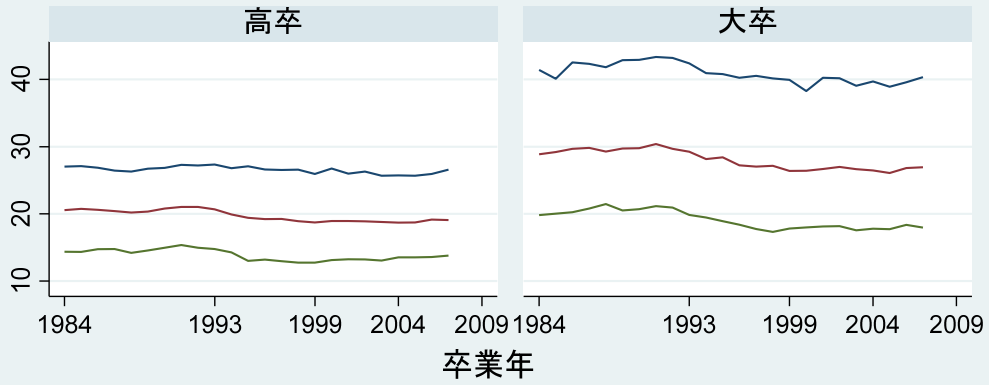


# 実質月給(女性)

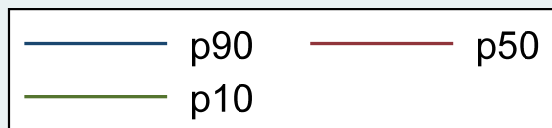
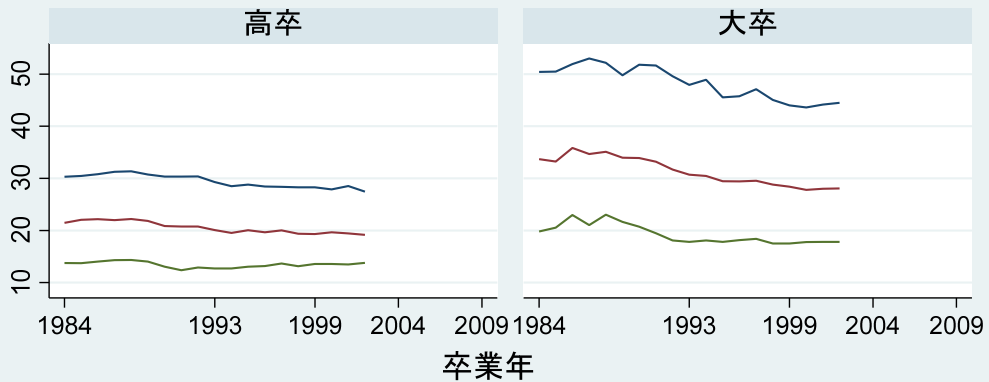
## 卒業後5年



## 卒業後10年

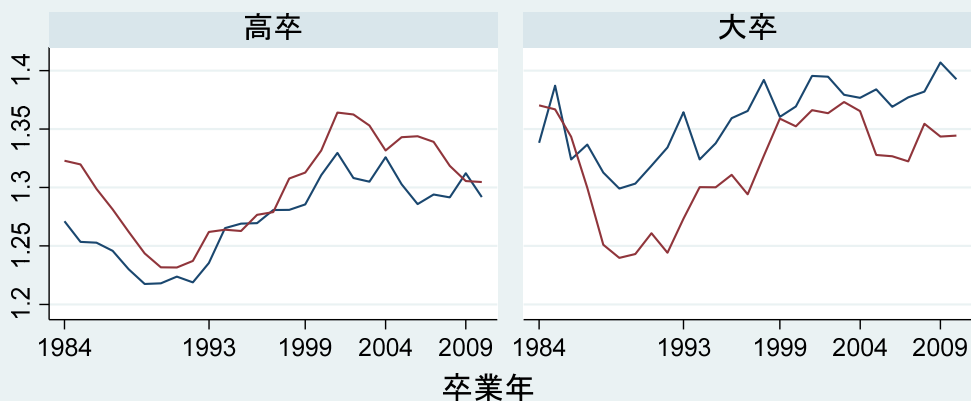


## 卒業後15年

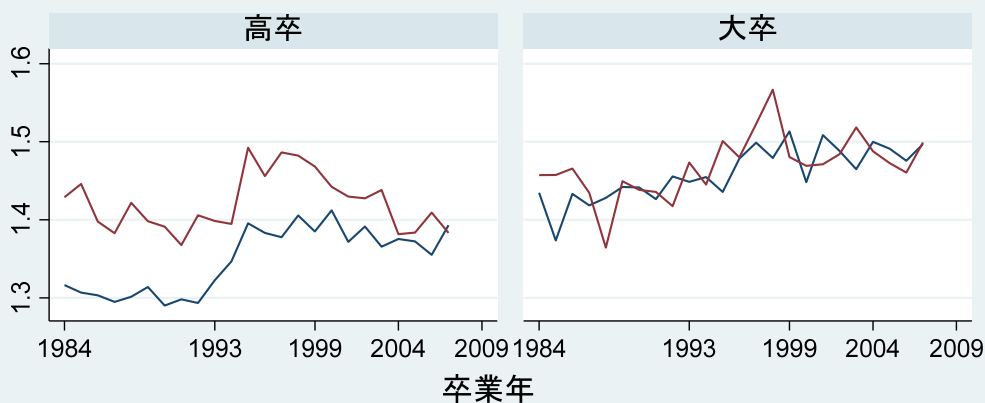


# 実質月給のパーセンタイル比(女性)

## 卒業後5年



## 卒業後10年



## 卒業後15年

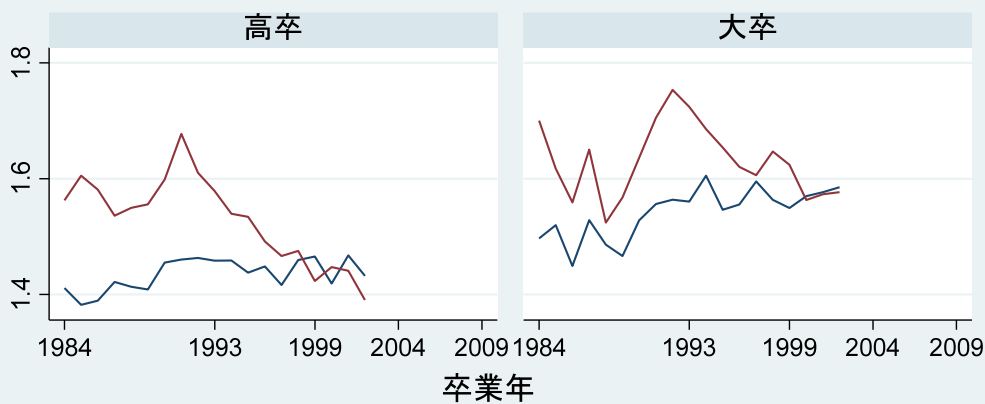


図9a 卒業5年目と10年目の年収の分布(男性)

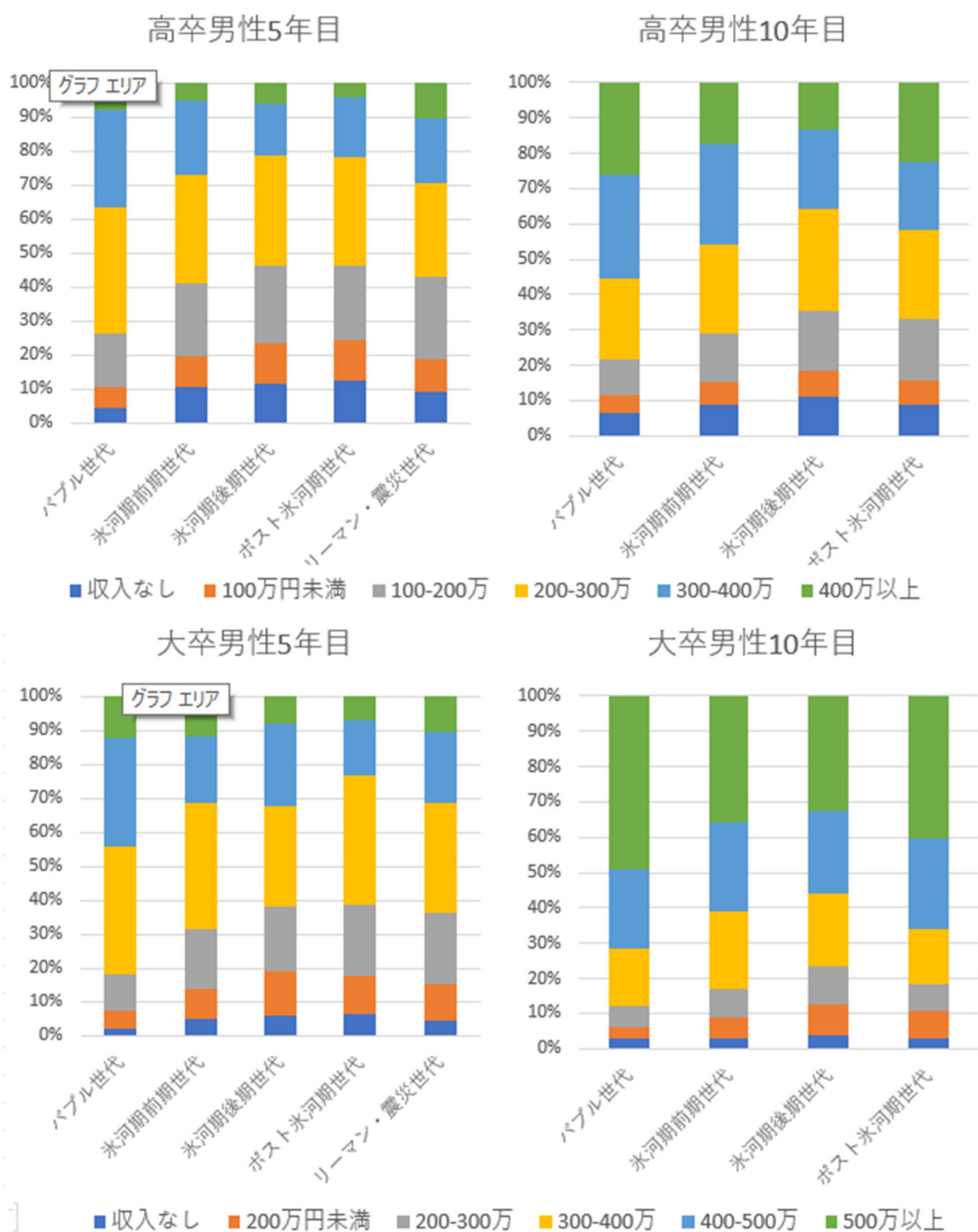


図9b 卒業5年目と10年目の年収の分布(女性)

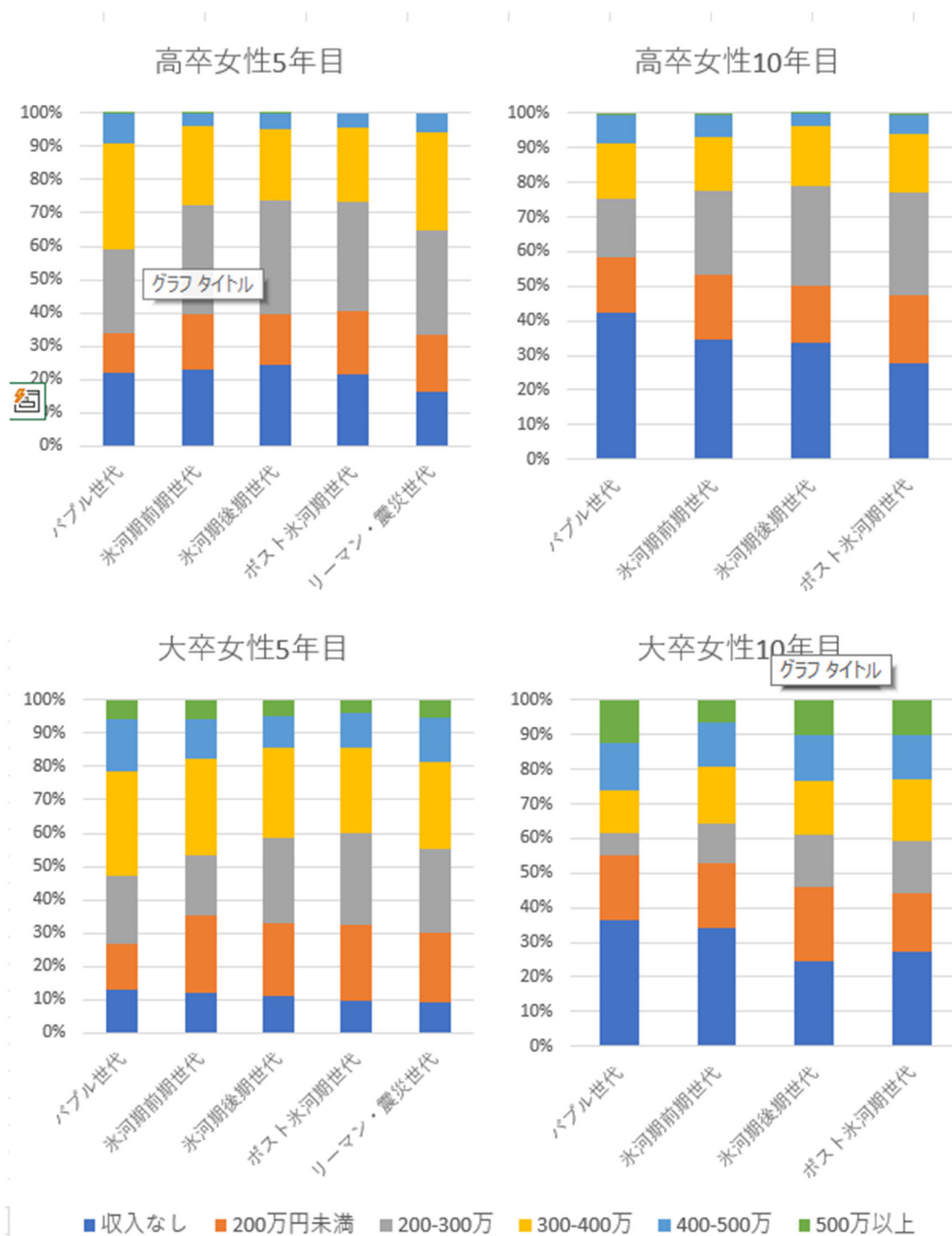


図 10 生年コーホート・性別、健康状態指標の推移

nyuin 入院中

jikakushojo 自覚症状あり（入院はしていない人のみ）

当てはまる自覚症状

darui 体がだるい

headache 頭痛

katakori 肩こり

yotsu 腰痛

kansetsu 手足の関節が痛む

pain 肩こり腰痛手足の関節のどれか一つでもある

nochiryo1 自覚症状があるのに治療していない（不詳を分母にも分子にも含まない）

nochiryo2 自覚症状があるのに治療していない（不詳を分母にも分子にも含む）

tsuin 通院中

通院中の者の罹患傷病

mentaladd 05 うつ病やその他こころの病気(h19以降)、06 精神病（躁うつ病、統合失調症（精神分裂病）等）、07 神経症、08 自律神経失調症(h16以前)、06 精神病（躁うつ病、統合失調症（精神分裂病）等）、07 神経症、08 自律神経失調症(h16以前)のいずれか

tonyobyu 糖尿病

koketsuastu 高血圧

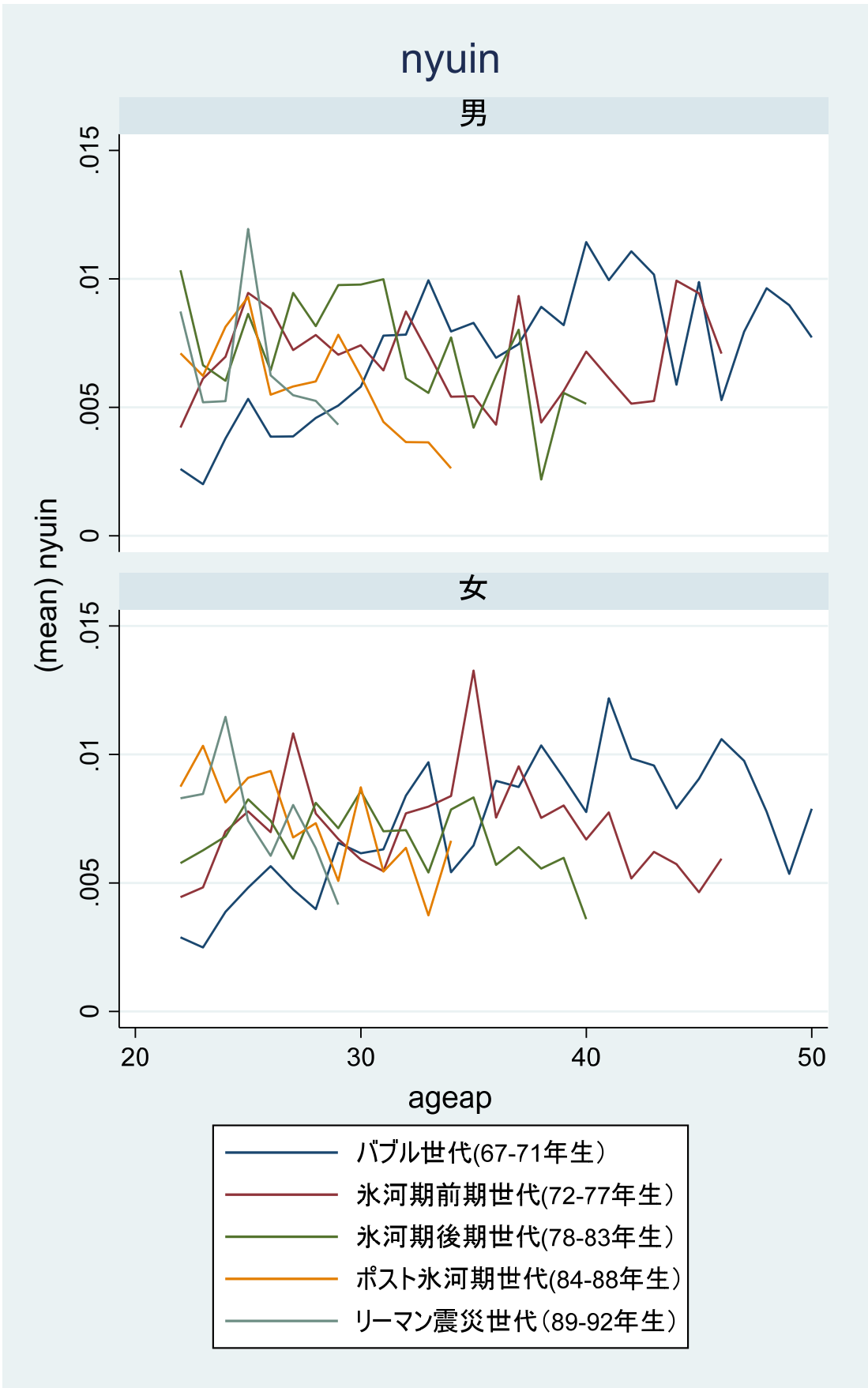
mentalpoint メンタルヘルス指標

smoker 喫煙者

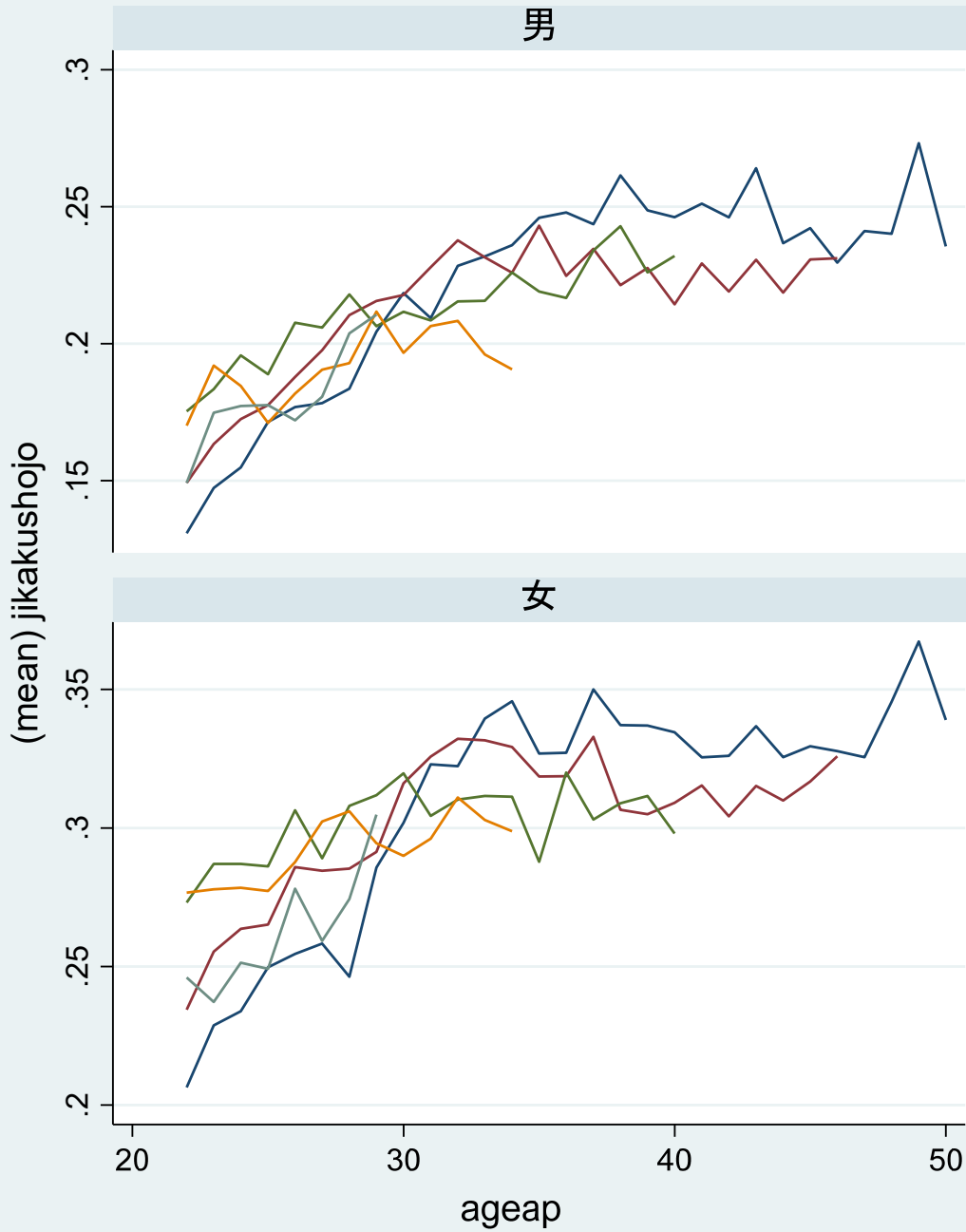
activity6\_ 睡眠を十分にとっている

kenshin 健診を受けている

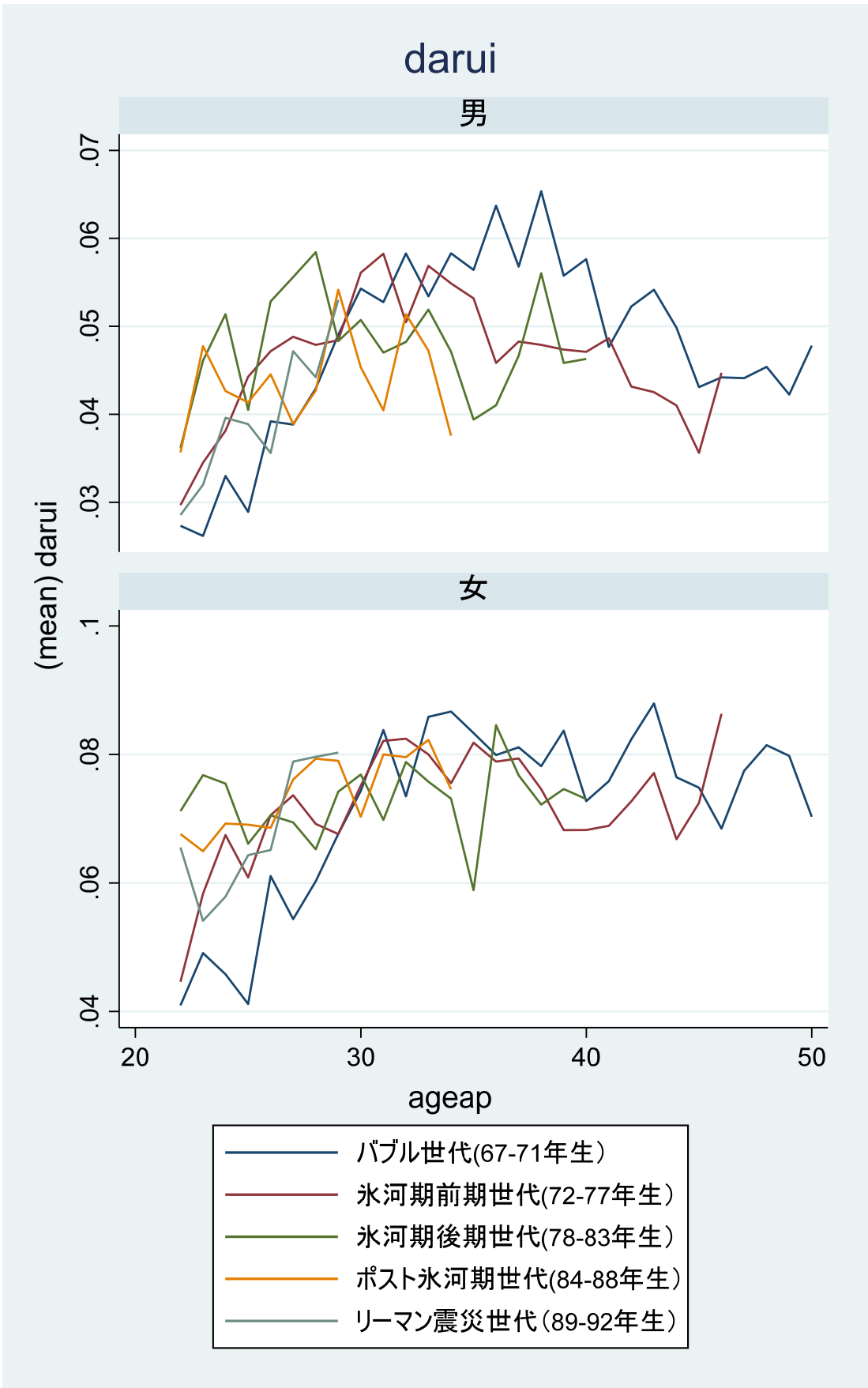
横軸の ageap は4月の年齢



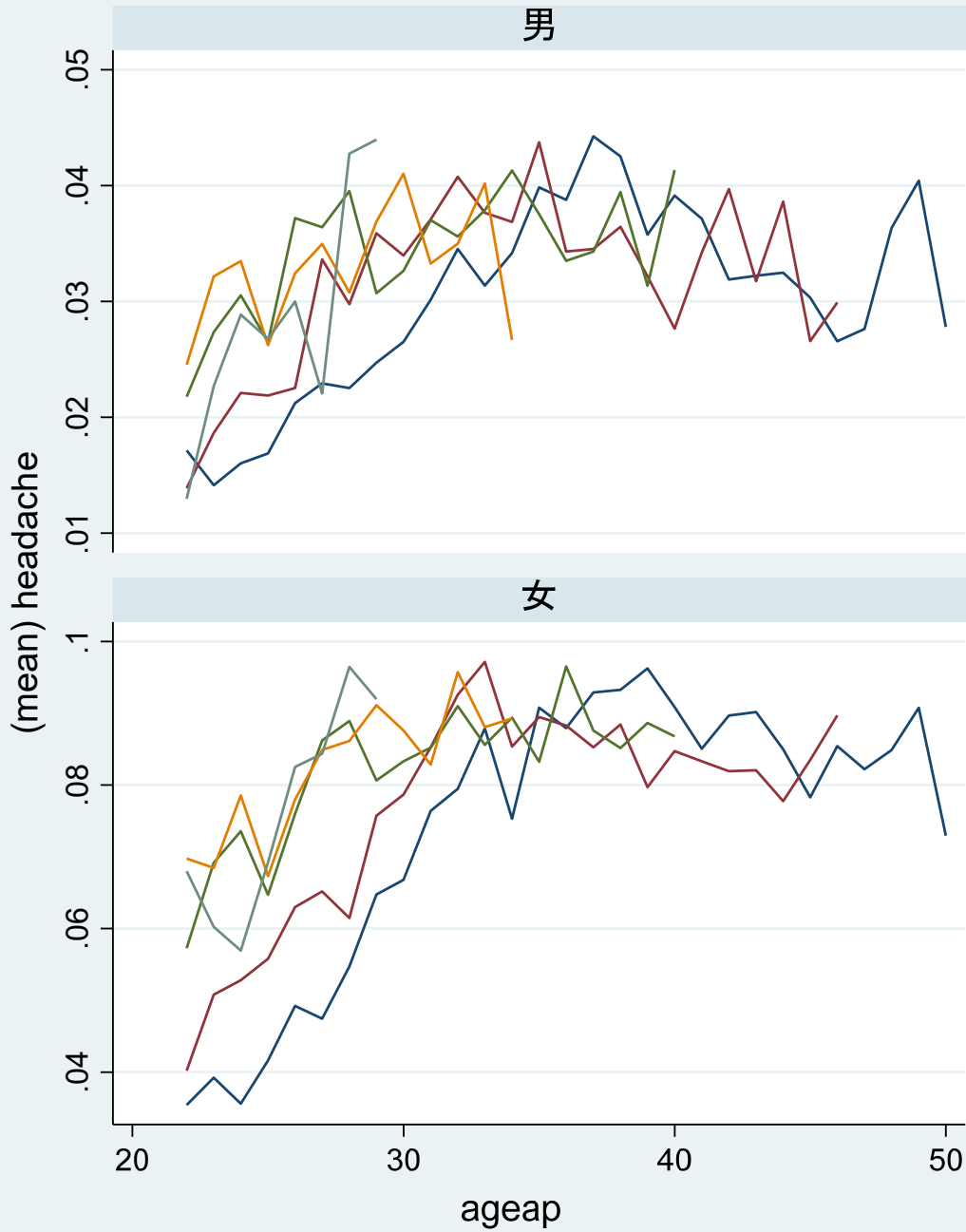
# jikakushojo



- バブル世代(67-71年生)
- 氷河期前期世代(72-77年生)
- 氷河期後期世代(78-83年生)
- ポスト氷河期世代(84-88年生)
- リーマン震災世代(89-92年生)

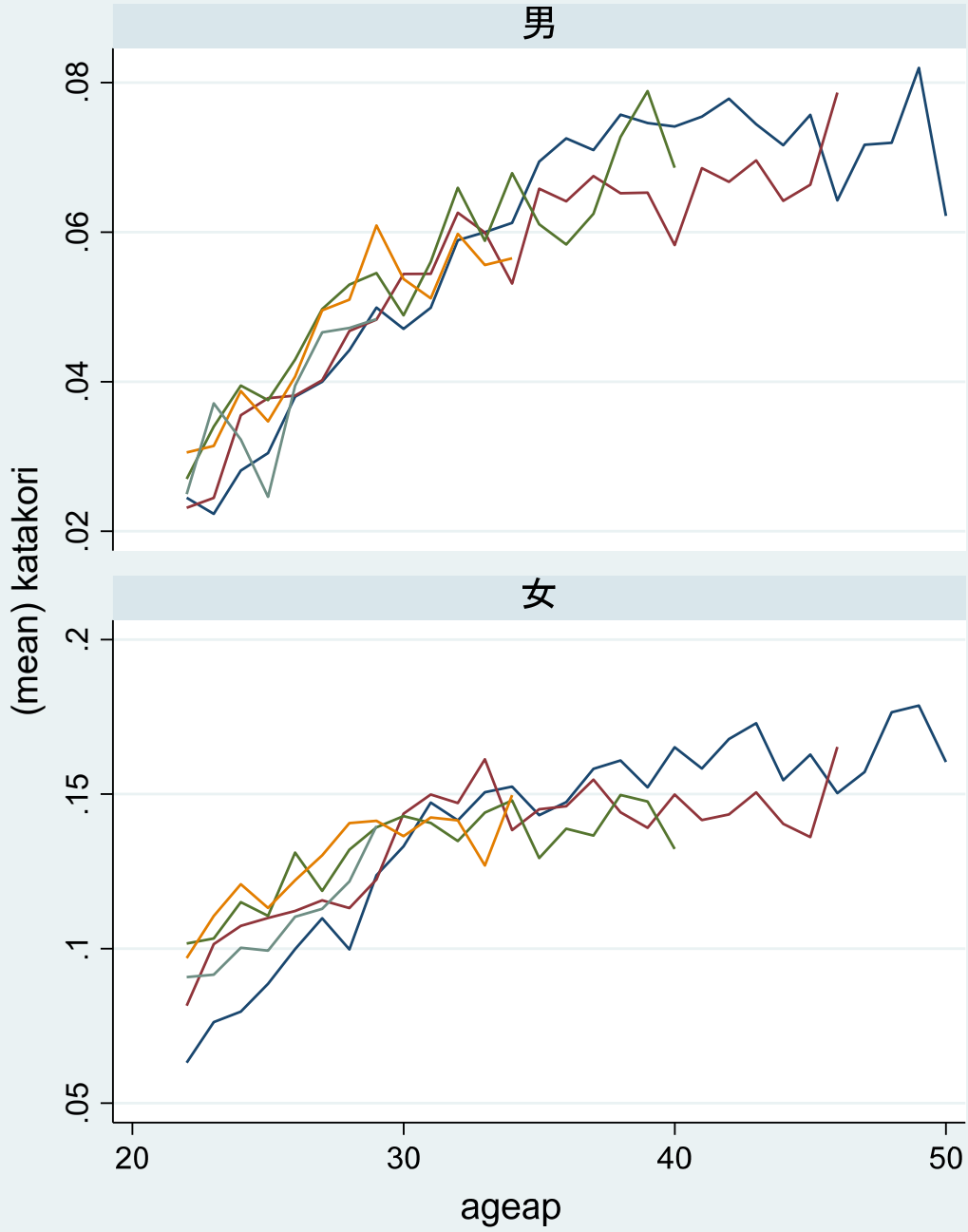


# headache



- バブル世代(67-71年生)
- 氷河期前期世代(72-77年生)
- 氷河期後期世代(78-83年生)
- ポスト氷河期世代(84-88年生)
- リーマン震災世代(89-92年生)

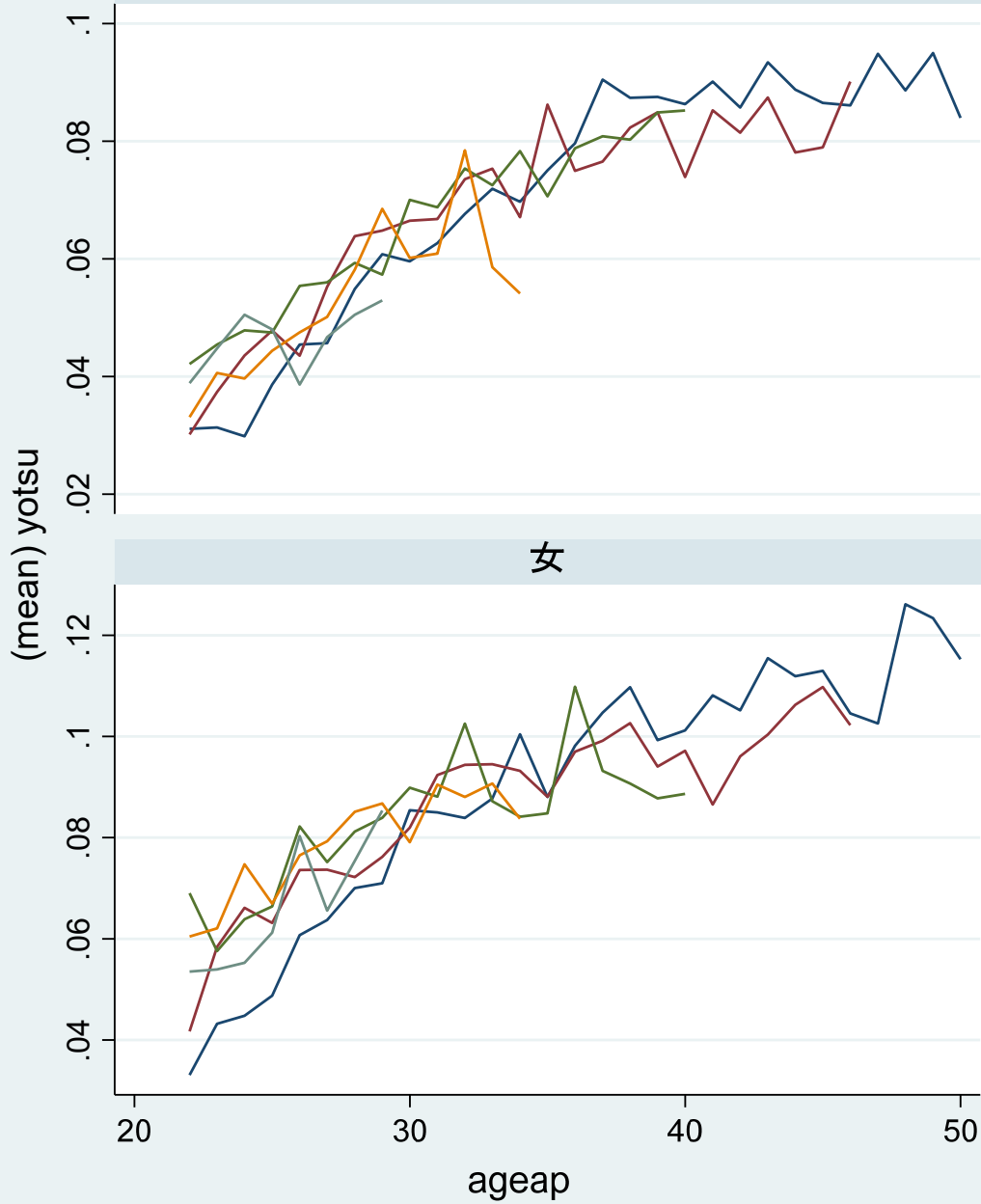
# katakori



- バブル世代(67-71年生)
- 氷河期前期世代(72-77年生)
- 氷河期後期世代(78-83年生)
- ポスト氷河期世代(84-88年生)
- リーマン震災世代(89-92年生)

# yotsu

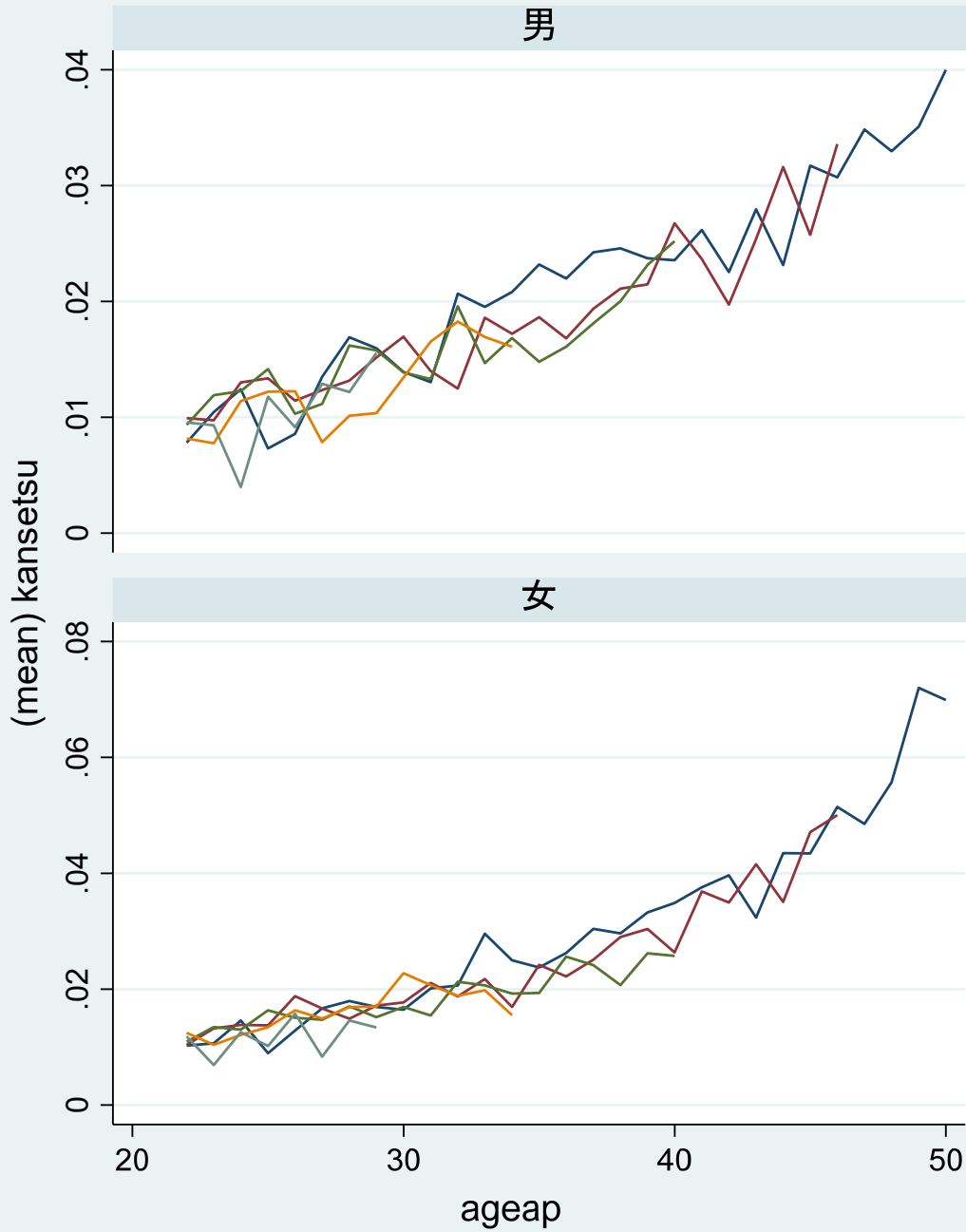
男



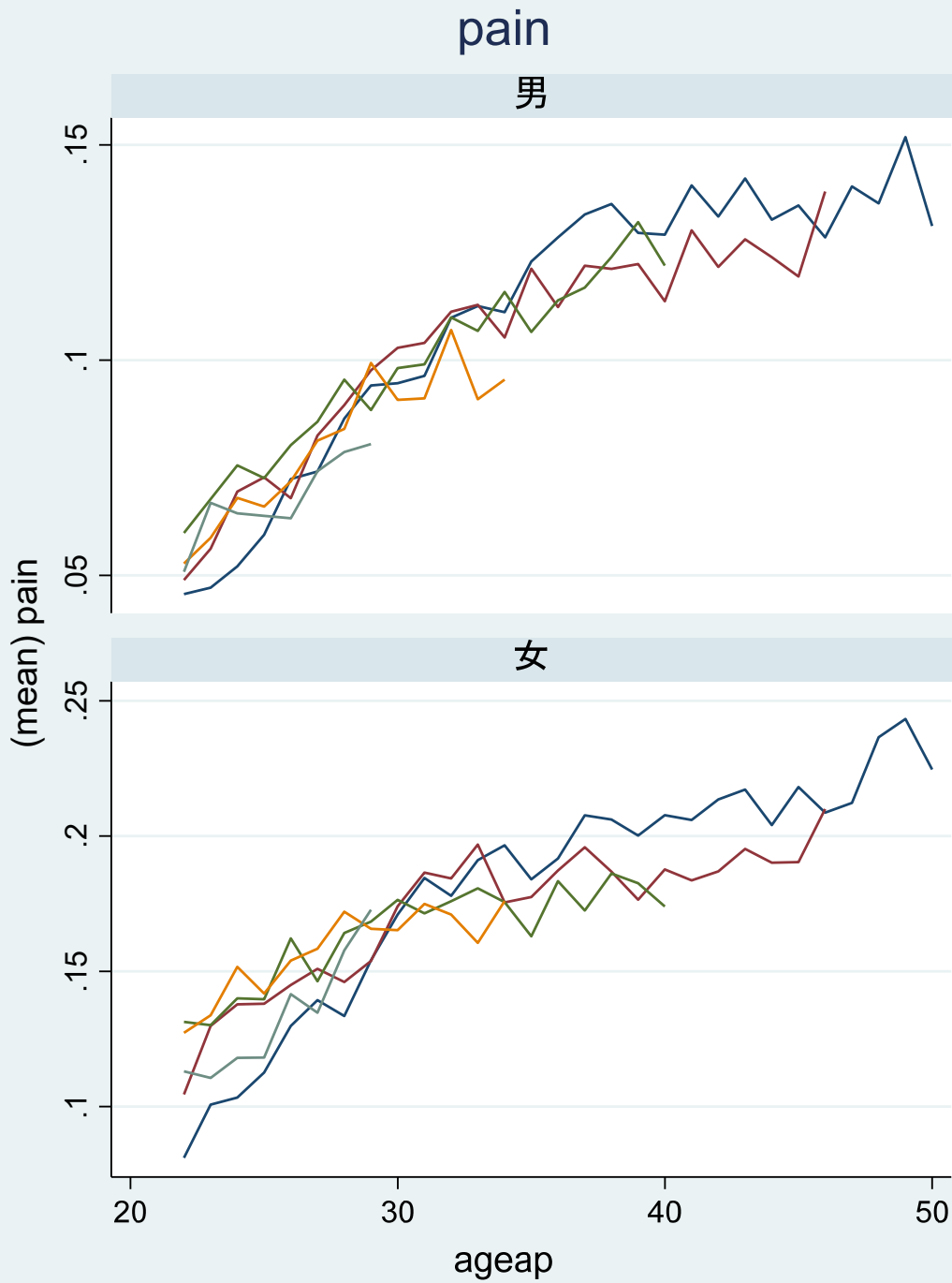
女

- バブル世代(67-71年生)
- 氷河期前期世代(72-77年生)
- 氷河期後期世代(78-83年生)
- ポスト氷河期世代(84-88年生)
- リーマン震災世代(89-92年生)

# kansetsu



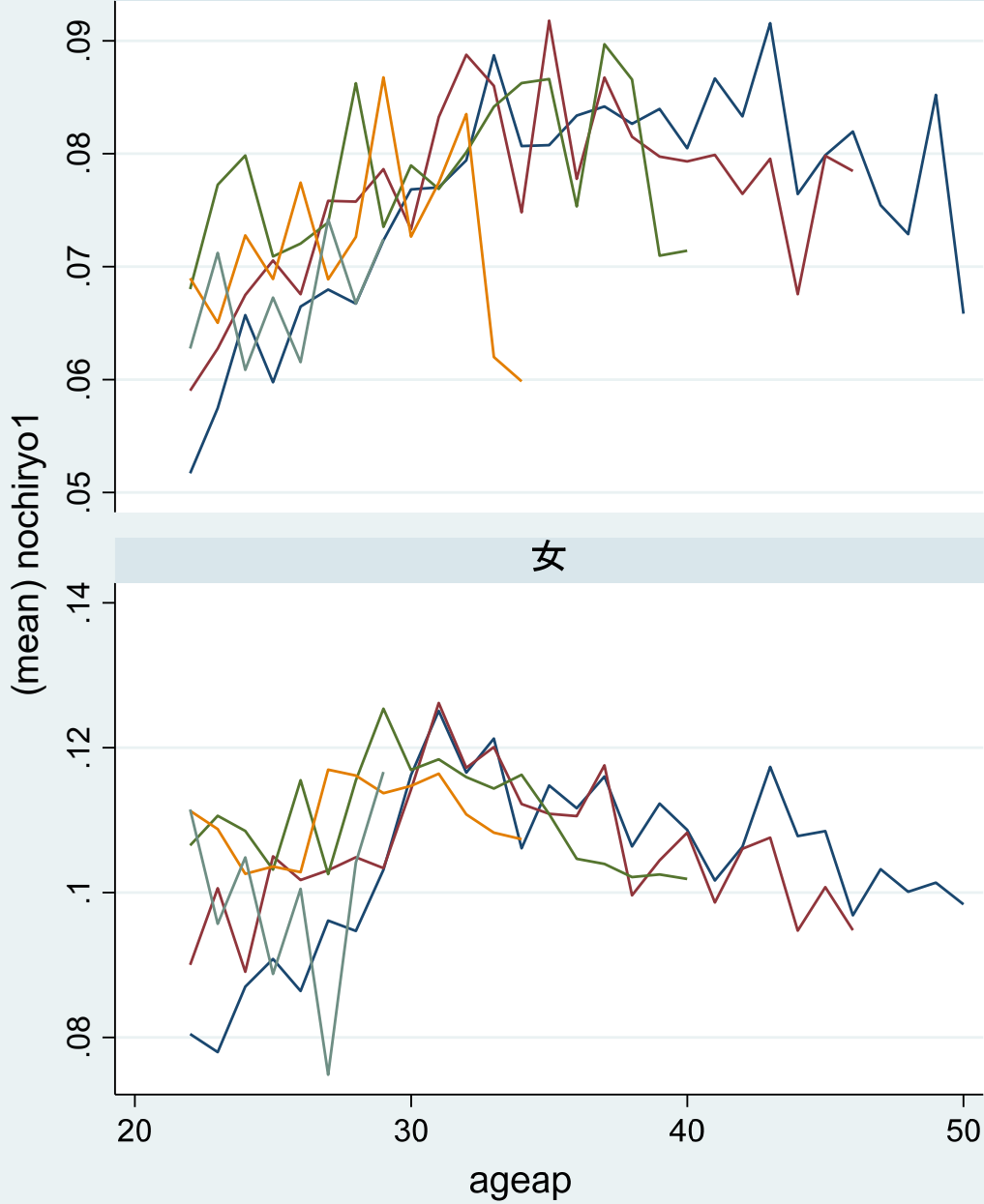
- バブル世代(67-71年生)
- 氷河期前期世代(72-77年生)
- 氷河期後期世代(78-83年生)
- ポスト氷河期世代(84-88年生)
- リーマン震災世代(89-92年生)



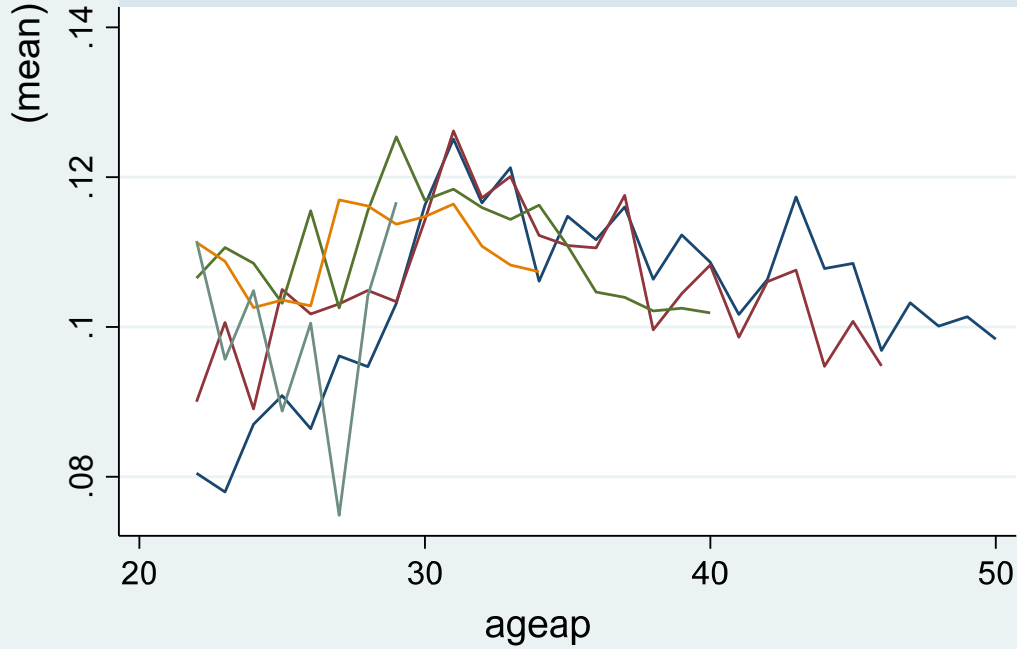
- バブル世代(67-71年生)
- 氷河期前期世代(72-77年生)
- 氷河期後期世代(78-83年生)
- ポスト氷河期世代(84-88年生)
- リーマン震災世代(89-92年生)

# nochiryo1

男

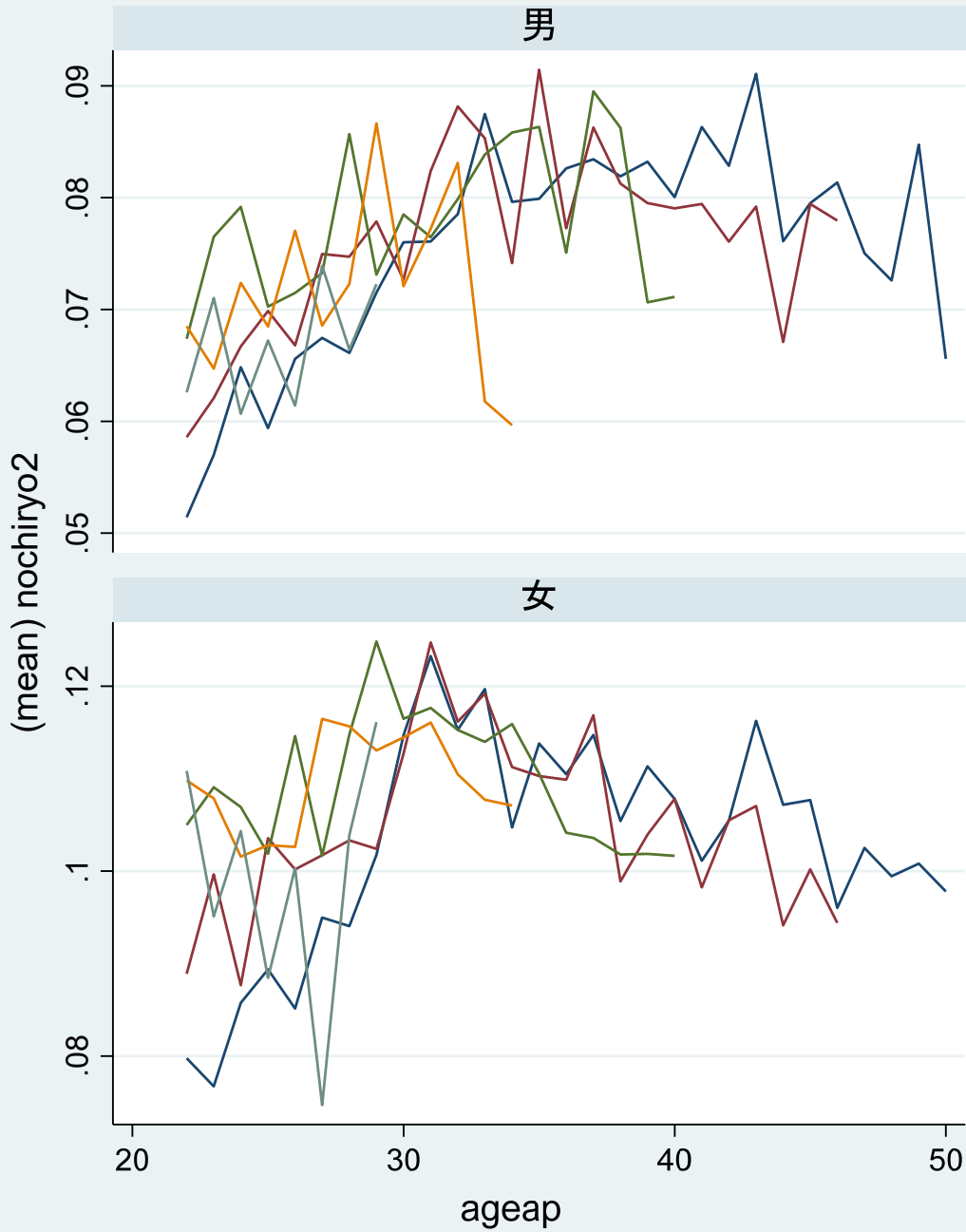


女

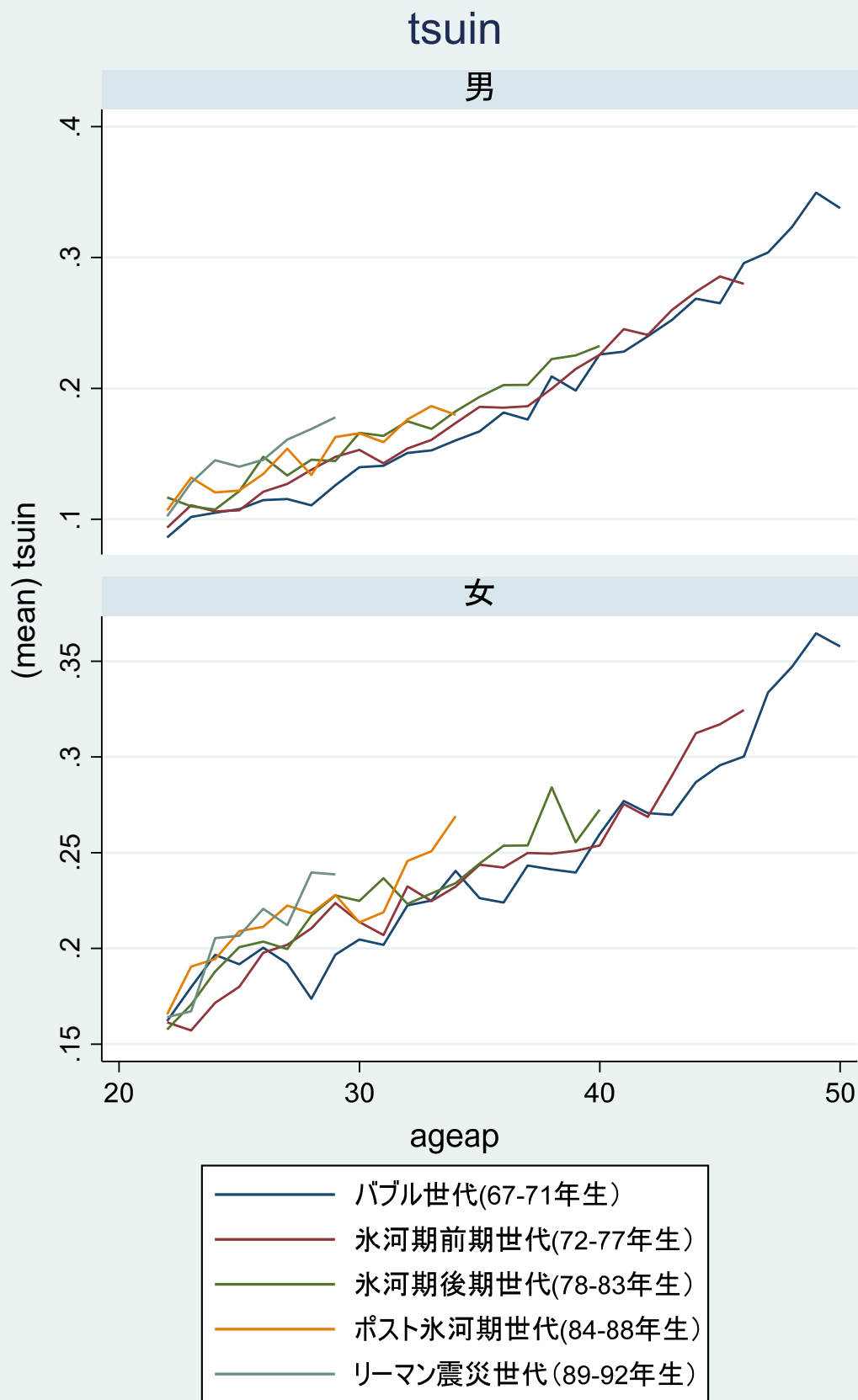


- バブル世代(67-71年生)
- 氷河期前期世代(72-77年生)
- 氷河期後期世代(78-83年生)
- ポスト氷河期世代(84-88年生)
- リーマン震災世代(89-92年生)

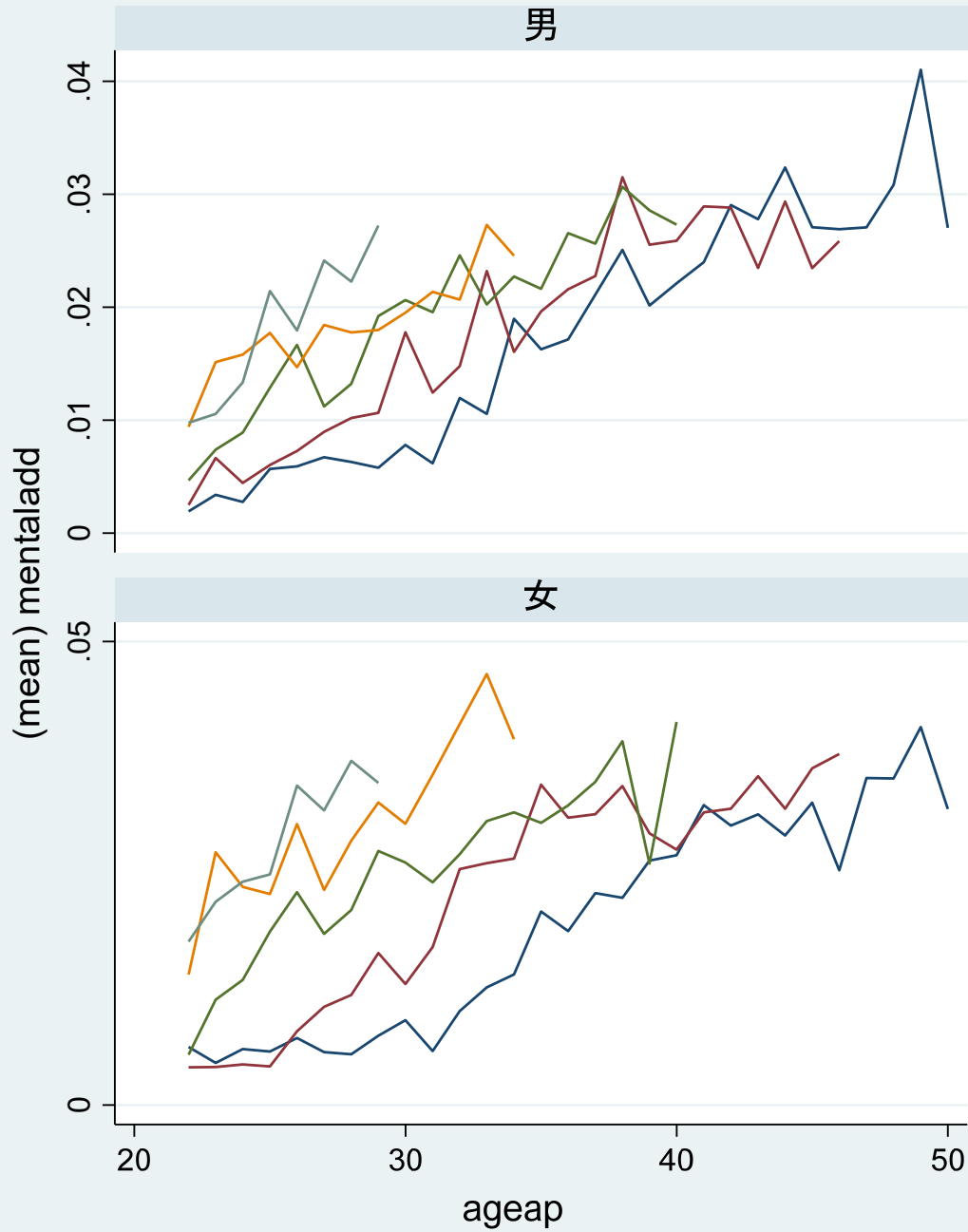
# nochiryo2



- バブル世代(67-71年生)
- 氷河期前期世代(72-77年生)
- 氷河期後期世代(78-83年生)
- ポスト氷河期世代(84-88年生)
- リーマン震災世代(89-92年生)

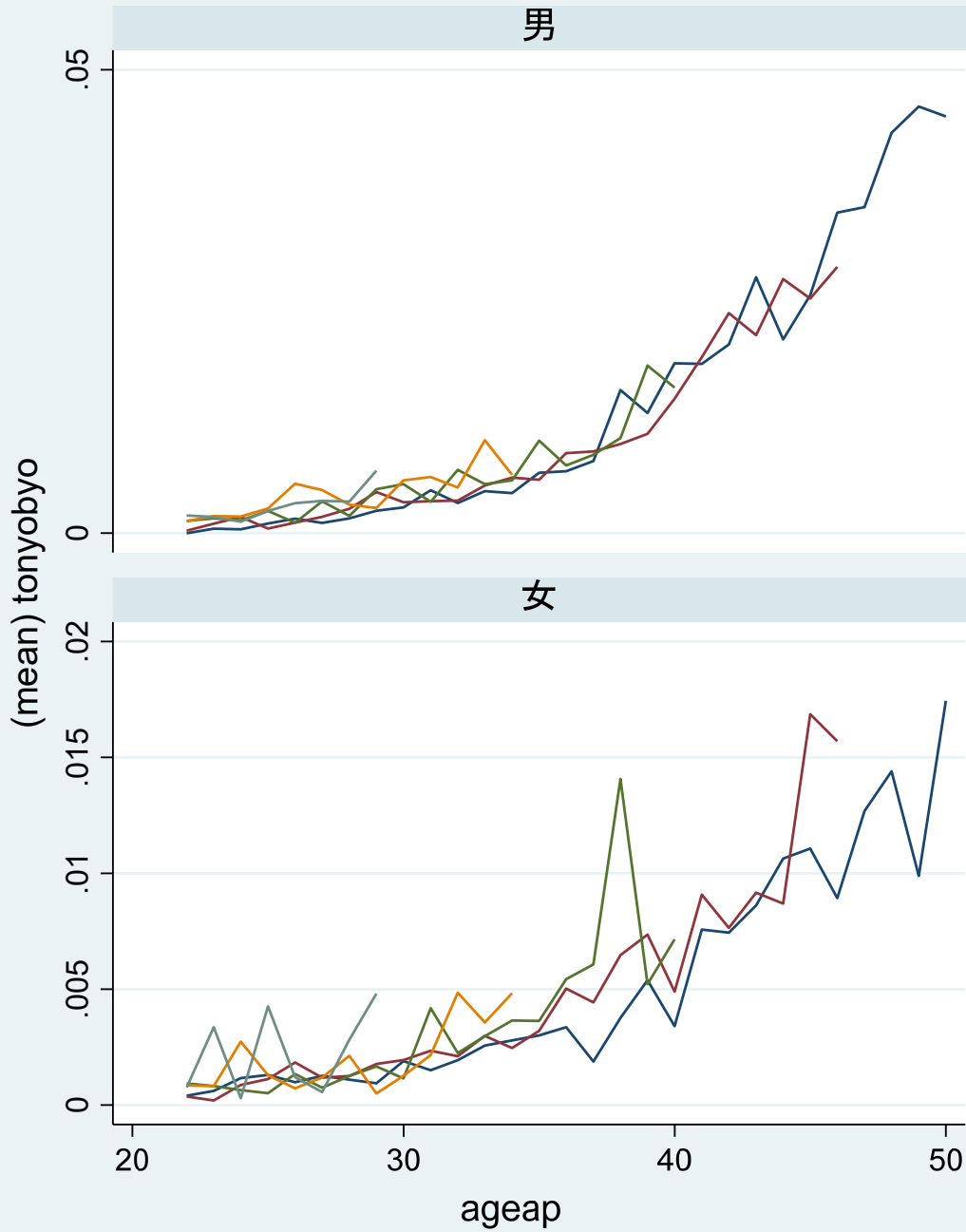


# mentaladd



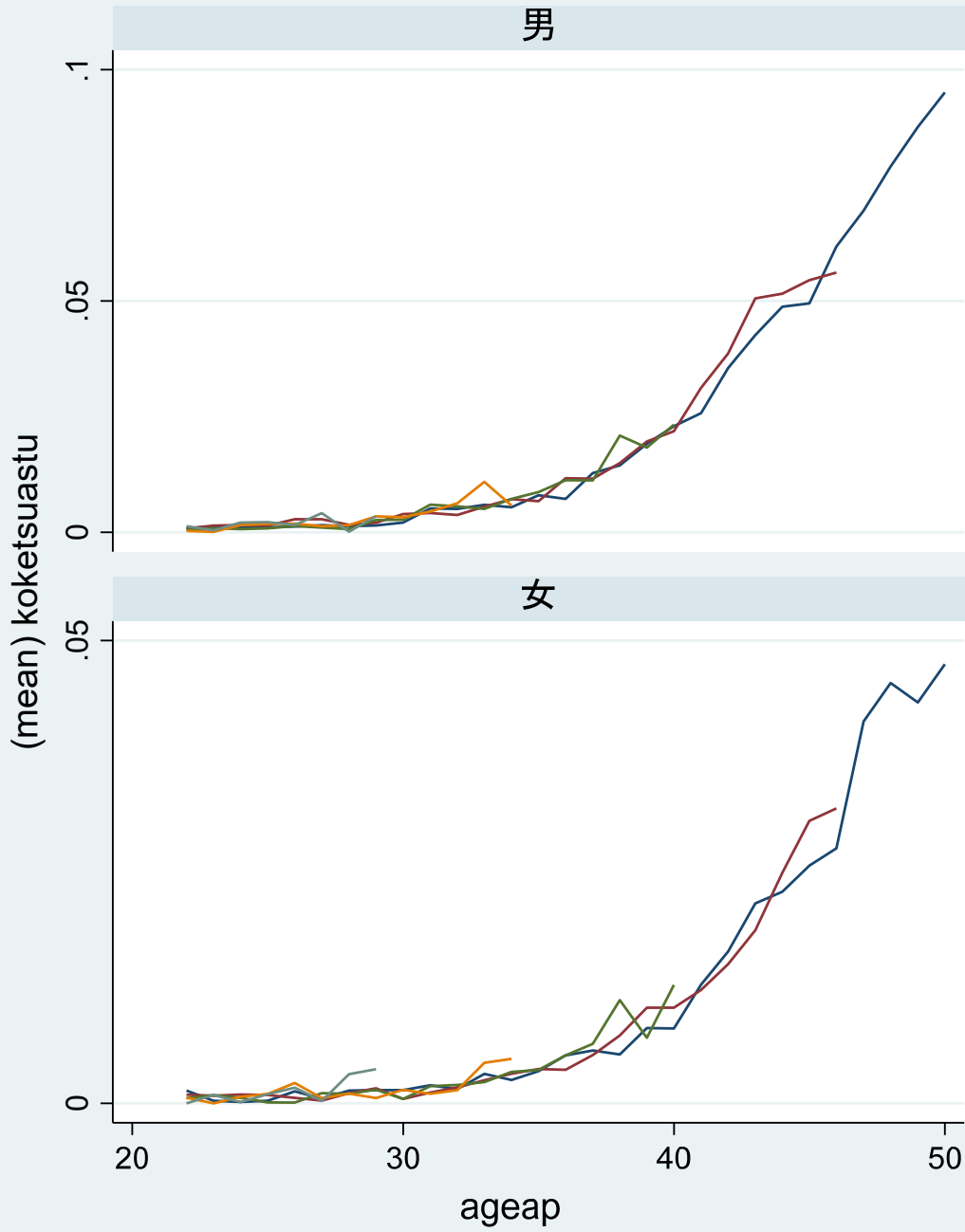
- バブル世代(67-71年生)
- 氷河期前期世代(72-77年生)
- 氷河期後期世代(78-83年生)
- ポスト氷河期世代(84-88年生)
- リーマン震災世代(89-92年生)

# tonyoby



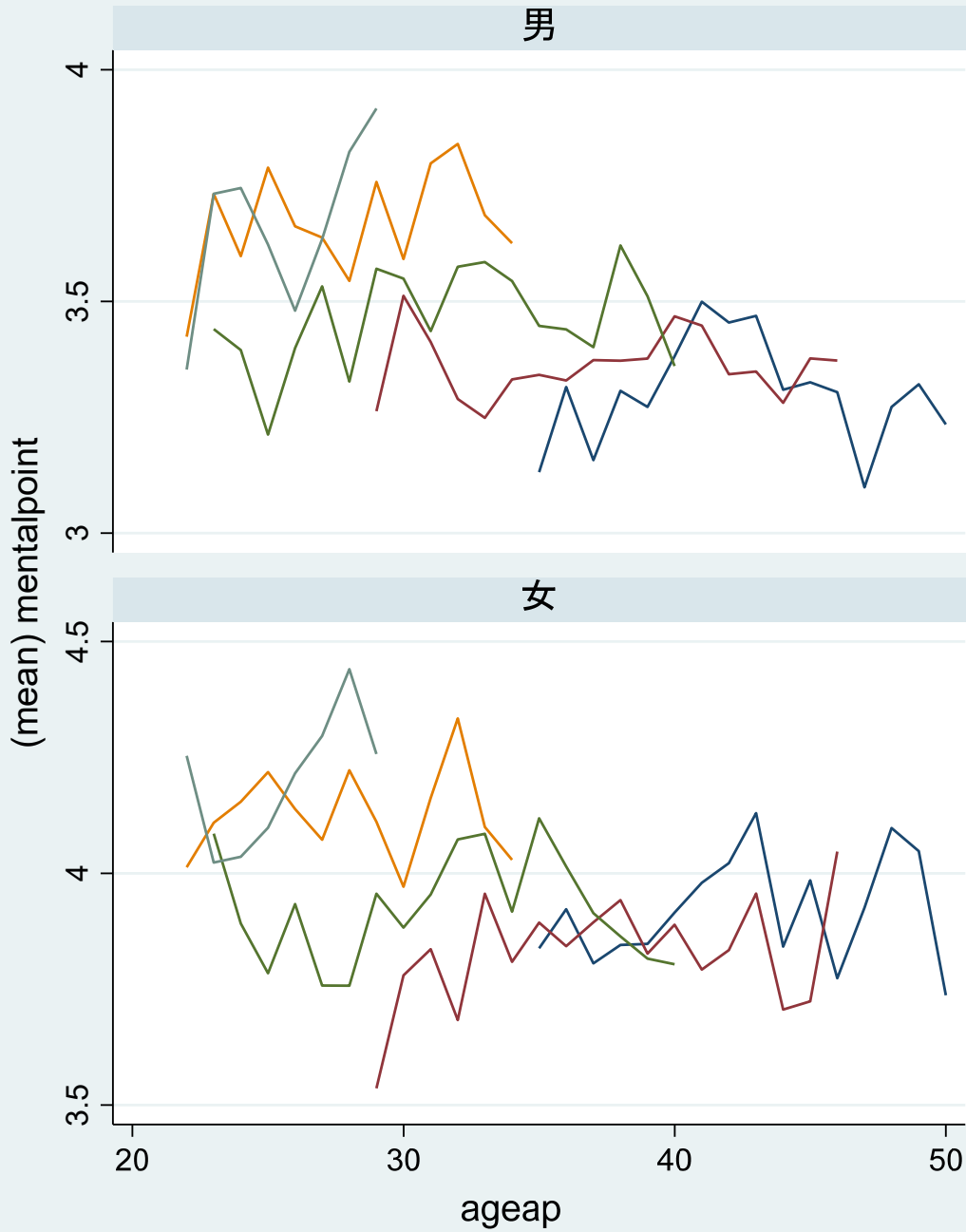
- バブル世代(67-71年生)
- 氷河期前期世代(72-77年生)
- 氷河期後期世代(78-83年生)
- ポスト氷河期世代(84-88年生)
- リーマン震災世代(89-92年生)

# koketsuastu



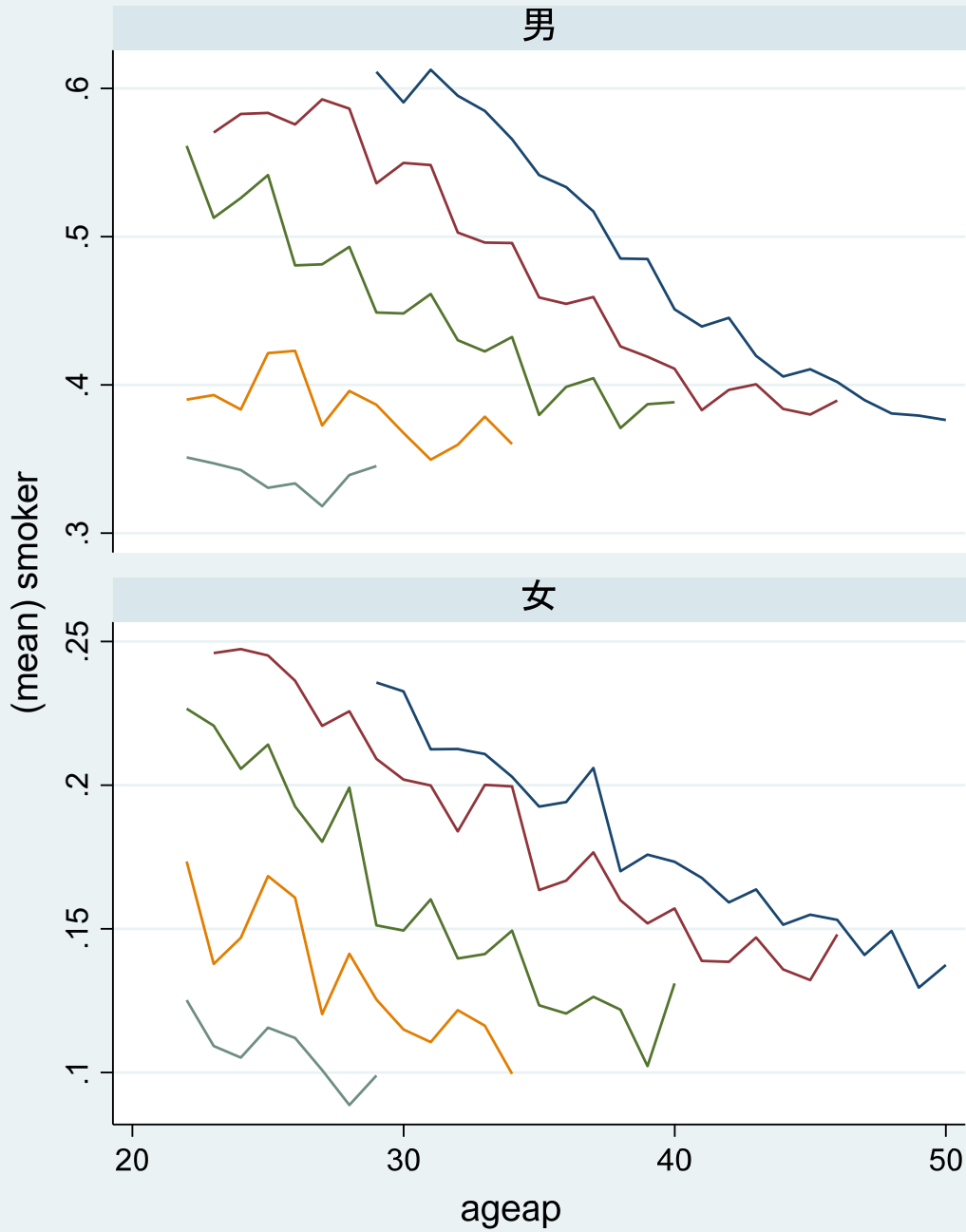
- バブル世代(67-71年生)
- 氷河期前期世代(72-77年生)
- 氷河期後期世代(78-83年生)
- ポスト氷河期世代(84-88年生)
- リーマン震災世代(89-92年生)

# mentalpoint



- バブル世代(67-71年生)
- 氷河期前期世代(72-77年生)
- 氷河期後期世代(78-83年生)
- ポスト氷河期世代(84-88年生)
- リーマン震災世代(89-92年生)

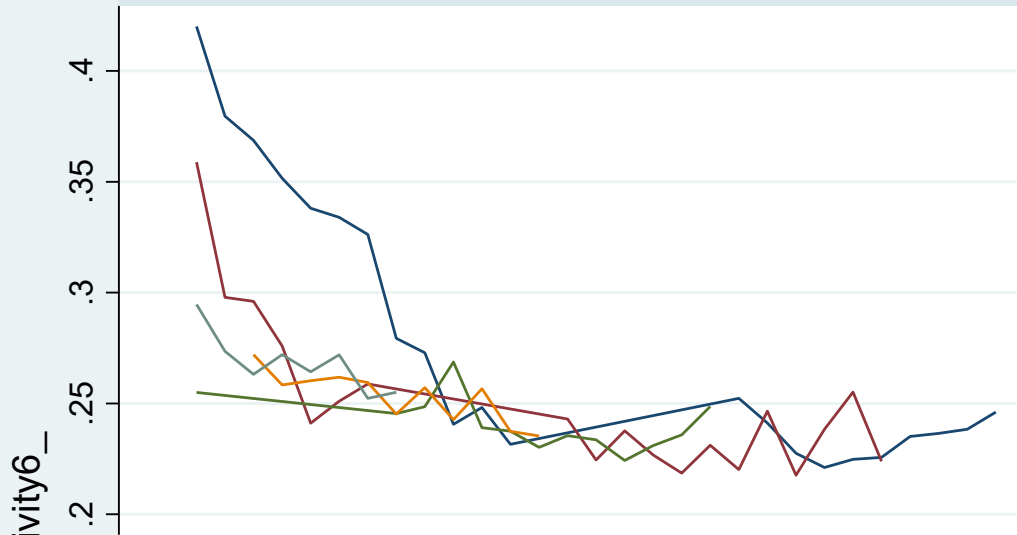
# smoker



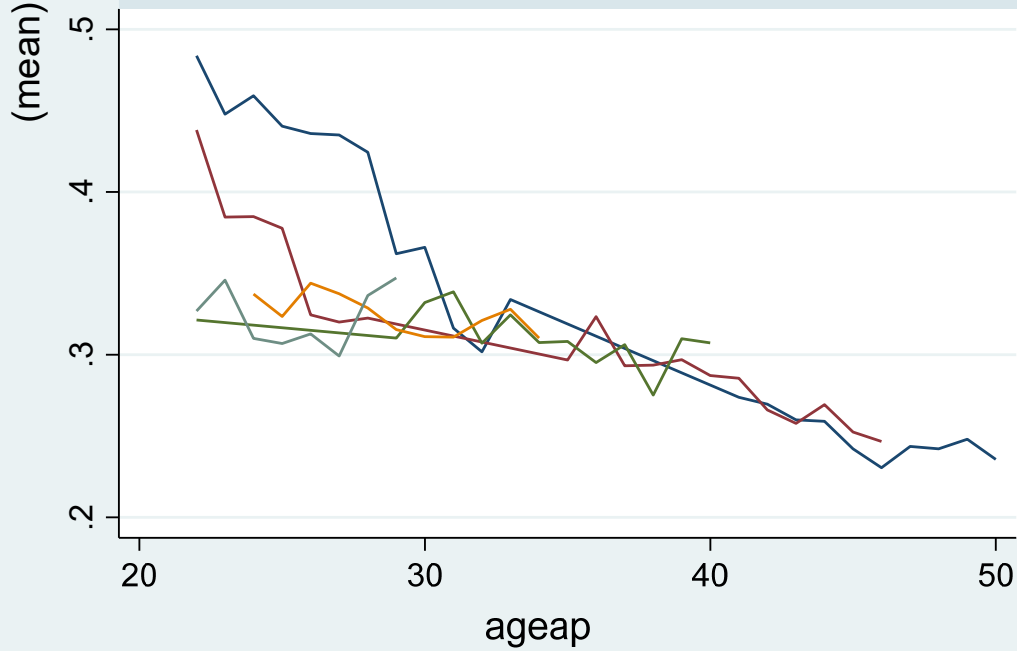
- バブル世代(67-71年生)
- 氷河期前期世代(72-77年生)
- 氷河期後期世代(78-83年生)
- ポスト氷河期世代(84-88年生)
- リーマン震災世代(89-92年生)

# activity6\_

男



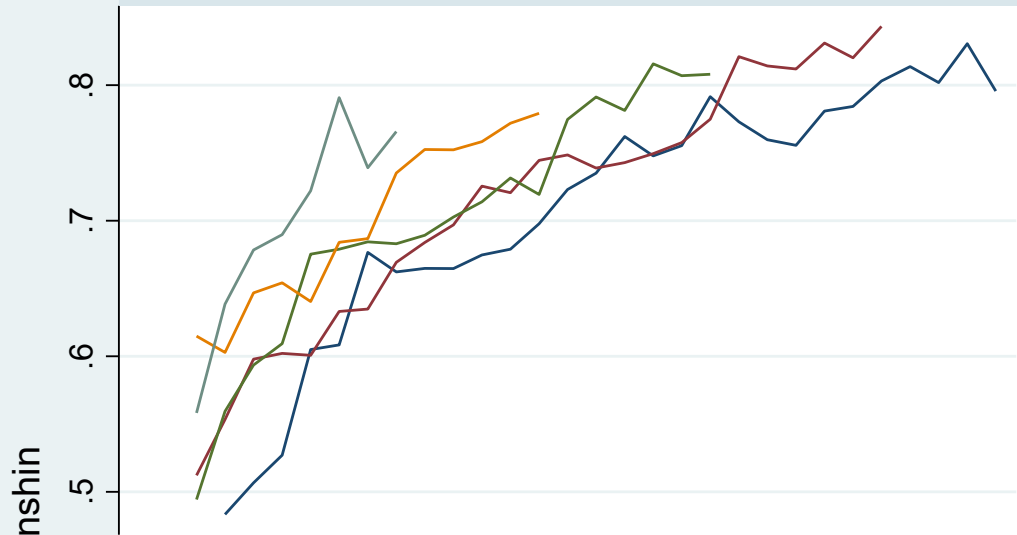
女



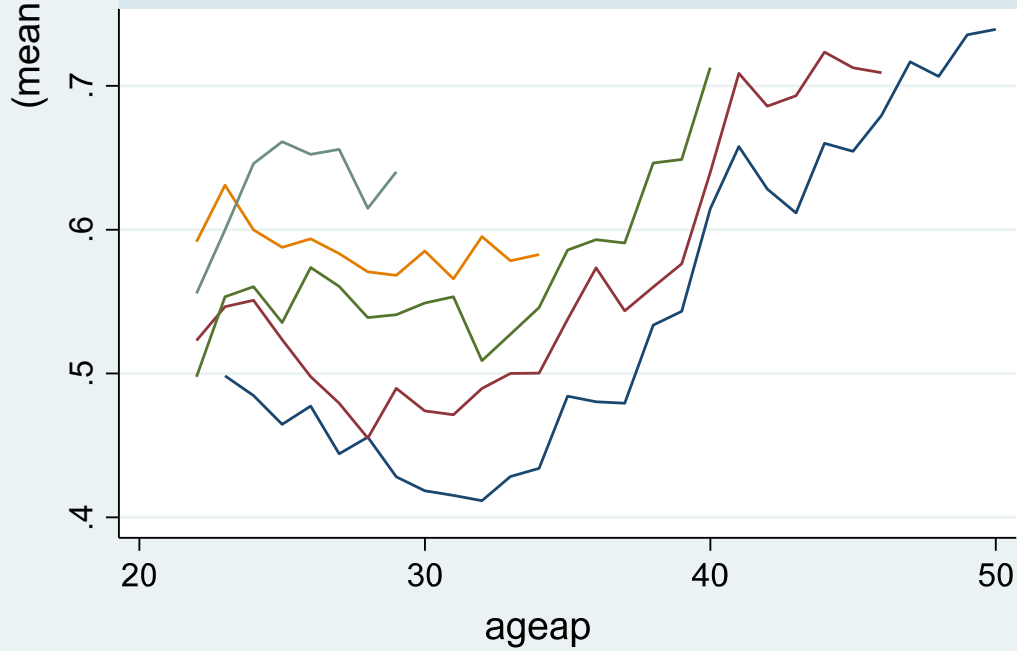
- バブル世代(67-71年生)
- 氷河期前期世代(72-77年生)
- 氷河期後期世代(78-83年生)
- ポスト氷河期世代(84-88年生)
- リーマン震災世代(89-92年生)

# kenshin

男



女



- バブル世代(67-71年生)
- 氷河期前期世代(72-77年生)
- 氷河期後期世代(78-83年生)
- ポスト氷河期世代(84-88年生)
- リーマン震災世代(89-92年生)